

人権に関する市民意識調査
報告書

平成26年11月

瑞浪市

目 次

第Ⅰ章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査の内容	1
4 回収結果	2
5 標本誤差	2
6 報告書の見方	3

第Ⅱ章 調査結果の要約

1 人権全般についての意識	4
2 女性の人権についての意識	7
3 子どもの人権についての意識	8
4 高齢者の人権についての意識	9
5 障がい者の人権についての意識	10
6 インターネットによる人権侵害についての意識	11
7 同和問題についての意識	12
8 アイヌの人々の人権についての意識	12
9 外国人の人権についての意識	13
10 犯罪被害者とその家族の人権についての意識	13
11 感染症患者などの人権についての意識	14
12 刑を終えて出所した人の人権についての意識	14
13 東日本大震災に起因する人権問題についての意識	15
14 人権教育・人権啓発の方法について	15

第Ⅲ章 調査結果

1 調査対象者の属性	17
1-1 性別	17
1-2 年齢	17
1-3 職業	18
1-4 家族構成	18
2 人権全般について	19
2-1 人権に対する考え	19
2-2 関心のある人権問題	21
2-3 差別をされた経験	41
2-3-1 差別をされた内容	42
2-4 人権侵害をされた経験	44
2-4-1 人権侵害をされた内容	46
2-5 人権侵害を受けた場合の対応	50
2-6 人権侵害を受けた時、黙って我慢をした理由	54

3	女性の人権について	56
3-1	女性の人権問題について特に問題だと思うこと	56
3-2	女性の人権を守るために必要なこと	60
4	子どもの人権について	63
4-1	子どもの人権問題について特に問題だと思うこと	63
4-2	子どもの人権を守るために必要なこと	67
4-3	児童虐待を発見した時の対応	70
5	高齢者の人権について	74
5-1	高齢者の人権問題について特に問題だと思うこと	74
5-2	高齢者の人権を守るために必要なこと	78
6	障がい者の人権について	81
6-1	障がい者の人権問題について特に問題だと思うこと	81
6-2	障がい者の人権を守るために必要なこと	85
7	インターネットによる人権侵害について	88
7-1	インターネットによる人権侵害について特に問題だと思うこと	88
7-2	インターネットによる人権侵害を解決するために必要なこと	92
8	同和問題について	95
8-1	同和問題についての考え	95
8-2	同和問題について特に問題だと思うこと	98
9	アイヌの人々の人権について	102
9-1	アイヌの人々の人権問題について特に問題だと思うこと	102
10	外国人の人権について	106
10-1	外国人の人権問題について特に問題だと思うこと	106
11	犯罪被害者とその家族の人権について	110
11-1	犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題だと思うこと	110
12	感染症患者などの人権について	113
12-1	感染症患者などの人権問題について特に問題だと思うこと	113
13	刑を終えて出所した人の人権について	116
13-1	刑を終えて出所した人の人権問題について特に問題だと思うこと	116
14	東日本大震災に起因する人権問題について	120
14-1	東日本大震災に起因する人権問題について特に問題だと思うこと	120
15	人権教育・人権啓発の方法について	123
15-1	瑞浪市の人権に関する取り組みについて知っているもの	123
15-2	人権教育・啓発を推進するために効果的な方法	125
15-3	学校における人権教育について重要なこと	128
15-4	人権に関する企業の取り組みとして重要なこと	131
15-5	人権を尊重しあうための今後の市民の取り組みについて	134
第IV章 自由意見		
	自由意見	137
第V章 参考資料（調査票）		
	調査票	143

第 I 章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、人権に関する市民の意識・現状を把握し、「瑞浪市人権施策推進後期行動計画（計画期間5年：平成28年度～32年度）」の策定と、人権課題の解決に向けた活動の基礎資料とする。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 瑞浪市全域
- (2) 調査対象 市内在住の20歳以上90歳未満の男女
- (3) 標本数 1,000人
- (4) 抽出方法 年齢層別無作為抽出
- (5) 調査方法 配布：郵送により配布
回収：返信用封筒により郵送回収
- (6) 調査時期 平成26年7月

3 調査の内容

- (1) 人権全般について
- (2) 女性の人権について
- (3) 子どもの人権について
- (4) 高齢者の人権について
- (5) 障がい者の人権について
- (6) インターネットによる人権侵害について
- (7) 同和問題について
- (8) アイヌの人々の人権について
- (9) 外国人の人権について
- (10) 犯罪被害者とその家族の人権について
- (11) 感染症患者などの人権について
- (12) 刑を終えて出所した人の人権について
- (13) 東日本大震災に起因する人権問題について
- (14) 人権教育・人権啓発の方法について

4 回収結果

(1) 発送数	1, 0 0 0 通
(2) 返却数	1 通
(3) 有効発送数	9 9 9 通
(4) 回収数 (回収率)	4 5 6 通 (4 5. 6%)
白紙回答数	3 通
(5) 有効回答数	4 5 3 通

5 標本誤差

市民意識調査を実施する場合、本来は全市民を対象とすることが望ましいですが、実際には適当な人数を選んで精度の高い調査結果（全数調査の結果に近い調査結果）を得ることになります。今回は無作為に抽出された1, 0 0 0人の市民のうち4 5 3人から回答を得ました。

この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるかは、アンケート調査結果に対する標本誤差を算定し、検証できます。

標本誤差“ σ ”は次の式で算定されます。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

記号の説明

記号	項目	内容
σ	標本誤差	上記による
M	母集団	20歳以上90歳未満の人口数：31,605人 (平成26年6月30日現在)
n	有効回収数	453 通
κ	信頼度による定数	信頼度95%の時、1.96
p	結果の比率	50%の時が最も大きな値となる

標本誤差算定結果

結果の比率 p : (1-p)	50% : 50%	40% : 60%	30% : 70%	20% : 80%	10% : 90%
標本誤差 (σ)	4.57%	4.48%	4.19%	3.66%	2.74%

標本誤差の算定結果は、最もバラツキが大きくなる回答比率の50% : 50%で4.57%でした。

この結果、今回の調査結果は、95%の確率で $50 \pm 4.57\%$ の範囲内（信頼度95%）となります。

※ 統計学的には、標本誤差が5%以下であれば精度の高い調査結果であるとされています。標本誤差が5%ということとは、調査結果が母集団の真値に対し、ある信頼度（今回の信頼度は95%とした）で $\pm 5\%$ の範囲にあるということです。

信頼度95%とは、真値が $\pm 5\%$ の範囲にある確率が95%であるということです。

6 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が100%にならない場合があります。
- (2) グラフ上では、基数となるべき実数は「回答者数」として掲載しました。したがって、比率は「回答者数」を100%として算出しています。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合、その項目を選んだ人「総回答数」が、「回答者数」全体のうち何%を占めるのかという見方をします。したがって、各項目の比率の合計は、通常100%を超えます。
- (4) 本報告書中の表、グラフ、本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合があります。

第Ⅱ章 調査結果の要約

1 人権全般についての意識（問5-問10、P19-P55）

■ 人権に対する考えについて（問5、P19-P20）

「一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむをえない」（57.4%）が最も高く、「一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない」（36.0%）に対し、21.4%の差があります。「人権の名のもとに権利の濫用がみられるので、むしろ制限すべきだ」は、5.1%と少数です。

このことから、市民が一人ひとりの人権を尊重するだけでなく、他の人の人権にも十分配慮することが重要だと考えていることが読み取れます。

「瑞浪市人権施策推進指針（平成23年3月策定）」では、「市民一人ひとりが人権に関して正しく理解し、互いに尊重しあう意識が根づいた地域社会を構築し、さらには、市民一人ひとりが差別なく地域で伸びやかな生活ができること」を策定目的にしていますが、掲げられた目的は現在の市民の人権に対する考え方に近いものだと考えられます。

■ 関心のある人権問題について（問6、P21-P40）

「関心層」（「非常に関心がある」と「多少関心がある」の合計値）については、「子どもの人権問題（87.0%）」、「高齢者の人権問題（85.7%）」、「東日本大震災に起因する人権問題（85.2%）」、「障がい者の人権問題（84.4%）」、「女性の人権問題（83.9%）」の5項目でそれぞれ8割を超えています。今回の調査では新たに選択肢に加えた「東日本大震災に起因する人権問題」が第3位になっていますが、前回調査において関心度が高かった上位4項目「子どもの人権問題」、「高齢者の人権問題」、「障がい者の人権問題」、「女性の人権問題」については、順位の変動もなく、引き続き市民の関心の高さが現れています。「インターネットを悪用した人権侵害（71.3%）」は前回調査より18.2%増加しており、パソコンや携帯電話、スマートフォンなどの普及により、インターネットの利用者や利用頻度が増えたことが要因として考えられます。

「関心層」の中の「非常に関心がある」の割合については、「子どもの人権問題」が41.1%と最も高く、次いで「北朝鮮による拉致問題（39.5%）」、「障がい者の人権問題（36.9%）」、「東日本大震災に起因する人権問題（36.4%）」、「高齢者の人権問題（33.8%）」の順になっています。性別で意識の差が大きく現れた課題は、「東日本大震災に起因する人権問題」と「女性の人権問題」で、「東日本大震災に起因する人権問題」では男性が14.5%、「女性の人権問題」では女性が10.9%高いという結果が出ました。

年代別の特徴としては、「高齢者の人権問題」と「北朝鮮による拉致問題」について、20歳代から40歳代の若い世代では「非常に関心がある」の割合があまり高くないものの、50歳代以上の世代からは割合が飛躍的に増加する点があげられます。

■ 差別をされた経験について（問7、P41-P43）

「ある」と回答した人が20.8%で、市民の約5人に1人が「差別をされた経験がある」ことになります。

性別で見ると、男性が16.8%、女性が24.1%で、女性が男性の約1.5倍となっています。

年代別の比較では、「ある」と回答した人の割合が30歳代で29.4%と最も高く、それ以降の年代については、年代が上がるごとに減少しています。

差別をされた具体的な内容としては、「学歴・出身校について」が30.9%で最も高く、次いで「年齢について」が29.8%、「収入・財産について」が22.3%となっています。

内容を性別で見ると、男性は「学歴・出身校について」、次いで「職業について」と「収入・財産について」が同率、女性は「年齢について」、「学歴・出身校について」、「容姿について」の順となっています。男女間で最も差が大きかったのは「年齢について」で、女性が男性より19.1%上回りました。また、「病気・心身障がいについて」では男性が女性より16.5%高いという結果が出ました。「学歴・出身校について」を除き、男性は「職業、収入、財産」など社会的な項目について、女性は「年齢、容姿」など生物学的な項目について差別を受ける傾向にあることが特徴的です。

年代別で見ると、「学歴・出身校について」、「職業について」は、20歳代から60歳代まで共通して高く、一般的に労働力の中核といわれる「生産年齢人口（15歳以上65歳未満）」と一致しています。

「年齢について」は20歳代と50歳代以上の年代で高い割合となっています。また、「性別について」は全体では13.8%ですが、20歳代に限り45.5%と突出している点が特徴的です。

■ 人権侵害をされた経験について（問8、P44-P49）

「ある」と回答した人が20.1%で、市民の約5人に1人が「人権侵害をされた経験がある」ことになります。

全ての性別、年代で「人権侵害をされた経験がない」が多数を占めていますが、「ある」と回答した割合は、男性より女性の方が12.3%高く、問7の「差別をされた経験の有無」と同様の傾向があります。

年代で見ると、「ある」では30歳代が32.4%と最も高く、それ以降の年代では徐々に減少しており、この点でも「差別された経験の有無」と同様の傾向が現れています。

前回調査と比較すると、「ある」が3.3%増加し、「ない」は7.5%減少しており、人権侵害をされた経験があると回答した人はやや増加しています。

人権を侵害された具体的な内容としては、「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が56.0%と最も高く、次いで「職場での差別待遇」が30.8%、「名誉、信用のき損、侮辱」が27.5%となっています。

男女間で最も差が大きかったのは、「名誉、信用のき損、侮辱」で、男性が女性の割合を18.8%上回りました。また、「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」については、女性が男性より11.3%高いという結果が出ました。

前回調査との比較では、「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」の増加（+15.5%）と「地域での差別待遇」の減少（△14.5%）が目立ちます。

■ 人権侵害を受けた場合の対応について（問9、P50-P53）

「家族に相談をする」が54.1%と最も高く、次いで「友人に相談をする」が38.0%、「相手に抗議をする」が27.8%でした。性別、年代を問わず、家族や友人など身近な人が主要な相談相手となっていることがわかります。しかし、「黙って我慢する」人も18.3%あり、前回調査との比較では5.1%増加しています。「警察に相談をする（△14.7%）」、「職場の人や学校の先生などに相談をする（△7.3%）」など、どこか・誰かに相談することを選択する人、「相手に抗議をする（△7.2%）」人の割合も前回の調査時から軒並み減少していることから、人権侵害を受けてもアクションを起こさず、黙って我慢する傾向が強まっていると考えられます。

性別でみると、女性は男性と比較して、家族や友人など身近な人に相談する割合が高いこと、相手に抗議をする割合が低いことなどの傾向がみられます。また、「黙って我慢する」割合も男性より高くなっています。一方、男性は女性に比べ、市役所や警察、弁護士などの公的機関や専門機関への相談を考える傾向が高いという結果が出ています。

年代別でみると、全ての年代で「家族に相談をする」が最も高く、20歳代では75.0%となっています。また「友人に相談をする」の割合も全ての年代をとおして高い割合となっています。70歳代以上では「県や市役所などに相談をする」、「区長や民生委員などに相談をする」の割合も高くなっています。

■ 人権侵害を受けた時、黙って我慢をした理由について（問10、P54-P55）

「相談しても解決しないと思う」が47.0%と最も高く、次いで「その他」が15.7%、「相談する勇気がない」が9.6%となっています。

性別でみると、男女ともに「相談しても解決しないと思う」が最も高い割合を占めていますが、次いで男性は「相談できる相手がいない」、「特に理由はない」と続き、女性は「その他」、「相談する勇気がない」となっています。男性の「相談できる相手がいない」については、問9の「人権侵害を受けた場合の対応」で、女性に比べ家族や友人に相談する男性の割合が低いこととも関連していると考えられます。「相談しても解決しないと思う」については、男性より女性が15.4%上回りました。

年代別でみると、全ての年代で「相談しても解決しないと思う」の割合が最も高くなっており、30歳代は60.0%と最も高くなっています。40歳代では「相談できる相手がいない」、70歳以上では「特に理由はない」が高くなっています。

2 女性の人権についての意識（問11-問12、P56-P62）

■ 特に問題だと思うことについて（問11、P56-P59）

「家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が47.2%で最も高く、続いて「男は仕事、女は家庭」など、性別による固定的な役割分担意識があること」が30.7%、「職場において、採用や昇進、昇格などで男女の待遇に差があること」が25.8%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が最も高くなっていますが、女性が男性に比べ10.2%高くなっています。また、「方針や意思決定の場に女性が十分参画していない、または参画できないこと」については、男性が女性より5.9%高くなっています。

年代別でみると、「家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」については全ての年代で最も選択割合が高くなっているものの、20歳代から30歳代および50歳代では6割近くを占める一方、60歳代以上の年代では4割以下となっており、年代による差がみられます。「男は仕事、女は家庭」など、性別による固定的な役割分担意識があること」については、全ての年代で3割程度の人を選択しており、年代による大きな差はみられません。70歳以上では「わからない」の割合が14.3%と、他の年代では8%未満であることと比較して、高い割合を示しています。

前回の調査と比較では、「売春・買春、援助交際などがあること（△21.8%）」、「セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）（△11.4%）」に対する問題意識の低下が目立ちます。

■ 女性の人権を守るために必要なことについて（問12、P60-P62）

「仕事と家庭生活の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が43.3%、「男女が共に家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が32.0%、「家庭や地域、職場における習慣やしきたり、性別による固定的な役割分担意識などを見直す」が30.5%の順となっています。上位3項目は、男女に共通していますが、「仕事と家庭生活の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」においては、女性の割合が男性の割合よりも11.6%高くなっています。

問7「差別をされた経験の有無とその内容」において、男性に「職業、収入、財産に関する差別を受けた」という回答割合が高いことから推察されるように、「男は仕事、女は家庭」という役割分担意識は男性の人権にも大いに影響があることから、「性別による固定的な役割分担意識の見直し」については、女性の人権を守るだけでなく、男性の人権を守ることにもつながります。

年代別でみると、20歳代から60歳代において「仕事と家庭生活の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が第1位になっていますが、特に20、30歳代においては5割を超えていることが特徴的です。また「男女が共に家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」についても全ての年代で高い割合にありますが、他の年代が30%程度であるのに対して、20歳代では45.8%と半数近くの人を選択しています。

3 子どもの人権についての意識（問13-問15、P63-P73）

■ 特に問題だと思うことについて（問13、P63-P66）

「暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口などのいじめを行うこと」が58.1%と最も高く、次いで「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」が55.0%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること」が50.3%となっており、それぞれ過半数を超えています。

性別でみると、上位3項目においては、「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」について女性の割合が男性と比較し8.1%高くなっていますが、他の2項目については大きな差はありません。

年代別でみると、順位に変動はあるものの上位3項目については共通しています。「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」については、20歳代が75.0%と最も高く、年齢が上がるごとに高い割合を保ちながらも減少しています。「成績や学歴だけで子どもを判断すること」は、50歳代以上の年代で選択する割合が3割を超えています。

前回調査との比較では、「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」が19.1%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること」が12.0%と大幅な増加をみせており、特に「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」については、新聞やテレビなどで取り上げられる機会が増えたことも要因のひとつと推察されます。

■ 子どもの人権を守るために必要なことについて（問14、P67-P69）

「保護者の家庭でのしつけや教育力を向上させる」が51.2%と最も高く、次いで「学校において、いじめの防止に対する取り組みを強化する」が38.4%、「学校教育における人権教育を充実させるため、教員など指導者の資質を高める」が36.2%となっています。子どもの人権を守るためには、家庭と学校の果たす役割が重要だと考えていることがわかります。

性別による比較では、全体における上位3項目は男女に共通していますが、女性はそれに加え「子どもに対する虐待や育児放棄の防止に取り組む」を第2位（37.8%）に選んでいます。男性では同項目が第6位（25.2%）だったことから、女性が男性と比べて子どもに対する虐待や育児放棄を重大な問題だととらえていることがわかります。

年代別でみると、「保護者の家庭でのしつけや教育力を向上させる」は全ての年代で高い割合を占めており、特に50歳代では6割にのぼります。40歳代では「学校教育における人権教育を充実させるため、教員など指導者の資質を高める」が最も高くなっています。

■ 児童虐待を発見した時の対応について（問15、P70-P73）

「学校や幼稚園、市の福祉窓口、県の子ども相談センターなどに知らせる」が65.3%と最も高く、次いで「警察に知らせる」が43.0%、「家族や友人、近所の人に相談する」が36.9%となっており、大多数の人が何らかの行動を起こすと回答しています。特に子どもが通う学校や幼稚園、市の福祉窓口や警察などの公的機関への連絡、通報を考える人が多いことがわかります。

男女間で差が現れたのは「家族や友人、近所の人に相談する」で、女性が男性を15.6%上回り、「虐待している人に注意する」では男性が女性より10.6%高いという結果が出ました。

年代別では、全ての年代において「学校や幼稚園、市の福祉窓口、県の子ども相談センターなどに知らせる」、「警察に知らせる」の割合が高く、20歳代から40歳代の若い世代では「家族や友人、近所の人に相談する」、50歳代以上の世代では「民生委員・児童委員に知らせる」を選択する割合が高い傾向にあります。

前回調査との比較では、「警察に知らせる（+29.4%）」、「家族や友人、近所の人に相談する（+26.6%）」、「民生委員・児童委員に知らせる（+22.8%）」などが大幅に増加しています。また「何もしない（△2.6%）」や「どうしたらよいかわからない（△2.1%）」の割合は減少しており、問題に対して行動を起こそうとする人の割合が高くなっています。子どもに対する虐待の防止について市民の意識の高まりが伺えます。

4 高齢者の人権についての意識（問16-問17、P74-P80）

■ 特に問題だと思うことについて（問16、P74-P77）

「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」が41.9%と最も高く、次いで「経済的に自立が困難なこと」が37.3%、「働く能力を発揮する機会が少ないこと」が30.9%の順になっています。

性別による比較では、男性は「経済的に自立が困難なこと」、女性は「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」が最も高くなっています。上位3位以内に入った項目は、男女で共通していますが、「経済的に自立が困難なこと」では男性の割合が8.8%高く、上位3項目以外では「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」で女性の割合が5.8%高いなど、男女間で差異がみられました。

年代別でみると、上位3項目については全ての年代で高い割合を占めていますが、「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」については60歳代以上の年代よりも20歳代から50歳代において問題意識が高いことが読み取れます。また、60歳代以上では「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」が上位3項目内に入っています。

前回調査との比較では、前回第2位の「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」が第1位となっています。高齢者の悪徳商法や詐欺による被害については、件数、金額ともに増加傾向にあり、被害の未然防止に向けた取り組みが必要です。減少した項目としては、「病院や介護施設において、嫌がらせや虐待を受けること」が11.2%、「家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること」が4.8%となっています。

■ 高齢者の人権を守るために必要なことについて（問17、P78-P80）

「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実させ、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」が58.1%と最も高く、次いで「高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する」が39.3%、「高齢者が知識や経験を生かして活動できる、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」が32.2%の順となっています。

性別でみると、「高齢者の人権を守るための啓発活動を推進する」は、女性より男性の割合が4.9%、「高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる」では、女性の割合が9.8%高くなっています。

年代別でみると、全ての年代で「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実させ、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」や「高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する」が上位に入っています。「高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる」については、20歳代から40歳代の若い世代で割合が高く、特に20歳代では5割を超えています。これは問16で若い世代が「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」を「特に問題がある」と考えていることと一致しています。また、70歳以上では「高齢者の人権に関する相談体制を充実させる」の割合が、他の年代より高くなっています。

5 障がい者の人権についての意識（問18-問19、P81-P87）

■ 特に問題だと思うことについて（問18、P81-P84）

「障がい者の生活上の不便などに関する人々の認識が欠けていること」が55.0%と最も高く、次いで「就労の機会が少なく、職種もかぎられていることや不利な扱いをされること」が48.3%、「生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」が31.6%となっています。

性別による比較では、男性の第3位が「生活を支援する福祉サービスが十分でないこと（女性比+12.0%）」なのに対し、女性では「差別的な発言を受けること（男性比+12.0%）」となっています。

年代別でみると、全ての年代をとおして「障がい者の生活上の不便などに関する人々の認識が欠けていること」、「就労の機会が少なく、職種もかぎられていることや不利な扱いをされること」の割合が高く、上位3項目に入っています。特に30歳代から60歳代ではともに5割を超えています。また、20歳代から40歳代の若い世代では「差別的な発言を受けること」の選択割合が高い傾向にあります。

前回調査との比較では、大きな変化はみられません。

■ 障がい者の人権を守るために必要なことについて（問19、P85-P87）

「福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」が42.8%、「障がい者の就労機会を確保する」が42.6%となっていて、これらの項目は男女ともに高い割合を占めています。

男女差が大きいものとしては、「障がいがある人とない人との交流を促進する」の割合が女性の方が7.1%高く、「障がい者の人権を守るための啓発活動を促進する」の割合は男性の方が5.8%高くなっています。

年代別でみると、全ての年代で「福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」、「障がい者の就労機会を確保する」が上位3項目内に入っています。また60歳代以上の年代では、「障がい者の人権に関する相談体制を充実させる」の割合も高くなっています。

6 インターネットによる人権侵害についての意識（問20-問21、P88-P94）

■ 特に問題だと思うことについて（問20、P88-P91）

「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）や差別を助長する情報を掲載すること」が56.7%と最も高く、過半数の人が選択しています。続いて「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が32.2%、「個人情報などが流出していること」が31.6%となっています。

性別による比較では、「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）や差別を助長する情報を掲載すること」について、女性が男性の割合を8.2%上回っています。また、全体で第3位の「個人情報などが流出していること」については、女性の第2位に入っており、男性より7.2%高くなっています。なお、同項目は男性の上位3項目には入っておらず、第2位には「インターネットを介した詐欺や悪質商法による被害が起きていること（女性比+6.7%）」が入っています。

年代別にみると、70歳未満の全ての年代で「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）や差別を助長する情報を掲載すること」の選択割合が約6割となっています。また20歳代から50歳代では、「個人情報などが流出していること」の選択割合が高くなっています。70歳以上では「わからない」の割合も約2割あります。

前回調査と比較すると、「わからない」が5.1%減少し、「インターネットを介した詐欺や悪質商法による被害が起きていること」は12.2%、「個人情報などが流出していること」は7.2%増加しています。問6の「関心のある人権問題」でも「インターネットを利用した人権侵害」についての関心度の高まりが明らかになっており（前回比+18.2%）、インターネットに関連した人権問題は性別、年代を問わず関心度が高い問題として対応していくことが必要です。

■ インターネットによる人権侵害を解決するために必要なことについて（問21、P92-P94）

「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」が44.8%、「プロバイダなどに対し、情報の停止・削除を求める」が35.3%、「インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実させる」が23.2%となっています。性別にみても、男女ともにほぼ同じ傾向になっています。

年代別でみると、「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」については全ての年代で、「プロバイダなどに対し、情報の停止・削除を求める」については60歳代以下の全ての年代で上位3項目に入っています。70歳以上では「わからない」が2割を超えています。

インターネットによる人権侵害を解決するためには、違法な情報発信者に対する監視や取り締まり、プロバイダに対する情報の停止や削除などの直接的な行動が求められています。

7 同和問題についての意識（問22-問23、P95-P101）

■ 同和問題についての考えについて（問22、P95-P97）

「わからない」が38.2%と最も高く、次いで「問題の解決のために努力したい」が18.1%、「あまりさわがず、そっとしておけばよい」が12.4%の順となっており、性別にみても、同じ傾向になっています。年代別にみると、「わからない」が最も高い割合を占めることは全ての年代に共通していますが、50歳代以上の年代では「問題の解決のために努力したい」の割合が約2割あり、40歳代以下の世代と比較して、若干高くなっています。

前回調査との差をみると、増加項目では「あまりさわがず、そっとしておけばよい」が5.0%とやや増加し、「問題の解決のために努力したい」が3.0%減少しています。

■ 特に問題だと思うことについて（問23、P98-P101）

「わからない」が36.4%、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が31.3%、「誤った偏見から交際を避けること」が17.9%となっています。性別による比較では、「えせ同和行為があること」について、男性が女性を8.7%上回っています。年代による特徴的な傾向はみられません。

前回調査と比較して、「差別的な発言を受けること（15.0%）」、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること（31.3%）」、「その他（1.8%）」以外の全ての項目で減少がみられ、特に「結婚に際し周囲に反対されること（4.0%）」については、大幅に減少（△17.1%）しています。

8 アイヌの人々の人権についての意識（問24、P102-P105）

■ 特に問題だと思うことについて（問24、P102-P105）

「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が44.2%と最も高く、次いで「わからない」が40.4%となっています。問6の関心の度合いを問う設問では、最も関心度が低い項目となっています。第3位は「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」で18.1%となっています。性別、年代別にみても、順位、割合ともにほぼ同じ傾向になっています。前回調査と比較しても大きな変化はありません。

9 外国人の人権についての意識（問25、P106-P109）

■ 特に問題だと思うことについて（問25、P106-P109）

「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が46.4%と最も高く、次いで「外国人についての理解や認識が十分でないこと」が40.6%、「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を入手しにくいこと」が38.2%となっていて、上位3項目については、男女ともに同様の傾向となっています。

年代別にみると、「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」、「外国人についての理解や認識が十分でないこと」については全ての年代で、「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を入手しにくいこと」については60歳代以下の全ての年代で上位3項目に入っています。なお、20歳代では「外国人の子どもに対し、自国の言葉での教育が行われていないこと」が16.7%と、他の年代が1割未満であることと比較し、高い値を示しています。

前回調査との比較では、「言葉や習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が4.8%増加し、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が8.6%減少しています。また、新たに追加した「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を入手しにくいこと」については、約4割の人が選択しています。

10 犯罪被害者とその家族の人権についての意識（問26、P110-P112）

■ 特に問題だと思うことについて（問26、P110-P112）

「取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなること」が43.0%と最も高く、次いで「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」が36.4%、「事件に関して、周囲にうわさ話をされること」が24.9%となっています。

性別による比較では、男女ともに「取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなること」が第1位であることは共通していますが、女性の方が男性と比較して7.5%割合が高くなっています。それ以外の男女差が比較的大きい項目としては、「犯罪行為によって、経済的な負担を受けること」があげられ、男性の選択割合が女性に比べ6.3%高くなっています。

年代別でみると、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」は全ての年代で、「取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなること」については、60歳代以下の全ての年代で4割から5割程度の高い割合を占めています。

前回調査との比較では、「わからない」が4.4%増加し、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」が3.7%減少していますが、大きな変化はありません。

1 1 感染症患者などの人権についての意識（問27、P113-P115）

■ 特に問題だと思うことについて（問27、P113-P115）

「感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと」が65.3%と最も高く、次いで「わからない」が22.7%、それ以外の項目は全て20%未満です。

性別による比較では、男女ともに「感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと」が最も高く、次いで「わからない」となっています。第3位は男女で差がみられ、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」では男性の割合が8.0%高く、「差別的な発言を受けること」では女性の割合が3.9%高くなっています。

年代別でみると、「感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと」は、全ての年代で高い割合を示しています。20歳代から30歳代の若い世代では、「病院での治療や入院を断られること」が他の年代に比べ高くなっています。

前回調査との比較では、「感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと」を問題としてとらえる人の割合が23.4%増加し、「特に問題があるとは思わない」人が20.9%減少していることから、感染症患者などの人権について市民の意識、関心の高まりがみられます。

1 2 刑を終えて出所した人の人権についての意識（問28、P116-P119）

■ 特に問題だと思うことについて（問28、P116-P119）

「更生した人たちに対する誤解や偏見があること」が57.4%と最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が39.5%、「わからない」が20.3%となっていて、性別、年代別にみても、同じ傾向になっています。

20歳代から30歳代の若い世代では、「インターネットなどで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること」が他の年代に比べて高くなっています。

前回調査との比較では、「わからない」が6.0%増加していますが、全体的に大きな変化はありません。

1 3 東日本大震災に起因する人権問題についての意識（問29、P120-P122）

■ 特に問題だと思うことについて（問29、P120-P122）

「被災者が居住の自由を奪われていること」が59.2%と最も高く、約6割を占めています。次いで「長期化する避難生活からのいさかいや虐待」が30.7%、「わからない」が15.9%となっています。

性別による比較では、上位2項目については共通していますが、第3位は男性が「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」、女性は「わからない」となっています。しかしながら、割合などに大きな差異はみられません。

年代別にみると、全ての年代で「被災者が居住の自由を奪われていること」が最も高く、次いで「長期化する避難生活からのいさかいや虐待」となっています。

平成23年3月に発生した東日本大震災に起因する人権問題は他の人権問題に比べ新しい人権問題で、問6の関心の度合いを尋ねる設問でも85.2%の人が「関心がある」と回答しています。

1 4 人権教育・人権啓発の方法について（問30、P123-P136）

■ 人権に関する取り組みについて知っているものについて（問30、P123-P124）

「広報みずなみへの啓発記事」が49.0%と最も高く、次いで「弁護士による無料法律相談」が27.6%、「知っているものはない」が23.6%となっています。

男女間で差が大きいのは、「人権書道展」についてで、女性が24.1%と、男性と比較して10.7%高くなっています。

年代別でみると、30歳代以上の全ての年代で「広報みずなみへの啓発記事」の認知度が最も高く、それ以外では、40歳代以上で「弁護士による無料法律相談」、60歳代以上で「市民相談室」や「人権擁護委員による人権・こまりごと相談」の認知度があがっています。ただ、年代が下がるにつれて「知っているものはない」の割合が高くなる傾向にあり、20歳代では5割を超えています。若年層ほど人権に関する市の取り組みについての認知度が低いことがわかります。

■ 人権教育・啓発を推進するために効果的な方法について（問31、P125-P127）

「学校、職場、地域単位の学習会」が55.0%と最も高く、次いで「学校教育の充実」が49.2%、「家庭教育の充実」が38.4%となっています。人権に関する意識を高めるためには、学校や職場、地域などでの学習会や、家庭や学校などにおける子どものころからの教育が効果的だと考えられていることがわかります。上位3項目については性別、年代別にみても、ともに同じ傾向となっています。

■ 学校における人権教育について重要なことについて（問32、P128-P130）

「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める心を育むこと」が70.4%と最も高く、次いで「いじめや暴力をゆるさない心や態度を育むこと」が65.3%、「性別に関係なく一人ひとりを尊重する心や態度を育むこと」が57.0%となっています。

性別による比較では、上位3項目については男女に大きな差異はみられませんが、「インターネットや携帯電話などの正しい使い方を身につけること」において、女性の割合が男性の割合よりも14.1%高くなっています。

年代別でみると、40歳代を除き「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める心を育むこと」が最も高く、40歳代では「いじめや暴力を許さない心や態度を育むこと」が最も高くなっていますが、どちらも全ての年代で高い割合を占めており、年代による目立った特徴はみられません。

■ 人権に関する企業の取り組みとして重要なことについて（問33、P131-P133）

「差別のない公正な採用をすること」が63.8%と最も高く、次いで「安全で働きやすい環境を確保すること」が55.8%、「男女間で公平な待遇をすること」が45.3%となっています。上位3項目の順位に性別による違いはみられませんが、「差別のない公正な採用をすること」を選択した女性の割合は、男性と比較して10.4%高くなっています。

年代別でみると、上位3項目については全ての年代において高い割合を占めています。20、30歳代の若い世代では「個人情報適切に管理すること」、40歳代では「パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどの相談窓口を設置すること」の選択割合が高いことが特徴としてあげられます。

■ 人権を尊重しあうための今後の市民の取り組みについて（問34、P134-P136）

「他人に対する思いやりやさしさを育むこと」が75.3%と最も高く、第2位と第3位は男女で順位が逆転しており、男性の第2位は「自分の権利ばかりでなく他人の権利も尊重すること」、女性は「人権に関する正しい知識を身につけること」となっています。「人権に関する正しい知識を身につけること」については、女性が男性の選択割合より8.3%多くなっています。

年代別でみると、全ての年代で「他人に対する思いやりやさしさを育むこと」が最も高く、それ以外の項目についても年代による目立った特徴はありません。

前回調査との比較では、「職場で人権を尊重する意識を高めあうこと」が6.2%増加し、「人権に関する正しい知識を身に付けること」が7.6%減少しています。

第三章 調査結果

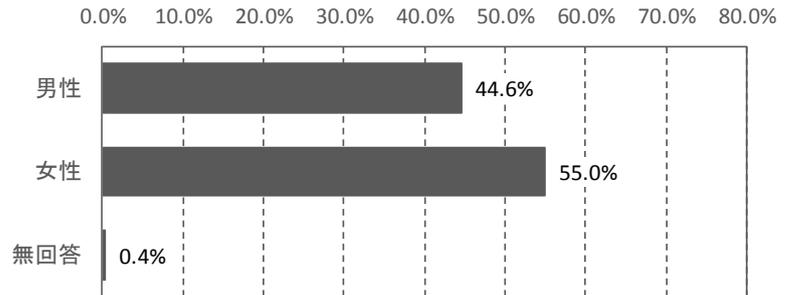
1 調査対象者の属性

1-1 性別

問1. あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

◆「男性」が44.6%、「女性」が55.0%と、「女性」の割合が10.4%高くなっている。

No.	項目	件	%
1	男性	202	44.6%
2	女性	249	55.0%
3	無回答	2	0.4%
	全体	453	100.0%

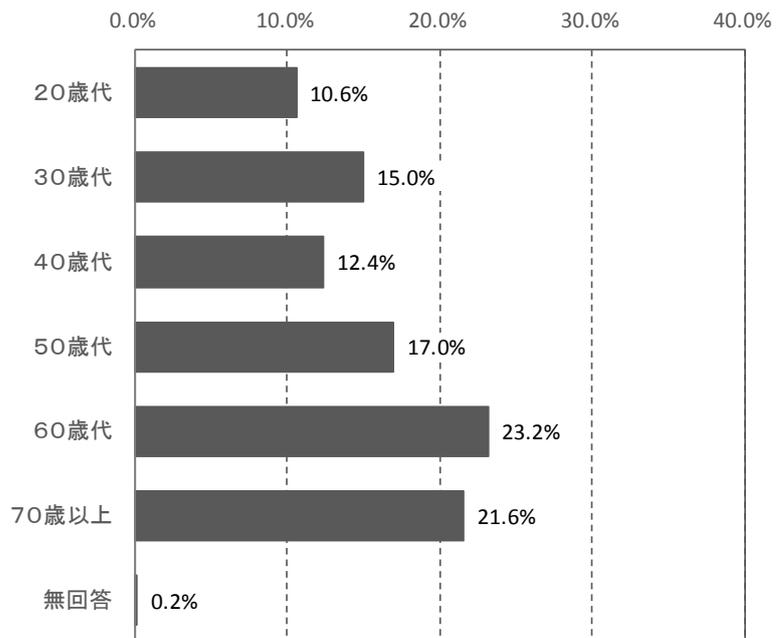


1-2 年齢

問2. あなたの年齢を教えてください。(○は1つだけ)

◆「60歳代」が23.2%と最も高く、次いで「70歳以上」が21.6%と、「50歳代」が17.0%、「30歳代」が15.0%と続いている。

No.	項目	件	%
1	20歳代	48	10.6%
2	30歳代	68	15.0%
3	40歳代	56	12.4%
4	50歳代	77	17.0%
5	60歳代	105	23.2%
6	70歳以上	98	21.6%
7	無回答	1	0.2%
	全体	453	100.0%

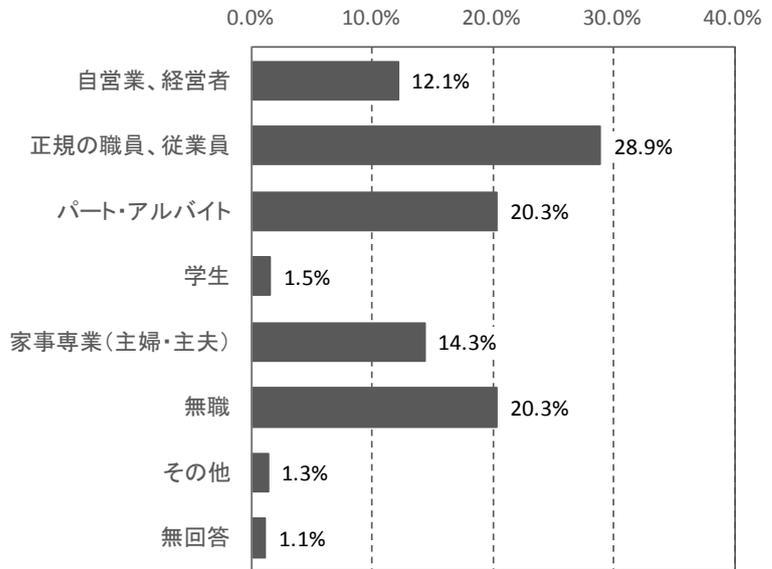


1-3 職業

問3. あなたの職業を教えてください。(○は1つだけ)

◆「正規の職員、従業員」が28.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」および「無職」が20.3%、「家事専業（主婦・主夫）」が14.3%、「自営業、経営者」が12.1%と続いている。

No.	項目	件	%
1	自営業、経営者	55	12.1%
2	正規の職員、従業員	131	28.9%
3	パート・アルバイト	92	20.3%
4	学生	7	1.5%
5	家事専業（主婦・主夫）	65	14.3%
6	無職	92	20.3%
7	その他	6	1.3%
8	無回答	5	1.1%
	全体	453	100.0%

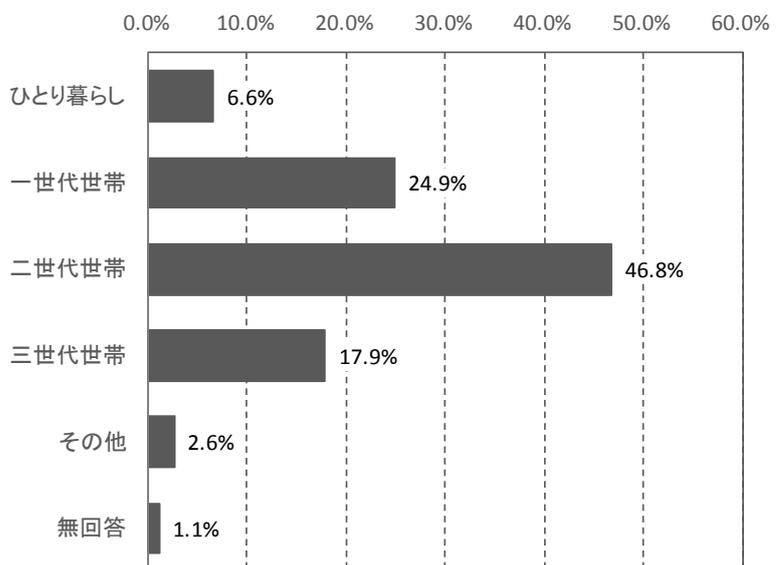


1-4 家族構成

問4. あなたの家族構成を教えてください。(○は1つだけ)

◆「二世帯世帯（親とその子ども）」が46.8%と最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」が24.9%、「三世帯世帯（祖父母と親とその子ども）」が17.9%、「ひとり暮らし」が6.6%の順となっている。

No.	項目	件	%
1	ひとり暮らし	30	6.6%
2	一世代世帯	113	24.9%
3	二世帯世帯	212	46.8%
4	三世帯世帯	81	17.9%
5	その他	12	2.6%
6	無回答	5	1.1%
	全体	453	100.0%



2 人権全般について

2-1 人権に対する考え

問5. あなたの人権に対する考えに最も近いものはどれですか。(○は1つだけ)

【全体】

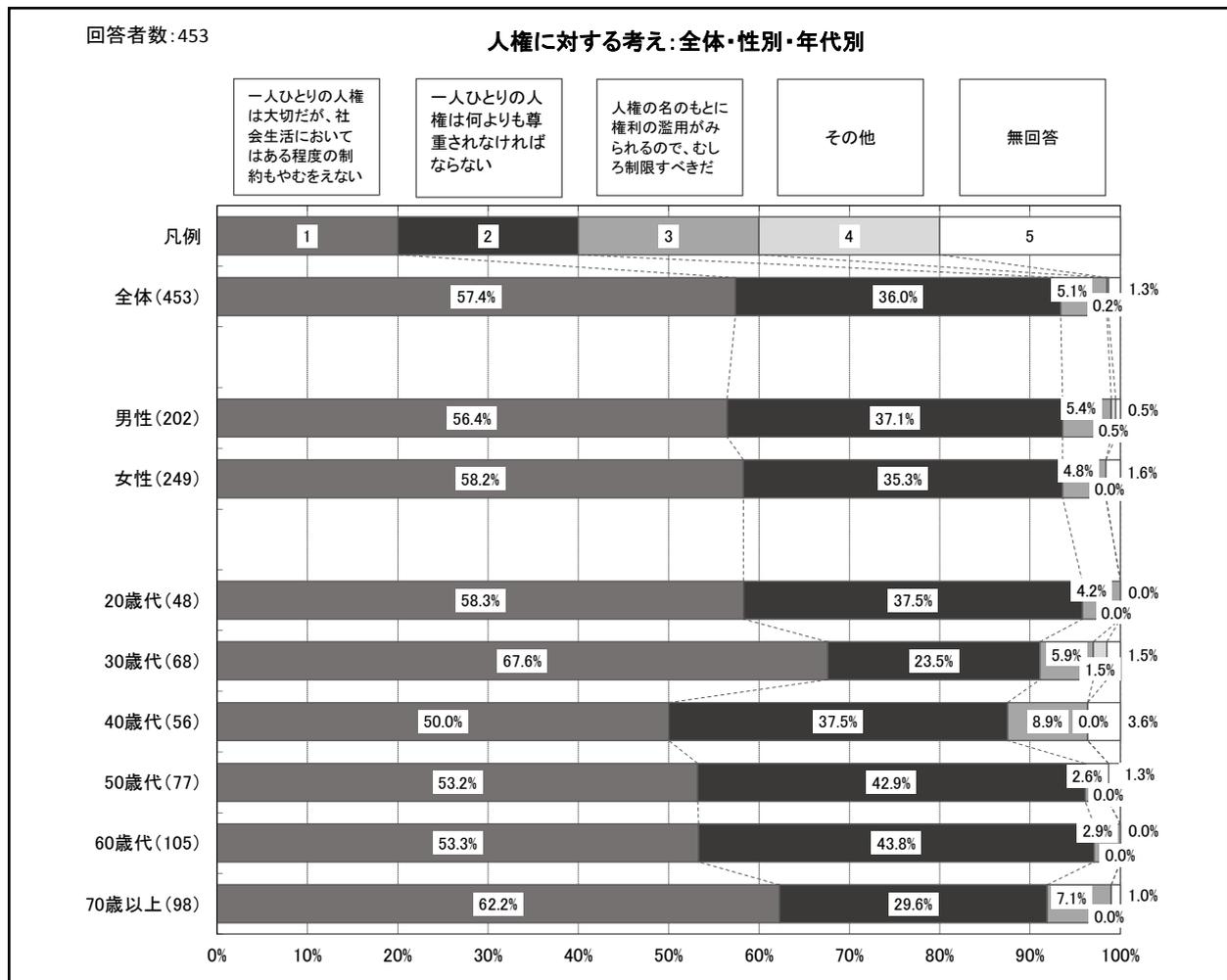
- ◆「一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむをえない」が57.4%と最も多く、次いで「一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない」が36.0%、「人権の名のもとに権利の濫用がみられるので、むしろ制限すべきだ」が5.1%の順となっている。

【性別】

- ◆男女ともに「一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむをえない」が最も高く、次いで「一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない」、「人権の名のもとに権利の濫用がみられるので、むしろ制限すべきだ」となっている。

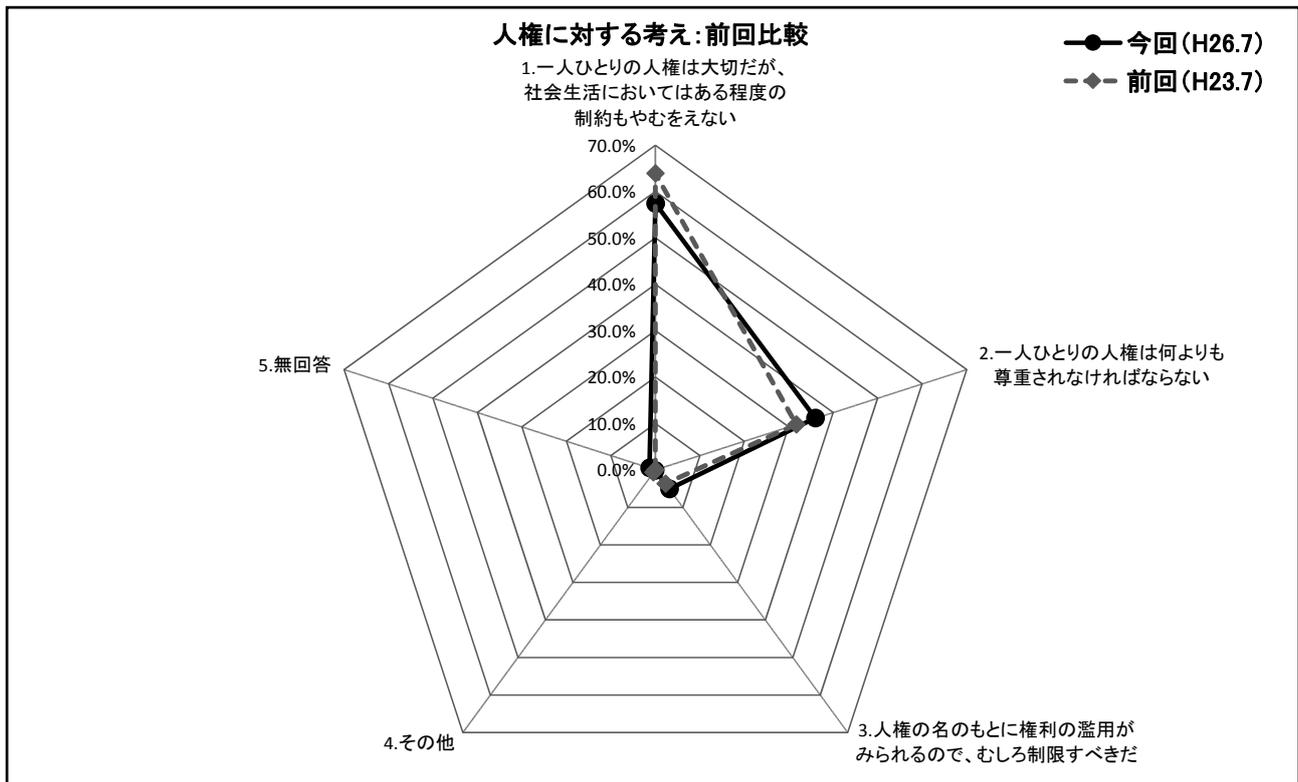
【年代別】

- ◆全ての年代で「一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむをえない」と回答した割合が最も高い。次いで全ての年代で「一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない」となっている。



【前回との比較】

◆項目別に多少の変化があるが、全体的に大きな変化はない。



【前回との差】

◆増加した項目が2項目、減少した項目が2項目となっている。

増加項目では「一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない」が4.3%増加している。
減少項目では「一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむをえない」が6.5%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむをえない	57.4%	63.9%	-6.5%
2.一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない	36.0%	31.7%	4.3%
3.人権の名のもとに権利の濫用がみられるので、むしろ制限すべきだ	5.1%	3.7%	1.4%
4.その他	0.2%	0.7%	-0.5%
5.無回答	1.3%	-	-

【その他の回答（主なもの）】※意見・感想を含む。

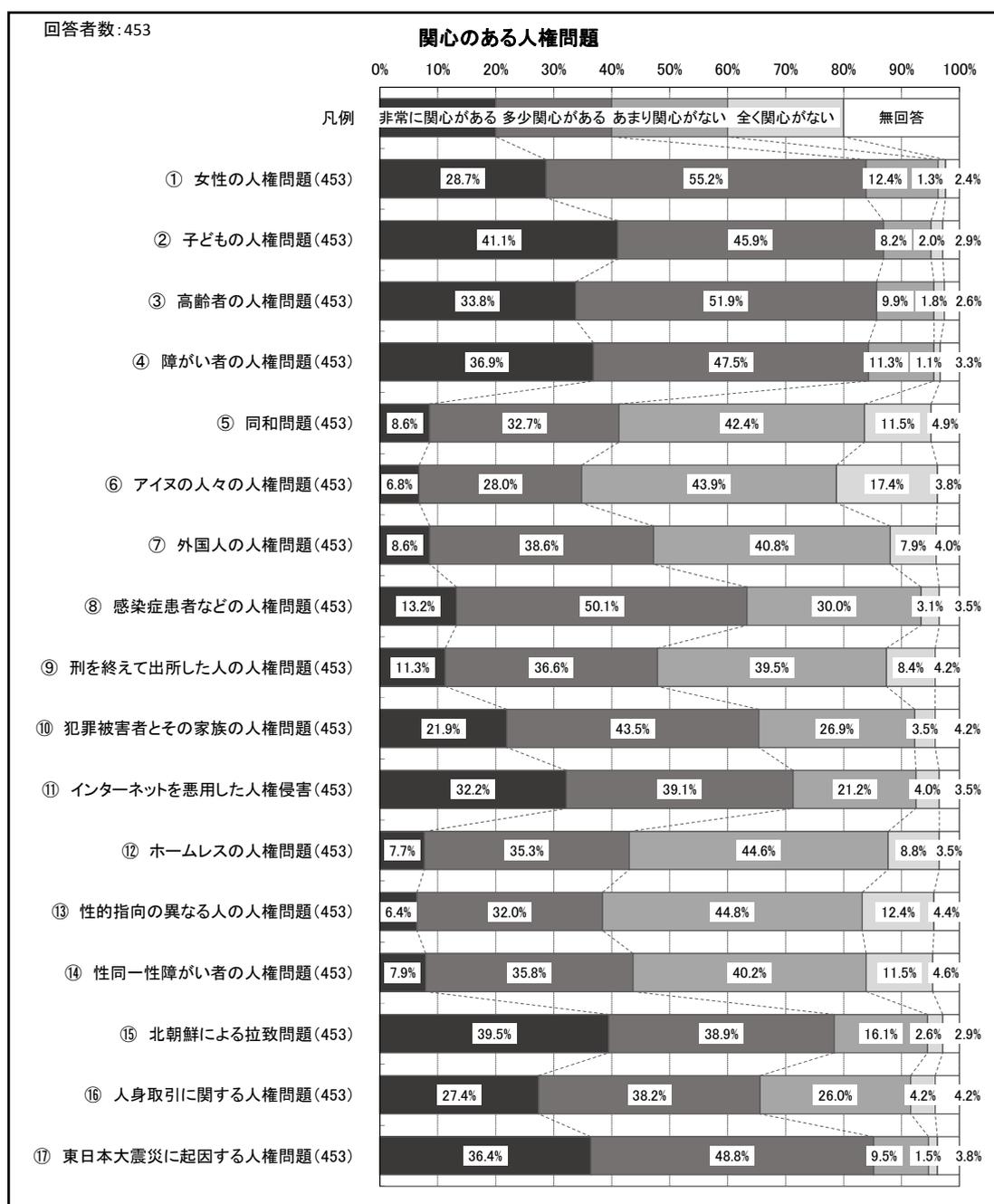
・権利に付随する義務を果たしている場合、制約を受けてはいけないと思う。(男性：20歳代)

2-2 関心のある人権問題

問6. あなたは、次の人権問題に、どの程度関心を持っていますか。
 (各項目の「1 2 3 4」のうち1つに○)

【全体】

◆「非常に関心がある」と「多少関心がある」を合わせた“関心層”が最も多いのは、「子どもの人権問題」の87.0%、次いで「高齢者の人権問題」の85.7%となっている。“非関心層”（「全く関心がない」+「あまり関心がない」）が最も多いのは、「アイヌの人々の人権問題」の61.3%である。



【性別】

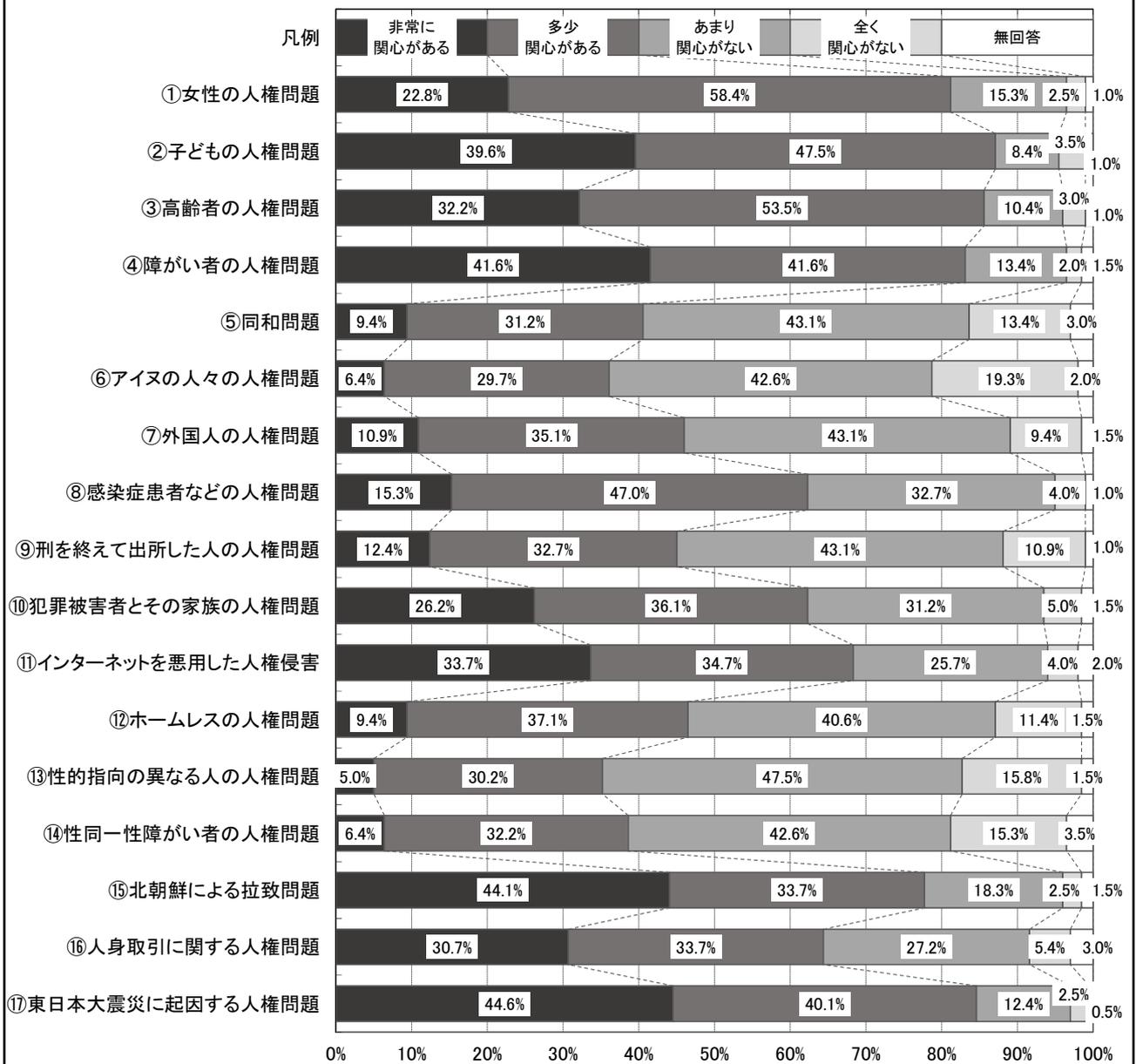
- ◆男女ともに「子どもの人権問題」と回答した“関心層”が最も高く、次いで男性は「高齢者の人権問題」、女性は「女性の人権問題」となっている。続く第3位に高い項目については、男性で「東日本大震災に起因する人権問題」、女性で「高齢者の人権問題」、「東日本大震災に起因する人権問題」の割合が多くなっている。「女性の人権問題」については、“関心層”の割合に大きな差はないものの、「非常に興味がある」を選択した人の割合が、女性の方が男性と比較し10.9%多く、男女の意識の差がみられる。(男性の順位は第5位)

【年代別】

- ◆20歳代は「障害者の人権問題」、30歳代は同率で「子どもの人権問題」、「女性の人権問題」、40歳代及び70歳代は「子どもの人権問題」、50歳代は「東日本大震災に起因する人権問題」、60歳代は「高齢者の人権問題」がそれぞれ第1位となっている。どの年代においても同じ項目が上位5位に入っている。年代別に関心のある人権問題にあまり差はみられない。

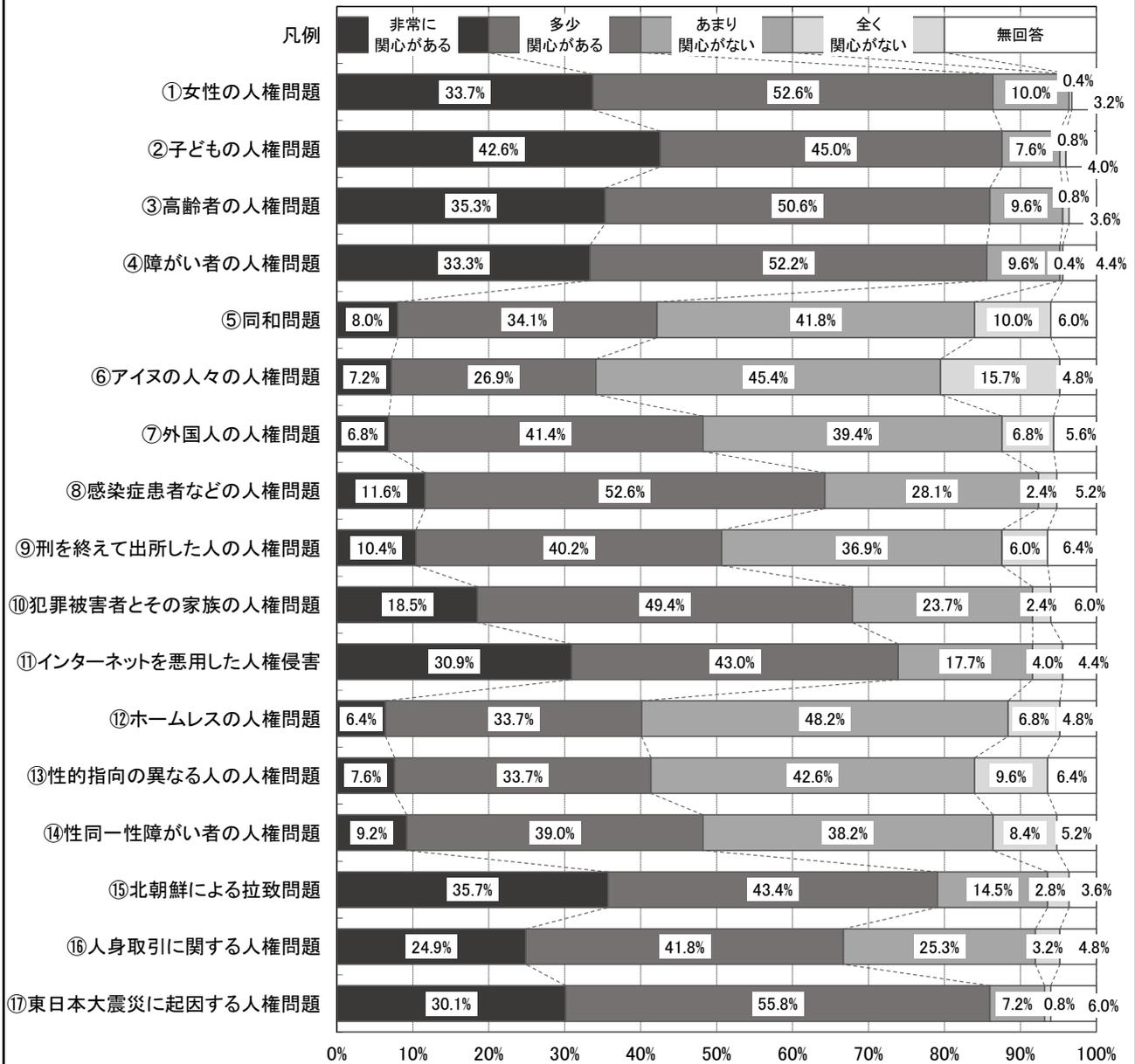
回答者数: 202

関心のある人権問題（男性）



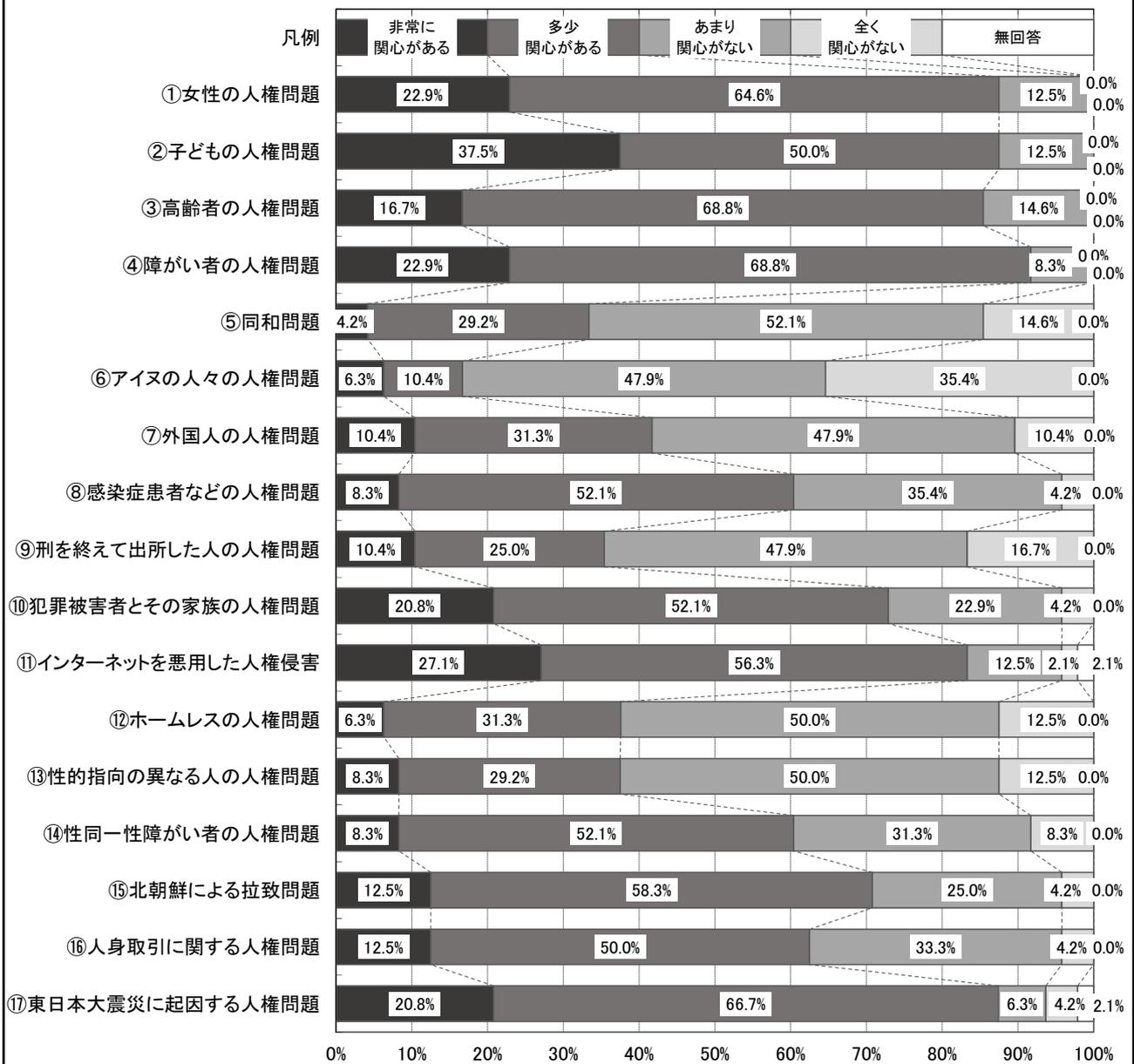
回答者数: 249

関心のある人権問題（女性）



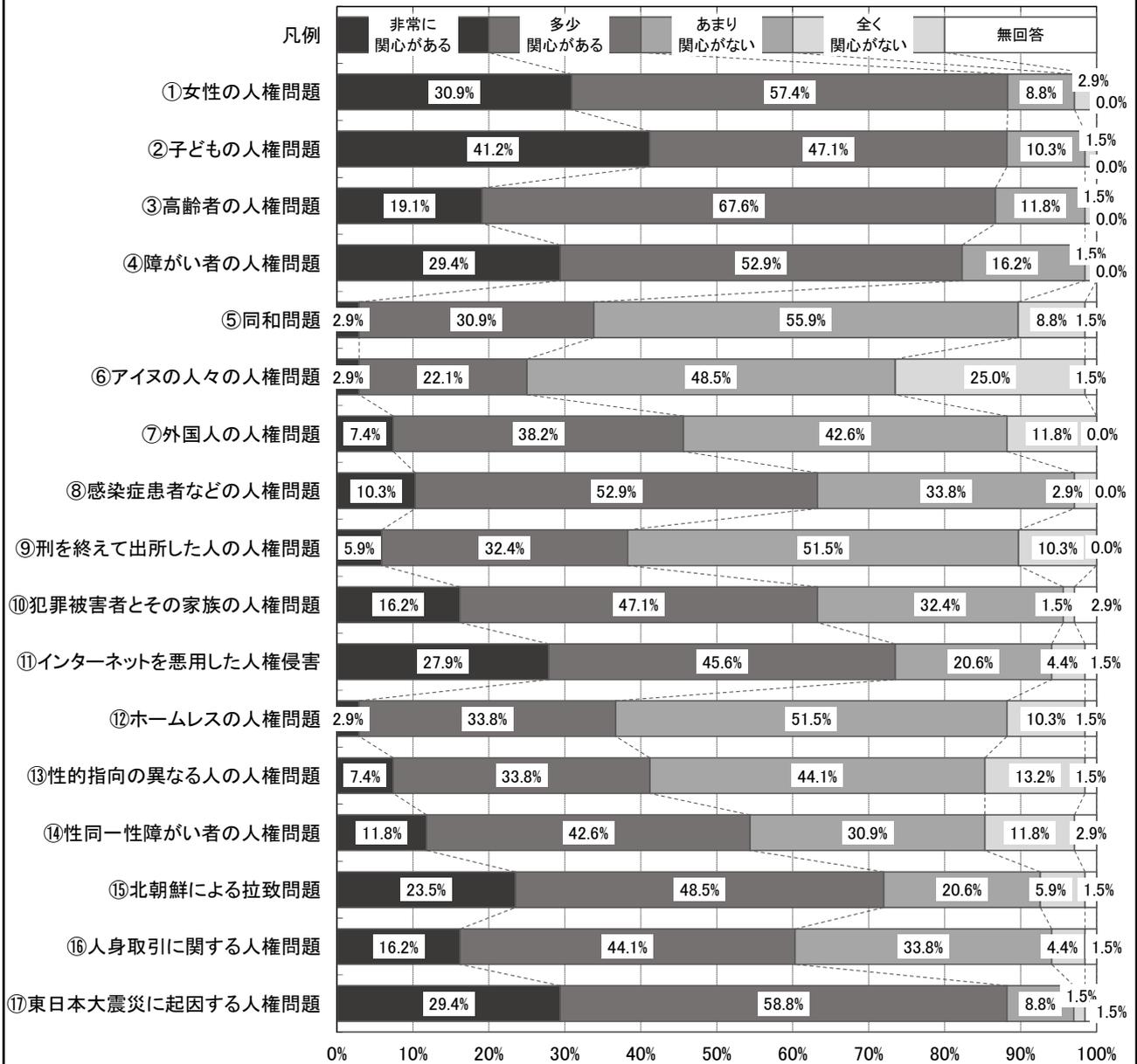
回答者数: 48

関心のある人権問題 (20歳代)



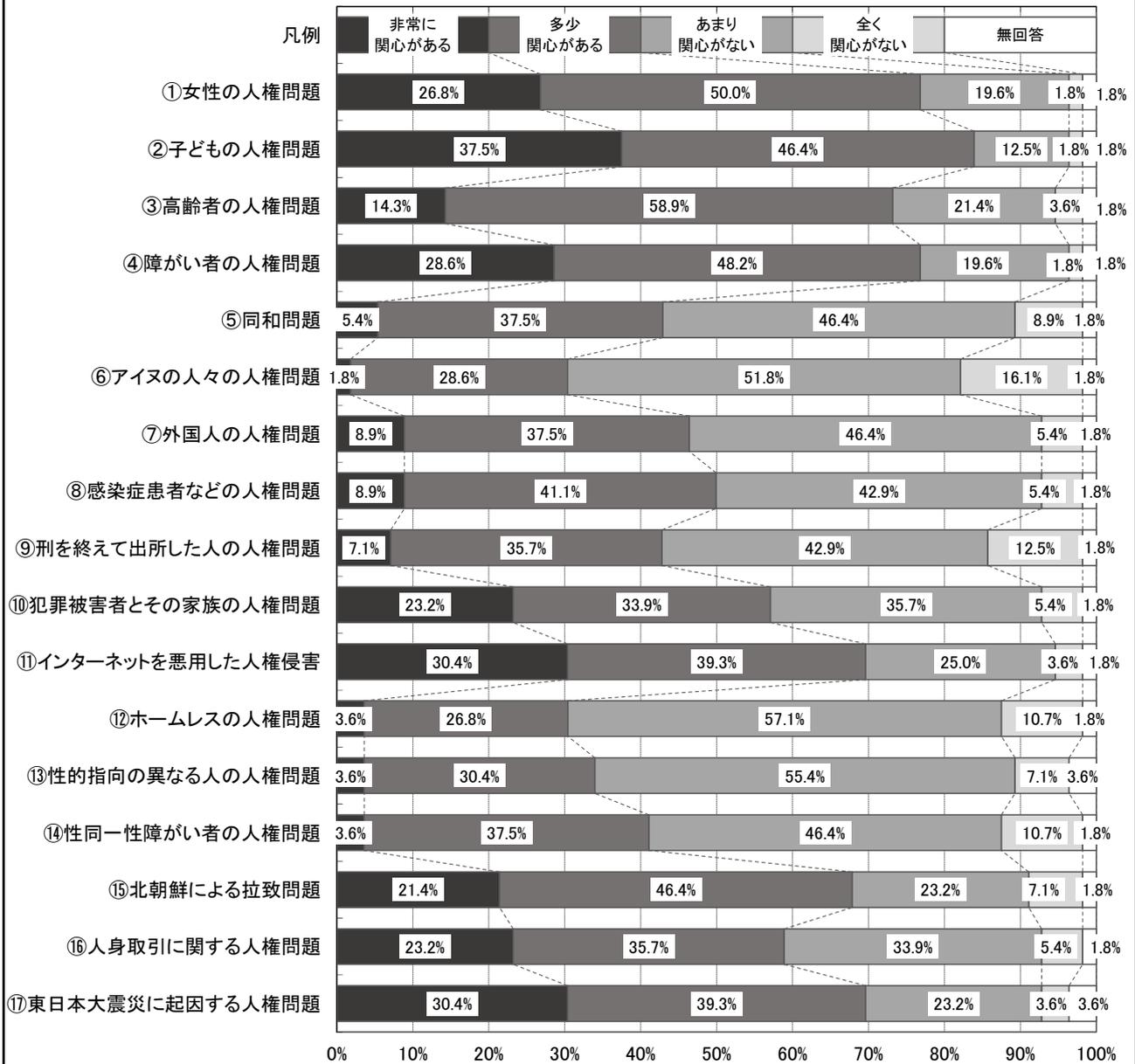
回答者数: 68

関心のある人権問題 (30歳代)



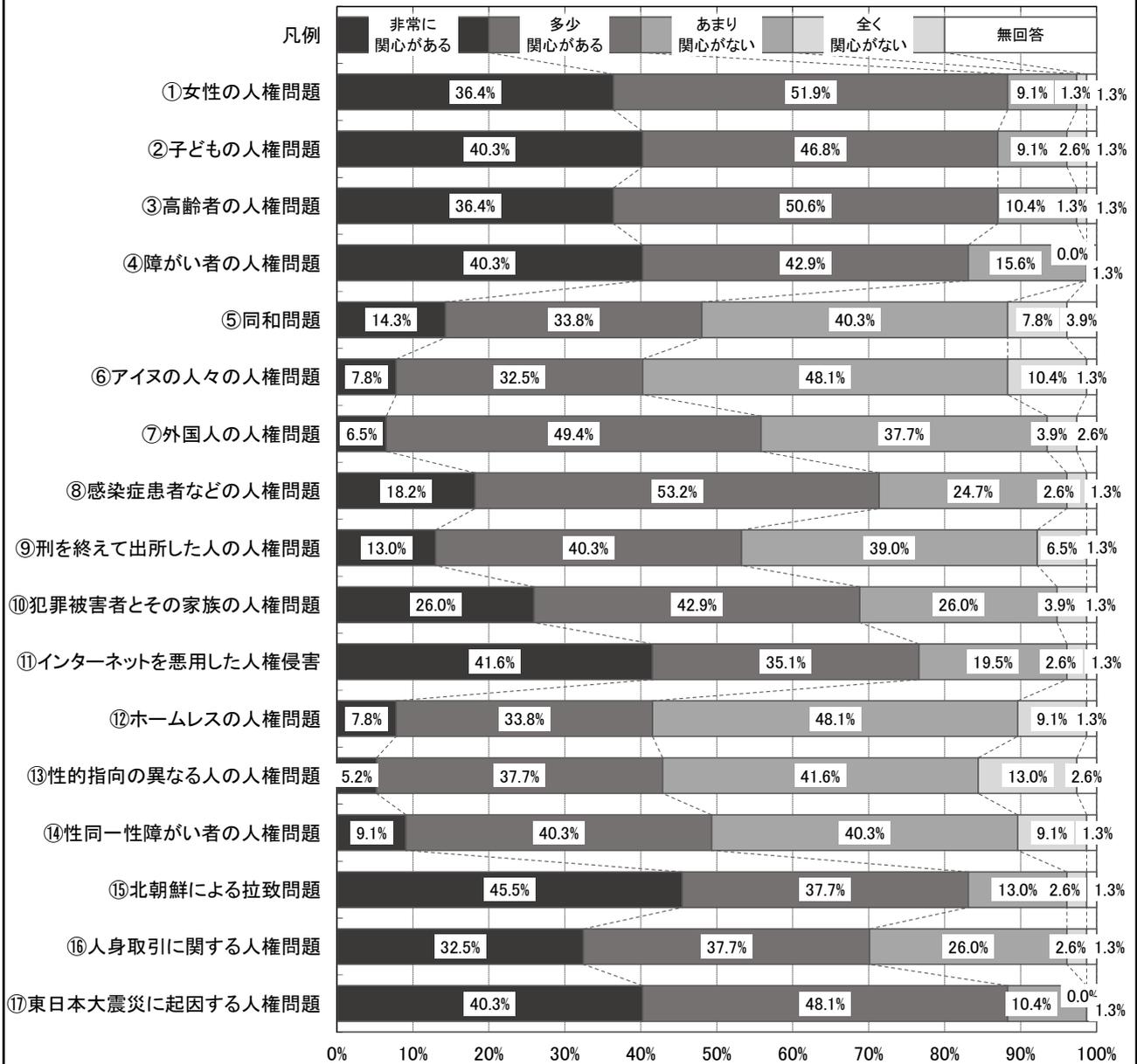
回答者数:56

関心のある人権問題（40歳代）



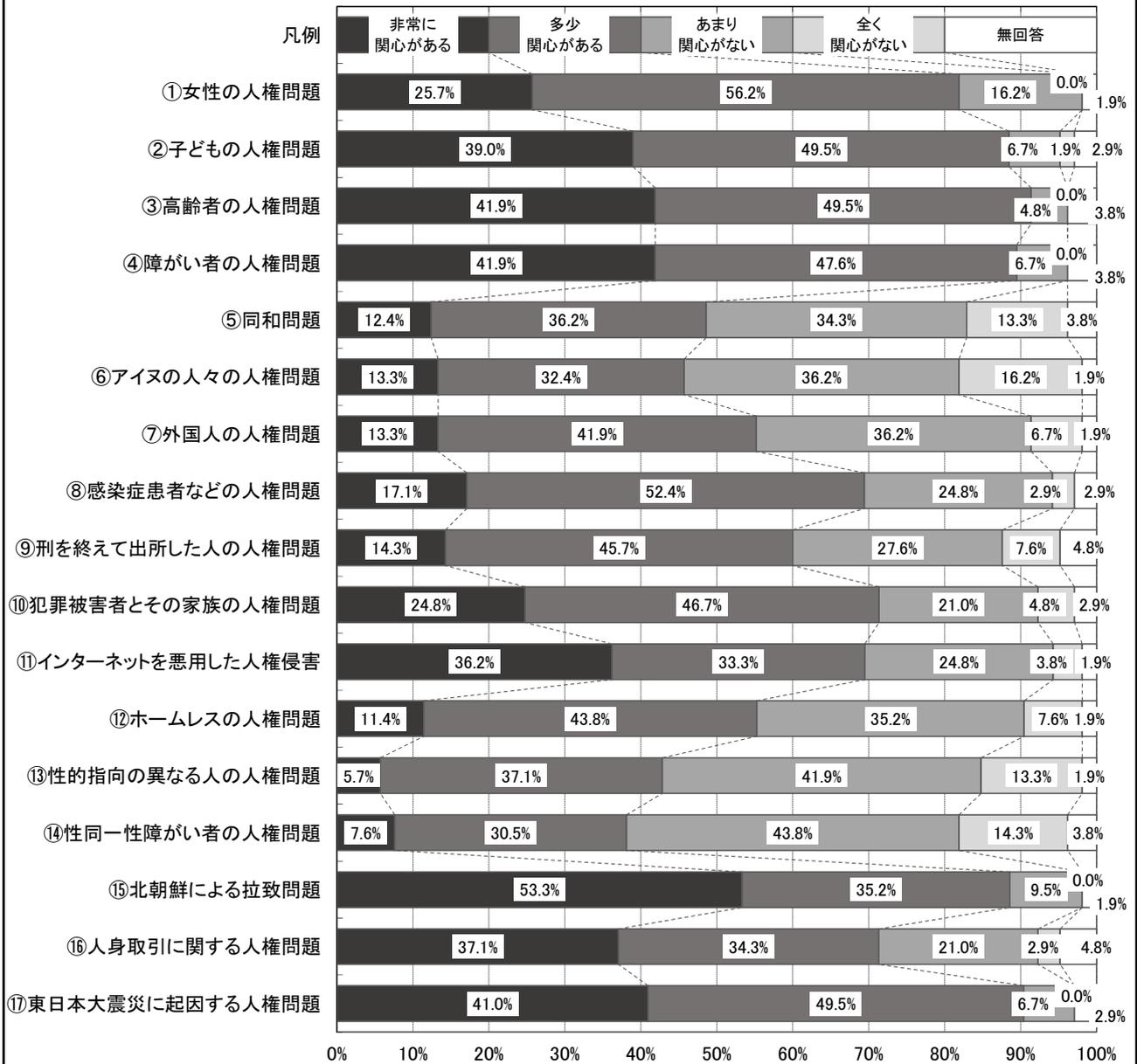
回答者数: 77

関心のある人権問題 (50歳代)



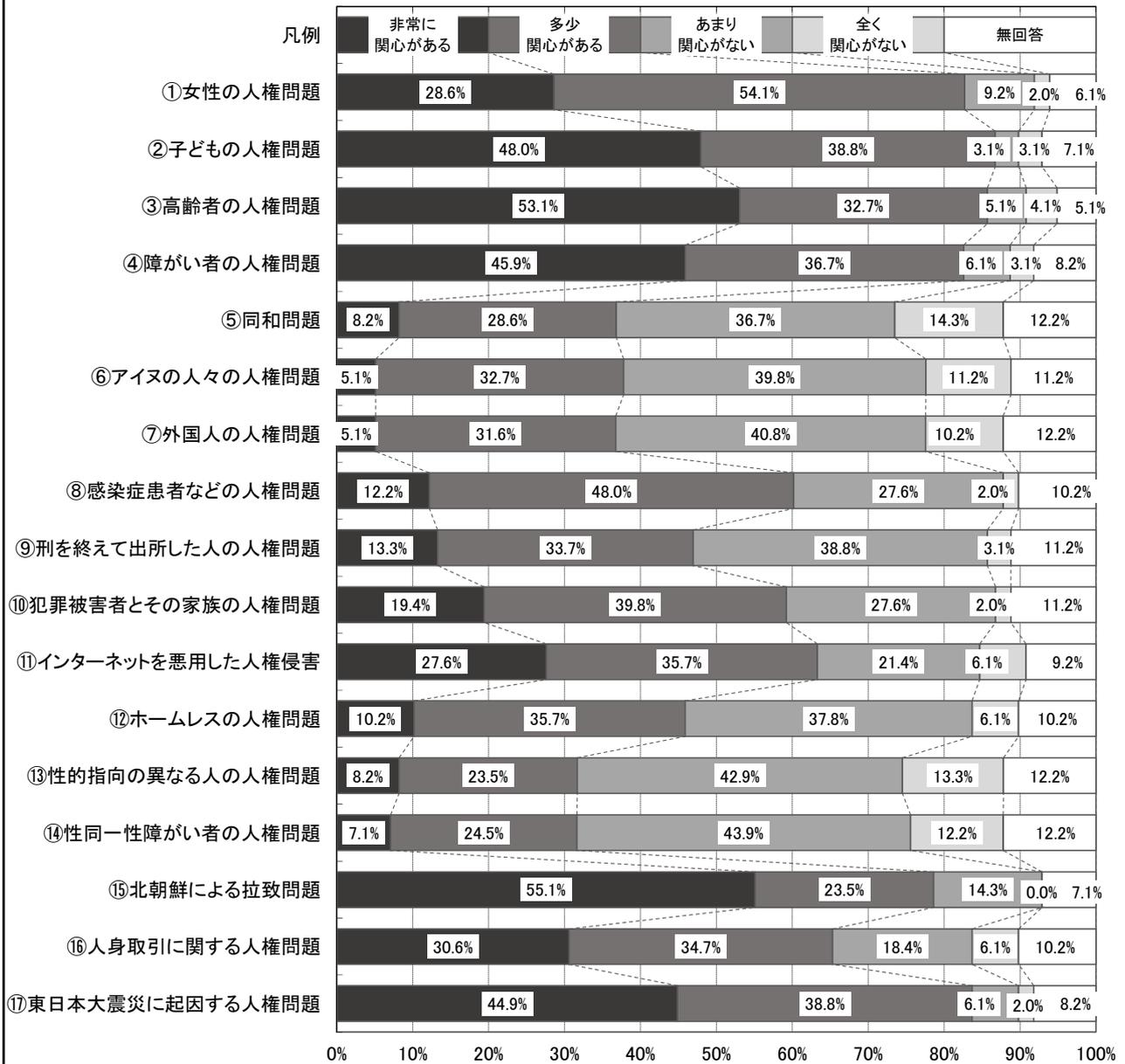
回答者数: 105

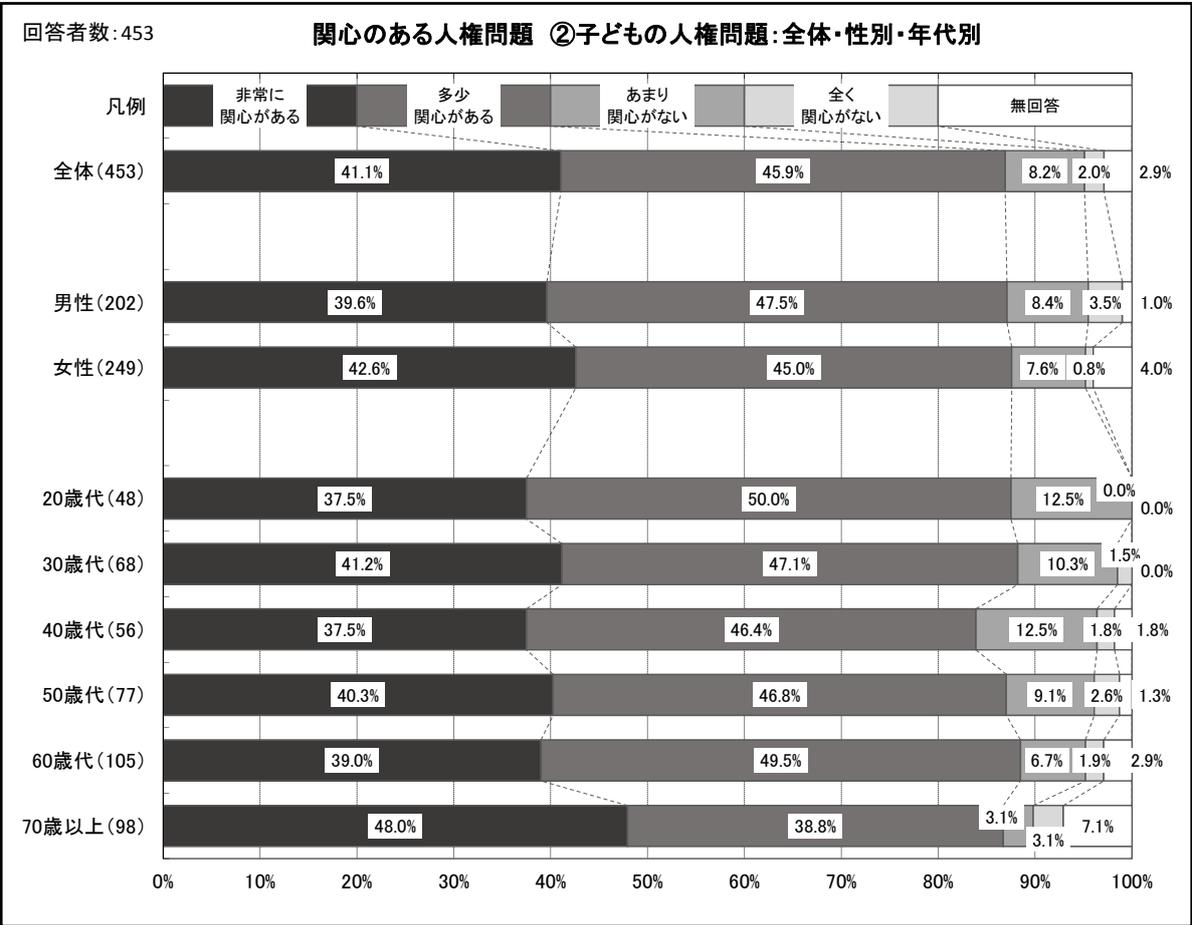
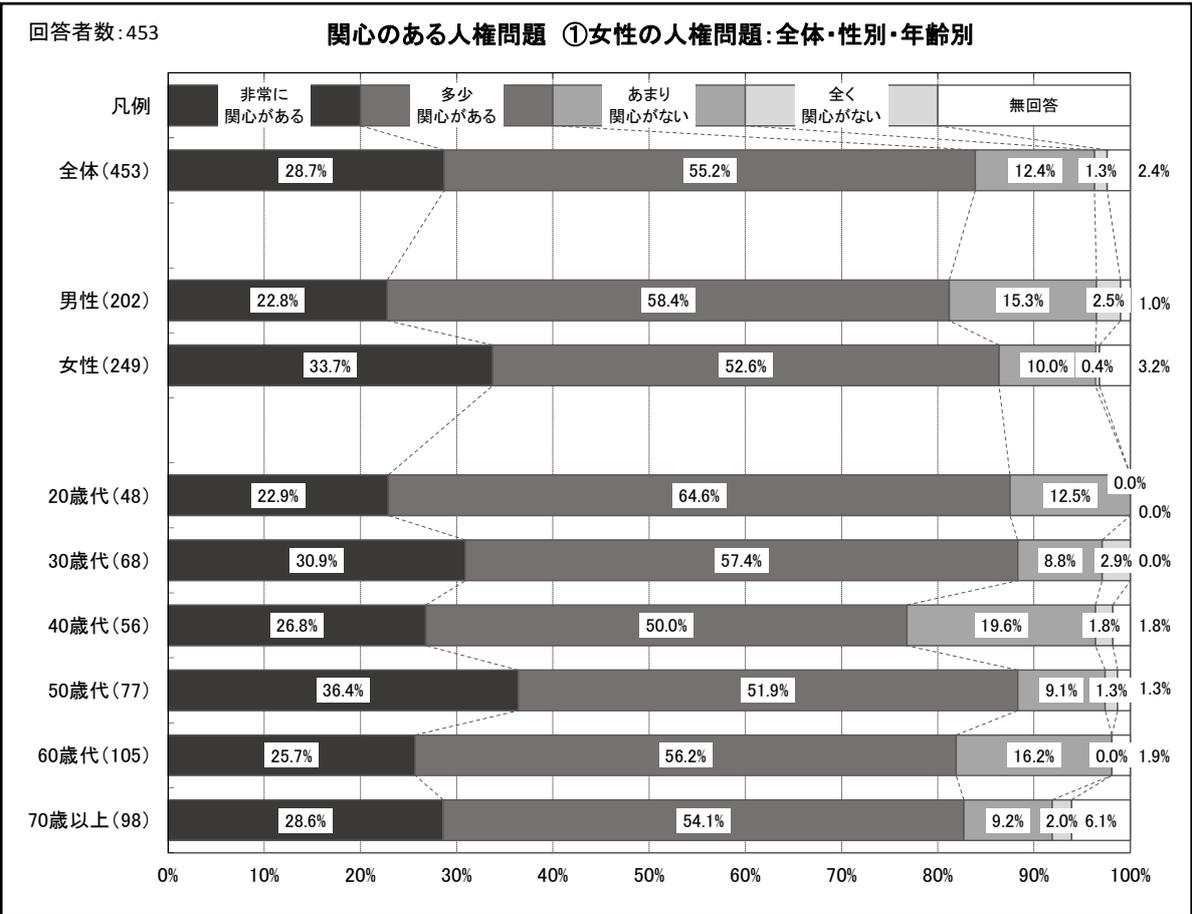
関心のある人権問題 (60歳代)



回答者数:98

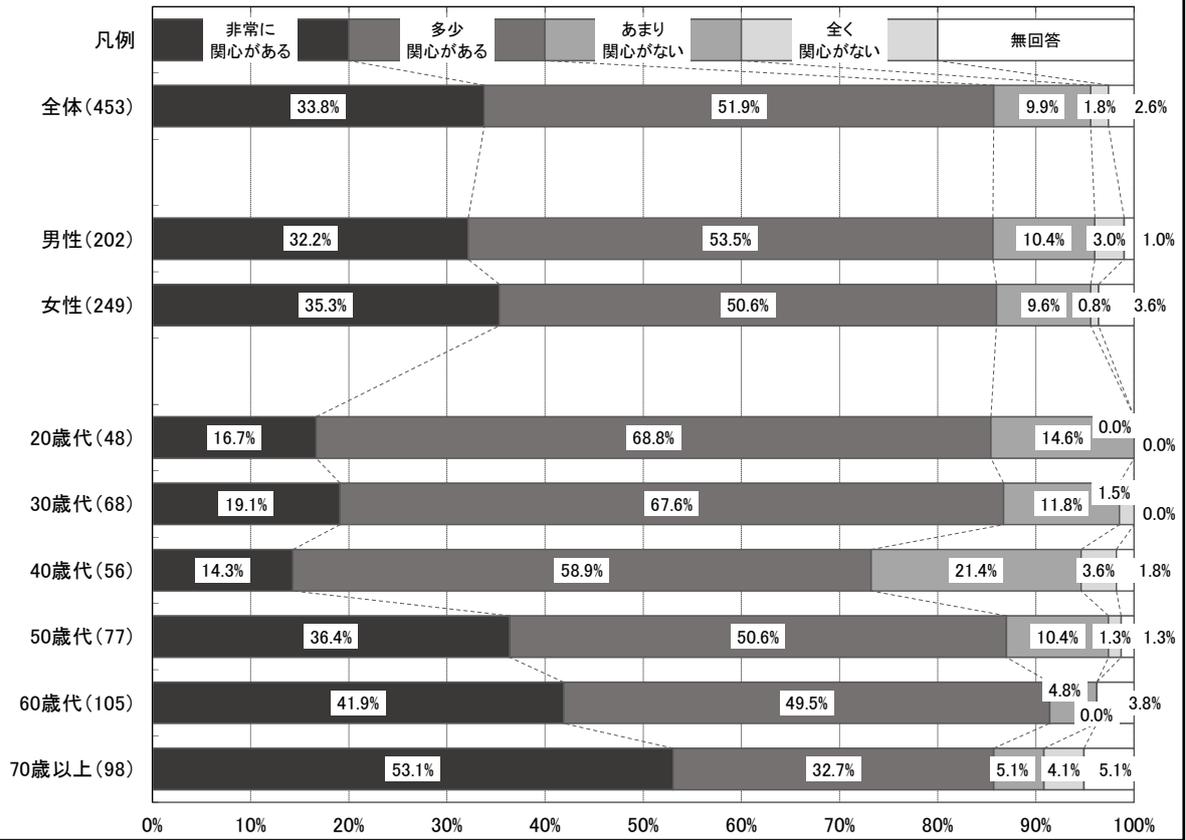
関心のある人権問題 (70歳代)





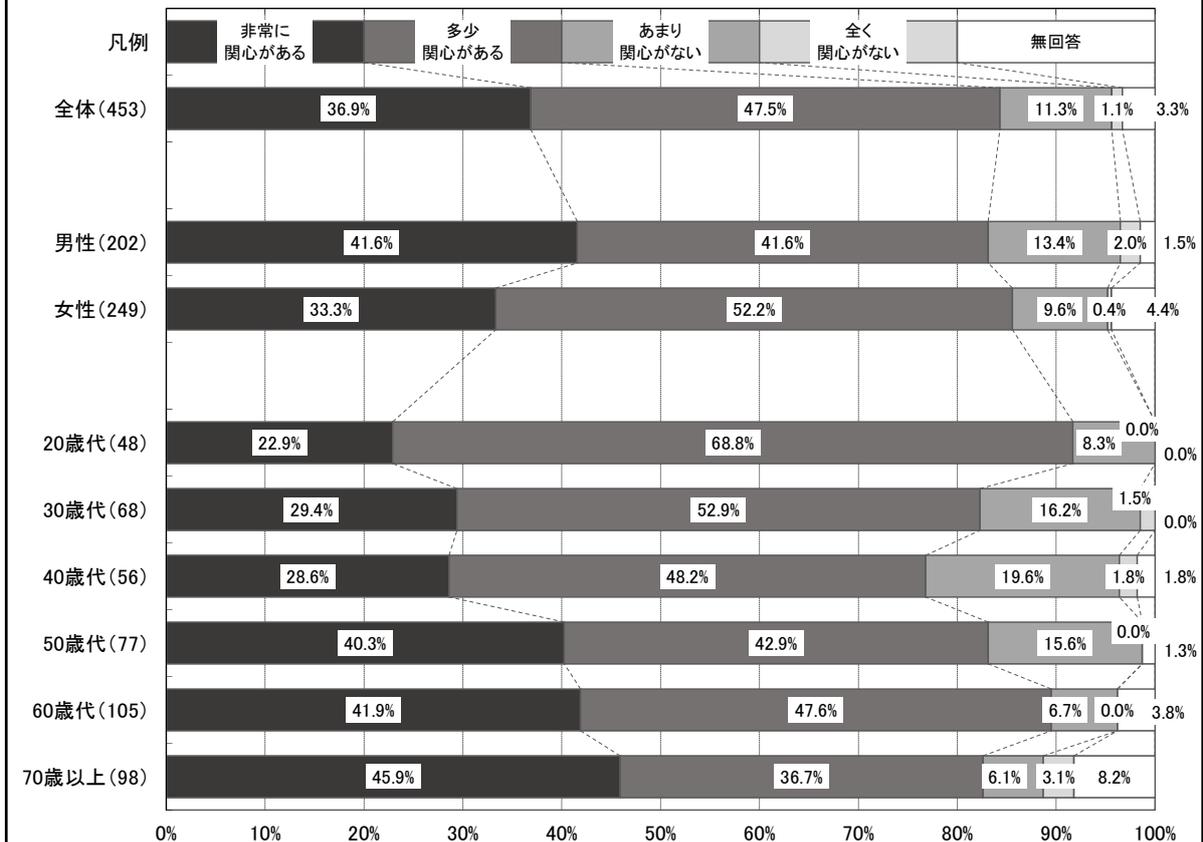
回答者数:453

関心のある人権問題 ③高齢者の人権問題:全体・性別・年代別



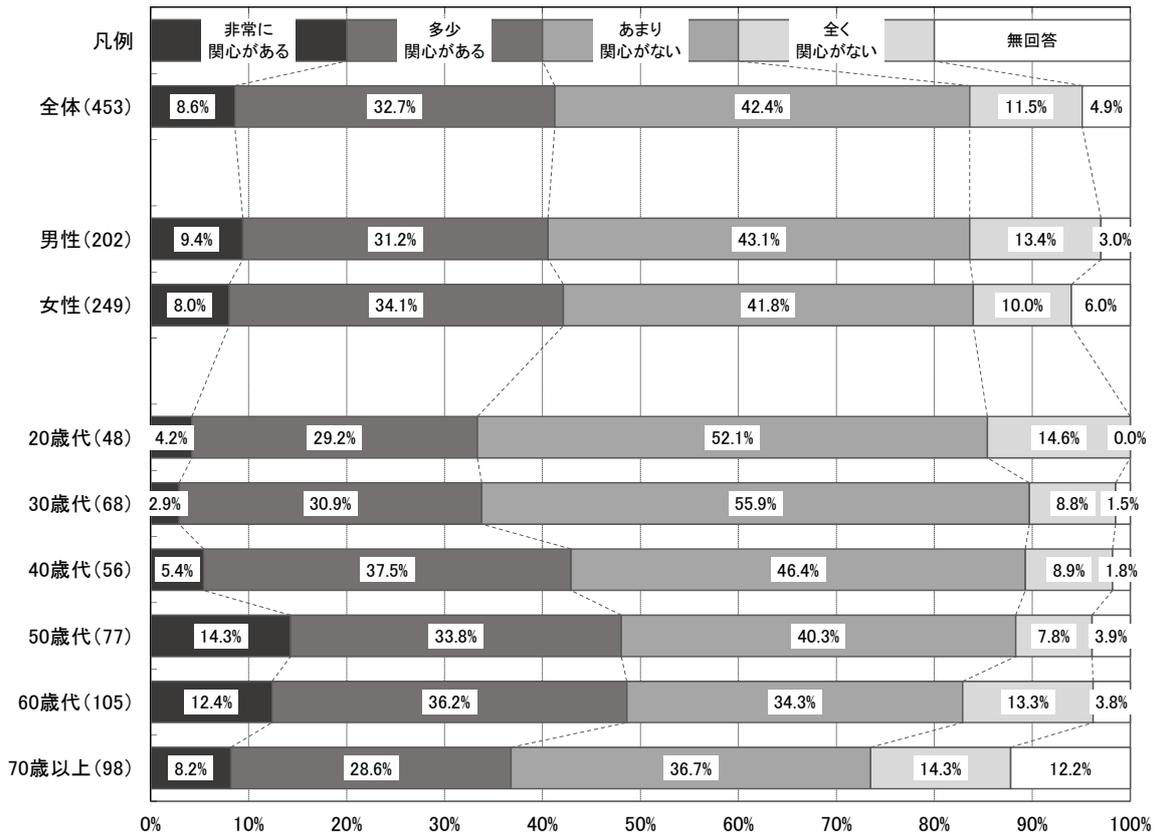
回答者数:453

関心のある人権問題 ④障がい者の人権問題:全体・性別・年代別



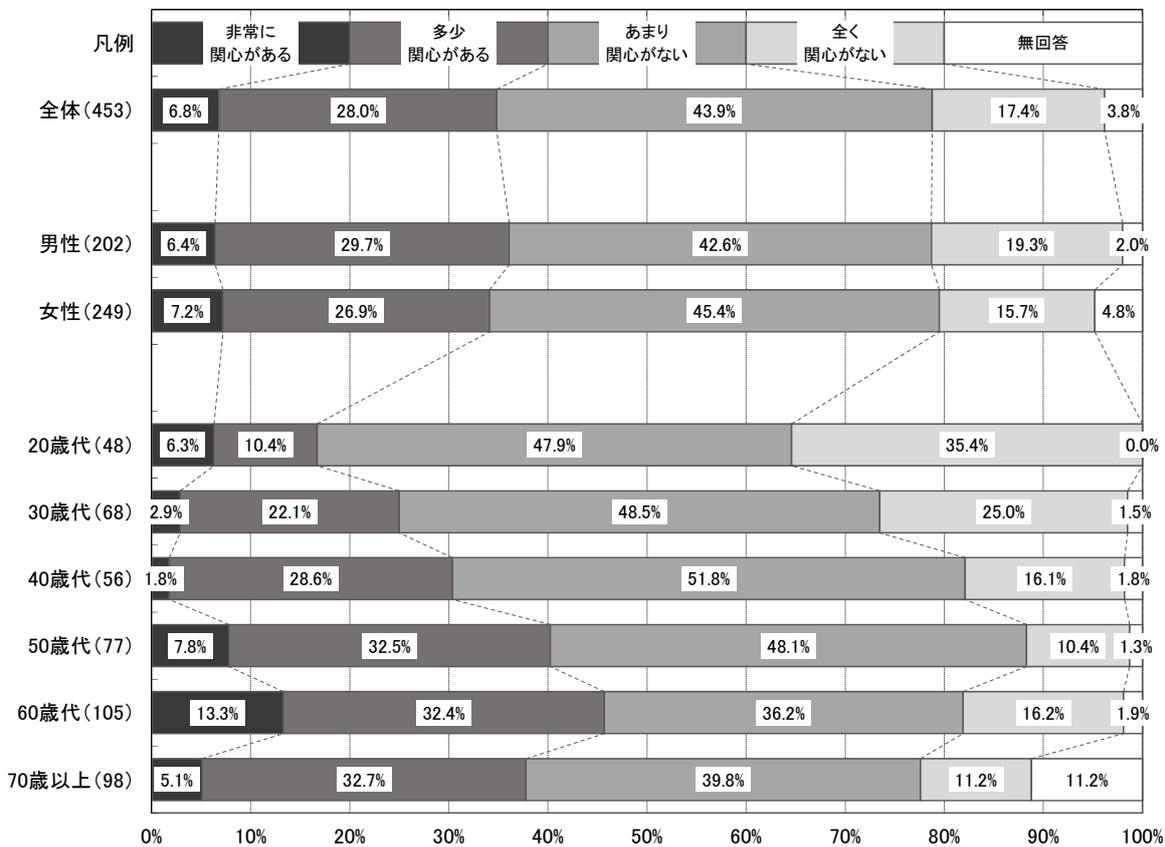
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑤同和問題:全体・性別・年代別



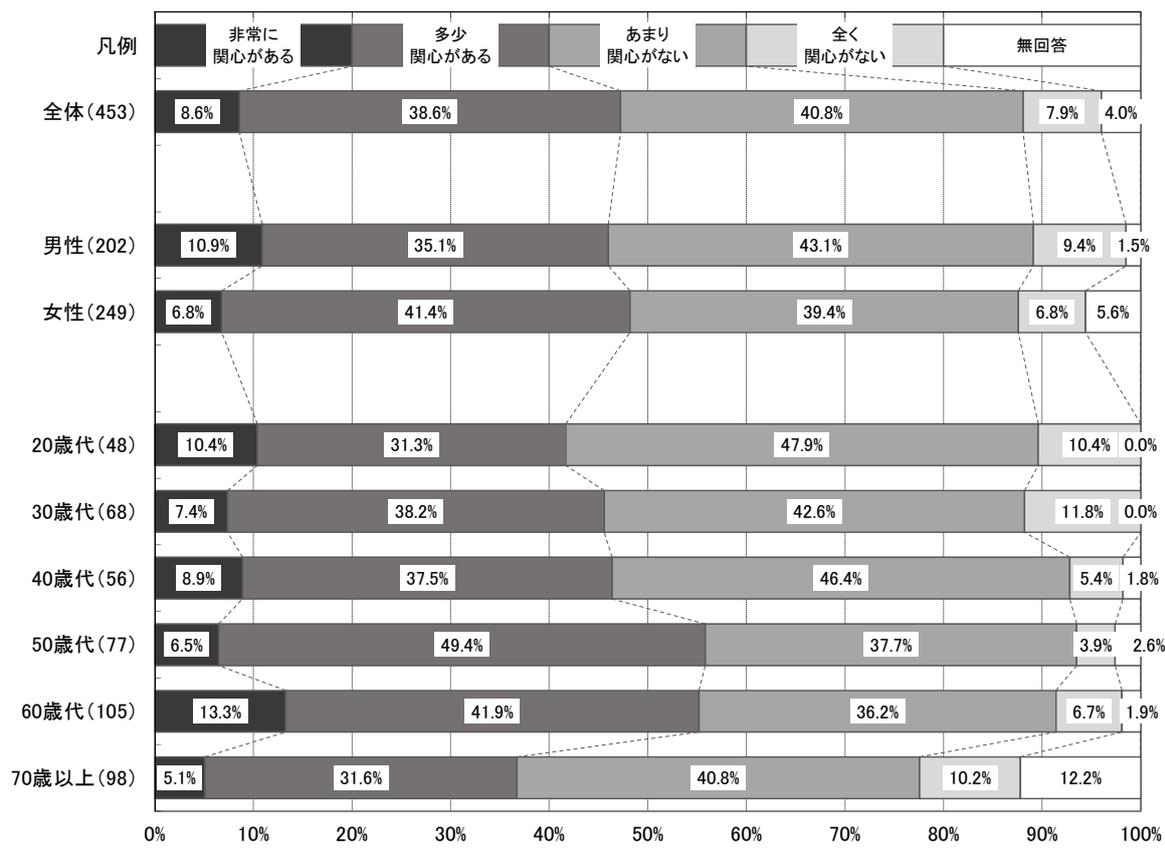
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑥アイヌの人々の人権問題:全体・性別・年代別



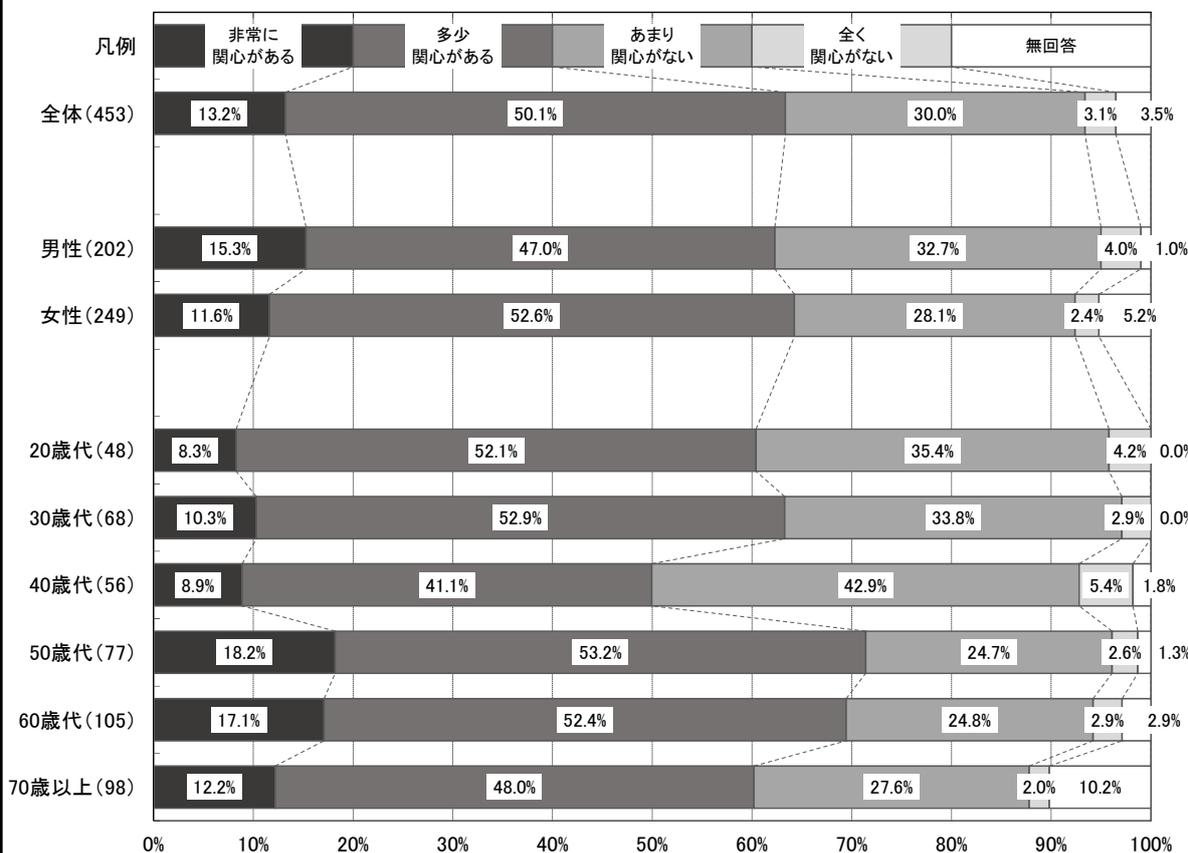
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑦外国人の人権問題:全体・性別・年代別



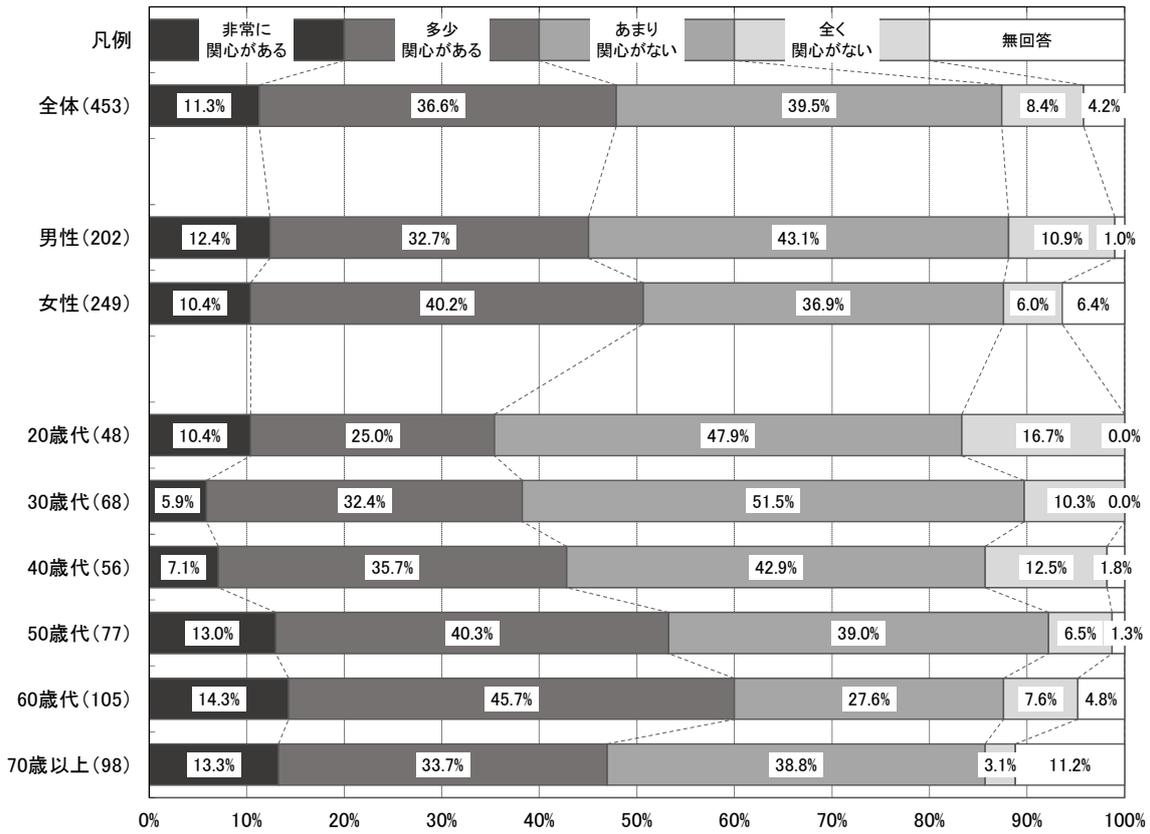
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑧感染症患者などの人権問題:全体・性別・年代別



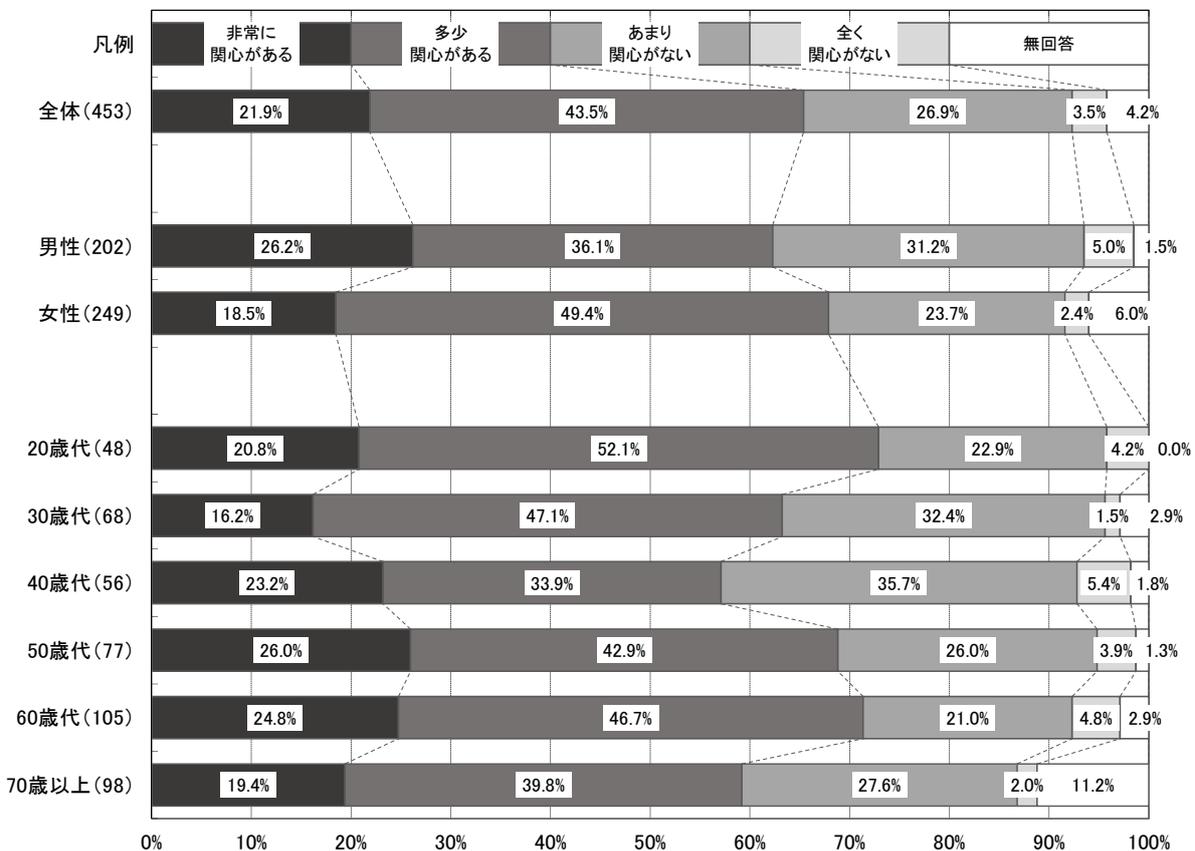
回答者数: 453

関心のある人権問題 ⑨刑を終えて出所した人の人権問題: 全体・性別・年代別



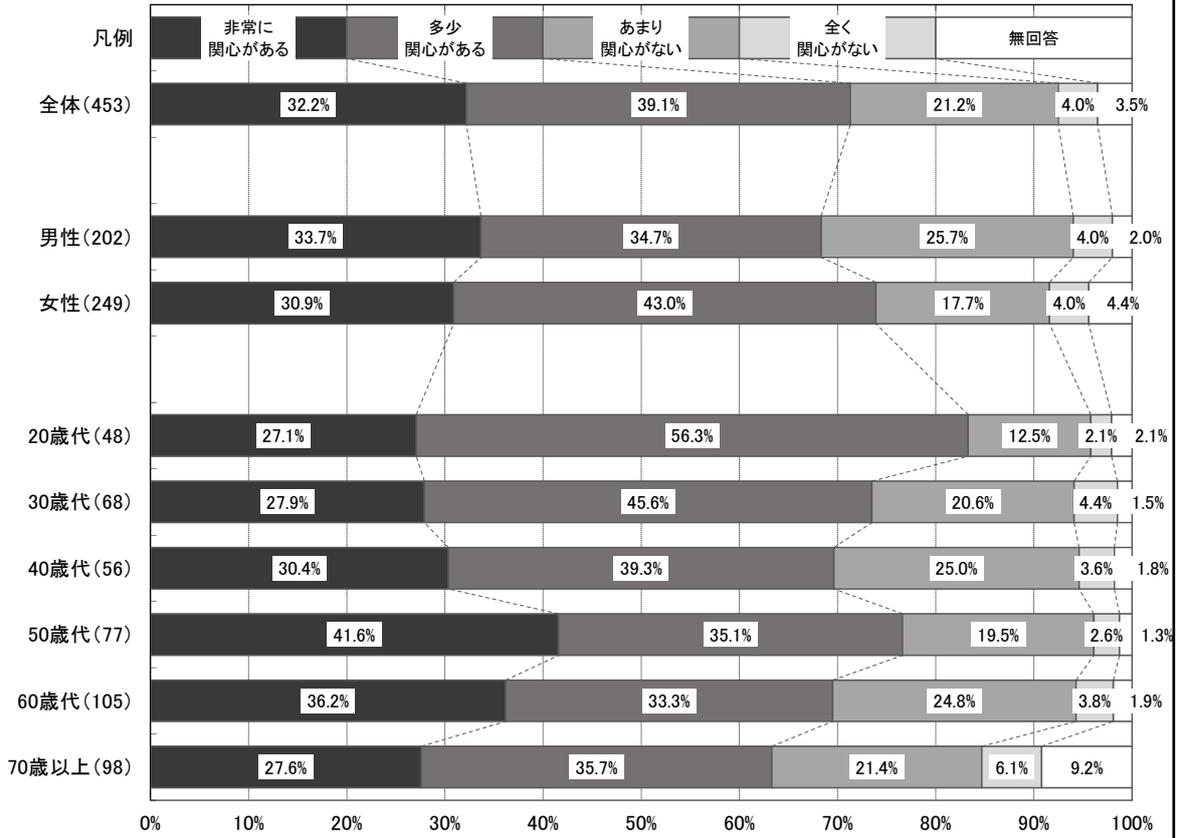
回答者数: 453

関心のある人権問題 ⑩犯罪被害者とその家族の人権問題: 全体・性別・年代別



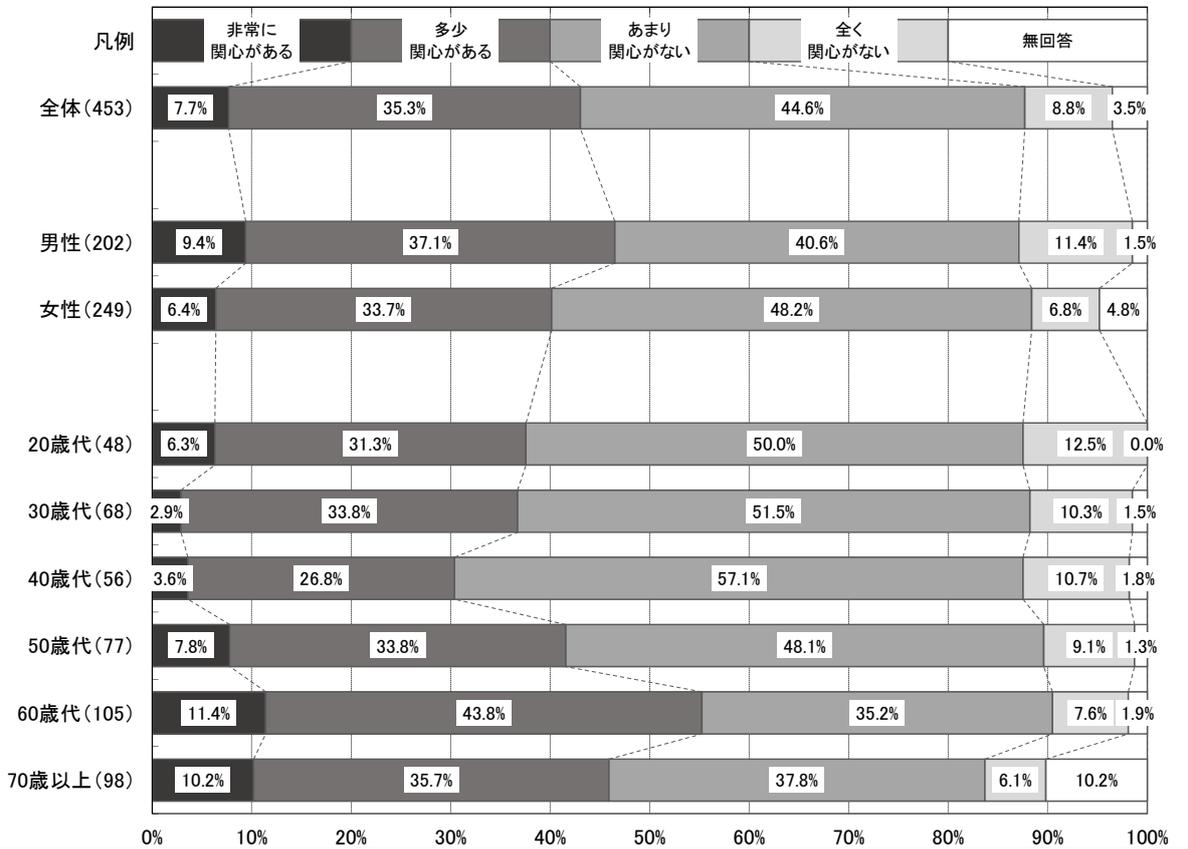
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑪インターネットを悪用した人権侵害:全体・性別・年代別



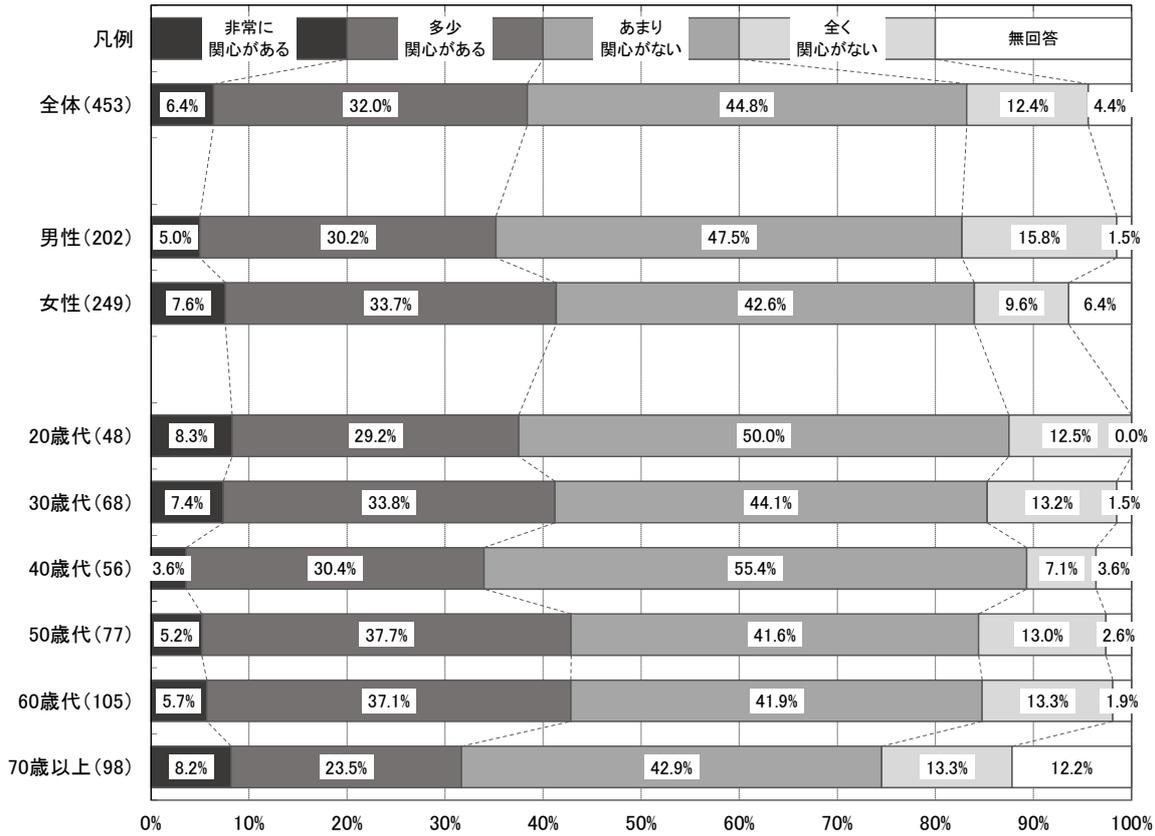
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑫ホームレスの人権問題:全体・性別・年代別



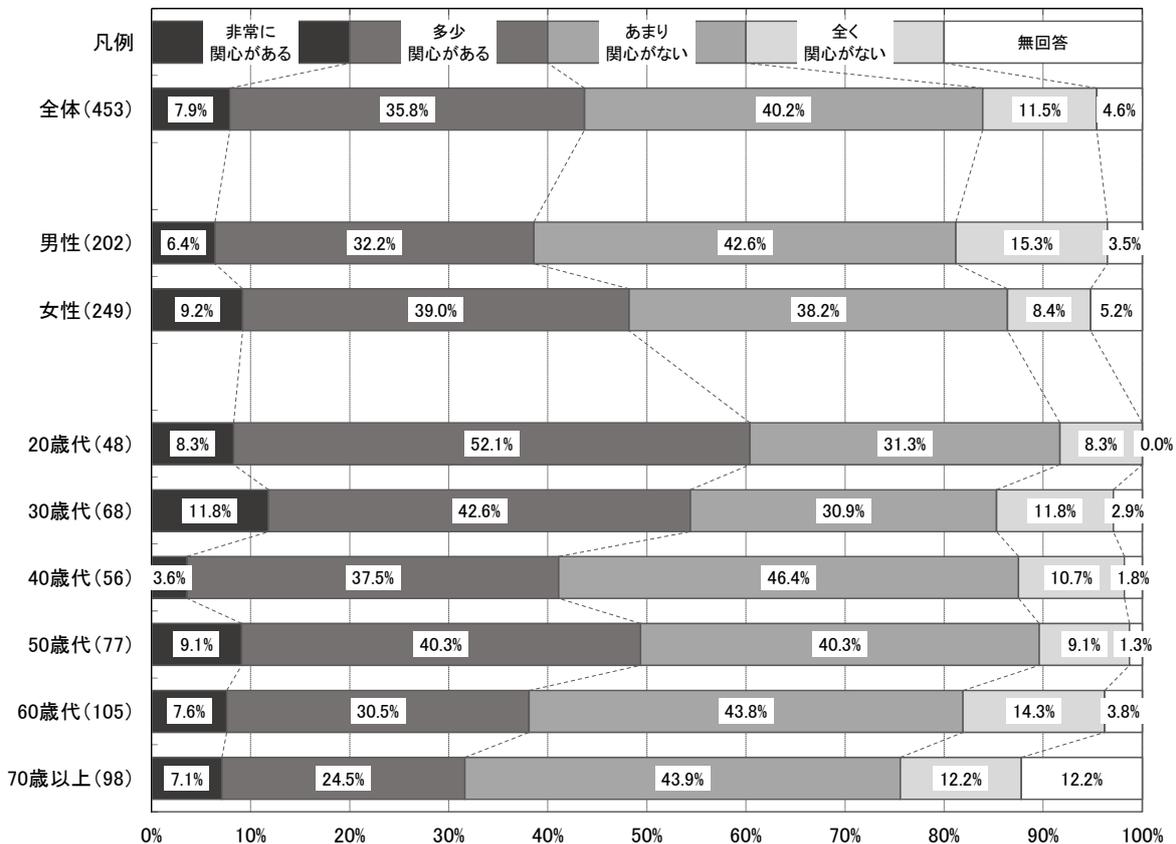
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑬性的指向の異なる人の人権問題:全体・性別・年代別



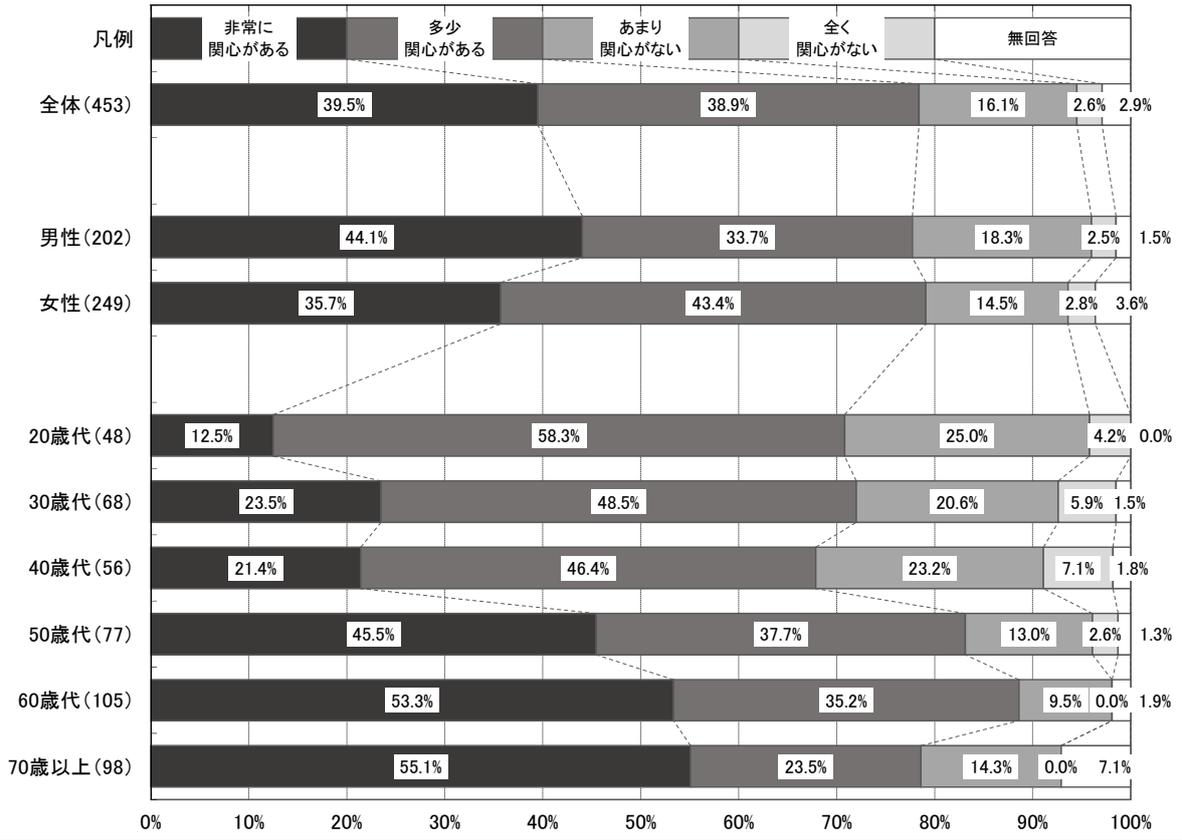
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑭性同一性障がい者の人権問題:全体・性別・年代別



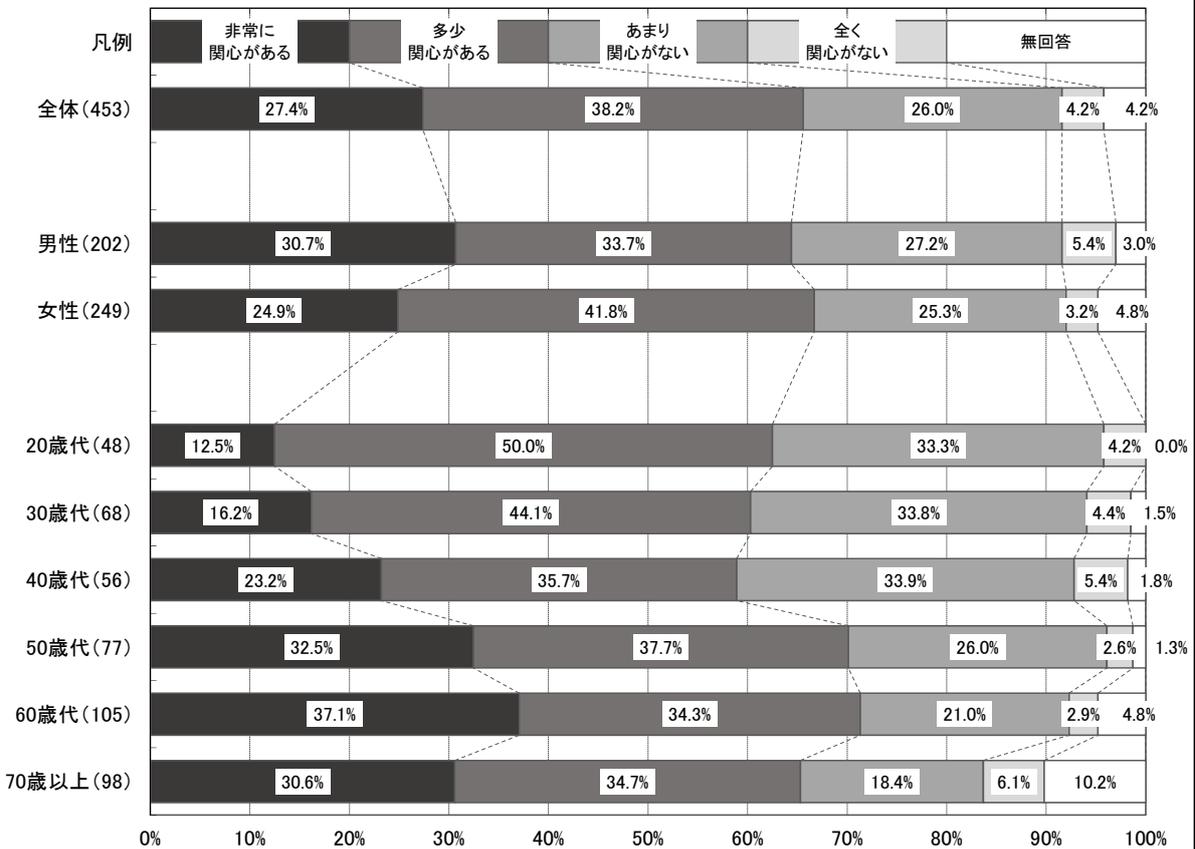
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑮北朝鮮による拉致問題:全体・性別・年代別



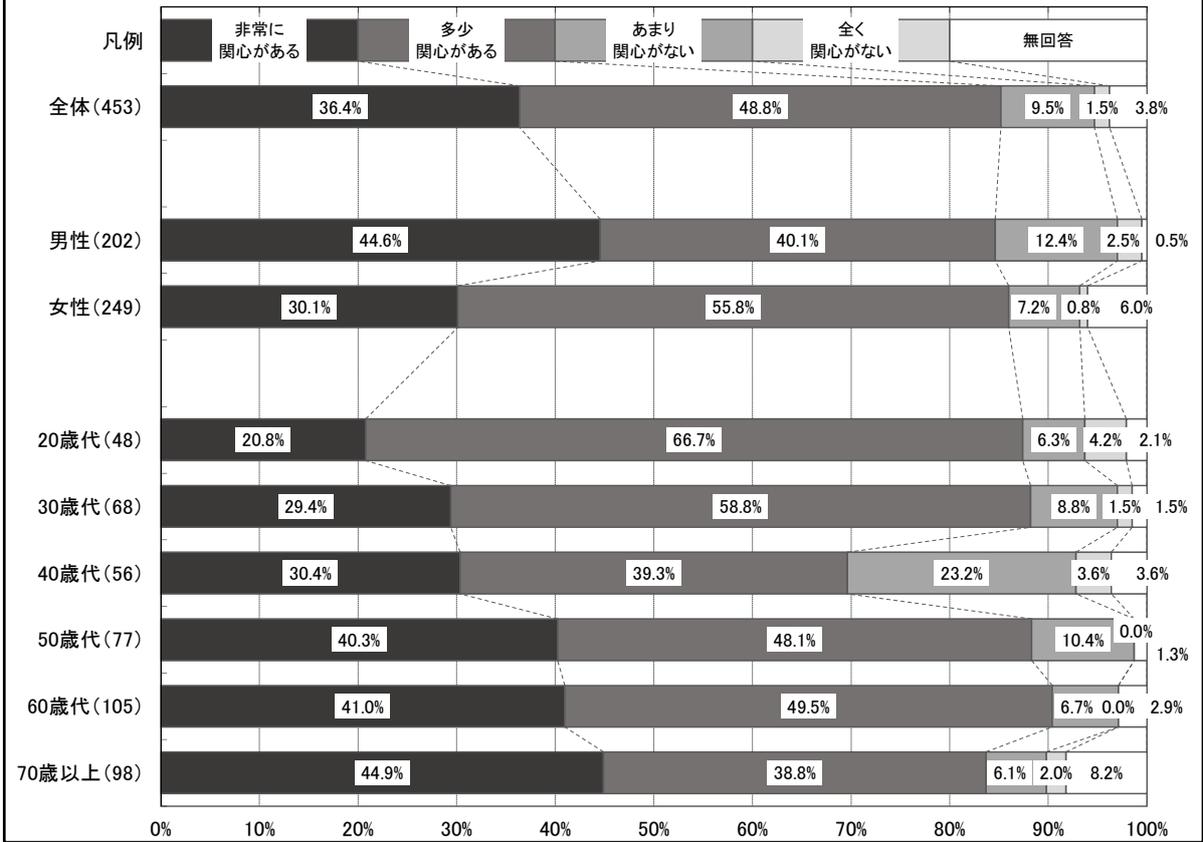
回答者数:453

関心のある人権問題 ⑯人身取引に関する人権問題:全体・性別・年代別



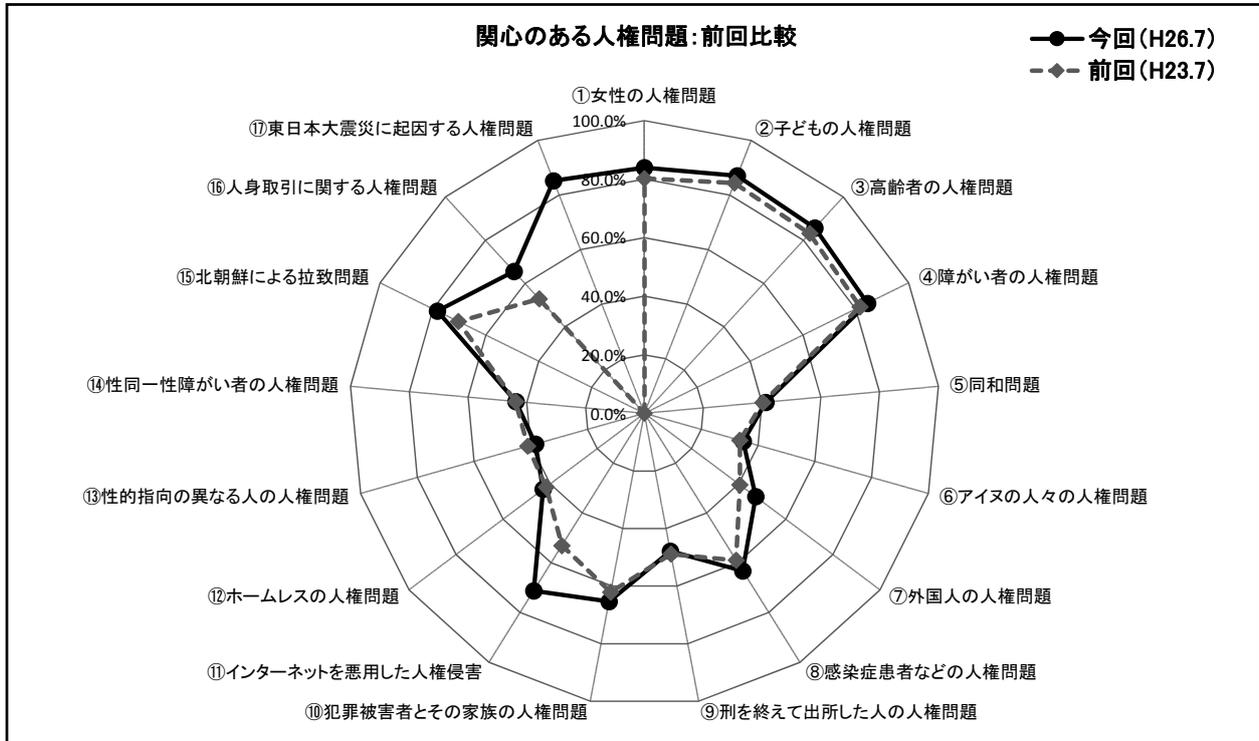
回答者数:453

関心のある人権問題 ①東日本大震災に起因する人権問題:全体・性別・年代別



【前回との比較】

- ◆新たに「東日本大震災（平成23年3月）に起因する人権問題」を追加したところ、多くの人が高い関心を持っていることがわかる。「インターネットを悪用した人権侵害」と「人身取引に関する人権問題」に対する関心の高まりがみられる。



【前回との差】

- ◆増加した項目が13項目、減少した項目が3項目となっている。
増加項目では「インターネットを悪用した人権侵害」が18.2%増加している。
減少項目では「性的指向の異なる人の人権問題」が2.7%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
①女性の人権問題	83.9%	80.2%	3.7%
②子どもの人権問題	87.0%	84.4%	2.6%
③高齢者の人権問題	85.7%	83.1%	2.6%
④障がい者の人権問題	84.4%	81.6%	2.8%
⑤同和問題	41.3%	40.3%	1.0%
⑥アイヌの人々の人権問題	34.8%	33.6%	1.2%
⑦外国人の人権問題	47.2%	40.5%	6.7%
⑧感染症患者などの人権問題	63.3%	59.0%	4.3%
⑨刑を終えて出所した人の人権問題	47.9%	48.9%	-1.0%
⑩犯罪被害者とその家族の人権問題	65.4%	62.1%	3.3%
⑪インターネットを悪用した人権侵害	71.3%	53.1%	18.2%
⑫ホームレスの人権問題	43.0%	41.7%	1.3%
⑬性的指向の異なる人の人権問題	38.4%	41.1%	-2.7%
⑭性同一性障がい者の人権問題	43.7%	43.8%	-0.1%
⑮北朝鮮による拉致問題	78.4%	70.4%	8.0%
⑯人身取引に関する人権問題	65.6%	52.9%	12.7%
⑰東日本大震災に起因する人権問題	85.2%	-	-

2-3 差別をされた経験

問7. あなたは、過去5年間に、「差別をされた」と思ったことがありますか。(○は1つだけ)
また、それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

【全体】

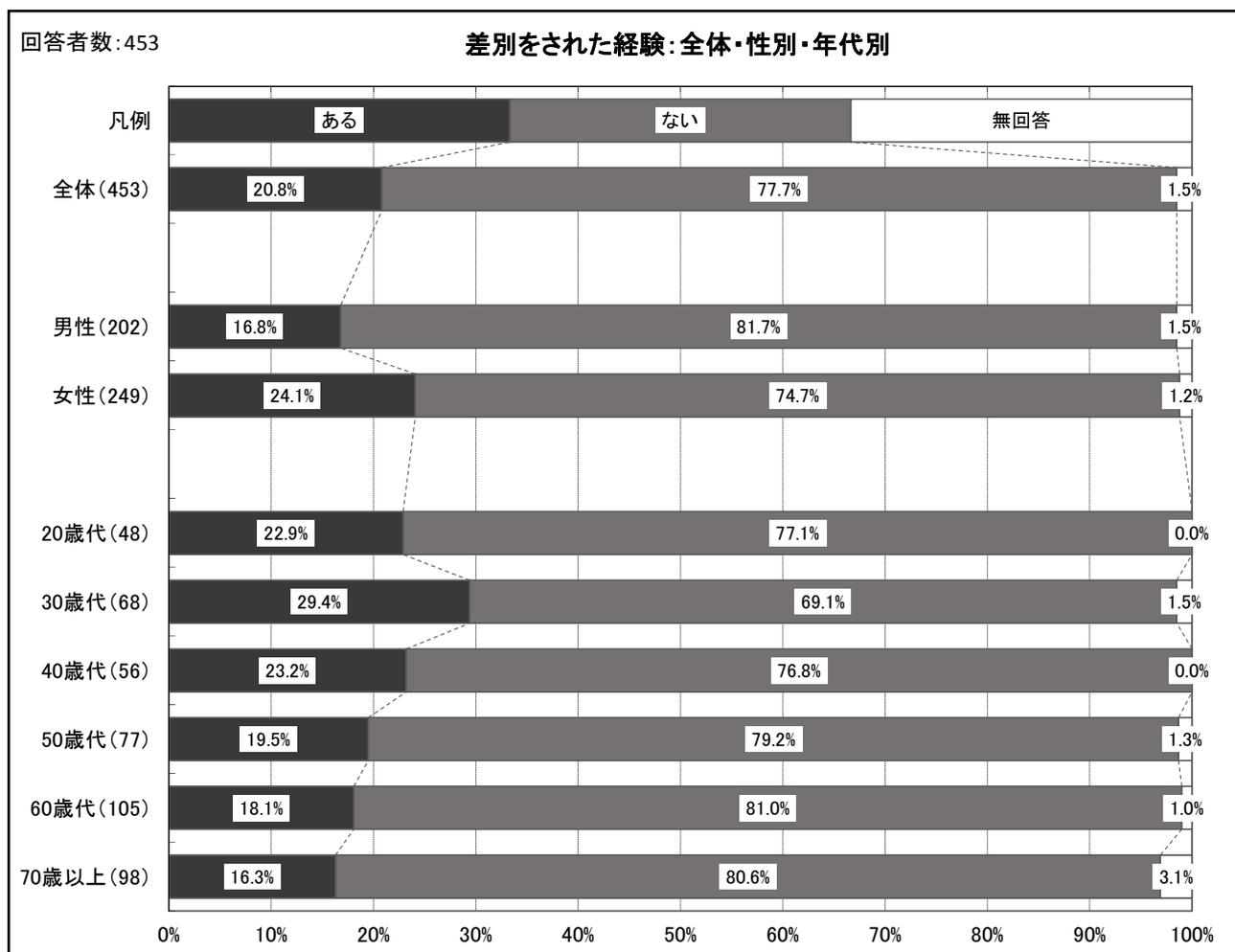
- ◆「差別をされた経験がある」が20.8%と回答しており、約5人に1人の割合で「差別をされた経験がある」ことになる。

【性別】

- ◆「差別をされた経験がある」では、男性が16.8%、女性が24.1%となっており、男性より女性が7.3%高くなっている。

【年代別】

- ◆「差別をされた経験がある」人の割合は30歳代の29.4%をピークに、年代が上がるごとに漸減している。

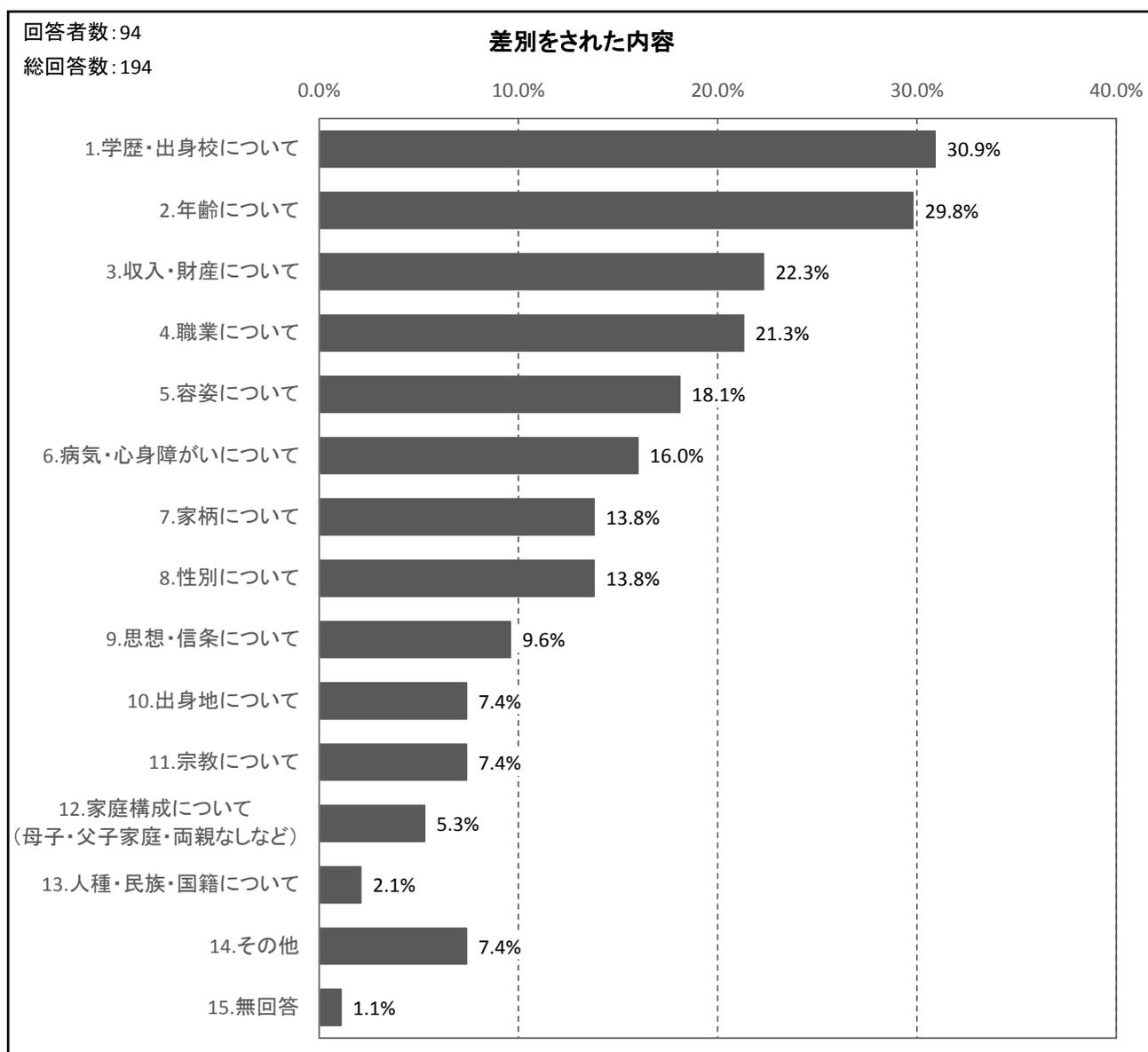


2-3-1 差別をされた内容

問7. あなたは、過去5年間に、「差別をされた」と思ったことがありますか。(○は1つだけ)
また、それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

【全体】

◆「学歴・出身校について」が30.9%と最も高く、「年齢について」が29.8%、「収入・財産について」が22.3%と続いている。



【性別】

- ◆男性は「学歴・出身校について」、女性は「年齢について」が最も高く、次いで男性は「職業について」、「収入・財産について」が同率、女性は「学歴・出身校について」、第3位に「容姿について」が続いている。

【年代別】

- ◆20歳代は「学歴・出身校について」が最も高い。30歳代は「収入・財産について」と「病気・心身障がいについて」、40歳代は「学歴・出身校について」と「職業について」、60歳代は「学歴・出身校について」と「容姿について」が同率で高く、50歳代及び70歳以上は「年齢について」が最も高くなっている。

【上段：回答者数、下段：%】

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	総	
		学歴・出身校について	年齢について	収入・財産について	職業について	容姿について	病気・心身障がいについて	家柄について	性別について	思想・信条について	出身地について	宗教について	家庭構成について（母子・父子家庭・両親なしなど）	人種・民族・国籍について	その他	無回答	回答	
全体 (n=94)	回答数	29	28	21	20	17	15	13	13	9	7	7	5	2	7	1	194	
	回答率	30.9%	29.8%	22.3%	21.3%	18.1%	16.0%	13.8%	13.8%	9.6%	7.4%	7.4%	5.3%	2.1%	7.4%	1.1%	206.3%	
性別	男性 (n=34)	回答数	11	6	10	10	5	9	3	3	4	3	2	2	2	0	73	
		回答率	32.4%	17.6%	29.4%	29.4%	14.7%	26.5%	8.8%	8.8%	11.8%	8.8%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	214.7%	
	女性 (n=60)	回答数	18	22	11	10	12	6	10	10	5	4	3	0	5	1	121	
		回答率	30.0%	36.7%	18.3%	16.7%	20.0%	10.0%	16.7%	16.7%	8.3%	6.7%	5.0%	0.0%	8.3%	1.7%	201.8%	
年代別	20歳代 (n=11)	回答数	6	4	3	3	3	0	2	5	3	1	1	1	0	0	0	32
		回答率	54.5%	36.4%	27.3%	27.3%	27.3%	0.0%	18.2%	45.5%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	291.1%
	30歳代 (n=20)	回答数	5	3	7	5	4	7	2	3	2	3	1	0	1	1	0	44
		回答率	25.0%	15.0%	35.0%	25.0%	20.0%	35.0%	10.0%	15.0%	10.0%	15.0%	5.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	220.0%
	40歳代 (n=13)	回答数	4	1	3	4	1	3	1	1	0	0	0	1	1	3	1	24
		回答率	30.8%	7.7%	23.1%	30.8%	7.7%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	23.1%	7.7%	184.8%
	50歳代 (n=15)	回答数	5	8	2	3	2	1	2	1	0	1	1	0	0	1	0	27
		回答率	33.3%	53.3%	13.3%	20.0%	13.3%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	180.0%
	60歳代 (n=19)	回答数	7	6	3	5	7	3	2	2	2	1	1	2	0	0	0	41
		回答率	36.8%	31.6%	15.8%	26.3%	36.8%	15.8%	10.5%	10.5%	10.5%	5.3%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	215.7%
	70歳以上 (n=16)	回答数	2	6	3	0	0	1	4	1	2	1	3	1	0	2	0	26
		回答率	12.5%	37.5%	18.8%	0.0%	0.0%	6.3%	25.0%	6.3%	12.5%	6.3%	18.8%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	162.8%

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・子どもがいないということ。（女性：40歳代）
- ・会社での雇用形態（正規職員と非正規職員）。（女性：40歳代）
- ・職場の中でパート扱いなので研修受講が出来ない。（女性：40歳代）
- ・家にいる事に。仕事を失ってから。（女性：50歳代）
- ・早くに主人を亡くし、一人で子どもを育てる上で色々な差別がありました。（女性：70歳代）

2-4 人権侵害をされた経験

問8. あなたは、過去5年間に、「人権を侵害された」と感じたことがありますか。
 (○は1つだけ) また、それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

【全体】

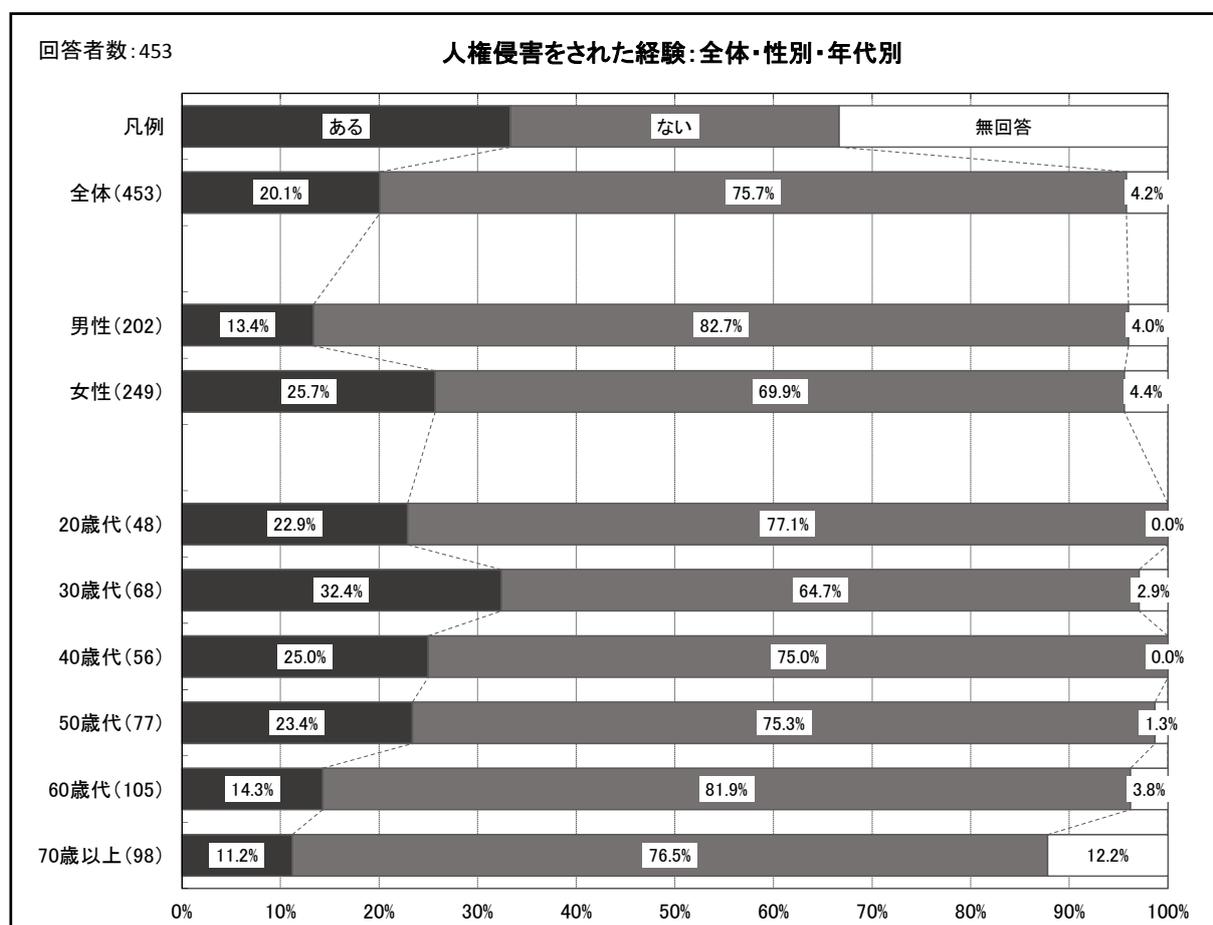
- ◆「人権を侵害された経験がない」人は75.7%、「人権を侵害された経験がある」人は20.1%だった。

【性別】

- ◆男女ともに「人権を侵害された経験がない」が多数を占めるが、女性の方が男性より「人権を侵害された経験がある」と回答した人が12.3%多い。

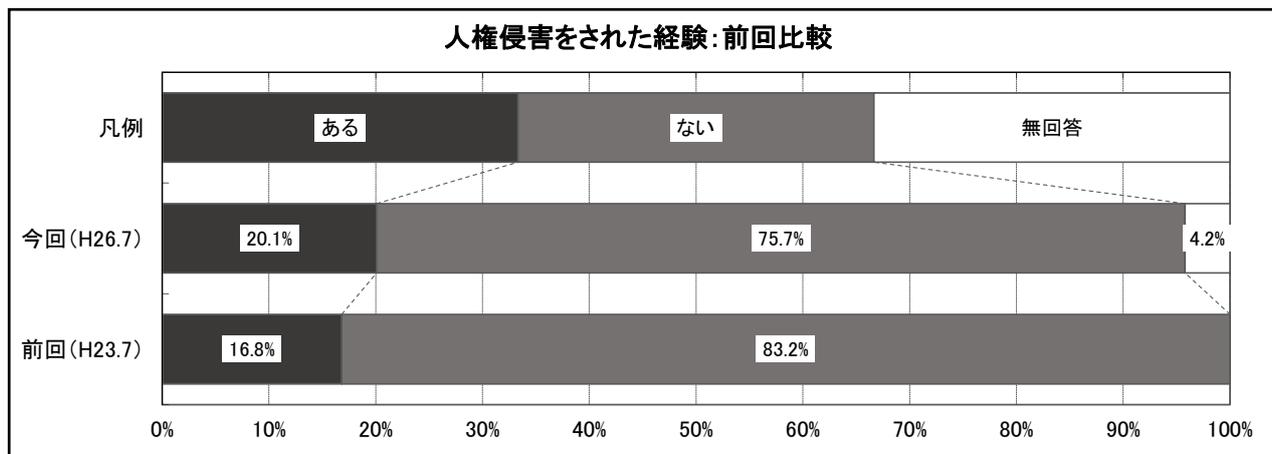
【年代別】

- ◆全ての年代で「人権を侵害された経験がない」が多数を占める。「人権を侵害された経験がある」と回答した人は30歳代で最も高く、それ以降の年代で徐々に減少し、最も少ない70歳以上の割合と比べると21.2%の差がある。



【前回との比較】

◆前回と同様「人権を侵害された経験がない」が多数を占めている。



【前回との差】

◆「人権を侵害された経験がある」が3.3%増加している。

「人権を侵害された経験がない」が7.5%減少している。

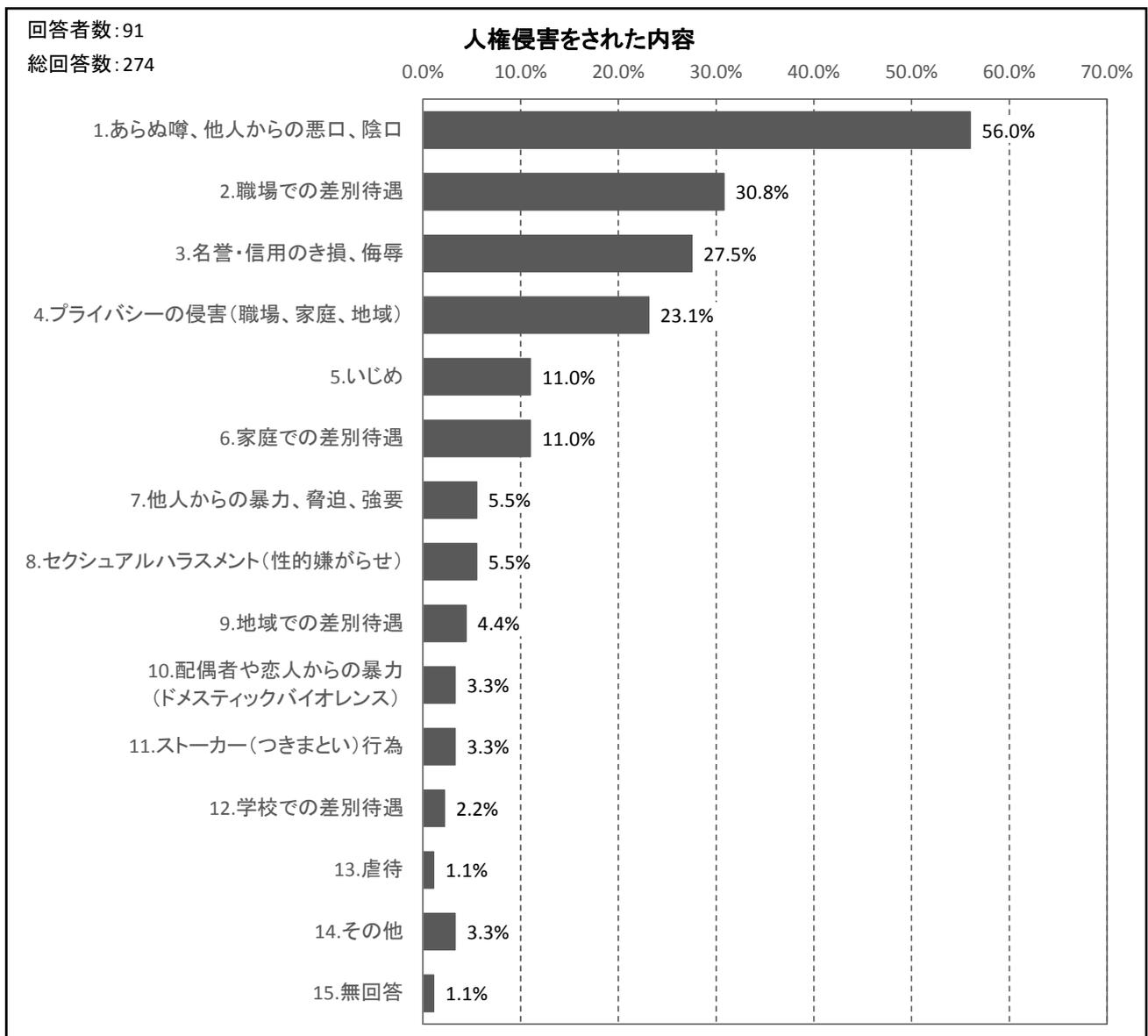
項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.ある	20.1%	16.8%	3.3%
2.ない	75.7%	83.2%	-7.5%
3.無回答	4.2%	-	-

2-4-1 人権侵害をされた内容

問8. あなたは、過去5年間に、「人権を侵害された」と感じたことがありますか。
(○は1つだけ) また、それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

【全体】

◆「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が56.0%と最も高く、次いで「職場での差別待遇」が30.8%、「名誉・信用のき損、侮辱」が27.5%と続いている。



【性別】

◆男女ともに「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が最も高く、第2位と第3位は男女で順位が逆転しており、男性の第2位は「名誉・信用のき損、侮辱」、女性は「職場での差別待遇」である。

【年代別】

◆全ての年代で「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が最も高く、次いで20歳代は「いじめ」、30歳代は「名誉・信用のき損、侮辱」、40歳代は「プライバシーの侵害（職場、家庭、地域）」、「職場での差別待遇」、50歳代は「職場での差別待遇」、60歳代は「名誉・信用のき損、侮辱」、「家庭での差別」、「職場での差別待遇」、70歳以上は「名誉・信用のき損、侮辱」、「職場での差別待遇」となっている。「職場での差別待遇」は、全ての年代で第3位までに入っている。

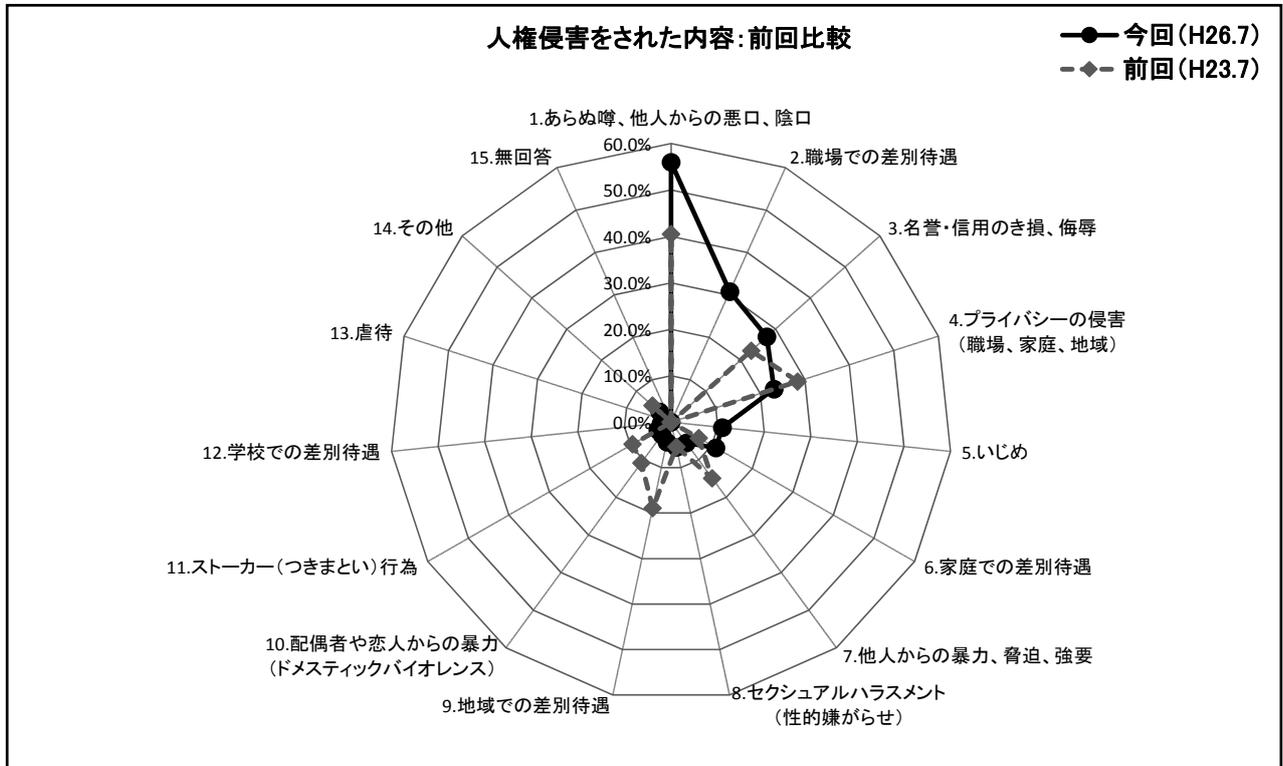
[上段:回答者数,下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	-	
		あらぬ噂、他人からの悪口、陰口	職場での差別待遇	名誉・信用のき損、侮辱	プライバシーの侵害（職場、家庭、地域）	いじめ	家庭での差別待遇	他人からの暴力、脅迫、強要	セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）	地域での差別待遇	配偶者や恋人からの暴力（ドメスティックバイオレンス）	ストーカー（つきまとい）行為	学校での差別待遇	虐待	その他	無回答	総回答	
全体 (n=91)	回答数	51	28	25	21	10	10	5	5	4	3	3	2	1	3	0	171	
	回答率	56.0%	30.8%	27.5%	23.1%	11.0%	11.0%	5.5%	5.5%	4.4%	3.3%	3.3%	2.2%	1.1%	3.3%	0.0%	188.0%	
性別	男性 (n=27)	回答数	13	10	11	8	2	2	4	0	0	0	0	0	0	2	0	52
		回答率	48.1%	37.0%	40.7%	29.6%	7.4%	7.4%	14.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	192.4%
	女性 (n=64)	回答数	38	18	14	13	8	8	1	5	4	3	3	2	1	1	0	119
		回答率	59.4%	28.1%	21.9%	20.3%	12.5%	12.5%	1.6%	7.8%	6.3%	4.7%	4.7%	3.1%	1.6%	1.6%	0.0%	186.1%
年代別	20歳代 (n=11)	回答数	6	3	3	2	4	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	23
		回答率	54.5%	27.3%	27.3%	18.2%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	209.2%
	30歳代 (n=22)	回答数	12	6	9	6	2	1	0	2	2	0	1	0	0	2	0	43
		回答率	54.5%	27.3%	40.9%	27.3%	9.1%	4.5%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	195.4%
	40歳代 (n=14)	回答数	7	5	1	5	1	1	2	0	0	2	1	1	0	0	0	26
		回答率	50.0%	35.7%	7.1%	35.7%	7.1%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	185.5%
	50歳代 (n=18)	回答数	10	8	6	4	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	34
		回答率	55.6%	44.4%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	188.8%
60歳代 (n=15)	回答数	9	4	4	3	1	4	1	1	0	0	0	0	0	1	0	28	
	回答率	60.0%	26.7%	26.7%	20.0%	6.7%	26.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	186.9%	
70歳以上 (n=11)	回答数	7	2	2	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	17	
	回答率	63.6%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	154.6%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆第1位「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」と第3位「名誉・信用のき損、侮辱」は変わっていないが、前回第2位の「プライバシーの侵害（職場、家庭、地域）」が今回第4位となっている。「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」の増加と「地域での差別待遇」の減少が顕著である。



【前回との差】

◆増加した項目が4項目、減少した項目が6項目となっている。

増加項目では「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が15.5%、「名誉・信用のき損、侮辱」が4.5%増加している。

減少項目では「地域での差別待遇」が14.5%、「他人からの暴力、脅迫、強要」が9.4%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.あらぬ噂、他人からの悪口、陰口	56.0%	40.5%	15.5%
2.職場での差別待遇	30.8%	-	-
3.名誉・信用のき損、侮辱	27.5%	23.0%	4.5%
4.プライバシーの侵害(職場、家庭、地域)	23.1%	28.4%	-5.3%
5.いじめ	11.0%	-	-
6.家庭での差別待遇	11.0%	6.8%	4.2%
7.他人からの暴力、脅迫、強要	5.5%	14.9%	-9.4%
8.セクシュアルハラスメント(性的嫌がらせ)	5.5%	5.4%	0.1%
9.地域での差別待遇	4.4%	18.9%	-14.5%
10.配偶者や恋人からの暴力(ドメスティックバイオレンス)	3.3%	10.8%	-7.5%
11.ストーカー(つきまとい)行為	3.3%	9.5%	-6.2%
12.学校での差別待遇	2.2%	-	-
13.虐待	1.1%	-	-
14.その他	3.3%	5.4%	-2.1%
15.無回答	0.0%	-	-

【その他の回答(主なもの)】※意見・感想を含む。

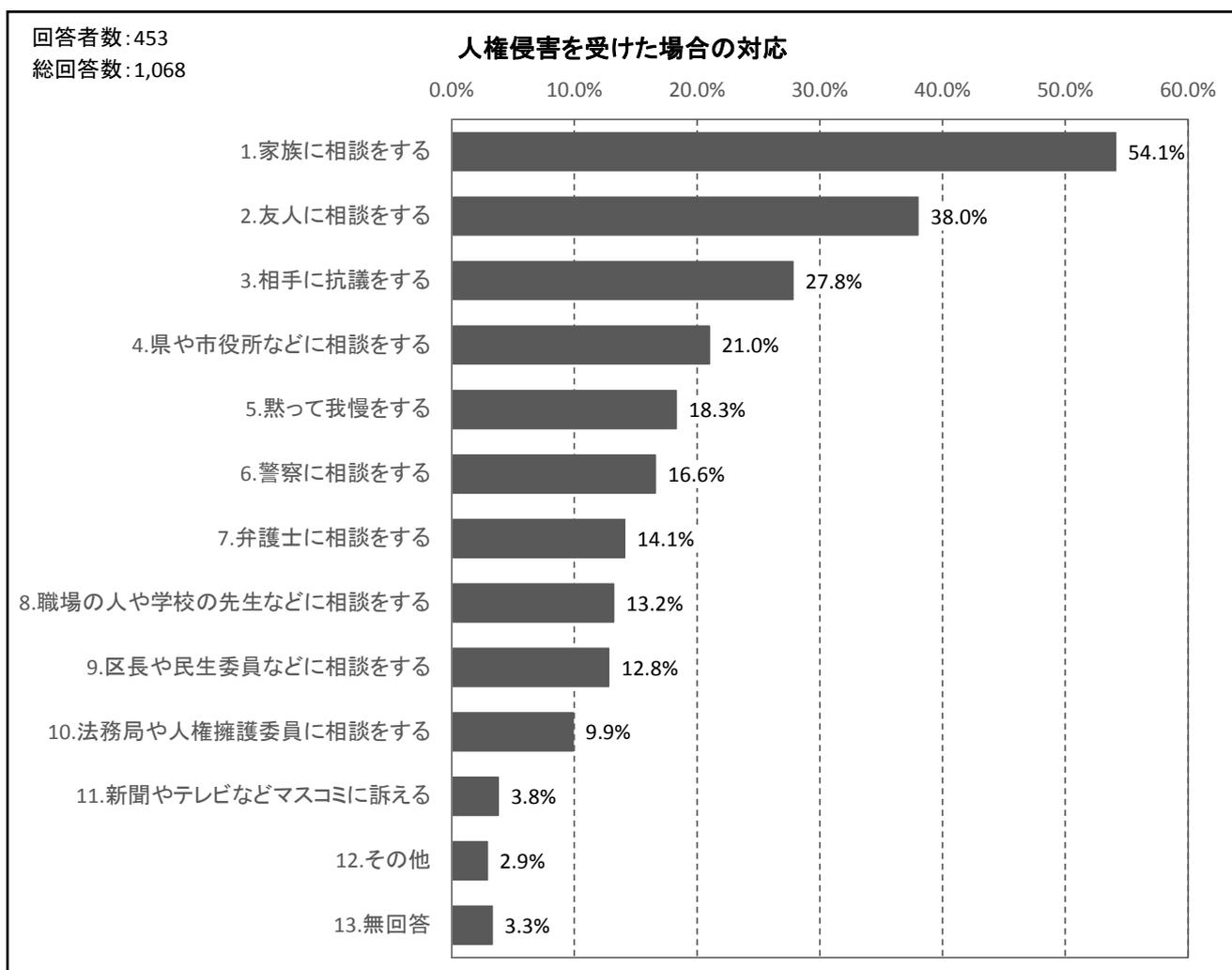
- ・パワーハラスメント(職場)。(男性:20歳代)
- ・夫がほとんど家事をしない。(女性:60歳代)

2-5 人権侵害を受けた場合の対応

問9. もし差別や人権侵害を受けた場合、あなたはどのような対応をしますか。
(〇はいくつでも)

【全体】

◆「家族に相談をする」が54.1%と最も高く、次いで「友人に相談をする」が38.0%、「相手に抗議をする」が27.8%の順になっている。「黙って我慢をする」も18.3%あり、約2割の人が誰にも相談などをしなかったこととなる。



【性別】

◆男女ともに「家族に相談をする」の割合が最も高くなっている。

次いで男性は「相手に抗議をする」割合が 37.6%と高く、女性は「友人に相談をする」割合が 45.4%となっている。女性の第3位の「黙って我慢をする」は 20.5%となっており、男性と比較し、高い割合となっている。

【年代別】

◆全ての年代で「家族に相談をする」の割合が最も高い。

次いで20～50歳代及び70歳以上は「友人に相談をする」の割合が高く、60歳代では「相手に抗議をする」の割合が高くなっている。

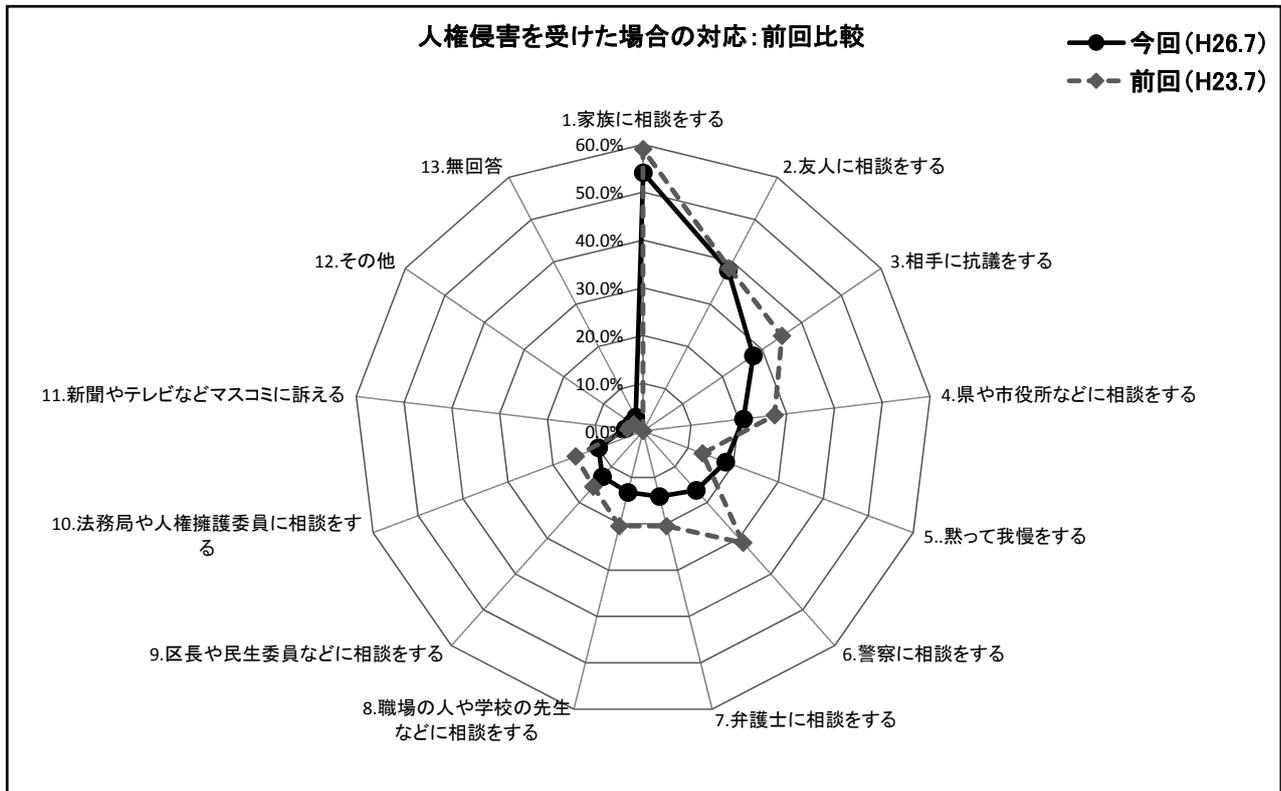
【上段：回答者数、下段：%】

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	—	
		家庭に相談をする	友人に相談をする	相手に抗議をする	を県や市役所などに相談	黙って我慢をする	警察に相談をする	弁護士に相談をする	職場の人や学校の先生などに相談をする	区長や民生委員などに相談をする	に法務局や人権擁護委員	新聞やテレビなどマス	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	245	172	126	95	83	75	64	60	58	45	17	13	15	1068	
	回答率	54.1%	38.0%	27.8%	21.0%	18.3%	16.6%	14.1%	13.2%	12.8%	9.9%	3.8%	2.9%	3.3%	235.8%	
性別	男性 (n=202)	回答数	89	59	76	51	32	41	34	18	26	27	10	7	6	476
		回答率	44.1%	29.2%	37.6%	25.2%	15.8%	20.3%	16.8%	8.9%	12.9%	13.4%	5.0%	3.5%	3.0%	235.7%
	女性 (n=249)	回答数	156	113	50	43	51	33	30	42	32	17	7	6	8	588
		回答率	62.7%	45.4%	20.1%	17.3%	20.5%	13.3%	12.0%	16.9%	12.9%	6.8%	2.8%	2.4%	3.2%	236.3%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	36	28	18	6	13	4	5	10	2	2	1	0	0	125
		回答率	75.0%	58.3%	37.5%	12.5%	27.1%	8.3%	10.4%	20.8%	4.2%	4.2%	2.1%	0.0%	0.0%	260.4%
	30歳代 (n=68)	回答数	42	34	19	4	15	4	9	11	2	2	3	4	0	149
		回答率	61.8%	50.0%	27.9%	5.9%	22.1%	5.9%	13.2%	16.2%	2.9%	2.9%	4.4%	5.9%	0.0%	219.1%
	40歳代 (n=56)	回答数	23	21	16	9	13	9	6	18	2	5	3	1	0	126
		回答率	41.1%	37.5%	28.6%	16.1%	23.2%	16.1%	10.7%	32.1%	3.6%	8.9%	5.4%	1.8%	0.0%	225.1%
	50歳代 (n=77)	回答数	42	25	19	14	17	18	18	10	5	11	2	2	3	186
		回答率	54.5%	32.5%	24.7%	18.2%	22.1%	23.4%	23.4%	13.0%	6.5%	14.3%	2.6%	2.6%	3.9%	241.7%
	60歳代 (n=105)	回答数	50	31	35	30	11	19	16	8	16	15	3	2	6	242
		回答率	47.6%	29.5%	33.3%	28.6%	10.5%	18.1%	15.2%	7.6%	15.2%	14.3%	2.9%	1.9%	5.7%	230.4%
70歳以上 (n=98)	回答数	52	33	19	32	14	21	10	3	31	10	5	4	5	239	
	回答率	53.1%	33.7%	19.4%	32.7%	14.3%	21.4%	10.2%	3.1%	31.6%	10.2%	5.1%	4.1%	5.1%	244.0%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆ 「黙って我慢をする」人が増え、相談や抗議などの行動を起こす人は若干減少している。



【前回との差】

- ◆ 増加した項目が3項目、減少した項目が9項目となっている。
増加項目では「黙って我慢をする」が5.1%増加している。
減少項目では「警察に相談をする」が14.7%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1. 家族に相談をする	54.1%	59.0%	-4.9%
2. 友人に相談をする	38.0%	38.5%	-0.5%
3. 相手に抗議をする	27.8%	35.0%	-7.2%
4. 県や市役所などに相談をする	21.0%	27.5%	-6.5%
5. 黙って我慢をする	18.3%	13.2%	5.1%
6. 警察に相談をする	16.6%	31.3%	-14.7%
7. 弁護士に相談をする	14.1%	20.5%	-6.4%
8. 職場の人や学校の先生などに相談をする	13.2%	20.5%	-7.3%
9. 区長や民生委員などに相談をする	12.8%	15.6%	-2.8%
10. 法務局や人権擁護委員に相談をする	9.9%	15.0%	-5.1%
11. 新聞やテレビなどマスコミに訴える	3.8%	3.3%	0.5%
12. その他	2.9%	2.4%	0.5%
13. 無回答	3.3%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・時と場合によって対応の仕方は違ってきます。(男性：30 歳代)
- ・誰とは分からないが、相談すると思う。(男性：30 歳代)
- ・気にしない。(男性：30 歳代)
- ・我慢の限界を超えれば、弁護士に相談をする。(男性：50 歳代)
- ・対処の仕方が分からない。(男性：50 歳代)
- ・差別、人権侵害の大きさによって、相談の内容が異なります。(男性：60 歳代)
- ・小さいことであれば無視、大きい問題だと思えばそれに応じて。(男性：70 歳代)
- ・まず、どういう問題なのか自分でよく考えた上、対応を決めるつもりです。(男性：70 歳代)
- ・相手ととことん話し合う。(女性：70 歳代)

2-6 人権侵害を受けた時、黙って我慢をした理由

問 10. 問 9 で「1 黙って我慢をする」を選択した方にお尋ねします。それはなぜですか。
(○は1つだけ)

【全体】

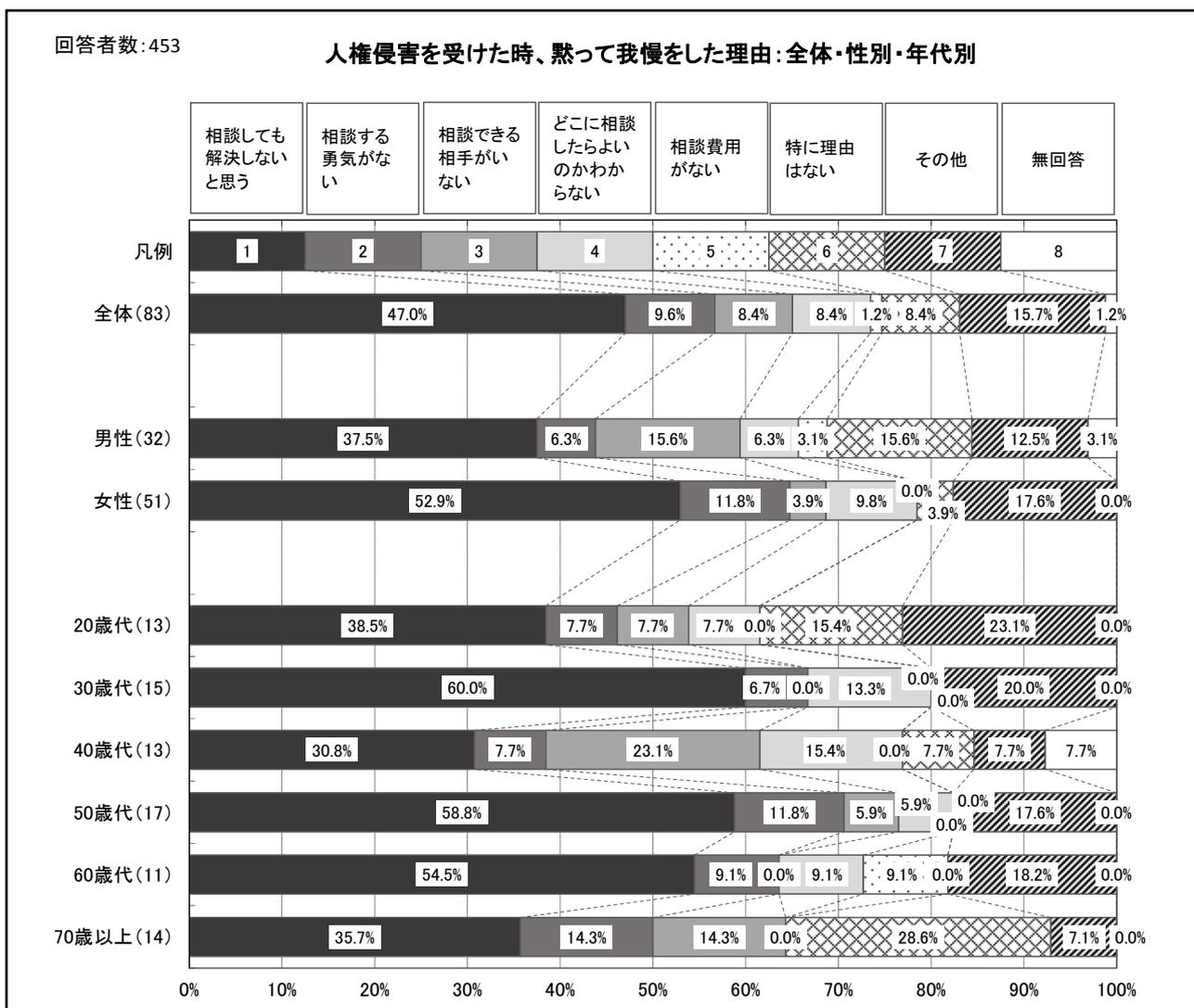
- ◆「相談しても解決しないと思う」が47.0%と最も高く、次いで「その他」が15.7%、「相談する勇気がない」が9.6%となっている。

【性別】

- ◆男女ともに「相談しても解決しないと思う」が最も高く、次いで男性は「相談できる相手がいない」、「特に理由はない」、女性は「その他」となっている。「相談しても解決しないと思う」で比べると、男性の割合より女性の割合が15.4%高くなっている。

【年代別】

- ◆全ての年代で「相談しても解決しないと思う」の割合が最も高い。次いで20、30、50、60歳代では「その他」、40歳代では「相談できる相手がいない」、70歳以上では「特に理由はない」が高くなっている。



【その他の回答（主なもの）】※意見・感想を含む。

- ・仕方ない。（男性：30 歳代）
- ・警察に相談したが何もしてくれなかった。（男性：40 歳代）
- ・多少のことは我慢しないと社会が成り立たない。（男性：50 歳代）
- ・火を点けて大きくすることはない。（男性：70 歳代）
- ・少々のは仕様がなないので我慢できる。聞き流せると思う範囲のことは黙認し、自分として看過できない範囲なら外部に相談する。（女性：20 歳代）
- ・1 回だけなら黙ってられる。（女性：20 歳代）
- ・二度と会うことのない人であれば受け流す。（女性：30 歳代）
- ・めんどくさいから。問題を大きくしたくない。そんな時間は無い。（女性：30 歳代）
- ・言われたことについては（相手には何も言わないが）言い返さない。後で家族には話す。
(女性：30 歳代)
- ・相手は上司だし、何を言っても押しえつけられる。口ではかなわない。（女性：50 歳代）
- ・様子を見る。（女性：50 歳代）
- ・夫が威張っており何か言うとうるさい。（女性：60 歳代）
- ・職場が閉ざされた考えの会社であったので。（女性：60 歳代）

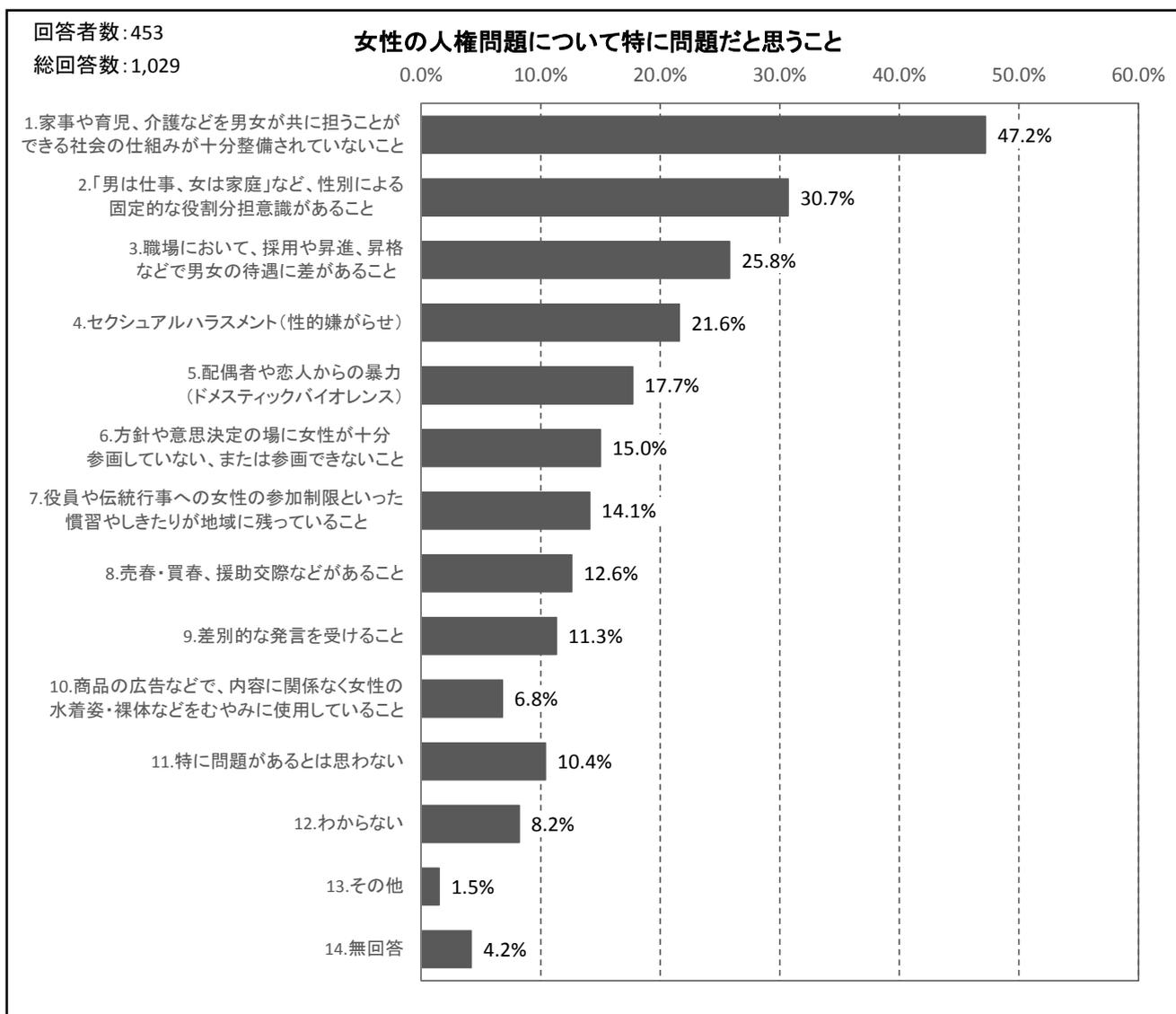
3 女性の人権について

3-1 女性の人権問題について特に問題だと思うこと

問 11. 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(〇は3つまで)

【全体】

◆「家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」と回答した人が 47.2%と最も高く、次いで「男は仕事、女は家庭」など、性別による固定的な役割分担意識があること」が 30.7%、「職場において、採用や昇進、昇格などで男女の待遇に差があること」が 25.8%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が最も高く、次いで「男は仕事、女は家庭」など、性別による固定的な役割分担意識があること、「職場において、採用や昇進、昇格などで男女の待遇に差があること」となっている。上位3項目の順位に男女差はないが、第1位を選択した人の割合は、男性より女性の方が10.2%高い。

【年代別】

- ◆全ての年代で「家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が最も高く、次いで20歳代は「セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）」、30歳代は「職場において、採用や昇進、昇格などで男女の待遇に差があること」、40、50歳代及び70歳以上は「男は仕事、女は家庭」など、性別による固定的な役割分担意識があること」が多くなっている。「家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」で20歳代と70歳以上の割合を比べると23.6%の差がある。

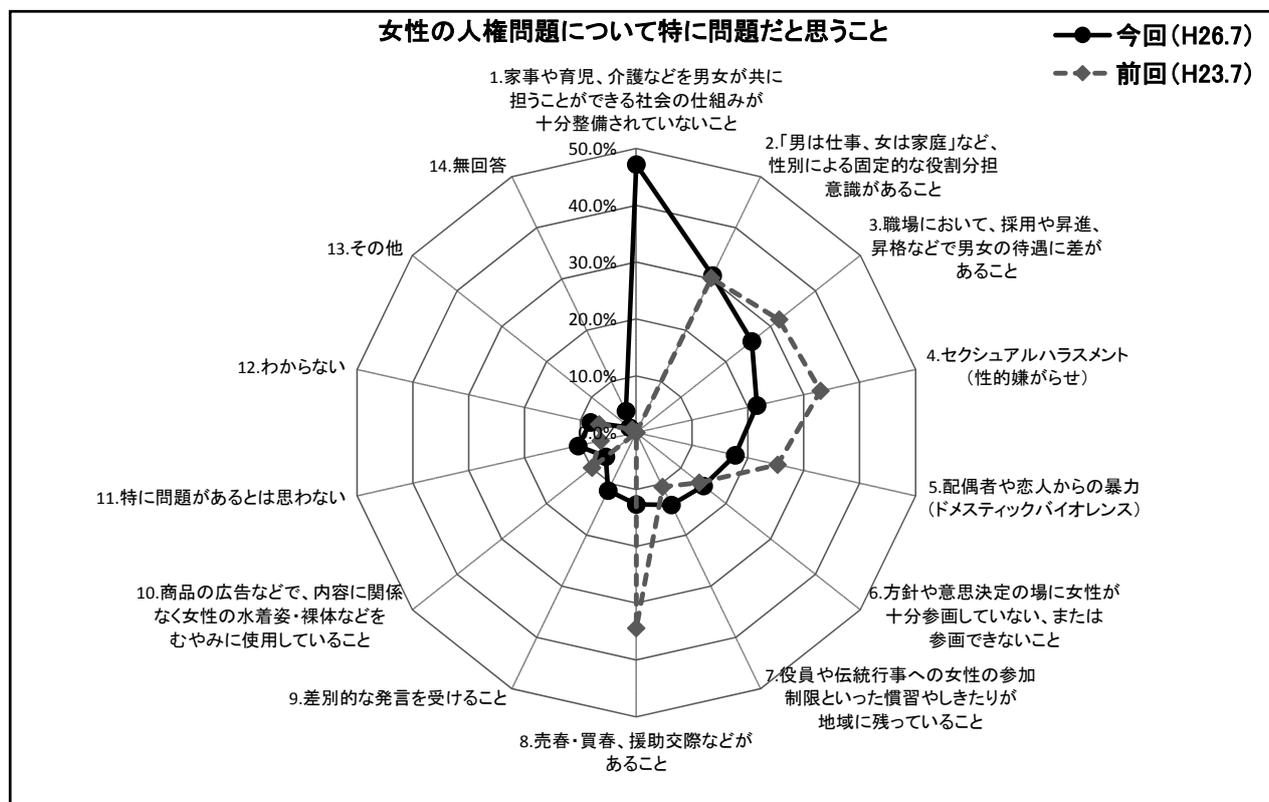
[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	-	
		十分整備されていないこと	家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと	「男は仕事、女は家庭」など、性別による固定的な役割分担意識があること	職場において、採用や昇進、昇格などで男女の待遇に差があること	セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）	配偶者や恋人からの暴力（ドメスティックバイオレンス）	参画していない、または参画できないこと	方針や意思決定の場に女性が十分に参画していない、または参画できないこと	残っていること	役員や伝統行事への女性の参加制限	あること	差別的な発言を受けること	商品やサービスの広告などで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などをむやみに使用していること	特に問題があるとは思わない	わからない	その他
全体 (n=453)	回答数	214	139	117	98	80	68	64	57	51	31	47	37	7	19	1029	
	回答率	47.2%	30.7%	25.8%	21.6%	17.7%	15.0%	14.1%	12.6%	11.3%	6.8%	10.4%	8.2%	1.5%	4.2%	227.1%	
性別	男性 (n=202)	回答数	84	59	50	42	32	37	31	28	19	12	18	18	4	11	445
		回答率	41.6%	29.2%	24.8%	20.8%	15.8%	18.3%	15.3%	13.9%	9.4%	5.9%	8.9%	8.9%	2.0%	5.4%	220.2%
	女性 (n=249)	回答数	129	80	66	55	48	31	33	29	32	19	29	18	3	8	580
		回答率	51.8%	32.1%	26.5%	22.1%	19.3%	12.4%	13.3%	11.6%	12.9%	7.6%	11.6%	7.2%	1.2%	3.2%	232.8%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	28	14	8	18	13	7	6	4	8	1	1	2	1	0	111
		回答率	58.3%	29.2%	16.7%	37.5%	27.1%	14.6%	12.5%	8.3%	16.7%	2.1%	2.1%	4.2%	2.1%	0.0%	231.4%
	30歳代 (n=68)	回答数	39	21	24	18	19	8	7	13	6	2	1	3	1	0	162
		回答率	57.4%	30.9%	35.3%	26.5%	27.9%	11.8%	10.3%	19.1%	8.8%	2.9%	1.5%	4.4%	1.5%	0.0%	238.3%
	40歳代 (n=56)	回答数	26	20	11	13	12	7	7	5	3	1	9	4	2	1	121
		回答率	46.4%	35.7%	19.6%	23.2%	21.4%	12.5%	12.5%	8.9%	5.4%	1.8%	16.1%	7.1%	3.6%	1.8%	216.0%
	50歳代 (n=77)	回答数	45	26	21	15	11	12	11	10	11	7	7	6	1	0	183
		回答率	58.4%	33.8%	27.3%	19.5%	14.3%	15.6%	14.3%	13.0%	14.3%	9.1%	9.1%	7.8%	1.3%	0.0%	237.8%
	60歳代 (n=105)	回答数	42	29	32	20	18	21	20	17	10	8	15	7	1	5	245
		回答率	40.0%	27.6%	30.5%	19.0%	17.1%	20.0%	19.0%	16.2%	9.5%	7.6%	14.3%	6.7%	1.0%	4.8%	233.3%
70歳以上 (n=98)	回答数	34	29	21	14	7	13	13	8	13	12	14	14	1	13	206	
	回答率	34.7%	29.6%	21.4%	14.3%	7.1%	13.3%	13.3%	8.2%	13.3%	12.2%	14.3%	14.3%	1.0%	13.3%	210.3%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆前回第1位の「売春、買春、援助交際などがあること」が今回第7位に、前回第2位の「セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）」が第4位となっている。



【前回との差】

- ◆増加した項目が6項目、減少した項目が5項目となっている。
- 増加項目では、「特に問題があるとは思わない」が4.0%、「役員や伝統行事への女性の参加制限といった慣習やしきたりが地域に残っていること」が3.5%増加している。
- 減少項目では、「売春、買春、援助交際などがあること」が21.8%、「セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）」が11.4%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと	47.2%	-	-
2.「男は仕事、女は家庭」など、性別による固定的な役割分担意識があること	30.7%	30.2%	0.5%
3.職場において、採用や昇進、昇格などで男女の待遇に差があること	25.8%	31.9%	-6.1%
4.セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）	21.6%	33.0%	-11.4%
5.配偶者や恋人からの暴力（ドメスティックバイオレンス）	17.7%	25.3%	-7.6%
6.方針や意思決定の場に女性が十分参画していない、または参画できないこと	15.0%	14.1%	0.9%
7.役員や伝統行事への女性の参加制限といった慣習やしきたりが地域に残っていること	14.1%	10.6%	3.5%
8.売春・買春、援助交際などがあること	12.6%	34.4%	-21.8%
9.差別的な発言を受けること	11.3%	-	-
10.商品の広告などで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などをむやみに使用していること	6.8%	9.9%	-3.1%
11.特に問題があるとは思わない	10.4%	6.4%	4.0%
12.わからない	8.2%	6.6%	1.6%
13.その他	1.5%	0.9%	0.6%
14.無回答	4.2%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

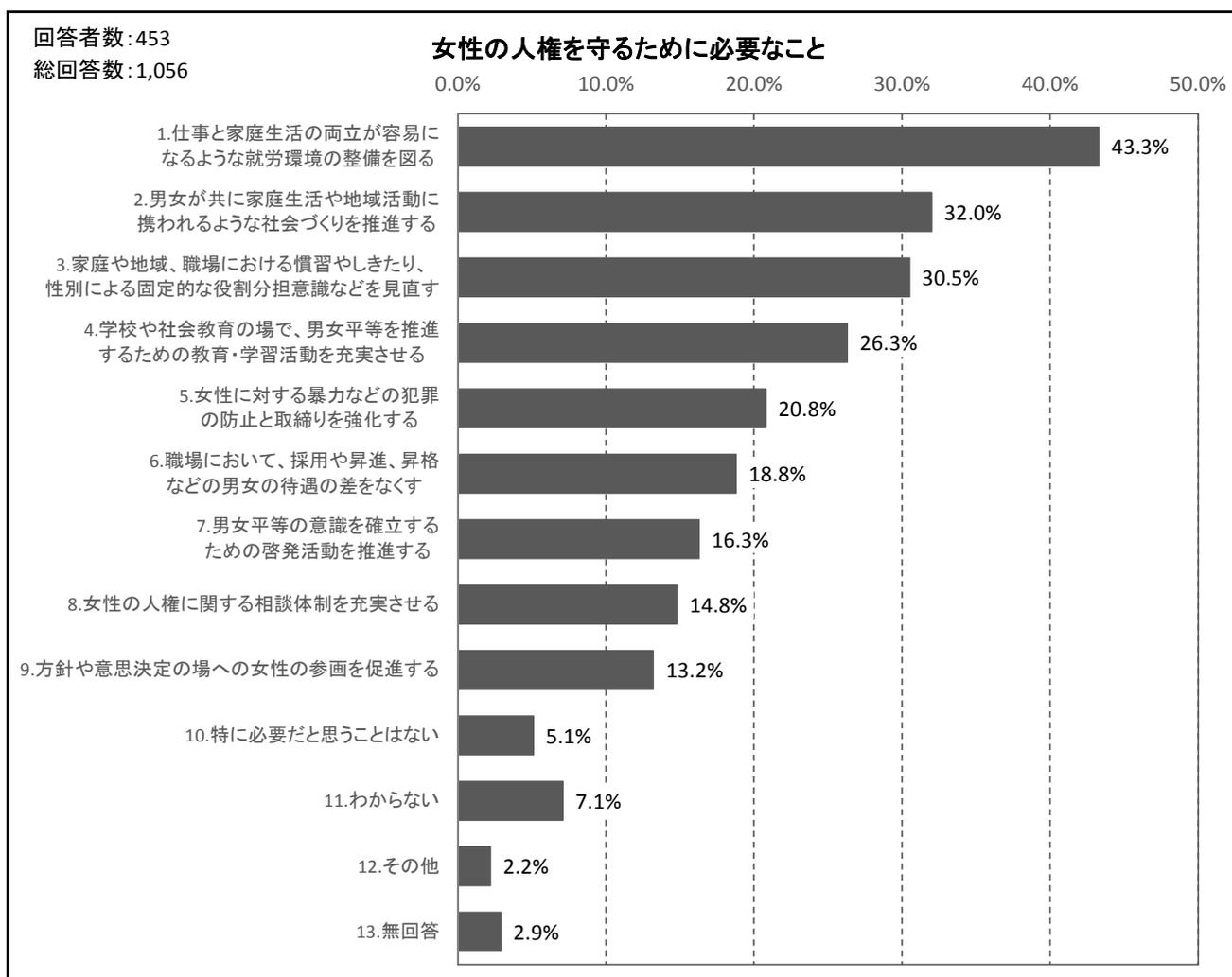
- ・女性は黙って男の言うことを聞いていればいい。(男性：20 歳代)
- ・西洋の方法論に右に倣えをするのではなく、日本の風土・気質等に沿ったものを考える必要がある。(男性：30 歳代)
- ・義務を果たさず権利だけ主張する人が多い。(男性：40 歳代)
- ・最近役職に就く女性の割合を 30%にする…、そこまで引き上げるというような動きがありますが、100%でも結構。力量次第です。(男性：70 歳代)
- ・自分自身の考え方や個々の役割、自分の出来ることを考えるため、家庭・仕事のことそれぞれ違うので一概には言えない。(女性：40 歳代)
- ・学歴が無い為、いくら真面目に働いても認められず、上司の気に入った人だけを昇進させる理不尽な社会があること。(女性：50 歳代)
- ・現状、身近に感じていないので実感がない。(女性：60 歳代)

3-2 女性の人権を守るために必要なこと

問 12. 女性の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

◆「仕事と家庭生活の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が43.3%と最も高く、次いで「男女が共に家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が32.0%、「家庭や地域、職場における慣習やしきたり、性別による固定的な役割分担意識などを見直す」が30.5%と続いている。



【性別】

◆男女ともに「仕事と家庭生活の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が最も高く、次いで男性は「家庭や地域、職場における習慣やしきたり、性別による固定的な役割分担意識などを見直す」、女性は「男女が共に家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」となっている。上位3項目は共通しているが、「仕事と家庭生活の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」においては、女性の割合が男性の割合よりも11.6%高いなど、男女の意識の差がみられる。

【年代別】

◆20歳代から60歳代において「仕事と家庭生活の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が第1位になっているが、特に20、30歳代において、選択割合が高い。また全ての年代で上位3項目に入っている「男女が共に家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」については、20歳代では45.8%と半数近くの人を選択している。70歳以上では「わからない」の割合が高い。

〔上段：回答者数、下段：%〕

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	-	
		る仕事と家庭生活の両立が容易になるような就労環境の整備を図る	れる男女が共に家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する	担きたり、性別による固定的な役割分担意識などを見直す	実させ学校や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	防止と取締りを強化する	などの男女の待遇の差や昇進、昇格	啓発活動の意識を確立するための	充女性の人権に関する相談体制を	参方針や意思決定の場への女性の	特に必要だと思ふことはない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	196	145	138	119	94	85	74	67	60	23	32	10	13	1056	
	回答率	43.3%	32.0%	30.5%	26.3%	20.8%	18.8%	16.3%	14.8%	13.2%	5.1%	7.1%	2.2%	2.9%	233.3%	
性別	男性 (n=202)	回答数	74	65	69	59	36	30	37	34	31	9	11	6	8	469
		回答率	36.6%	32.2%	34.2%	29.2%	17.8%	14.9%	18.3%	16.8%	15.3%	4.5%	5.4%	3.0%	4.0%	232.2%
	女性 (n=249)	回答数	120	79	68	59	58	54	37	33	29	14	21	4	5	581
		回答率	48.2%	31.7%	27.3%	23.7%	23.3%	21.7%	14.9%	13.3%	11.6%	5.6%	8.4%	1.6%	2.0%	233.3%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	26	22	16	10	9	11	5	5	3	2	1	1	0	111
		回答率	54.2%	45.8%	33.3%	20.8%	18.8%	22.9%	10.4%	10.4%	6.3%	4.2%	2.1%	2.1%	0.0%	231.3%
	30歳代 (n=68)	回答数	39	22	18	20	20	15	12	5	13	1	1	2	0	168
		回答率	57.4%	32.4%	26.5%	29.4%	29.4%	22.1%	17.6%	7.4%	19.1%	1.5%	1.5%	2.9%	0.0%	247.2%
	40歳代 (n=56)	回答数	24	15	15	14	17	10	8	8	7	4	2	3	1	128
		回答率	42.9%	26.8%	26.8%	25.0%	30.4%	17.9%	14.3%	14.3%	12.5%	7.1%	3.6%	5.4%	1.8%	228.8%
	50歳代 (n=77)	回答数	35	24	27	22	13	15	12	14	7	4	7	2	0	182
		回答率	45.5%	31.2%	35.1%	28.6%	16.9%	19.5%	15.6%	18.2%	9.1%	5.2%	9.1%	2.6%	0.0%	236.6%
	60歳代 (n=105)	回答数	41	31	34	30	20	21	20	17	20	7	6	0	3	250
		回答率	39.0%	29.5%	32.4%	28.6%	19.0%	20.0%	19.0%	16.2%	19.0%	6.7%	5.7%	0.0%	2.9%	238.0%
70歳以上 (n=98)	回答数	30	31	27	22	15	13	17	18	10	5	15	2	9	214	
	回答率	30.6%	31.6%	27.6%	22.4%	15.3%	13.3%	17.3%	18.4%	10.2%	5.1%	15.3%	2.0%	9.2%	218.3%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・ ストーカー行為、暴力などの取り締まりについて。(男性：30 歳代)
- ・ もう時代が進みました。人権問題も男女共通で考えるべきと思いますが。(男性：70 歳代)
- ・ 女性自身が身を守る術を手に入れる。(女性：20 歳代)
- ・ 逆に女性が家庭をしっかり守る主婦でいられる選択が出来るようにしてほしい。女性全員が外で働きたいわけではない。(女性：40 歳代)
- ・ 女性の意識改革。(女性：40 歳代)

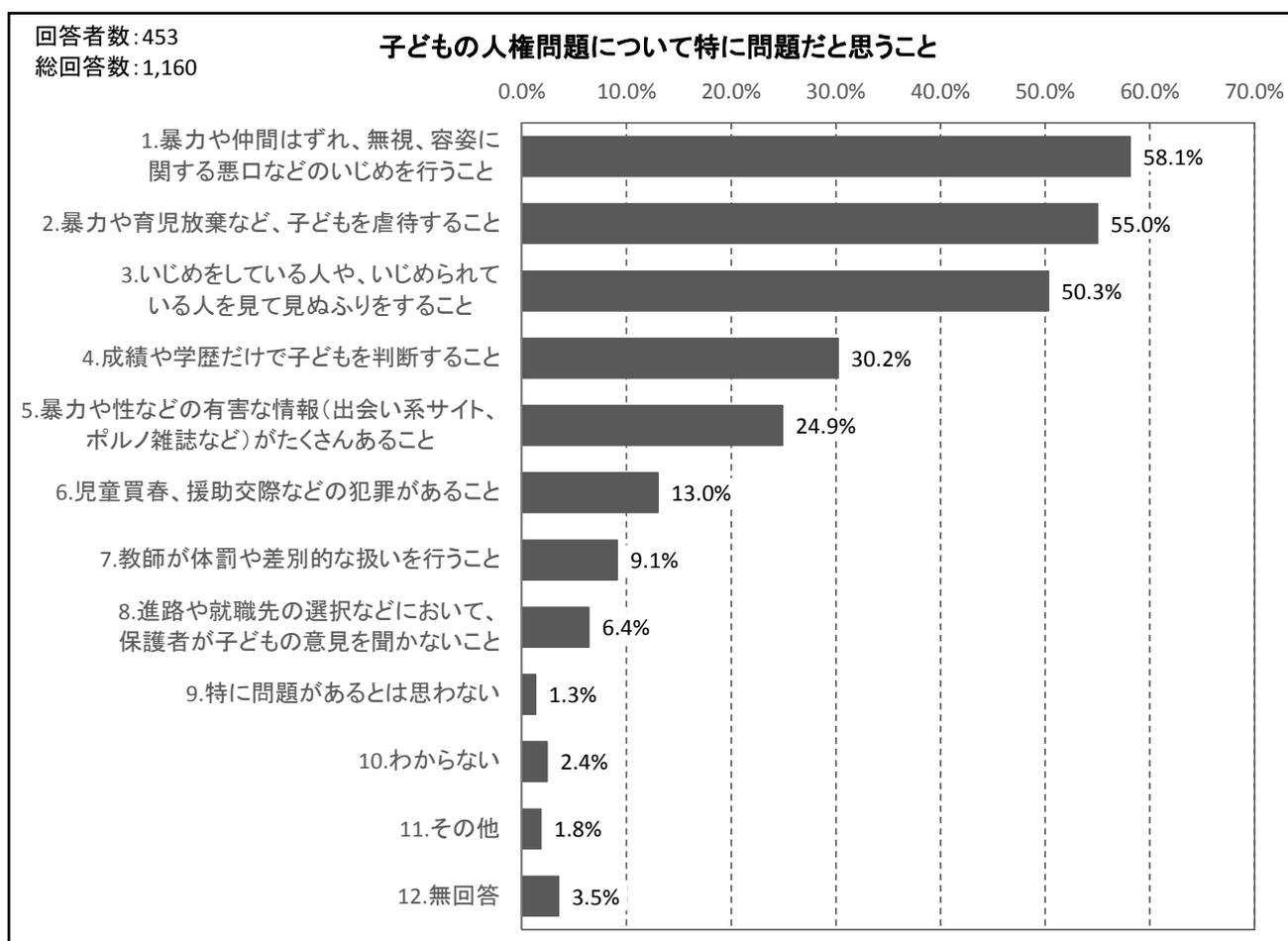
4 子どもの人権について

4-1 子どもの人権問題について特に問題だと思うこと

問 13. 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は3つまで)

【全体】

- ◆ 「暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口などのいじめを行うこと」が 58.1%と最も高く、次いで「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」が 55.0%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること」が 50.3%の順になっており、この3項目はそれぞれ過半数を超えている。



【性別】

- ◆男性は「暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口などのいじめを行うこと」、女性は「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」が最も高くなっている。上位3項目のうち、男女差が目立つのは「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」（女性第1位、男性第3位）で、女性の選択割合は男性より8.1%高い。

【年代別】

- ◆20、30歳代は「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」、40～60歳代は「暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口などのいじめを行うこと」、70歳以上は「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が最も高くなっている。「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」は全ての年代で上位3項目に入っているが、若い世代ほど選択割合が高く、年齢が高くなるにつれて減少する傾向にある。

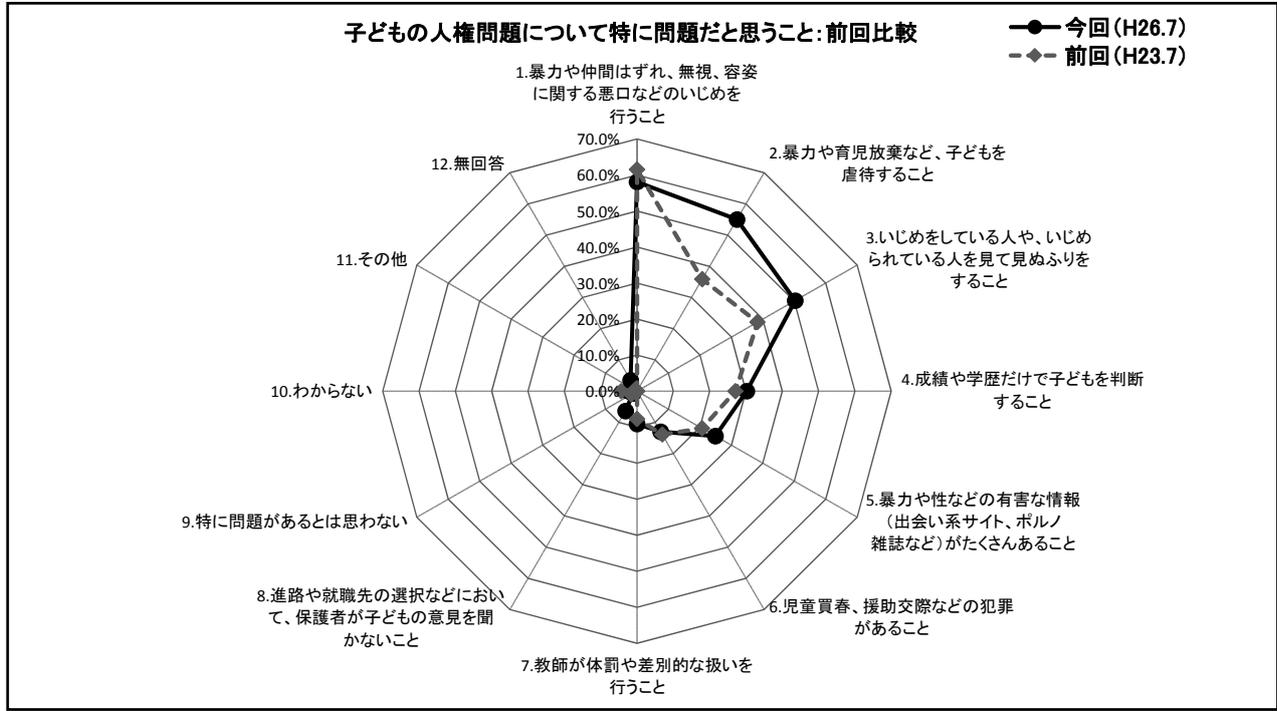
[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	3	2	6	7	8	5	4	9	10	11	12	-	
		関暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口などのいじめを行うこと	虐暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること	ていじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	成績や学歴だけで子どもを判断すること	が(へ)出会い系サイト、ポルノ雑誌などがたくさんあること	暴力や性などの有害な情報があること	児童買春、援助交際などの犯罪を行うこと	教師が体罰や差別的な扱いを行うこと	進路や就職先の選択などにおいて、保護者が子どもの意見を聞かないこと	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答	総回答
全体 (n=453)	回答数	263	249	228	137	113	59	41	29	6	11	8	16	1160	
	回答率	58.1%	55.0%	50.3%	30.2%	24.9%	13.0%	9.1%	6.4%	1.3%	2.4%	1.8%	3.5%	256.0%	
性別	男性 (n=202)	回答数	117	102	104	64	49	22	21	18	4	3	5	5	514
		回答率	57.9%	50.5%	51.5%	31.7%	24.3%	10.9%	10.4%	8.9%	2.0%	1.5%	2.5%	2.5%	254.6%
	女性 (n=249)	回答数	145	146	123	72	64	37	19	10	2	8	3	11	640
		回答率	58.2%	58.6%	49.4%	28.9%	25.7%	14.9%	7.6%	4.0%	0.8%	3.2%	1.2%	4.4%	256.9%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	29	36	25	11	6	4	2	4	0	0	2	0	119
		回答率	60.4%	75.0%	52.1%	22.9%	12.5%	8.3%	4.2%	8.3%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	247.9%
	30歳代 (n=68)	回答数	39	41	36	13	19	10	6	5	2	0	3	0	174
		回答率	57.4%	60.3%	52.9%	19.1%	27.9%	14.7%	8.8%	7.4%	2.9%	0.0%	4.4%	0.0%	255.8%
	40歳代 (n=56)	回答数	39	34	25	13	14	5	9	5	1	1	1	1	148
		回答率	69.6%	60.7%	44.6%	23.2%	25.0%	8.9%	16.1%	8.9%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	264.2%
	50歳代 (n=77)	回答数	48	44	39	29	14	14	5	3	0	2	1	1	200
		回答率	62.3%	57.1%	50.6%	37.7%	18.2%	18.2%	6.5%	3.9%	0.0%	2.6%	1.3%	1.3%	259.7%
	60歳代 (n=105)	回答数	67	52	56	39	31	10	9	4	1	1	0	7	277
		回答率	63.8%	49.5%	53.3%	37.1%	29.5%	9.5%	8.6%	3.8%	1.0%	1.0%	0.0%	6.7%	263.8%
	70歳以上 (n=98)	回答数	40	41	47	32	29	16	9	8	2	7	1	7	239
		回答率	40.8%	41.8%	48.0%	32.7%	29.6%	16.3%	8.2%	9.2%	2.0%	7.1%	1.0%	7.1%	243.8%

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆第1位「暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口などのいじめを行うこと」は変わっていないが、第2位以降の項目に変化がみられ、特に「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」の増加が目立つ。



【前回との差】

- ◆増加した項目は6項目、減少した項目は4項目となっている。
 増加項目では、「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」が19.1%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が12.0%増加している。
 減少項目では、「暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口などのいじめを行うこと」が3.4%、「わからない」が2.0%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1. 暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口などのいじめを行うこと	58.1%	61.5%	-3.4%
2. 暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること	55.0%	35.9%	19.1%
3. いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	50.3%	38.3%	12.0%
4. 成績や学歴だけで子どもを判断すること	30.2%	27.1%	3.1%
5. 暴力や性などの有害な情報(出会い系サイト、ポルノ雑誌など)がたくさんあること	24.9%	20.7%	4.2%
6. 児童買春、援助交際などの犯罪があること	13.0%	13.9%	-0.9%
7. 教師が体罰や差別的な扱いを行うこと	9.1%	7.7%	1.4%
8. 進路や就職先の選択などにおいて、保護者が子どもの意見を聞かないこと	6.4%	-	-
9. 特に問題があるとは思わない	1.3%	1.8%	-0.5%
10. わからない	2.4%	4.4%	-2.0%
11. その他	1.8%	0.7%	1.1%
12. 無回答	3.5%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

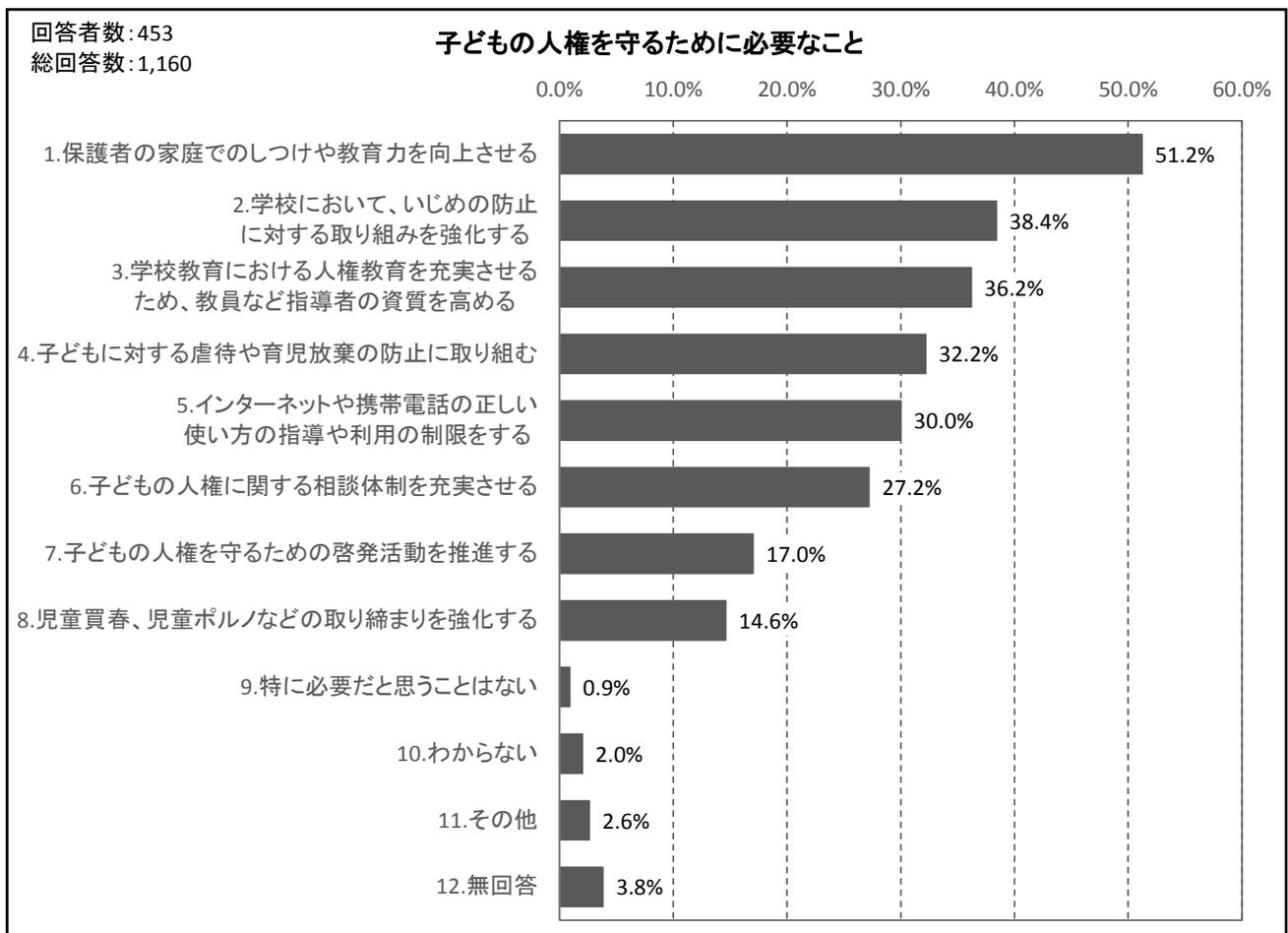
- ・甘やかし過ぎだと思う。(男性：20 歳代)
- ・親が子どもに強制する事が多い。(男性：30 歳代)
- ・子どもに対する親の責任の無さ。(男性：50 歳代)
- ・いじめ対策を細かくするほど泥沼になるのではないか。今から打たれ強く逞しくする事も考える。(男性：70 歳代)
- ・様々な作品などに学校の先生の子どもが選ばれることが多い。(女性：30 歳代)
- ・仲間はずれ、差別、成績、学歴など、社会的にも一生付いて回るもの。そんなものに振りまわされる様な子どもにならないよう、親の子育てが重要。善か悪か判断する力。
(女性：40 歳代)
- ・家庭の経済事情によって、子どもへの対応を変えること。(女性：40 歳代)

4-2 子どもの人権を守るために必要なこと

問 14. 子どもの人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

◆全体では、「保護者の家庭でのしつけや教育力を向上させる」が51.2%と最も高く、次いで「学校において、いじめの防止に対する取り組みを強化する」が38.4%、「学校教育における人権教育を充実させるため、教員など指導者の資質を高める」が36.2%となっている。



【性別】

◆男女ともに「保護者の家庭でのしつけや教育力を向上させる」が最も高く、次いで男性は「学校において、いじめの防止に対する取り組みを強化する」、女性は「学校において、いじめの防止に対する取り組みを強化する」、「子どもに対する虐待や育児放棄の防止に取り組む」(男性第6位)となっている。女性は「子どもの人権で特に問題と思うこと (P 6 3、4-1 参照)」でも「暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること」を第1位に選択しており、女性が男性と比較して「子どもに対する虐待や育児放棄」をより重大な問題だととらえていることが推察される。

【年代別】

◆40歳代を除き「保護者の家庭でのしつけや教育力を向上させる」が最も高く、40歳代は「学校教育における人権教育を充実させるため、教員など指導者の資質を高める」が最も高くなっている。

[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	-	
		教育力を向上させる	学校において、いじめの防止	指導者の資質を高める	子どもの虐待や育児	正しい使い方の指導や利用の	インターネットや携帯電話の	子どもの人権に関する相談	子どもの人権を守るための	児童買春、児童ポルノなどの	特に必要だと思うことはない	わからない	その他	無回答	総回答
全体 (n=453)	回答数	232	174	164	146	136	123	77	66	4	9	12	17	1160	
	回答率	51.2%	38.4%	36.2%	32.2%	30.0%	27.2%	17.0%	14.6%	0.9%	2.0%	2.6%	3.8%	256.1%	
性別	男性 (n=202)	回答数	108	79	78	51	56	59	38	32	3	2	7	4	517
		回答率	53.5%	39.1%	38.6%	25.2%	27.7%	29.2%	18.8%	15.8%	1.5%	1.0%	3.5%	2.0%	255.9%
	女性 (n=249)	回答数	123	94	84	94	80	64	39	34	1	7	4	13	637
		回答率	49.4%	37.8%	33.7%	37.8%	32.1%	25.7%	15.7%	13.7%	0.4%	2.8%	1.6%	5.2%	255.9%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	23	19	17	22	11	14	6	2	0	1	3	0	118
		回答率	47.9%	39.6%	35.4%	45.8%	22.9%	29.2%	12.5%	4.2%	0.0%	2.1%	6.3%	0.0%	245.9%
	30歳代 (n=68)	回答数	33	31	26	23	24	18	11	13	1	0	3	1	184
		回答率	48.5%	45.6%	38.2%	33.8%	35.3%	26.5%	16.2%	19.1%	1.5%	0.0%	4.4%	1.5%	270.6%
	40歳代 (n=56)	回答数	24	20	26	16	15	14	10	6	1	2	2	1	137
		回答率	42.9%	35.7%	46.4%	28.6%	26.8%	25.0%	17.9%	10.7%	1.8%	3.6%	3.6%	1.8%	244.8%
	50歳代 (n=77)	回答数	47	31	24	27	23	18	11	11	0	3	2	2	199
		回答率	61.0%	40.3%	31.2%	35.1%	29.9%	23.4%	14.3%	14.3%	0.0%	3.9%	2.6%	2.6%	258.6%
60歳代 (n=105)	回答数	56	39	42	40	32	28	21	17	0	0	0	4	279	
	回答率	53.3%	37.1%	40.0%	38.1%	30.5%	26.7%	20.0%	16.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	265.7%	
70歳以上 (n=98)	回答数	49	34	28	17	31	31	18	17	2	3	1	9	240	
	回答率	50.0%	34.7%	28.6%	17.3%	31.6%	31.6%	18.4%	17.3%	2.0%	3.1%	1.0%	9.2%	244.8%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示(無回答は除く)

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

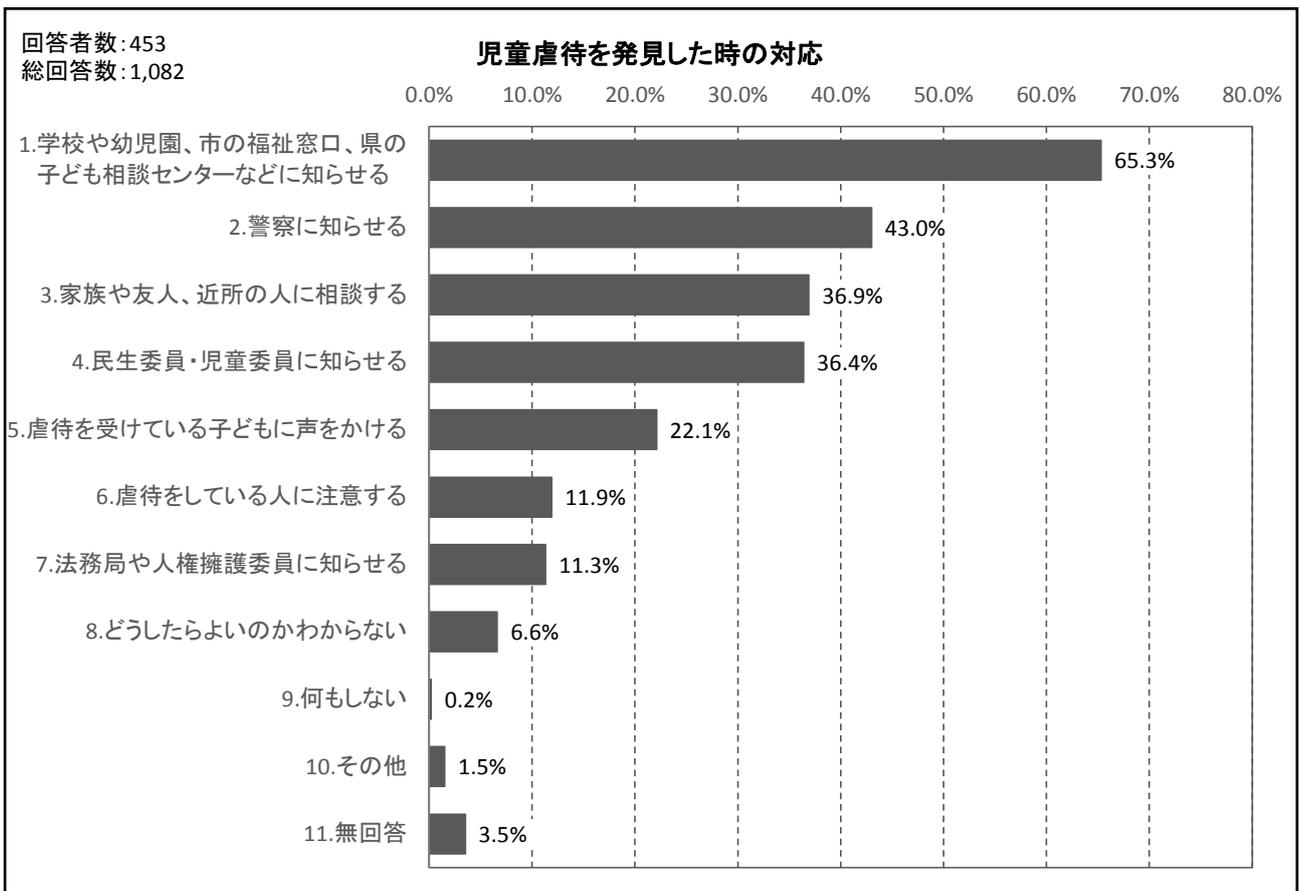
- ・子どもに人権はない。(男性：20 歳代)
- ・子育てに関する教育の強化。(男性：30 歳代)
- ・親の意識が低い。親への教育活動。(男性：30 歳代)
- ・イジメは親も含め重罰を科す。(男性：40 歳代)
- ・先生の教育。(男性：50 歳代)
- ・道徳教育の基本。何が悪いかももう少しはっきりしないといけない。(男性：70 歳代)

4-3 児童虐待を発見した時の対応

問 15. あなたが児童虐待を発見したらどうしますか。(〇はいくつでも)

【全体】

◆「学校や幼稚園、市の福祉窓口、県の子ども相談センターなどに知らせる」が 65.3%と最も高く、次いで「警察に知らせる」が 43.0%、「家族や友人、近所の人に相談する」が 36.9%となっている。大多数の人が何らかの行動を起こすことを考えていることがわかる。



【性別】

- ◆男女ともに「学校や幼稚園、市の福祉窓口、県の子ども相談センターなどに知らせる」が約65%と最も高く、次いで男性は「警察に知らせる」、女性は「家族や友人、近所の人に相談する」となっている。「家族や友人、近所の人に相談する」においては、女性の割合が男性の割合よりも15.6%高く、一方「虐待をしている人に注意する」では男性が女性よりも10.6%高いことから、対応の仕方に男女の差が現れている。

【年代別】

- ◆全ての年代において「学校や幼稚園、市の福祉窓口、県の子ども相談センターなどに知らせる」、「警察に知らせる」の割合は高い。20～40歳代の若い世代では「家族や友人、近所の人に相談する」、50歳以上の世代では「民生委員・児童委員に知らせる」の選択割合が高い傾向にある。

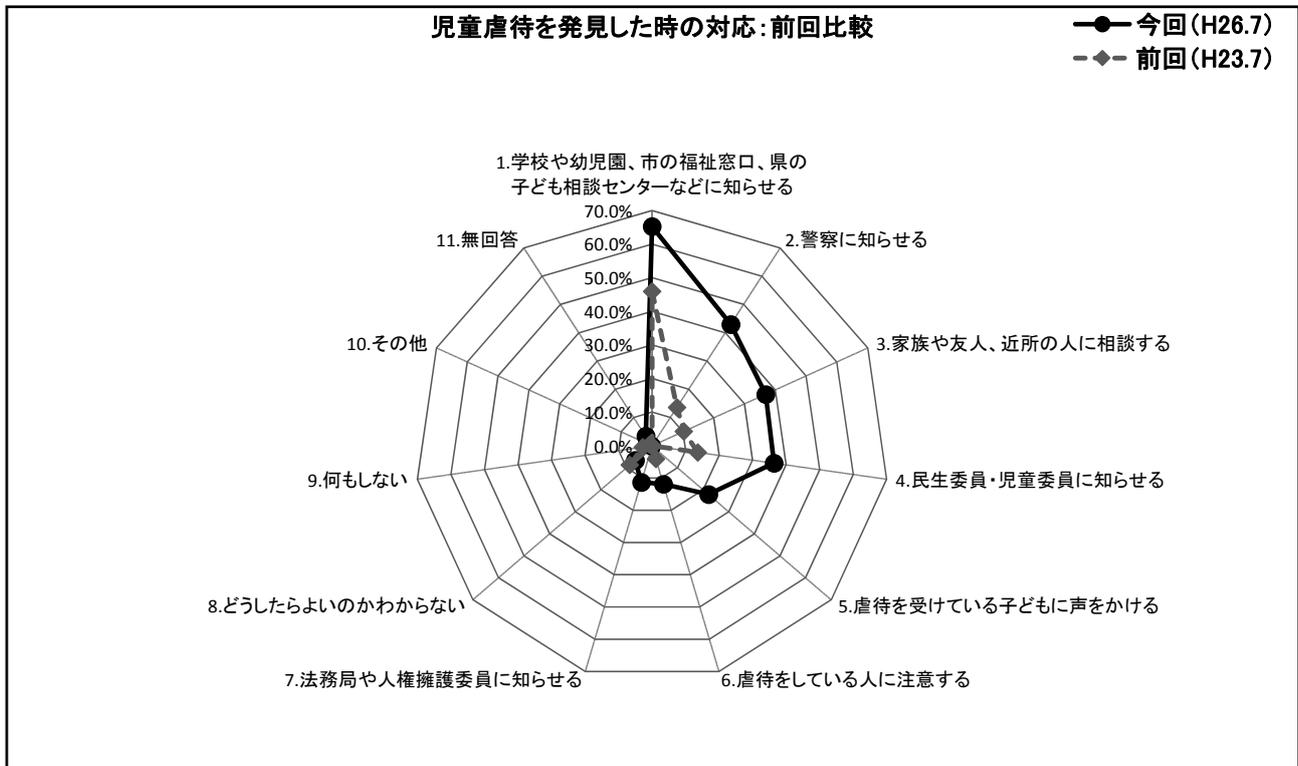
[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	-	
		学校や幼稚園、市の福祉窓口、県の子ども相談センターなどに知らせる	警察に知らせる	家族や友人、近所の人に相談する	民生委員・児童委員に知らせる	虐待を受けている子どもに声をかける	虐待をしている人に注意する	法務局や人権擁護委員に知らせる	どうしたらよいかわからない	何もしない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	296	195	167	165	100	54	51	30	1	7	16	1082	
	回答率	65.3%	43.0%	36.9%	36.4%	22.1%	11.9%	11.3%	6.6%	0.2%	1.5%	3.5%	238.7%	
性別	男性 (n=202)	回答数	133	93	57	73	45	36	28	9	1	3	5	483
		回答率	65.8%	46.0%	28.2%	36.1%	22.3%	17.8%	13.9%	4.5%	0.5%	1.5%	2.5%	239.1%
	女性 (n=249)	回答数	162	100	109	92	54	18	22	21	0	4	11	593
		回答率	65.1%	40.2%	43.8%	36.9%	21.7%	7.2%	8.8%	8.4%	0.0%	1.6%	4.4%	238.1%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	27	20	22	9	12	3	0	8	0	0	0	101
		回答率	56.3%	41.7%	45.8%	18.8%	25.0%	6.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	210.6%
	30歳代 (n=68)	回答数	42	27	36	19	17	7	3	5	1	1	0	158
		回答率	61.8%	39.7%	52.9%	27.9%	25.0%	10.3%	4.4%	7.4%	1.5%	1.5%	0.0%	232.4%
	40歳代 (n=56)	回答数	42	21	22	12	13	5	6	6	0	1	2	130
		回答率	75.0%	37.5%	39.3%	21.4%	23.2%	8.9%	10.7%	10.7%	0.0%	1.8%	3.6%	232.1%
	50歳代 (n=77)	回答数	51	35	27	28	16	5	9	6	0	2	3	182
		回答率	66.2%	45.5%	35.1%	36.4%	20.8%	6.5%	11.7%	7.8%	0.0%	2.6%	3.9%	236.5%
60歳代 (n=105)	回答数	75	50	30	43	26	13	15	2	0	2	5	261	
	回答率	71.4%	47.6%	28.6%	41.0%	24.8%	12.4%	14.3%	1.9%	0.0%	1.9%	4.8%	248.7%	
70歳以上 (n=98)	回答数	58	41	30	54	15	21	18	3	0	1	6	247	
	回答率	59.2%	41.8%	30.6%	55.1%	15.3%	21.4%	18.4%	3.1%	0.0%	1.0%	6.1%	252.0%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆「学校や幼稚園、市の福祉窓口、県の子ども相談センターなどに知らせる」、「警察に知らせる」、「家族や友人、近所の人に相談する」、「民生委員・児童委員に知らせる」の4項目で大幅な増加がみられた。



【前回との差】

- ◆増加した項目は6項目、減少した項目は2項目となっている。
増加項目では、「警察に知らせる」が29.4%、「家族や友人、近所の人に相談する」が26.6%増加している。
減少項目では、「何もしない」が2.6%、「どうしたらよいかわからない」が2.1%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.学校や幼稚園、市の福祉窓口、県の子ども相談センターなどに知らせる	65.3%	46.0%	19.3%
2.警察に知らせる	43.0%	13.6%	29.4%
3.家族や友人、近所の人に相談する	36.9%	10.3%	26.6%
4.民生委員・児童委員に知らせる	36.4%	13.6%	22.8%
5.虐待を受けている子どもに声をかける	22.1%	-	-
6.虐待をしている人に注意する	11.9%	4.1%	7.8%
7.法務局や人権擁護委員に知らせる	11.3%	-	-
8.どうしたらよいかわからない	6.6%	8.7%	-2.1%
9.何もしない	0.2%	2.8%	-2.6%
10.その他	1.5%	0.9%	0.6%
11.無回答	3.5%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・自分に出来ることがあれば全部します。（男性：30 歳代）
- ・知らせる方法が分からない。（男性：50 歳代）
- ・まずどういう問題かよく見極めた上で対応を考える。このところ何でも行政へ問題を持ち込み、地域で支えることは考えない。行政はそれではたまらないとひたすら逃げにと考える。その悪循環が目立つ様になった。（男性：70 歳代）
- ・本当はどうすることが正しいか判らない。（女性：50 歳代）
- ・虐待の発見だけでは判断できない。なぜ虐待をしているのか、されているのか、事実を確認しないと…。迷っている間に悪い方向に進んでもいけないし…。（女性：50 歳代）
- ・見守る。（女性：60 歳代）

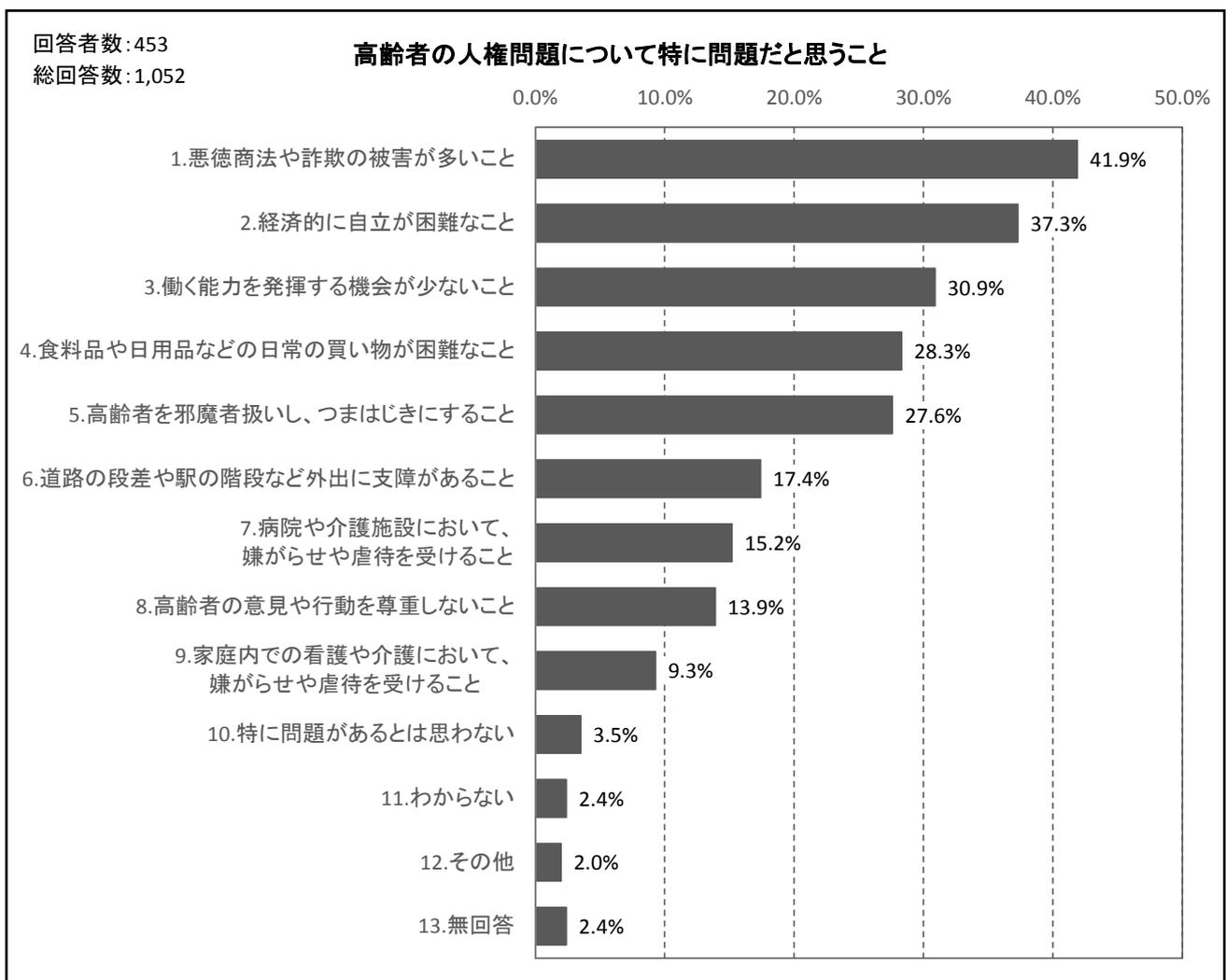
5 高齢者の人権について

5-1 高齢者の人権問題について特に問題だと思うこと

問 16. 高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は3つまで)

【全体】

◆「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」が 41.9%と最も高く、次いで「経済的に自立が困難なこと」が 37.3%、「働く能力を発揮する機会が少ないこと」が 30.9%となっている。



【性別】

- ◆男性は「経済的に自立が困難なこと」、女性は「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」が最も高くなっている。上位3位以内に入った項目は男女で共通しているが、「経済的に自立が困難なこと」では男性の割合が8.8%高く、3項目外では「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」で女性の割合が5.8%高いなど、男女間で差異がみられる。

【年代別】

- ◆20、30、50歳代及び70歳以上では、「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」、60歳代では「経済的に自立が困難なこと」が最も高くなっている。40歳代については「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」、「経済的に自立が困難なこと」が同率で最も高くなっている。60歳代以上で「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」が上位3項目内に入っている。

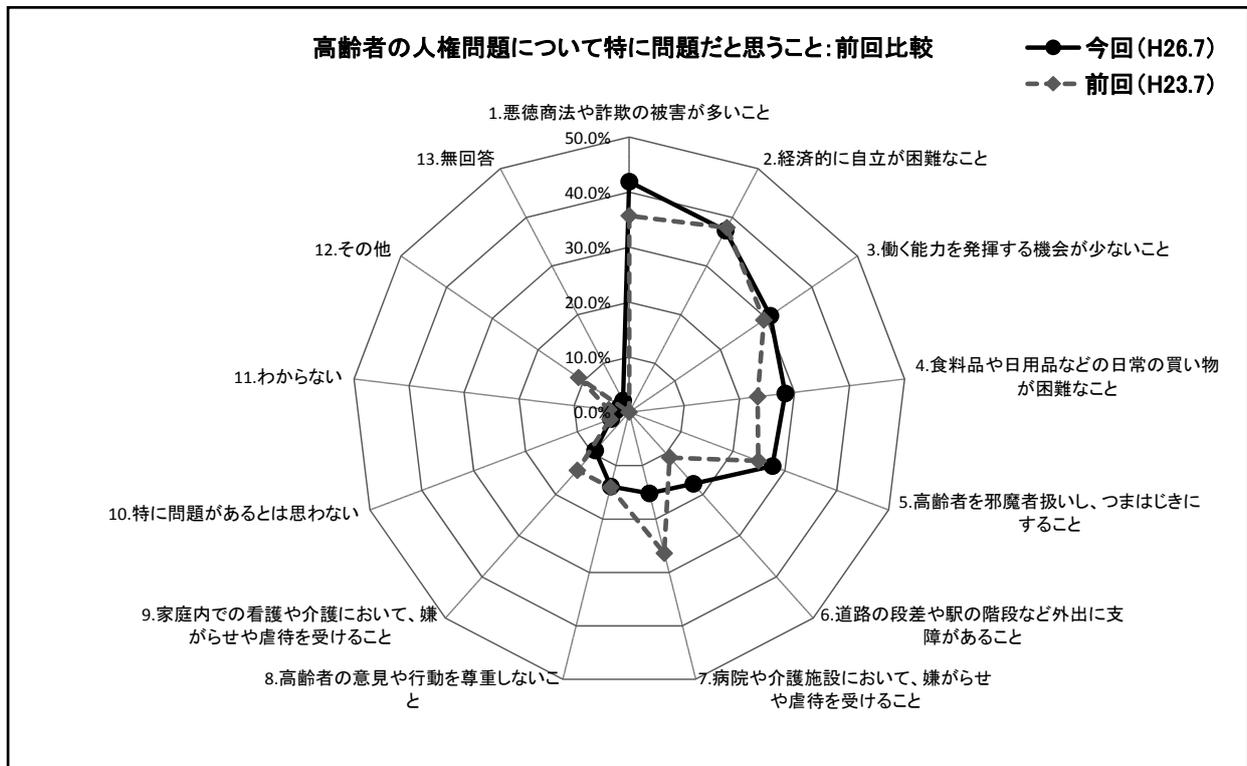
【上段：回答者数、下段：%】

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	-	
		悪徳商法や詐欺の被害が多いこと	経済的に自立が困難なこと	働く能力を発揮する機会が少ないこと	食料品や日用品などの日常の買い物が困難なこと	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること	道路の段差や駅の階段など外出に支障があること	虐待を受けやすいこと	病院や介護施設において、嫌がらせや高齢者の意見や行動を尊重しないこと	家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	190	169	140	128	125	79	69	63	42	16	11	9	11	1052	
	回答率	41.9%	37.3%	30.9%	28.3%	27.6%	17.4%	15.2%	13.9%	9.3%	3.5%	2.4%	2.0%	2.4%	232.1%	
性別	男性 (n=202)	回答数	79	85	61	51	49	35	29	32	17	8	7	4	5	462
		回答率	39.1%	42.1%	30.2%	25.2%	24.3%	17.3%	14.4%	15.8%	8.4%	4.0%	3.5%	2.0%	2.5%	228.8%
	女性 (n=249)	回答数	111	83	77	75	75	44	40	31	25	8	4	5	6	584
		回答率	44.6%	33.3%	30.9%	30.1%	30.1%	17.7%	16.1%	12.4%	10.0%	3.2%	1.6%	2.0%	2.4%	234.4%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	24	18	18	15	14	5	16	1	8	0	0	1	0	120
		回答率	50.0%	37.5%	37.5%	31.3%	29.2%	10.4%	33.3%	2.1%	16.7%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	250.1%
	30歳代 (n=68)	回答数	36	23	16	26	18	16	12	8	5	2	2	1	0	165
		回答率	52.9%	33.8%	23.5%	38.2%	26.5%	23.5%	17.6%	11.8%	7.4%	2.9%	2.9%	1.5%	0.0%	242.5%
	40歳代 (n=56)	回答数	24	24	21	18	10	11	10	3	3	1	1	2	2	130
		回答率	42.9%	42.9%	37.5%	32.1%	17.9%	19.6%	17.9%	5.4%	5.4%	1.8%	1.8%	3.6%	3.6%	232.4%
	50歳代 (n=77)	回答数	39	24	27	22	17	14	8	6	10	2	3	1	1	174
		回答率	50.6%	31.2%	35.1%	28.6%	22.1%	18.2%	10.4%	7.8%	13.0%	2.6%	3.9%	1.3%	1.3%	226.1%
	60歳代 (n=105)	回答数	33	48	36	24	39	15	10	26	7	2	1	0	5	246
		回答率	31.4%	45.7%	34.3%	22.9%	37.1%	14.3%	9.5%	24.8%	6.7%	1.9%	1.0%	0.0%	4.8%	234.4%
70歳以上 (n=98)	回答数	34	31	21	22	27	18	13	19	9	9	4	4	3	214	
	回答率	34.7%	31.6%	21.4%	22.4%	27.6%	18.4%	13.3%	19.4%	9.2%	9.2%	4.1%	4.1%	3.1%	218.5%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆ 前回第2位だった「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」と第1位だった「経済的に自立が困難なこと」が逆転し、第1位となっている。



【前回との差】

- ◆ 増加項目が5項目、減少した項目は7項目となっている。
- 増加項目では、「道路の段差や駅の階段など外出に支障があること」が6.4%、「悪徳商法や詐欺の被害が多いこと」が6.2%増加している。
- 減少項目では、「病院や介護施設において、嫌がらせや虐待を受けること」が11.2%、「その他」が9.1%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.悪徳商法や詐欺の被害が多いこと	41.9%	35.7%	6.2%
2.経済的に自立が困難なこと	37.3%	37.9%	-0.6%
3.働く能力を発揮する機会が少ないこと	30.9%	29.5%	1.4%
4.食料品や日用品などの日常の買い物が困難なこと	28.3%	23.3%	5.0%
5.高齢者を邪魔者扱い、つまはじきにすること	27.6%	24.9%	2.7%
6.道路の段差や駅の階段など外出に支障があること	17.4%	11.0%	6.4%
7.病院や介護施設において、嫌がらせや虐待を受けること	15.2%	26.4%	-11.2%
8.高齢者の意見や行動を尊重しないこと	13.9%	14.1%	-0.2%
9.家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること	9.3%	14.1%	-4.8%
10.特に問題があるとは思わない	3.5%	3.7%	-0.2%
11.わからない	2.4%	3.7%	-1.3%
12.その他	2.0%	11.1%	-9.1%
13.無回答	2.4%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

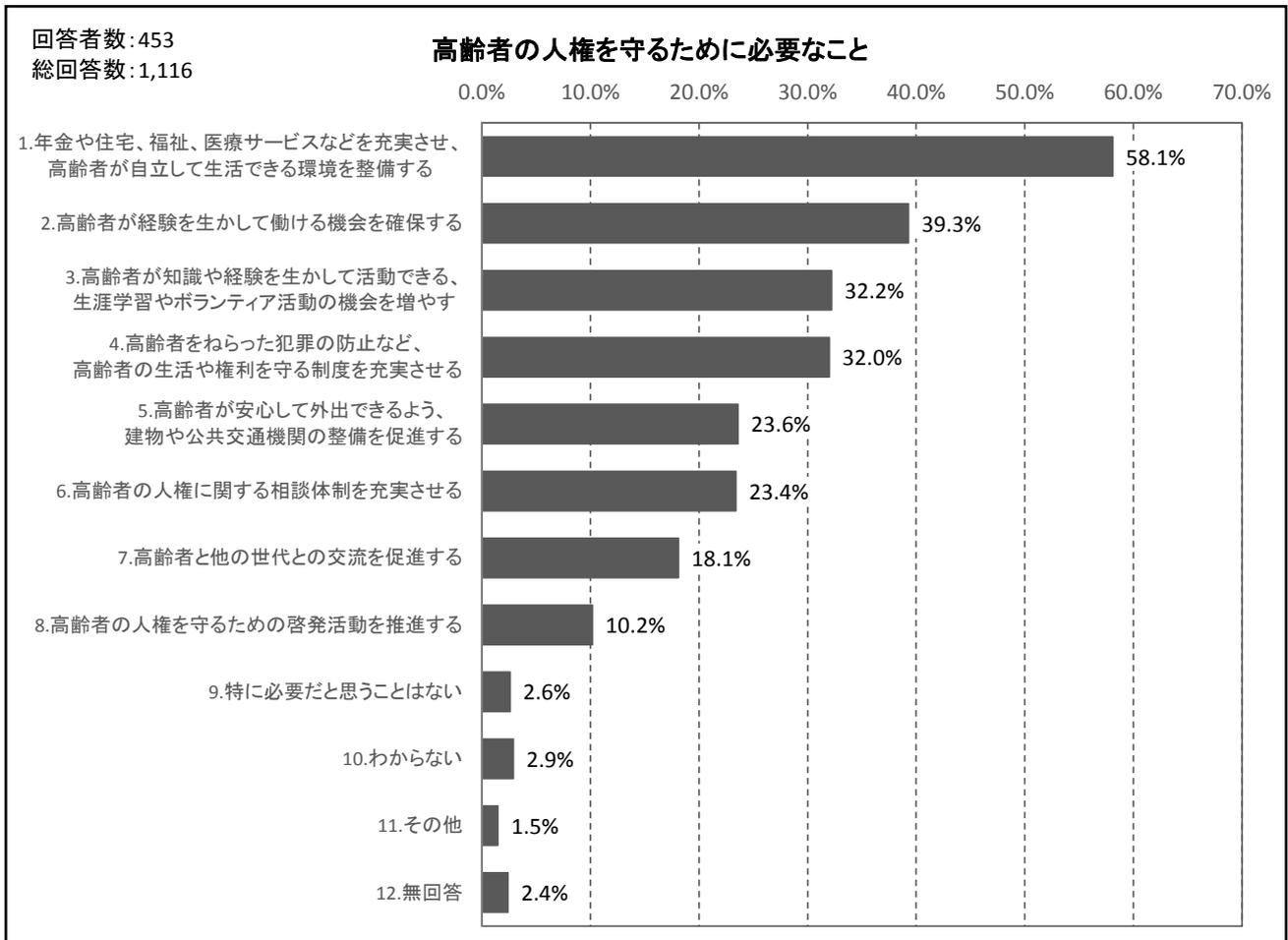
- ・手助けを行う体制が出来てない。(男性：30 歳代)
- ・生かすだけでは虐待と変わらない。(男性：40 歳代)
- ・出来るだけ次世代の人に迷惑をかけないこと。この歳で自分に何が出来るか考えないと。
(男性：70 歳代)
- ・高齢者を敬う気持ちが薄いこと。(女性：50 歳代)
- ・80代になって車に乗れないようになってからが心配。(女性：70 歳代)
- ・交通不便。(女性：70 歳代)

5-2 高齢者の人権を守るために必要なこと

問 17. 高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

- ◆ 「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実させ、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」が 58.1%と最も高く、次いで「高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する」が 39.3%、「高齢者が知識や経験を生かして活動できる、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」が 32.2%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実させ、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」が最上位である点は共通しているが、女性の方が男性より7.9%割合が高い点に若干の男女差がみられる。また「高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる」でも、女性の割合が9.8%高くなっている。

【年代別】

- ◆全ての年代で「年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実させ、高齢者が自立して生活できる環境を整備する」や「高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する」が上位に入っている。70歳以上では「高齢者の人権に関する相談体制を充実させる」の割合が、他の年代より高い。

【上段:回答者数、下段:%】

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	-	
		年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実させ、高齢者が自立して生活できる環境を整備する	高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する	高齢者が知識や経験を生かして活動できる、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす	高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる	高齢者が安心して外出できるように、建物や公共交通機関の整備を促進する	高齢者の人権に関する相談体制を充実させる	高齢者その他の世代との交流を促進する	高齢者の人権を守るための啓発活動を推進する	特に必要だと思わない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	263	178	146	145	107	106	82	46	12	13	7	11	1116	
	回答率	58.1%	39.3%	32.2%	32.0%	23.6%	23.4%	18.1%	10.2%	2.6%	2.9%	1.5%	2.4%	246.3%	
性別	男性 (n=202)	回答数	108	76	69	54	42	54	38	26	7	7	6	4	491
		回答率	53.5%	37.6%	34.2%	26.7%	20.8%	26.7%	18.8%	12.9%	3.5%	3.5%	3.0%	2.0%	243.2%
	女性 (n=249)	回答数	153	100	77	91	64	51	44	20	5	6	1	7	619
		回答率	61.4%	40.2%	30.9%	36.5%	25.7%	20.5%	17.7%	8.0%	2.0%	2.4%	0.4%	2.8%	248.5%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	27	18	17	25	12	7	10	3	0	0	2	0	121
		回答率	56.3%	37.5%	35.4%	52.1%	25.0%	14.6%	20.8%	6.3%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	252.2%
	30歳代 (n=68)	回答数	37	29	25	25	22	7	14	6	2	1	1	1	170
		回答率	54.4%	42.6%	36.8%	36.8%	32.4%	10.3%	20.6%	8.8%	2.9%	1.5%	1.5%	1.5%	250.1%
	40歳代 (n=56)	回答数	34	28	15	22	9	10	10	1	1	3	1	2	136
		回答率	60.7%	50.0%	26.8%	39.3%	16.1%	17.9%	17.9%	1.8%	1.8%	5.4%	1.8%	3.6%	243.1%
	50歳代 (n=77)	回答数	42	31	30	22	17	20	20	6	1	3	1	1	194
		回答率	54.5%	40.3%	39.0%	28.6%	22.1%	26.0%	26.0%	7.8%	1.3%	3.9%	1.3%	1.3%	252.1%
	60歳代 (n=105)	回答数	67	44	40	25	23	26	14	20	1	0	0	5	265
		回答率	63.8%	41.9%	38.1%	23.8%	21.9%	24.8%	13.3%	19.0%	1.0%	0.0%	0.0%	4.8%	252.4%
70歳以上 (n=98)	回答数	55	27	19	26	23	36	14	10	7	6	2	2	227	
	回答率	56.1%	27.6%	19.4%	26.5%	23.5%	36.7%	14.3%	10.2%	7.1%	6.1%	2.0%	2.0%	231.5%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・高齢者が若者に対して謙虚になり、若者も高齢者を敬う。（男性：20 歳代）
- ・福祉の現場で働く人への待遇を良くする。（男性：30 歳代）
- ・市の考えと市民の考えの差がありすぎる。市としては無理な話として終わってしまう。
（男性：50 歳代）
- ・公共介護施設の充実。（男性：70 歳代）
- ・高齢であることにあぐらをかかず、自分の身は自分で対処する覚悟が基本。例えば、あれだけ情報があるのだから、おれおれ詐欺など少しは自分の責任で対応しないと。
（男性：70 歳代）
- ・本人が望めば尊厳死を認める。（男性：70 歳代）
- ・介護職の給与アップ。（女性：20 歳代）

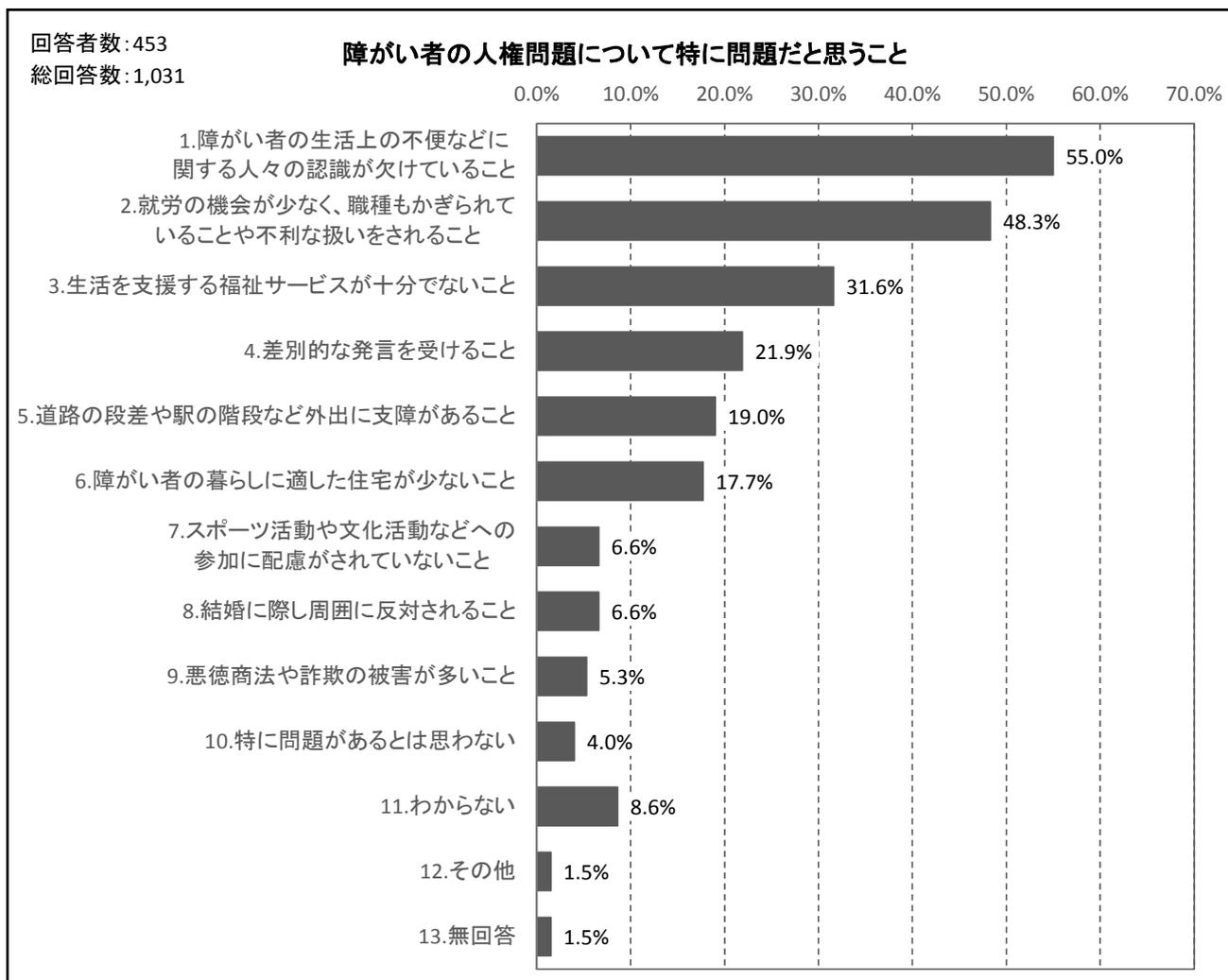
6 障がい者の人権について

6-1 障がい者の人権問題について特に問題だと思うこと

問 18. 障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は3つまで)

【全体】

- ◆「障がい者の生活上の不便などに関する人々の認識が欠けていること」が 55.0%と最も高く、次いで「就労の機会が少なく、職種もかぎられていることや不利な扱いをされること」が 48.3%、「生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」が 31.6%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「障がい者の生活上の不便などに関する人々の認識が欠けていること」が最も高く、次いで「就労の機会が少なく、職種もかぎられていることや不利な扱いをされること」となっており、割合に大きな差はない。男性の第3位である「生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」では男性の割合が12.0%高く、女性の第3位「差別的な発言を受けること」では、女性の割合が12.0%高くなっており、男女間に差がみられる。

【年代別】

- ◆40歳代を除き「障がい者の生活上の不便などに関する人々の認識が欠けていること」が最も高く、40歳代では「就労の機会が少なく、職種もかぎられていることや不利な扱いをされること」が最も高くなっている。20～40歳代の若い世代では「差別的な発言を受けること」の選択割合が高い傾向にある。

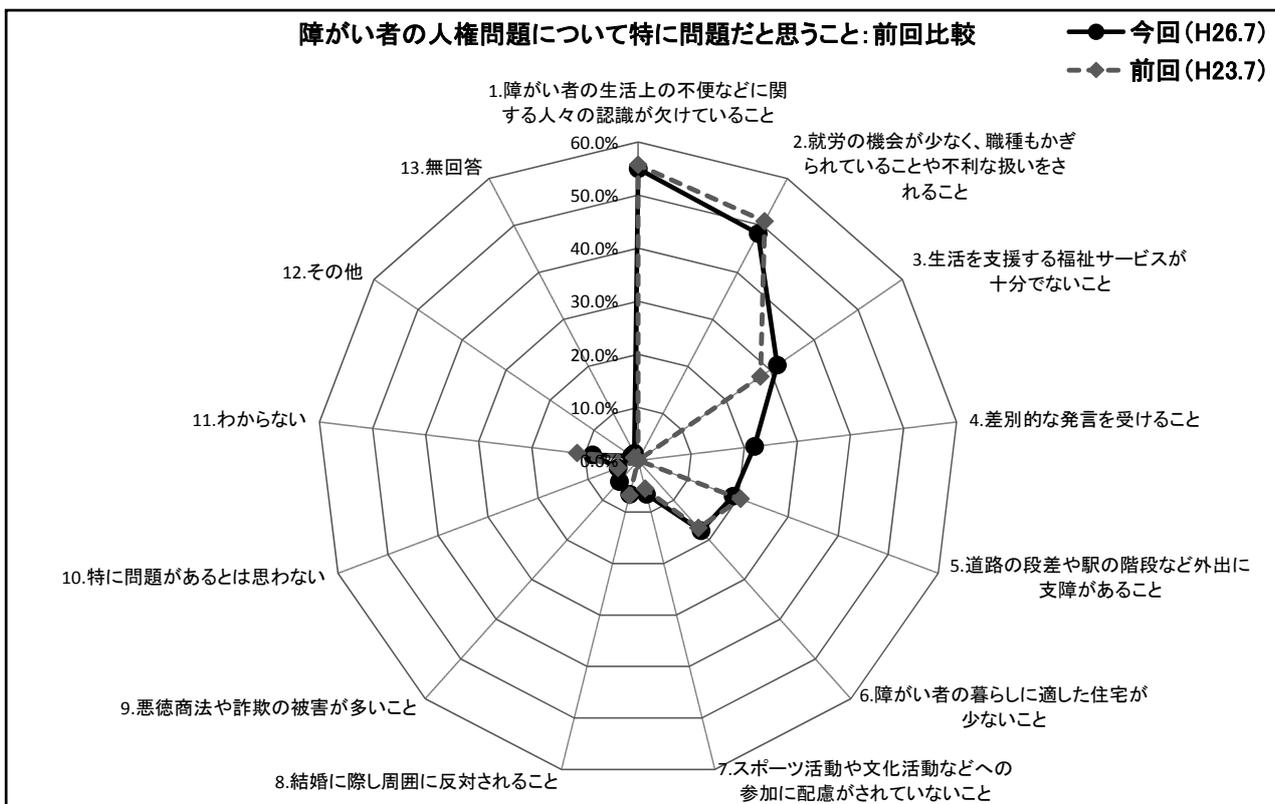
【上段:回答者数、下段:%】

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	-	
		障がい者の生活上の不便などに関する人々の認識が欠けていること	就労の機会が少なく、職種もかぎられていることや不利な扱いをされること	生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	差別的な発言を受けること	道路の段差や駅の階段など外出に支障があること	障がい者の暮らしに適した住宅が少ないこと	スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がされていないこと	結婚に際し周囲に反対されること	悪徳商法や詐欺の被害が多いこと	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	249	219	143	99	86	80	30	30	24	18	39	7	7	1031	
	回答率	55.0%	48.3%	31.6%	21.9%	19.0%	17.7%	6.6%	6.6%	5.3%	4.0%	8.6%	1.5%	1.5%	227.6%	
性別	男性 (n=202)	回答数	108	93	77	31	35	29	15	13	13	10	19	6	3	452
		回答率	53.5%	46.0%	38.1%	15.3%	17.3%	14.4%	7.4%	6.4%	6.4%	5.0%	9.4%	3.0%	1.5%	223.7%
	女性 (n=249)	回答数	139	124	65	68	50	51	15	17	11	8	20	1	4	573
		回答率	55.8%	49.8%	26.1%	27.3%	20.1%	20.5%	6.0%	6.8%	4.4%	3.2%	8.0%	0.4%	1.6%	230.0%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	28	20	15	17	9	7	2	4	2	0	0	1	0	105
		回答率	58.3%	41.7%	31.3%	35.4%	18.8%	14.6%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	218.9%
	30歳代 (n=68)	回答数	39	37	22	22	13	12	2	9	3	3	4	2	0	168
		回答率	57.4%	54.4%	32.4%	32.4%	19.1%	17.6%	2.9%	13.2%	4.4%	4.4%	5.9%	2.9%	0.0%	247.0%
	40歳代 (n=56)	回答数	30	32	13	15	9	8	3	3	3	1	5	1	1	124
		回答率	53.6%	57.1%	23.2%	26.8%	16.1%	14.3%	5.4%	5.4%	5.4%	1.8%	8.9%	1.8%	1.8%	221.6%
	50歳代 (n=77)	回答数	46	41	24	13	13	13	6	5	2	0	11	1	0	175
		回答率	59.7%	53.2%	31.2%	16.9%	16.9%	16.9%	7.8%	6.5%	2.6%	0.0%	14.3%	1.3%	0.0%	227.3%
	60歳代 (n=105)	回答数	66	60	36	21	23	20	7	4	1	3	9	0	2	252
		回答率	62.9%	57.1%	34.3%	20.0%	21.9%	19.0%	6.7%	3.8%	1.0%	2.9%	8.6%	0.0%	1.9%	240.1%
70歳以上 (n=98)	回答数	39	28	33	11	18	20	10	5	13	11	10	2	4	204	
	回答率	39.8%	28.6%	33.7%	11.2%	18.4%	20.4%	10.2%	5.1%	13.3%	11.2%	10.2%	2.0%	4.1%	208.2%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

◆項目別に多少の変化があるが、全体的に大きな変化はない。



【前回との差】

◆増加した項目が4項目、減少した項目が5項目となっている。

増加項目では、「生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」が3.8%、「スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がされていないこと」が1.1%増加している。

減少項目では、「わからない」が2.9%、「就労の機会が少なく、職種もかぎられていることや不利な扱いをされること」が2.6%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.障がい者の生活上の不便などに関する人々の認識が欠けていること	55.0%	55.7%	-0.7%
2.就労の機会が少なく、職種もかぎられていることや不利な扱いをされること	48.3%	50.9%	-2.6%
3.生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	31.6%	27.8%	3.8%
4.差別的な発言を受けること	21.9%	-	-
5.道路の段差や駅の階段など外出に支障があること	19.0%	20.5%	-1.5%
6.障がい者の暮らしに適した住宅が少ないこと	17.7%	17.0%	0.7%
7.スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がされていないこと	6.6%	5.5%	1.1%
8.結婚に際し周囲に反対されること	6.6%	6.8%	-0.2%
9.悪徳商法や詐欺の被害が多いこと	5.3%	-	-
10.特に問題があるとは思わない	4.0%	4.0%	0.0%
11.わからない	8.6%	11.5%	-2.9%
12.その他	1.5%	0.9%	0.6%
13.無回答	1.5%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

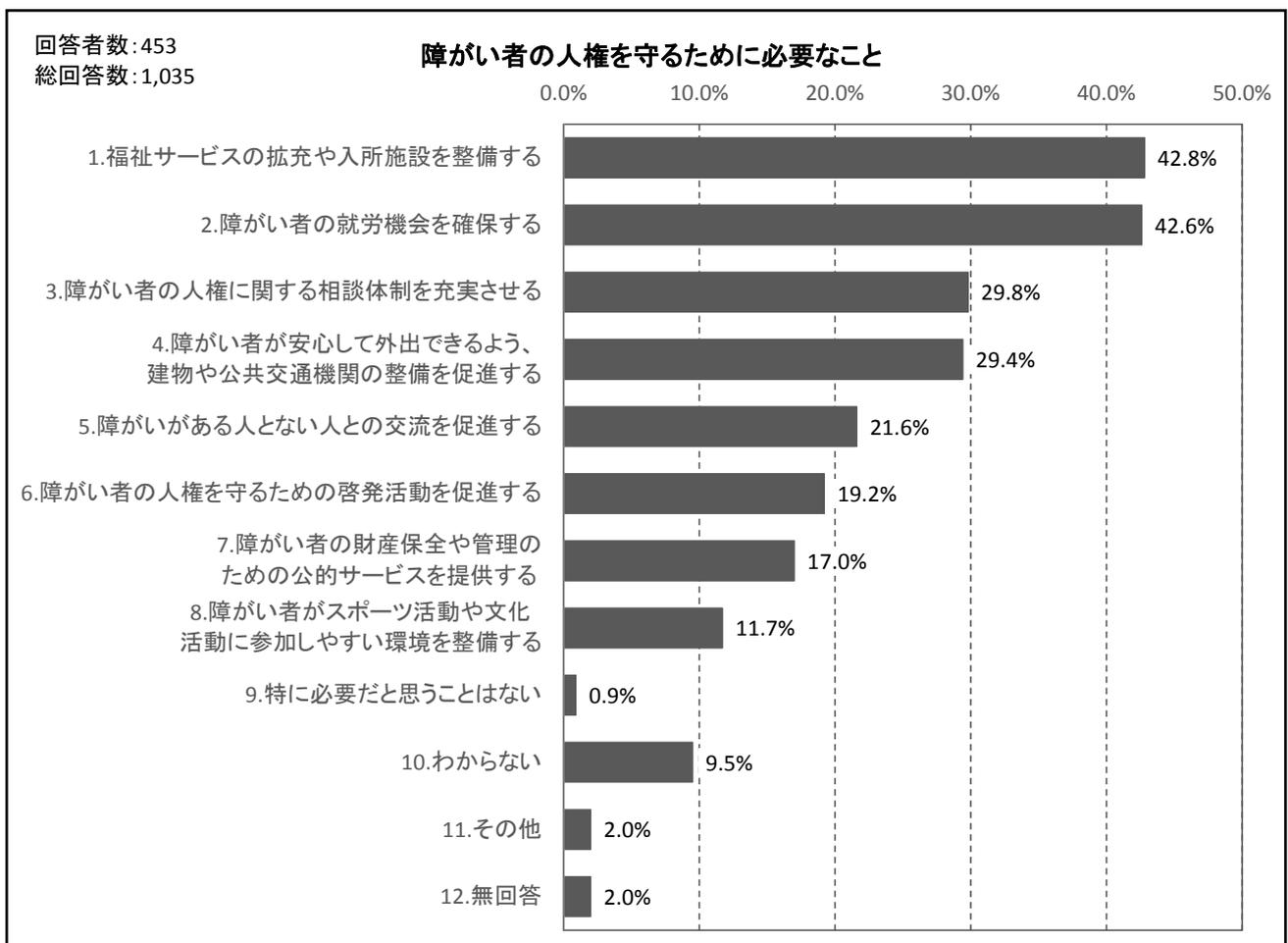
- ・支援しすぎ。保護されなくても生きていけるよう頑張った人が、生きていけるのだとう。
(男性：20 歳代)
- ・障がいをかかえた人たちへの接し方がわからない。(男性：30 歳代)
- ・車等に付ける障がい者マークを健常者が付けていること。駐車場の障がい者スペースに一般の者が停めていること。(男性：40 歳代)
- ・市に任せ過ぎ。行政とは市民ボランティアか。(男性：50 歳代)
- ・自立が出来ない人が多い。物的・人的環境、金銭的にも良くない人が多い。(男性：70 歳代)
- ・自立支援法が充実していない。(男性：70 歳代)
- ・障がい者を健常者より劣っているという偏見で世間がみていること。障がいとは何なのか、何が違うのか理解が乏しいこと。(女性：30 歳代)

6-2 障がい者の人権を守るために必要なこと

問 19. 障がい者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

【全体】

◆「福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」が42.8%と最も高く、次いで「障がい者の就労機会を確保する」が42.6%、「障がい者の人権に関する相談体制を充実させる」が29.8%となっている。



【性別】

◆男女ともに「福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」、次いで「障がい者の就労機会を確保する」が最も高くなっている。

男女差が大きいものとしては、「障がいがある人とない人との交流を促進する」の割合が7.1%女性の方が多く、「障がい者の人権を守るための啓発活動を促進する」の割合は男性の方が5.8%多い。

【年代別】

◆全ての年代で「福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」、「障がい者の就労機会を確保する」が上位3項目内に入っている。

〔上段:回答者数、下段:%〕

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	-	
		福祉サービスの拡充や入所施設を整備する	障がい者の就労機会を確保する	障がい者の人権に関する相談体制を充実させる	障がい者が安心して外出できるような建物や公共交通機関の整備を促進する	障がいがある人とない人との交流を促進する	障がい者の人権を守るための啓発活動を促進する	障がい者の財産保全や管理のための公的サービスを提供する	障がい者がしやすい環境を整備する	障がい者がスポーツ活動や文化活動に参加しやすい環境を整備する	特に必要だと思わない	わからない	その他	無回答	総回答
全体 (n=453)	回答数	194	193	135	133	98	87	77	53	4	43	9	9	1035	
	回答率	42.8%	42.6%	29.8%	29.4%	21.6%	19.2%	17.0%	11.7%	0.9%	9.5%	2.0%	2.0%	228.5%	
性別	男性 (n=202)	回答数	82	81	65	55	36	45	39	28	2	20	5	4	462
		回答率	40.6%	40.1%	32.2%	27.2%	17.8%	22.3%	19.3%	13.9%	1.0%	9.9%	2.5%	2.0%	228.8%
	女性 (n=249)	回答数	111	110	69	77	62	41	38	25	2	23	4	5	567
		回答率	44.6%	44.2%	27.7%	30.9%	24.9%	16.5%	15.3%	10.0%	0.8%	9.2%	1.6%	2.0%	227.7%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	23	19	9	12	16	5	7	4	0	3	2	0	100
		回答率	47.9%	39.6%	18.8%	25.0%	33.3%	10.4%	14.6%	8.3%	0.0%	6.3%	4.2%	0.0%	208.4%
	30歳代 (n=68)	回答数	25	34	15	24	19	13	11	8	1	5	2	1	158
		回答率	36.8%	50.0%	22.1%	35.3%	27.9%	19.1%	16.2%	11.8%	1.5%	7.4%	2.9%	1.5%	232.5%
	40歳代 (n=56)	回答数	19	33	14	11	20	7	8	4	0	5	3	1	125
		回答率	33.9%	58.9%	25.0%	19.6%	35.7%	12.5%	14.3%	7.1%	0.0%	8.9%	5.4%	1.8%	223.1%
	50歳代 (n=77)	回答数	29	34	19	22	19	15	16	10	0	11	2	0	177
		回答率	37.7%	44.2%	24.7%	28.6%	24.7%	19.5%	20.8%	13.0%	0.0%	14.3%	2.6%	0.0%	230.1%
	60歳代 (n=105)	回答数	50	50	34	42	9	30	22	14	1	5	0	1	258
		回答率	47.6%	47.6%	32.4%	40.0%	8.6%	28.6%	21.0%	13.3%	1.0%	4.8%	0.0%	1.0%	245.9%
70歳以上 (n=98)	回答数	48	22	43	21	15	17	13	13	2	14	0	6	214	
	回答率	49.0%	22.4%	43.9%	21.4%	15.3%	17.3%	13.3%	13.3%	2.0%	14.3%	0.0%	6.1%	218.3%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・障がい者に関する知識を、一般の人がほとんど持っていないこと。（男性：30歳代）
- ・色々な施策の運用に手抜きがあるか、バランスを超えた要求があるか。（男性：70歳以上）
- ・障がいは人それぞれでパターンが多く、それに合わせた生活を営めるよう相談機関からの情報がもっと伝わると良い。（女性：20歳代）
- ・国からの補助などの有益な内容が知らされることが無いため、そのようなことを明確に伝える資料や案内所を作るべきである。（女性：30歳代）

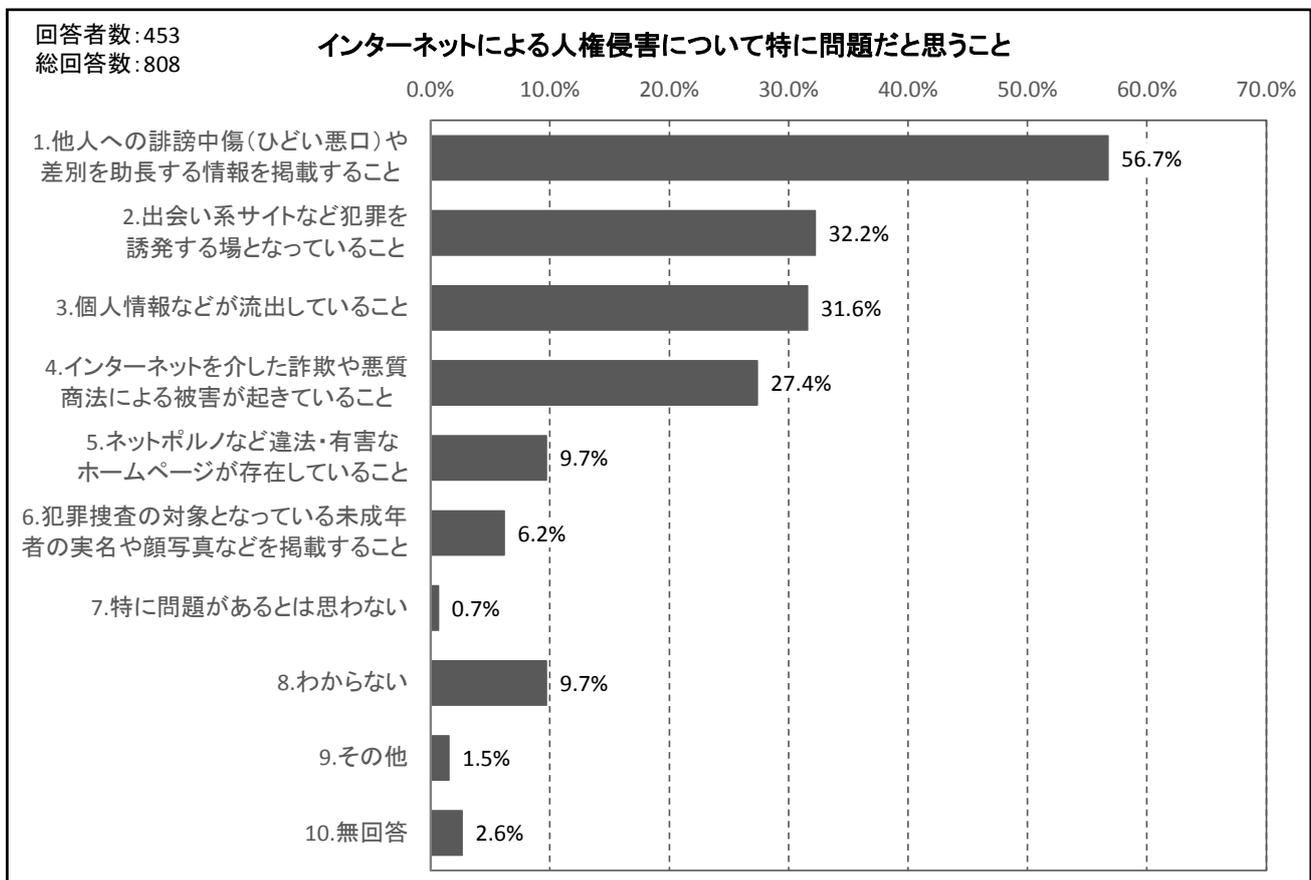
7 インターネットによる人権侵害について

7-1 インターネットによる人権侵害について特に問題だと思うこと

問 20. インターネットによる人権侵害について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆「他人への誹謗中傷(ひどい悪口)や差別を助長する情報を掲載すること」が56.7%と最も高く、過半数の人が選択している。次いで「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が32.2%、「個人情報などが流出していること」が31.6%となっている。



【性別】

◆男女ともに「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）や差別を助長する情報を掲載すること」が最も高く、特に女性では6割を超える。次いで男性は「インターネットを介した詐欺や悪質商法による被害が起きていること」、女性は「個人情報などが流出していること」となっている。

【年代別】

◆全ての年代で「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）や差別を助長する情報を掲載すること」が最も高い。「個人情報などが流出していること」、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」、「インターネットを介した詐欺や悪質商法による被害が起きていること」についても、順位にばらつきはあるものの、全ての年代で高い割合となっており、特に「個人情報などが流出していること」については、20～50歳代の比較的若い世代で選択割合が高くなっている。

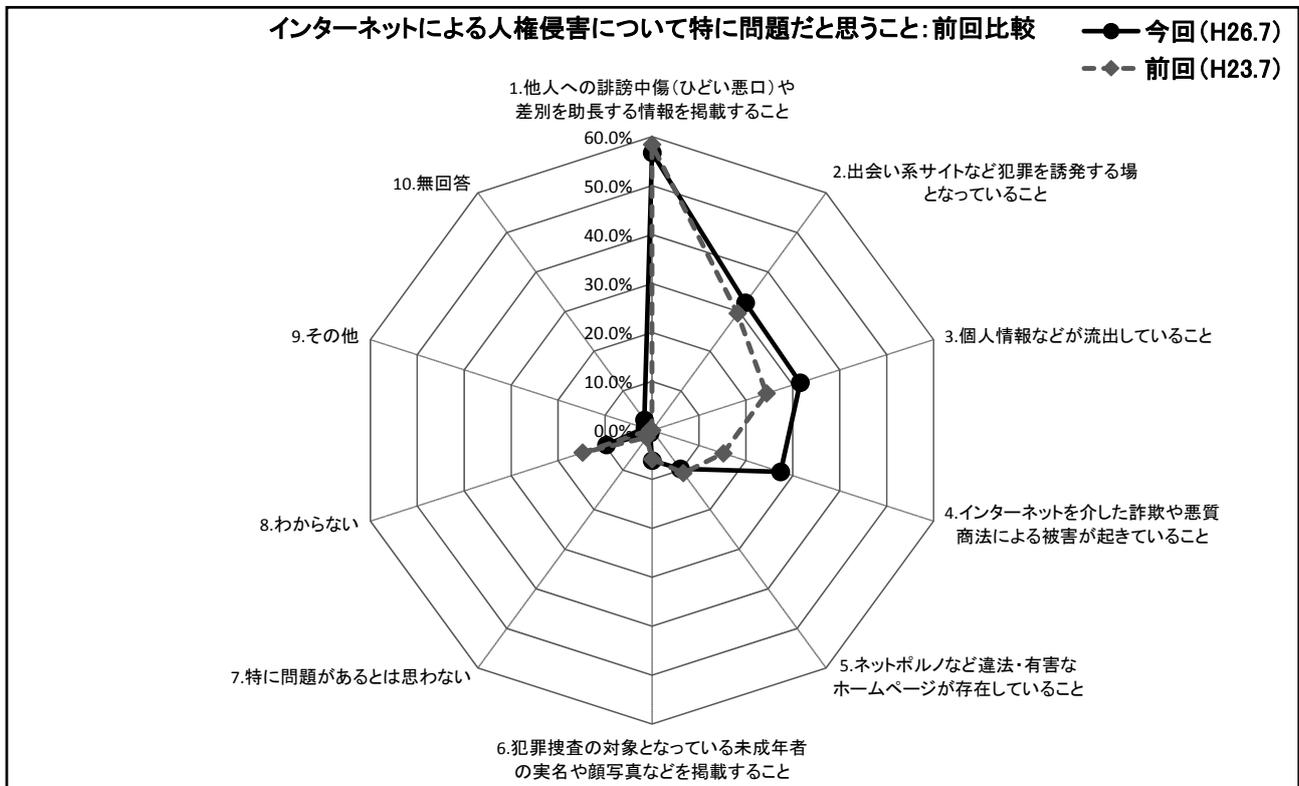
[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	
		差別を助長する情報（ひどい悪口）や他人への誹謗中傷を掲載すること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	個人情報などが流出していること	インターネットを介した詐欺や悪質商法による被害が起きていること	ネットページが存在していること	ネットポルノなど違法・有害なコンテンツの存在	犯罪捜査の対象となっている未成年者の写真などを掲載すること	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答	総回答
全体 (n=453)	回答数	257	146	143	124	44	28	3	44	7	12	808	
	回答率	56.7%	32.2%	31.6%	27.4%	9.7%	6.2%	0.7%	9.7%	1.5%	2.6%	178.4%	
性別	男性 (n=202)	回答数	105	61	56	63	18	12	3	22	4	4	348
		回答率	52.0%	30.2%	27.7%	31.2%	8.9%	5.9%	1.5%	10.9%	2.0%	2.0%	172.3%
	女性 (n=249)	回答数	150	85	87	61	24	16	0	22	3	8	456
		回答率	60.2%	34.1%	34.9%	24.5%	9.6%	6.4%	0.0%	8.8%	1.2%	3.2%	183.1%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	32	11	21	11	2	1	0	2	2	0	82
		回答率	66.7%	22.9%	43.8%	22.9%	4.2%	2.1%	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	171.0%
	30歳代 (n=68)	回答数	40	20	26	23	7	8	1	4	0	0	129
		回答率	58.8%	29.4%	38.2%	33.8%	10.3%	11.8%	1.5%	5.9%	0.0%	0.0%	189.7%
	40歳代 (n=56)	回答数	38	15	20	15	5	3	0	2	2	1	101
		回答率	67.9%	26.8%	35.7%	26.8%	8.9%	5.4%	0.0%	3.6%	3.6%	1.8%	180.5%
	50歳代 (n=77)	回答数	51	25	33	14	10	0	0	6	1	0	140
		回答率	66.2%	32.5%	42.9%	18.2%	13.0%	0.0%	0.0%	7.8%	1.3%	0.0%	181.9%
60歳代 (n=105)	回答数	60	45	23	31	14	8	1	9	0	3	194	
	回答率	57.1%	42.9%	21.9%	29.5%	13.3%	7.6%	1.0%	8.6%	0.0%	2.9%	184.8%	
70歳以上 (n=98)	回答数	35	30	20	30	5	8	1	21	2	8	160	
	回答率	35.7%	30.6%	20.4%	30.6%	5.1%	8.2%	1.0%	21.4%	2.0%	8.2%	163.3%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆「インターネットを介した詐欺や悪質商法による被害が起きていること」、「個人情報などが流出していること」で増加が目立つ。



【前回との差】

- ◆増加した項目が5項目、減少した項目が4項目となっている。
- 増加項目では、「インターネットを介した詐欺や悪質商法による被害が起きていること」が12.2%、「個人情報などが流出していること」が7.2%増加している。
- 減少項目では、「わからない」が5.1%、「他人への誹謗中傷(ひどい悪口)や差別を助長する情報を掲載すること」が1.7%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1. 他人への誹謗中傷(ひどい悪口)や差別を助長する情報を掲載すること	56.7%	58.4%	-1.7%
2. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	32.2%	29.5%	2.7%
3. 個人情報などが流出していること	31.6%	24.4%	7.2%
4. インターネットを介した詐欺や悪質商法による被害が起きていること	27.4%	15.2%	12.2%
5. ネットポルノなど違法・有害なホームページが存在していること	9.7%	10.8%	-1.1%
6. 犯罪捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真などを掲載すること	6.2%	5.9%	0.3%
7. 特に問題があるとは思わない	0.7%	1.8%	-1.1%
8. わからない	9.7%	14.8%	-5.1%
9. その他	1.5%	0.4%	1.1%
10. 無回答	2.6%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

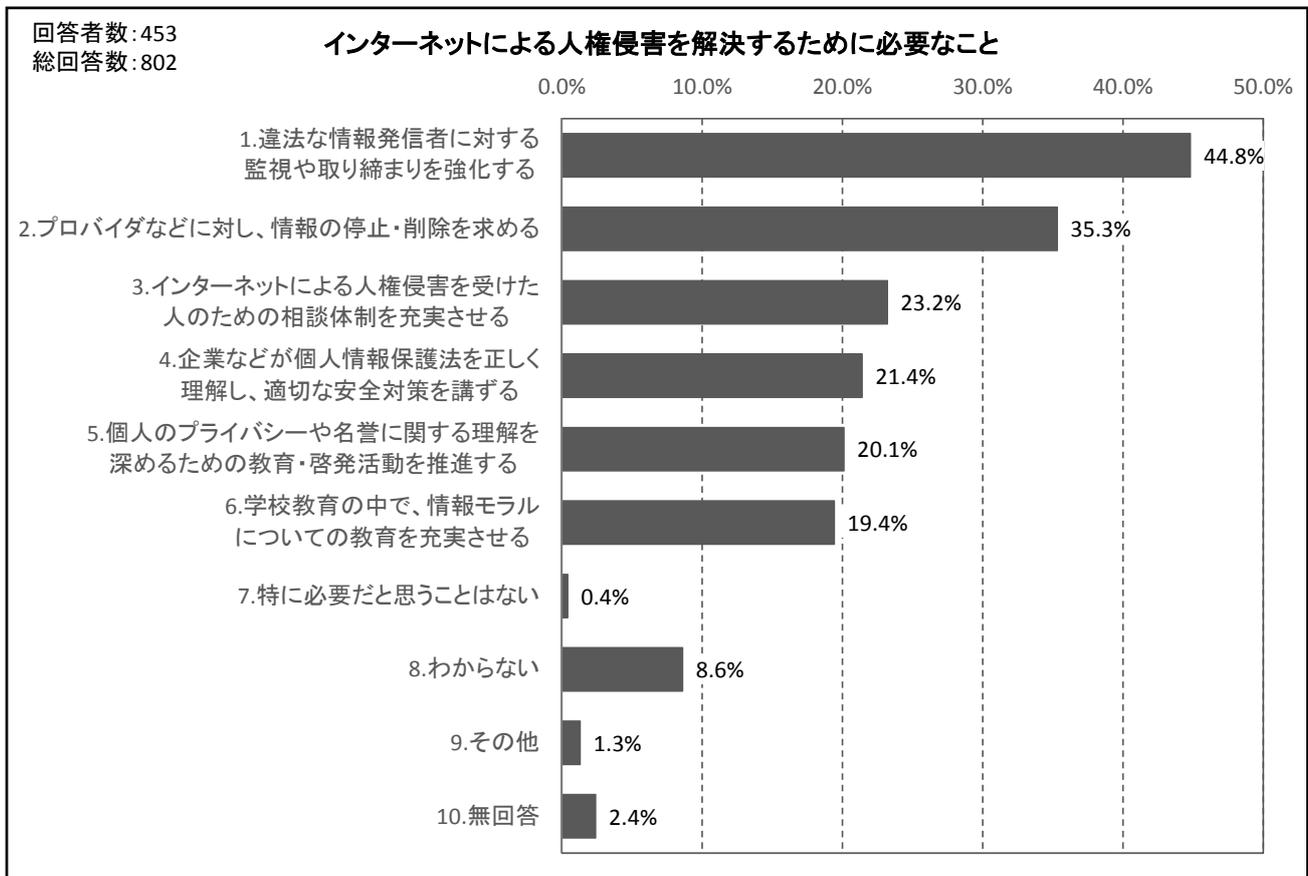
- ・ネットの仕組みをもっと知った方がいい。ネットに人権なんて無いしネットを使う人が悪い。
(男性：20 歳代)
- ・インターネットを理解せずに使用していること。(男性：40 歳代)
- ・顔が見えないことを良いことに好き放題していること (男性：50 歳代)。
- ・インターネットの技術的発達に規制が追い付かない。後追いが問題。やって良いこと、悪いことの判断基準が間違っているのではないか。(男性：70 歳代)
- ・現実逃避になってしまうこと。(女性：20 歳代)
- ・過剰な情報。(女性：40 歳代)

7-2 インターネットによる人権侵害を解決するために必要なこと

問 21. インターネットによる人権侵害を解決するために、どのようなことが必要だと思いますか。 (○は2つまで)

【全体】

- ◆ 「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」が44.8%と最も高く、次いで「プロバイダなどに対し、情報の停止・削除を求める」が35.3%、「インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実させる」が23.2%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」が最も高く、次いで「プロバイダなどに対し、情報の停止・削除を求める」となっている。

【年代別】

- ◆50歳代を除く全ての年代で「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」が最も高く、50歳代では「プロバイダなどに対し、情報の停止・削除を求める」となっている。70歳以上では「わからない」の割合も高く、第3位となっている。

[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	
		違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する	プロバイダなどに対し、情報の停止・削除を求める	インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実させる	企業などが個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策を講ずる	個人のプライバシーや名誉に関する理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	学校の教育の中で、情報モラルについての教育を充実させる	特に必要だと思わない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	203	160	105	97	91	88	2	39	6	11	802	
	回答率	44.8%	35.3%	23.2%	21.4%	20.1%	19.4%	0.4%	8.6%	1.3%	2.4%	176.9%	
性別	男性 (n=202)	回答数	93	75	42	42	42	33	1	17	6	5	356
		回答率	46.0%	37.1%	20.8%	20.8%	20.8%	16.3%	0.5%	8.4%	3.0%	2.5%	176.2%
	女性 (n=249)	回答数	108	84	62	55	49	55	1	22	0	6	442
		回答率	43.4%	33.7%	24.9%	22.1%	19.7%	22.1%	0.4%	8.8%	0.0%	2.4%	177.5%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	23	18	15	11	9	7	0	2	1	0	86
		回答率	47.9%	37.5%	31.3%	22.9%	18.8%	14.6%	0.0%	4.2%	2.1%	0.0%	179.3%
	30歳代 (n=68)	回答数	33	26	9	21	15	16	1	4	1	0	126
		回答率	48.5%	38.2%	13.2%	30.9%	22.1%	23.5%	1.5%	5.9%	1.5%	0.0%	185.3%
	40歳代 (n=56)	回答数	28	19	7	12	12	16	0	2	2	1	99
		回答率	50.0%	33.9%	12.5%	21.4%	21.4%	28.6%	0.0%	3.6%	3.6%	1.8%	176.8%
	50歳代 (n=77)	回答数	34	36	25	18	11	12	0	5	1	0	142
		回答率	44.2%	46.8%	32.5%	23.4%	14.3%	15.6%	0.0%	6.5%	1.3%	0.0%	184.6%
	60歳代 (n=105)	回答数	54	45	22	23	24	18	0	4	0	2	192
		回答率	51.4%	42.9%	21.0%	21.9%	22.9%	17.1%	0.0%	3.8%	0.0%	1.9%	182.9%
70歳以上 (n=98)	回答数	30	16	26	12	20	19	1	22	1	8	155	
	回答率	30.6%	16.3%	26.5%	12.2%	20.4%	19.4%	1.0%	22.4%	1.0%	8.2%	158.0%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・侵害されたくない人はネットを使わない。（男性：20 歳代）
- ・親がしっかり子どもに対し、モラルについて教育する。（男性：30 歳代）
- ・疑うことを覚える。インターネットを信じすぎない。（男性：40 歳代）
- ・学校などでインターネット教育を充実させる（リスクアセスメント）。（男性：70 歳代）
- ・インターネットを扱う人の道德基準。（男性：70 歳代）

8 同和問題について

8-1 同和問題についての考え

問 22. 同和問題について、あなたはどう考えますか。(○は1つだけ)

【全体】

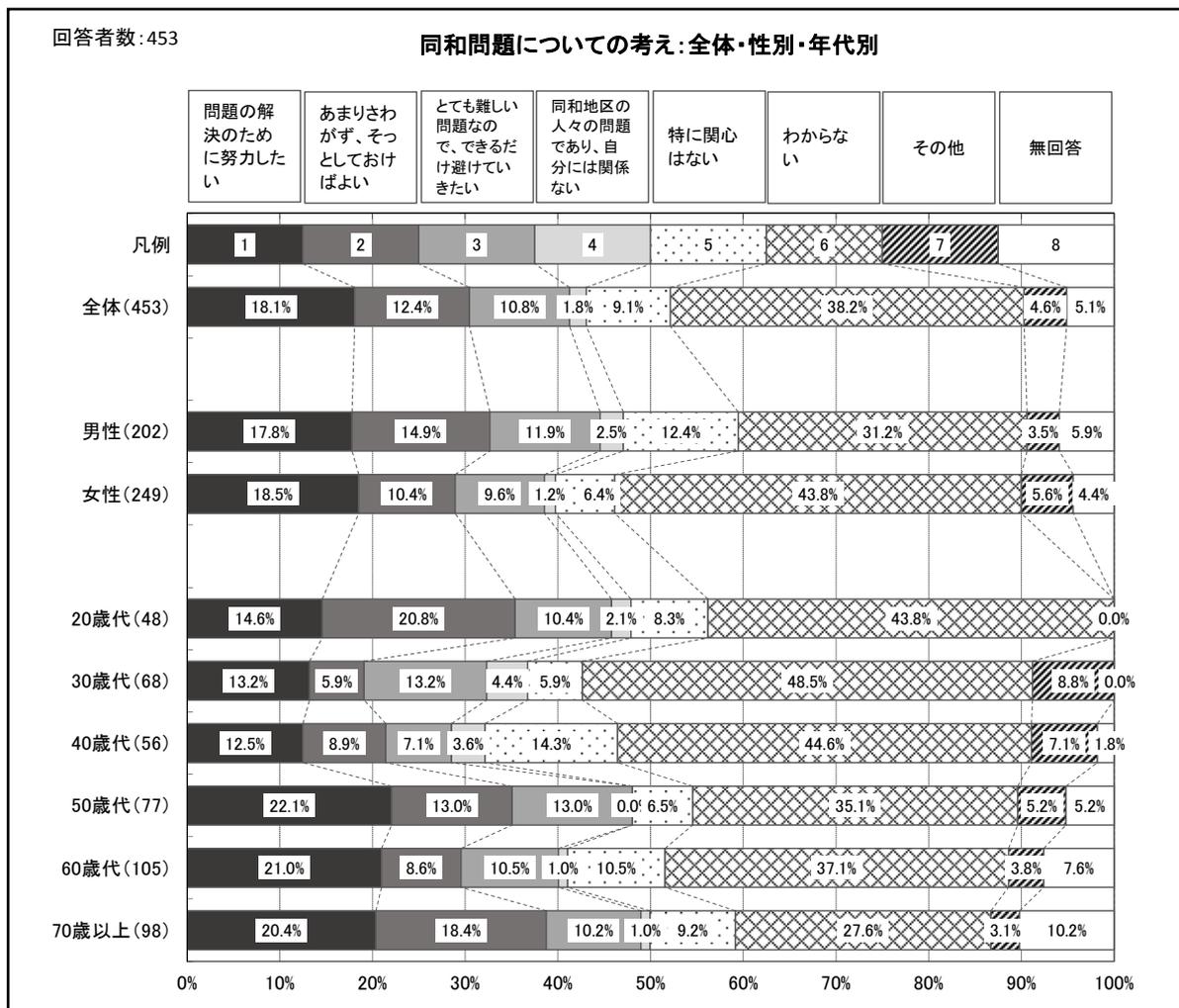
- ◆「わからない」が38.2%と最も高く、次いで「問題の解決のために努力したい」が18.1%、「あまりさわがず、そっとしておけばよい」が12.4%となっている。

【性別】

- ◆男女ともに「わからない」が最も高く、次いで「問題の解決のために努力したい」となっている。
「特に興味は無い」では、男性の割合が6.0%高く、「わからない」では、女性の割合が12.6%高い。

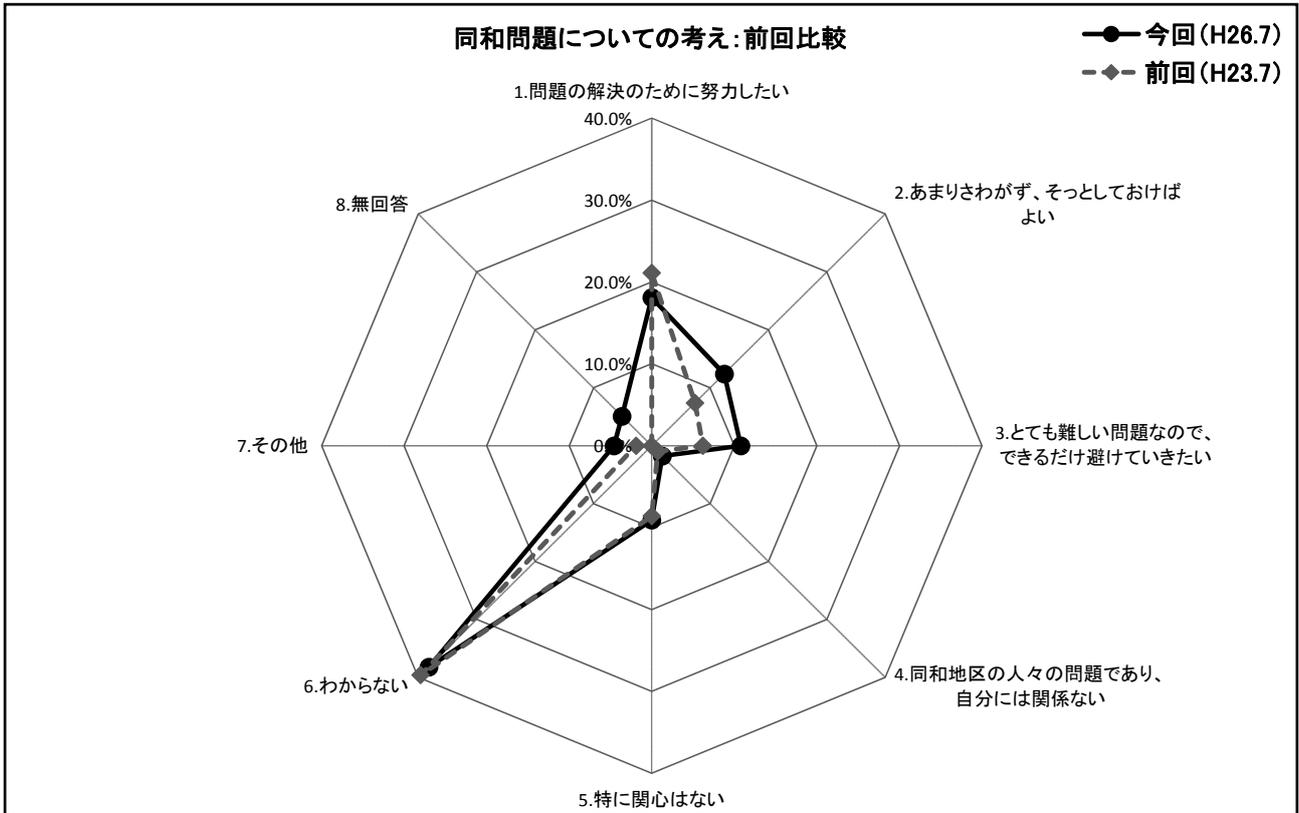
【年代別】

- ◆全ての年代で「わからない」が最も高く、特に20～40歳代では4割を超える。50歳以上では「問題の解決のために努力したい」の割合が20～40歳代より高くなっている。



【前回との比較】

◆項目別に多少の変化があるが、全体的に大きな変化はない。



【前回との差】

◆増加した項目が5項目、減少した項目が2項目となっている。

増加項目では、「あまりさわがず、そっとしておけばよい」が5.0%、「とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい」が4.6%増加している。

減少項目では、「問題の解決のために努力したい」が3.0%、「わからない」が1.4%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.問題の解決のために努力したい	18.1%	21.1%	-3.0%
2.あまりさわがず、そっとしておけばよい	12.4%	7.4%	5.0%
3.とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい	10.8%	6.2%	4.6%
4.同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない	1.8%	1.0%	0.8%
5.特に関心はない	9.1%	8.6%	0.5%
6.わからない	38.2%	39.6%	-1.4%
7.その他	4.6%	1.9%	2.7%
8.無回答	5.1%	-	-

【その他の回答（主なもの）】※意見・感想を含む。

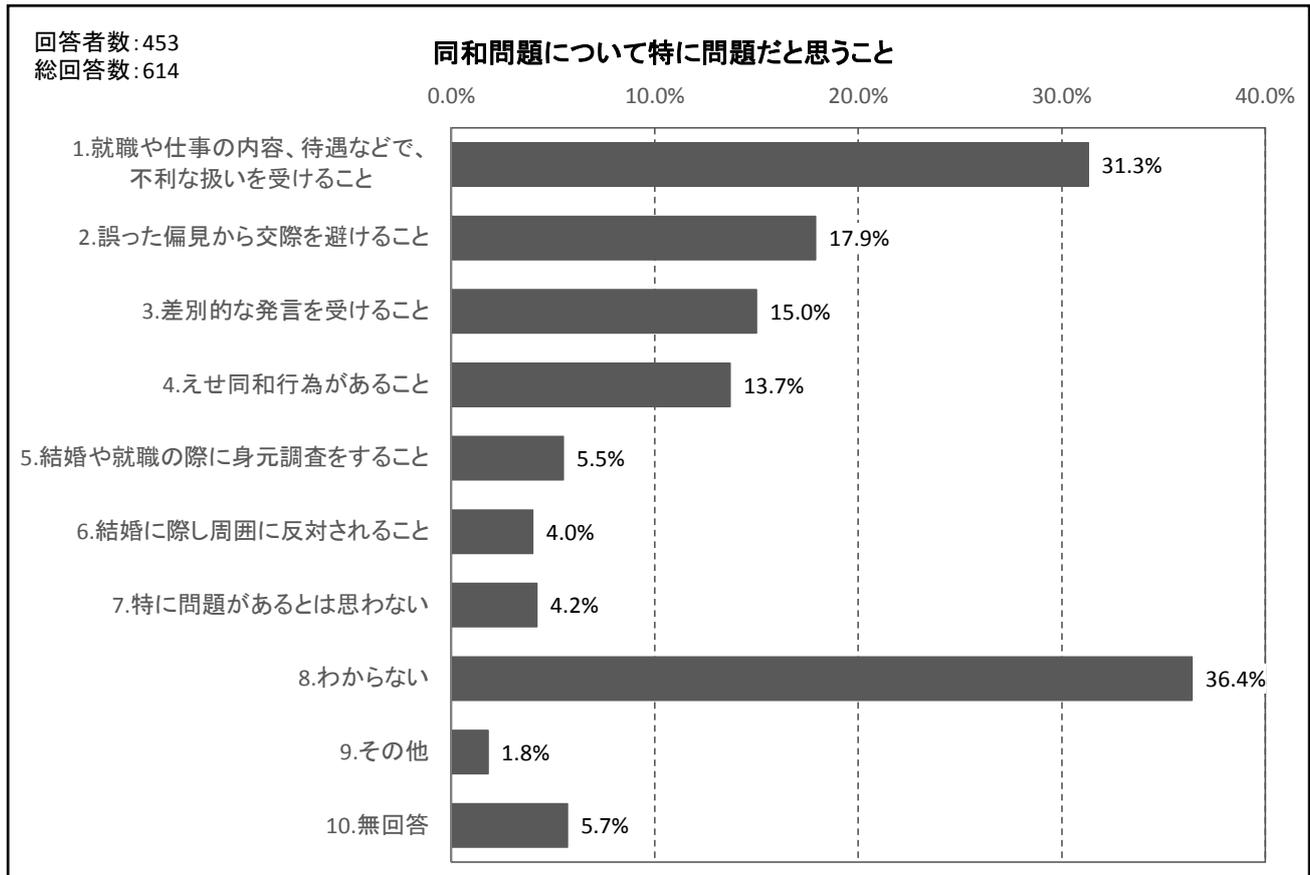
- ・多くの方が忘れるというものも解決策の一つだと思う（男性：30歳代）
- ・若い世代では同和地区という考えは皆無ではないか。いつまでも、取り上げることで逆に無くならない。（男性：30歳代）
- ・この地域は少ないが、歴史的背景がある。大変だが、正しく理解する事から始めること。
(男性：50歳代)
- ・学校教育において正しい知識を教え、偏見をなくす。（男性：50歳代）
- ・同和という言葉自体が偏見ではないのか。同じ人間です。（男性：60歳代）
- ・公務員は同和教育を受けるべだ。（男性：70歳代）
- ・他の人と何も変わらず普通に接すること。（女性：30歳代）
- ・両者の認識の違いもあると思われるため、判断出来ません。（女性：30歳代）
- ・難しい問題であり簡単に理解も解決も出来ないことなので適切な考えが述べられない。
(女性：30歳代)
- ・同和問題を知りません。（女性：30歳代）
- ・今もまだその差別が残っているのは本当に難しい問題。もっと社会に幅広く知ってもらう必要があると思う。（女性：40歳代）
- ・意識しないで関わっていきたい。（女性：40歳代）
- ・今や何が問題なのかが分からない。（女性：40歳代）
- ・自分にはどうしようも出来ないが、古い考え方がなくなり、差別がなくなればいい。
(女性：50歳代)
- ・とても難しい問題でどうするのがいいのか。（女性：50歳代）
- ・当事者の方々は苦しんでみえると思う。（女性：50歳代）
- ・同和地区の人々の声を表してほしい。（女性：60歳代）
- ・信じられない、あってはならないこと。（女性：60歳代）
- ・とても難しい問題なのでどうしたら良いか分かりませんが、差別は絶対よくない。
(女性：60歳代)
- ・昔はこの地域でも話題になったり問題になった記憶があるが、この頃は話題にならない。
(女性：70歳代)

8-2 同和問題について特に問題だと思うこと

問 23. 同和問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

◆「わからない」が36.4%と最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が31.3%、「誤った偏見から交際を避けること」が17.9%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「わからない」が最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」となっている。

「えせ同和行為があること」では、男性の割合が8.7%高く、「誤った偏見から交際を避けること」では、女性の割合が3.9%高くなっている。

【年代別】

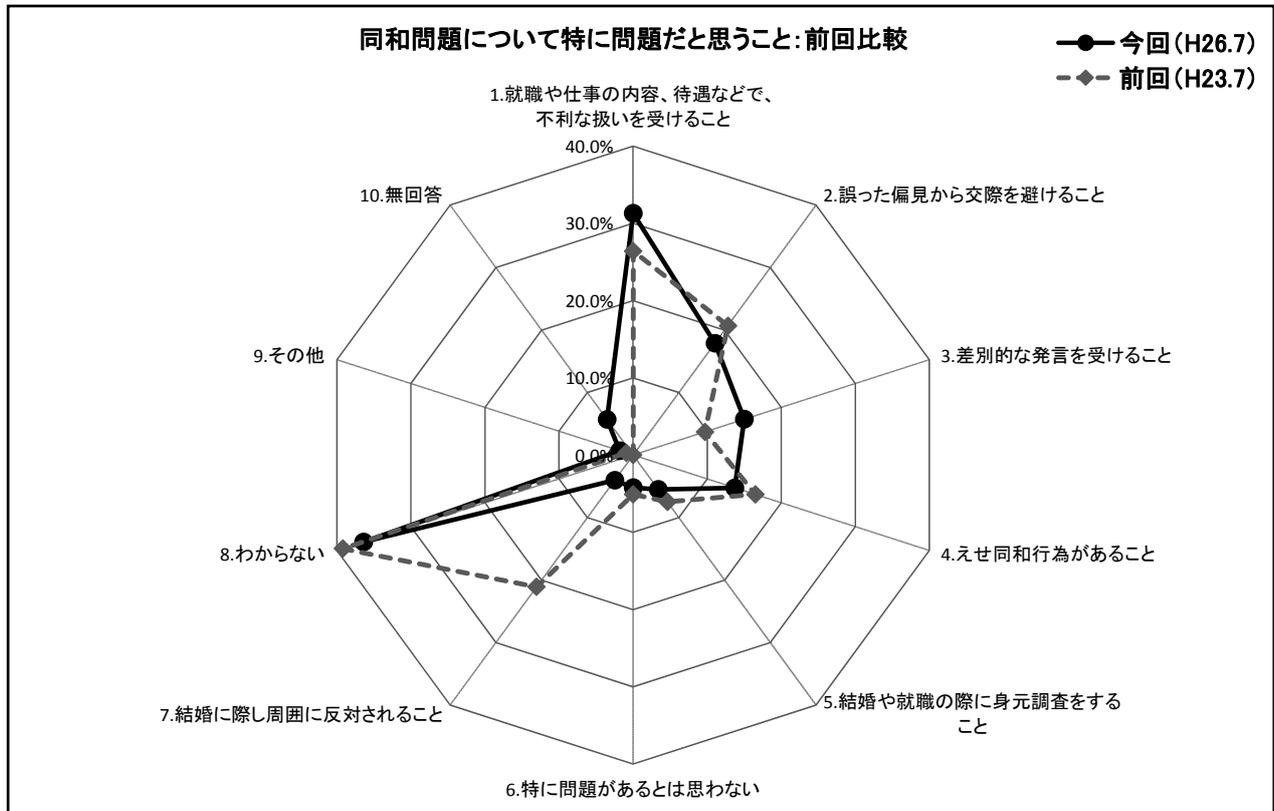
- ◆全ての年代で「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」、「わからない」が上位3項目に入っている。

項目		区分	[上段:回答者数、下段:%]										
			1 不利な扱いを受けること	2 誤った偏見から交際を避けること	3 差別的な発言を受けること	4 えせ同和行為があること	5 結婚や就職の際に身元調査をすること	6 特に問題があるとは思わない	7 結婚に際し周囲に反対されること	8 わからない	9 その他	10 無回答	- 総回答
全体		回答数	142	81	68	62	25	19	18	165	8	26	614
(n=453)		回答率	31.3%	17.9%	15.0%	13.7%	5.5%	4.2%	4.0%	36.4%	1.8%	5.7%	135.5%
性別	男性	回答数	62	32	27	37	10	10	8	69	4	15	274
		(n=202)	回答率	30.7%	15.8%	13.4%	18.3%	5.0%	5.0%	4.0%	34.2%	2.0%	7.4%
	女性	回答数	79	49	41	24	15	9	10	95	4	11	337
		(n=249)	回答率	31.7%	19.7%	16.5%	9.6%	6.0%	3.6%	4.0%	38.2%	1.6%	4.4%
年代別	20歳代	回答数	12	11	8	4	2	1	2	19	2	1	62
		(n=48)	回答率	25.0%	22.9%	16.7%	8.3%	4.2%	2.1%	4.2%	39.6%	4.2%	2.1%
	30歳代	回答数	24	12	10	9	5	1	6	24	2	2	95
		(n=68)	回答率	35.3%	17.6%	14.7%	13.2%	7.4%	1.5%	8.8%	35.3%	2.9%	2.9%
	40歳代	回答数	16	12	10	5	2	1	2	24	0	2	74
		(n=56)	回答率	28.6%	21.4%	17.9%	8.9%	3.6%	1.8%	3.6%	42.9%	0.0%	3.6%
	50歳代	回答数	29	14	9	17	5	0	2	29	1	2	108
		(n=77)	回答率	37.7%	18.2%	11.7%	22.1%	6.5%	0.0%	2.6%	37.7%	1.3%	2.6%
	60歳代	回答数	31	20	18	14	6	5	3	37	1	8	143
		(n=105)	回答率	29.5%	19.0%	17.1%	13.3%	5.7%	4.8%	2.9%	35.2%	1.0%	7.6%
	70歳以上	回答数	30	12	13	13	5	11	3	31	2	11	131
		(n=98)	回答率	30.6%	12.2%	13.3%	13.3%	5.1%	11.2%	3.1%	31.6%	2.0%	11.2%

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆上位2項目「わからない」、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」は一緒であるが、第3位以降に変化がみられる。「結婚に際し周囲に反対されること」が大きく減少している。



【前回との差】

- ◆増加した項目が3項目、減少した項目が6項目となっている。
 増加項目では、「差別的な発言を受けること」が5.3%、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が4.9%増加している。
 減少項目では、「結婚に際し周囲に反対されること」が17.1%、「誤った偏見から交際を避けること」、「えせ同和行為があること」、「わからない」がそれぞれ2.8%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1. 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	31.3%	26.4%	4.9%
2. 誤った偏見から交際を避けること	17.9%	20.7%	-2.8%
3. 差別的な発言を受けること	15.0%	9.7%	5.3%
4. えせ同和行為があること	13.7%	16.5%	-2.8%
5. 結婚や就職の際に身元調査をすること	5.5%	7.5%	-2.0%
6. 特に問題があるとは思わない	4.2%	5.1%	-0.9%
7. 結婚に際し周囲に反対されること	4.0%	21.1%	-17.1%
8. わからない	36.4%	39.2%	-2.8%
9. その他	1.8%	0.9%	0.9%
10. 無回答	5.7%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・同和の人が社会に適応できるよう頑張ったらいい。(男性：20 歳代)
- ・いつまで経ってもこのアンケートの様に取り上げること。興味本位でこの言葉を調べて騒ぐ者が出るのではないか。(男性：30 歳代)
- ・同和問題がよく分からない。(男性：50 歳代)
- ・設問の選択肢にある様なことは長い時間かけないと解消されないが、もうだんだん風化されていると思う。(男性：70 歳代)
- ・両者の認識の違いもあると思われるのため、判断出来ません。(女性：30 歳代)
- ・この辺りで同和問題が起きているとは思わない。(女性：60 歳代)
- ・今はほとんど話題にならなくなった。(女性：70 歳代)

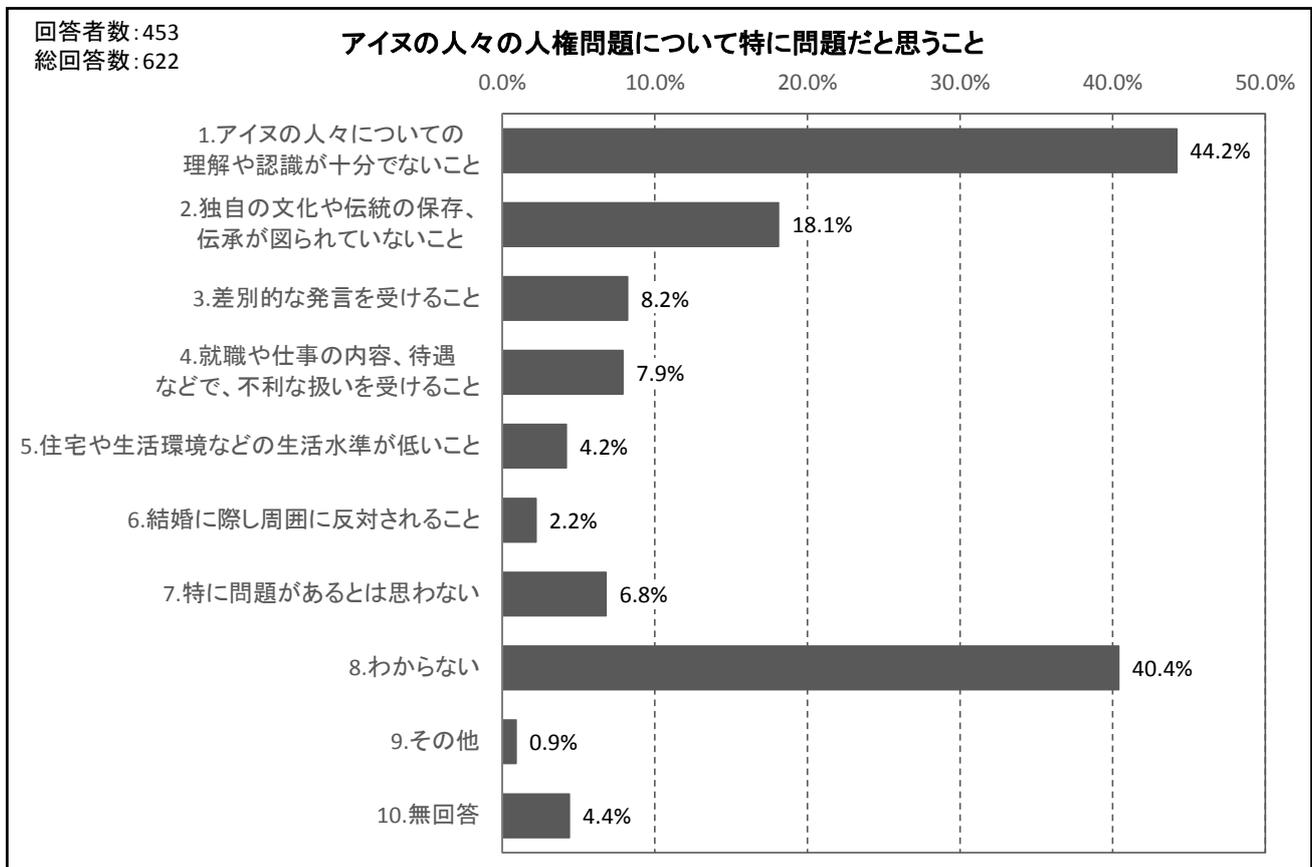
9 アイヌの人々の人権について

9-1 アイヌの人々の人権問題について特に問題だと思うこと

問 24. アイヌの人々の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は2つまで)

【全体】

◆「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が44.2%と最も高く、次いで「わからない」が40.4%、「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」が18.1%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が最も高い。女性では「わからない」も同率第1位となっている。

【年代別】

- ◆全ての年代で「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」、「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」、「わからない」が上位に入っており、年代による傾向はほとんどみられない。

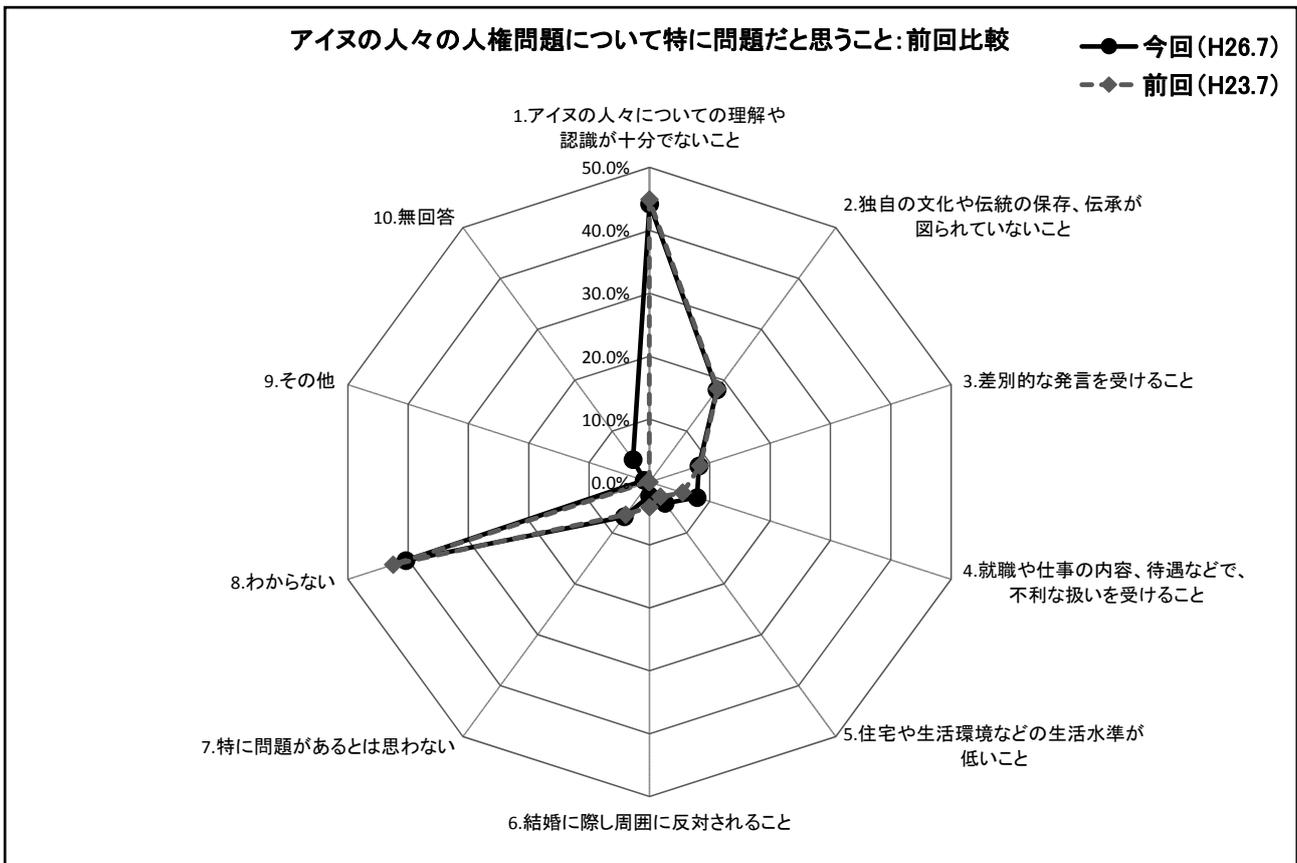
[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	
		アイヌの認識が十分でないこと	独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと	差別的な発言を受けること	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	住宅や生活環境などの生活水準が低いこと	結婚に際し周囲に反対されること	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	200	82	37	36	19	10	31	183	4	20	622	
	回答率	44.2%	18.1%	8.2%	7.9%	4.2%	2.2%	6.8%	40.4%	0.9%	4.4%	137.3%	
性別	男性 (n=202)	回答数	91	43	11	16	8	5	20	74	1	9	278
		回答率	45.0%	21.3%	5.4%	7.9%	4.0%	2.5%	9.9%	36.6%	0.5%	4.5%	137.6%
	女性 (n=249)	回答数	108	38	26	20	11	5	11	108	3	11	341
		回答率	43.4%	15.3%	10.4%	8.0%	4.4%	2.0%	4.4%	43.4%	1.2%	4.4%	136.9%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	19	5	5	5	1	3	3	21	0	0	62
		回答率	39.6%	10.4%	10.4%	10.4%	2.1%	6.3%	6.3%	43.8%	0.0%	0.0%	129.3%
	30歳代 (n=68)	回答数	33	9	7	5	6	0	4	25	0	0	89
		回答率	48.5%	13.2%	10.3%	7.4%	8.8%	0.0%	5.9%	36.8%	0.0%	0.0%	130.9%
	40歳代 (n=56)	回答数	27	11	4	4	5	1	3	22	0	1	78
		回答率	48.2%	19.6%	7.1%	7.1%	8.9%	1.8%	5.4%	39.3%	0.0%	1.8%	139.2%
	50歳代 (n=77)	回答数	40	17	9	4	0	2	5	31	0	1	109
		回答率	51.9%	22.1%	11.7%	5.2%	0.0%	2.6%	6.5%	40.3%	0.0%	1.3%	141.6%
60歳代 (n=105)	回答数	44	22	5	12	6	0	8	46	2	6	151	
	回答率	41.9%	21.0%	4.8%	11.4%	5.7%	0.0%	7.6%	43.8%	1.9%	5.7%	143.8%	
70歳以上 (n=98)	回答数	37	18	7	6	1	4	8	37	2	12	132	
	回答率	37.8%	18.4%	7.1%	6.1%	1.0%	4.1%	8.2%	37.8%	2.0%	12.2%	134.7%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

◆項目別に多少の変化があるが、全体的に大きな変化はない。



【前回との差】

◆増加した項目が4項目、減少した項目が5項目となっている。

増加項目では、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が2.4%、「住宅や生活環境などの生活水準が低いこと」が1.3%増加している。

減少項目では、「わからない」が2.1%、「結婚に際し周囲に反対されること」が1.8%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1. アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと	44.2%	44.9%	-0.7%
2. 独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと	18.1%	18.3%	-0.2%
3. 差別的な発言を受けること	8.2%	8.4%	-0.2%
4. 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	7.9%	5.5%	2.4%
5. 住宅や生活環境などの生活水準が低いこと	4.2%	2.9%	1.3%
6. 結婚に際し周囲に反対されること	2.2%	4.0%	-1.8%
7. 特に問題があるとは思わない	6.8%	6.4%	0.4%
8. わからない	40.4%	42.5%	-2.1%
9. その他	0.9%	0.2%	0.7%
10. 無回答	4.4%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・アイヌの人権問題について、瑞浪市民に問う理由が不明。（男性：70 歳代）
- ・アイヌに差別があることは知らなかった。時代と共に消滅すると思います。（女性：60 歳代）
- ・同じ日本人と思っていた。（女性：60 歳代）
- ・私たちの地域では暮らしに関わらないが、その地方では問題だと思う。（女性：70 歳代）

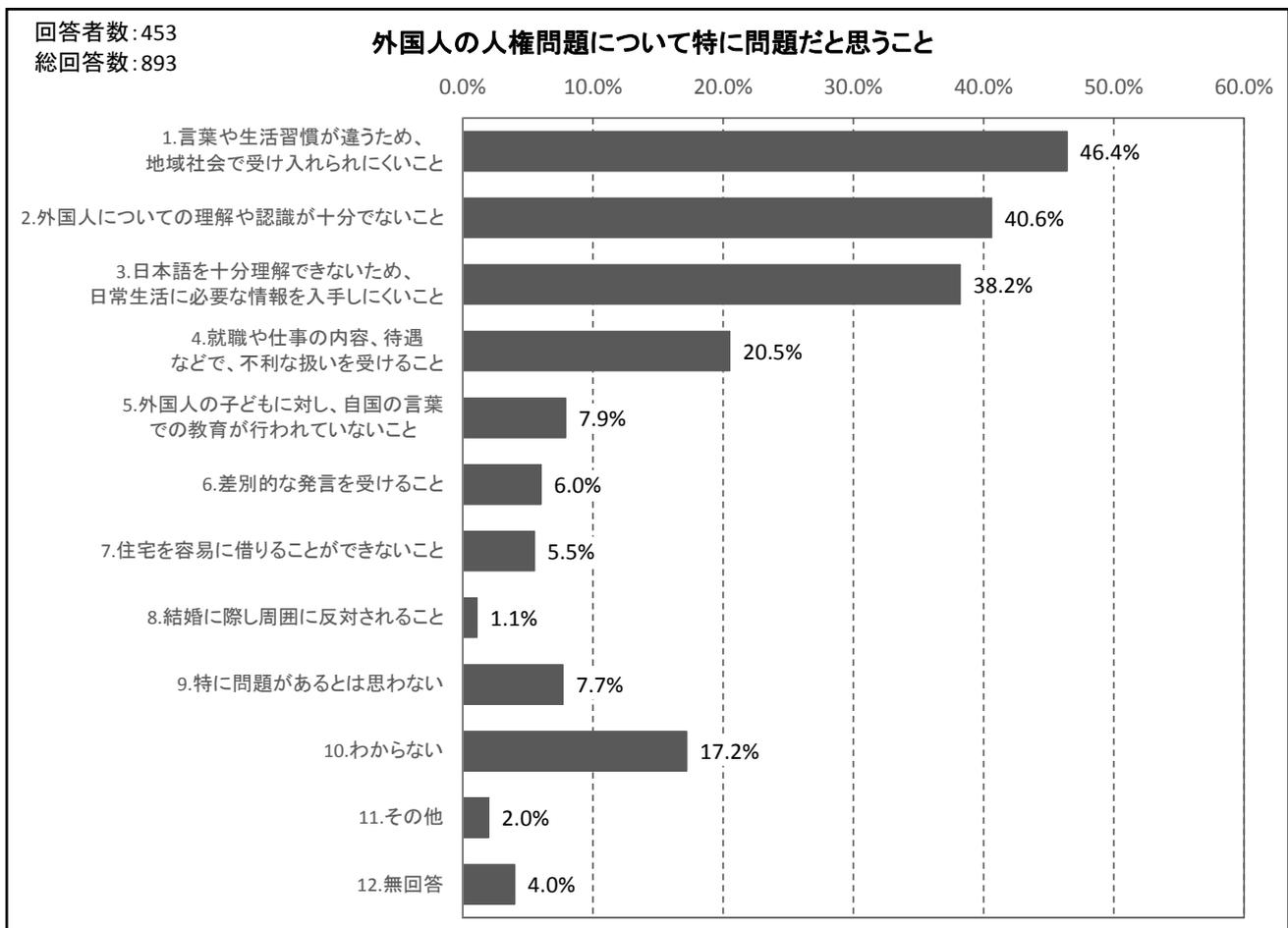
10 外国人の人権について

10-1 外国人の人権問題について特に問題だと思うこと

問 25. 日本に居住する外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

【全体】

- ◆「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が46.4%と最も高く、次いで「外国人についての理解や認識が十分でないこと」が40.6%、「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を入手しにくいこと」が38.2%となっている。



【性別】

◆男女ともに「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が最も高く、次いで「外国人についての理解や認識が十分でないこと」、「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を入手しにくいこと」となっており、上位3項目について性別による差はみられない。「特に問題があるとは思わない」では、男性の割合が6.6%高くなっている。

【年代別】

◆20～60歳代では「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」、70歳以上では「外国人についての理解や認識が十分でないこと」が最も高く、30歳代では「外国人についての理解や認識が十分でないこと」、40歳代では「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を入手しにくいこと」も同率で最も高くなっている。
20歳代では「外国人の子どもに対し、自国の言葉での教育が行われていないこと」が他の年代に比べて高くなっている。

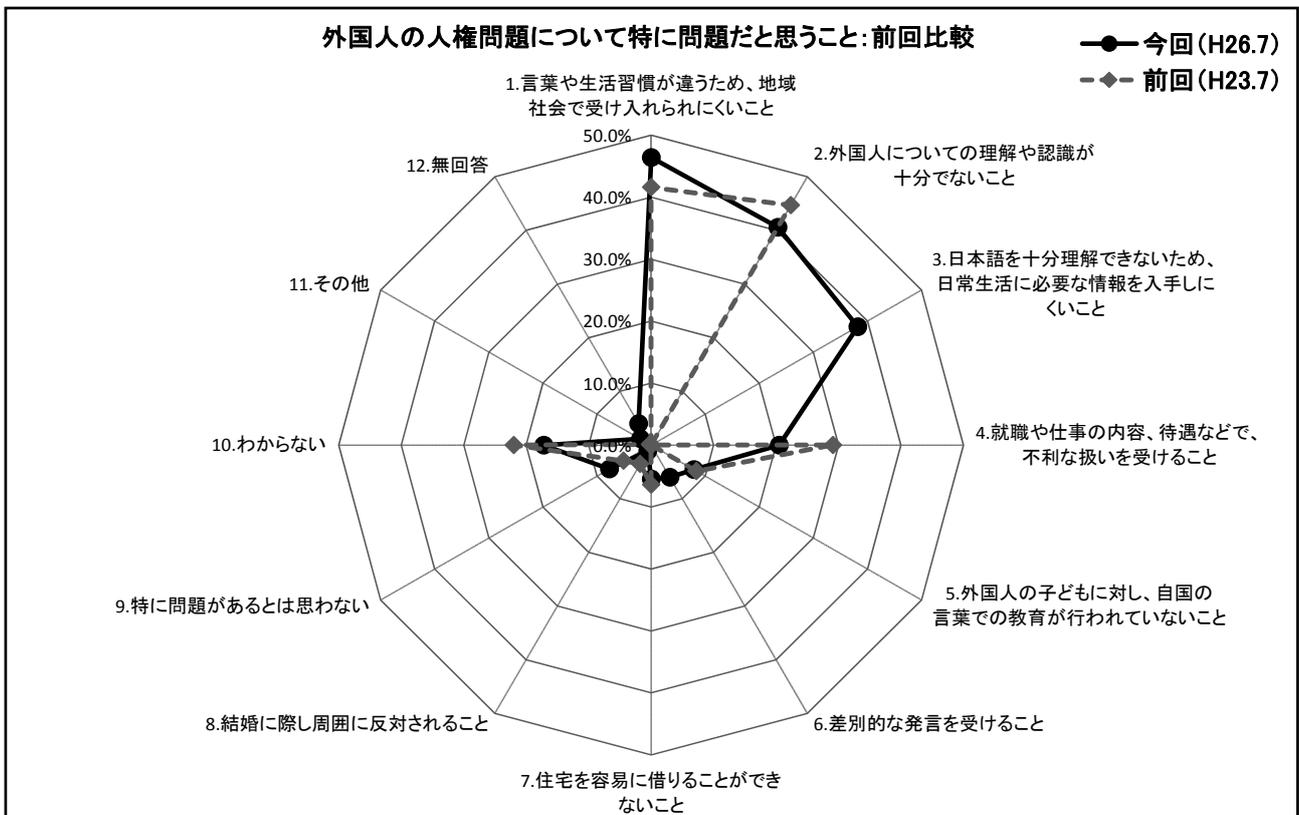
【上段:回答者数、下段:%】

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	-	
		社会で受け入れられにくいこと、地域	外国人について理解や認識が十分でないこと	日常生活に必要な情報を入手しにくいこと	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	外国人の子どもに対し、自国の言葉での教育が行われていないこと	差別的な発言を受けること	住宅を容易に借りることができないこと	結婚に際し周囲に反対されること	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	210	184	173	93	36	27	25	5	35	78	9	18	893	
	回答率	46.4%	40.6%	38.2%	20.5%	7.9%	6.0%	5.5%	1.1%	7.7%	17.2%	2.0%	4.0%	197.1%	
性別	男性 (n=202)	回答数	90	81	75	41	18	9	12	4	23	32	4	9	398
		回答率	44.6%	40.1%	37.1%	20.3%	8.9%	4.5%	5.9%	2.0%	11.4%	15.8%	2.0%	4.5%	197.1%
	女性 (n=249)	回答数	119	101	97	51	17	18	13	1	12	46	5	9	489
		回答率	47.8%	40.6%	39.0%	20.5%	6.8%	7.2%	5.2%	0.4%	4.8%	18.5%	2.0%	3.6%	196.4%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	19	17	18	8	8	4	5	0	7	3	0	0	89
		回答率	39.6%	35.4%	37.5%	16.7%	16.7%	8.3%	10.4%	0.0%	14.6%	6.3%	0.0%	0.0%	185.5%
	30歳代 (n=68)	回答数	31	31	27	18	4	6	6	1	4	10	1	0	139
		回答率	45.6%	45.6%	39.7%	26.5%	5.9%	8.8%	8.8%	1.5%	5.9%	14.7%	1.5%	0.0%	204.5%
	40歳代 (n=56)	回答数	22	18	22	10	5	3	4	0	7	9	4	1	105
		回答率	39.3%	32.1%	39.3%	17.9%	8.9%	5.4%	7.1%	0.0%	12.5%	16.1%	7.1%	1.8%	187.5%
	50歳代 (n=77)	回答数	42	33	31	16	5	6	1	0	4	13	1	1	153
		回答率	54.5%	42.9%	40.3%	20.8%	6.5%	7.8%	1.3%	0.0%	5.2%	16.9%	1.3%	1.3%	198.8%
60歳代 (n=105)	回答数	58	43	48	28	9	3	6	0	8	15	2	7	227	
	回答率	55.2%	41.0%	45.7%	26.7%	8.6%	2.9%	5.7%	0.0%	7.6%	14.3%	1.9%	6.7%	216.3%	
70歳以上 (n=98)	回答数	38	41	26	13	4	5	3	4	5	28	1	9	177	
	回答率	38.8%	41.8%	26.5%	13.3%	4.1%	5.1%	3.1%	4.1%	5.1%	28.6%	1.0%	9.2%	180.7%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆新たに追加した「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を入手しにくいこと」の割合が高い。それ以外の項目では多少の変化はあるが、全体的に大きな変化はない。



【前回との差】

- ◆増加した項目が3項目、減少した項目が6項目となっている。
 増加項目では、「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が4.8%、「特に問題があるとは思わない」が2.6%増加している。
 減少項目では、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が8.6%、「わからない」が4.8%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと	46.4%	41.6%	4.8%
2.外国人についての理解や認識が十分でないこと	40.6%	44.7%	-4.1%
3.日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を入手しにくいこと	38.2%	-	-
4.就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	20.5%	29.1%	-8.6%
5.外国人の子どもに対し、自国の言葉での教育が行われていないこと	7.9%	8.4%	-0.5%
6.差別的な発言を受けること	6.0%	-	-
7.住宅を容易に借りることができないこと	5.5%	6.4%	-0.9%
8.結婚に際し周囲に反対されること	1.1%	3.5%	-2.4%
9.特に問題があるとは思わない	7.7%	5.1%	2.6%
10.わからない	17.2%	22.0%	-4.8%
11.その他	2.0%	0.2%	1.8%
12.無回答	4.0%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・どこの国かによって対応が違うこと。(男性：30 歳代)
- ・日本の常識、マナーを守らないこと。(男性：40 歳代)
- ・外国人の日本の習慣の知識、理解を深めること。(男性：50 歳代)
- ・生活習慣の違い、宗教の違いから来る誤解等。(男性：60 歳代)
- ・外国人の受け入れに当たっては、ただ単に人手不足を補うといった便利主義では、後々問題を起こす。欧州の独仏などの先例に学ぶべき。(男性：70 歳代)
- ・金銭問題。(女性：40 歳代)
- ・逆に日本に住むなら、日本のルールやマナーを守ってほしい。(女性：40 歳代)
- ・外国人自身の歩み寄りがないこと（言葉を学ぼうとか子どもに良い教育を受けさせようとかは考えがなく、お金を稼ぎたいというだけの目的で居る人もいる)。(女性：40 歳代)
- ・不法滞在、不法就労が無くなれば自然になくなると思う。(女性：60 歳代)
- ・自分の暮らしの中で現在関わりがない。(女性：70 歳代)

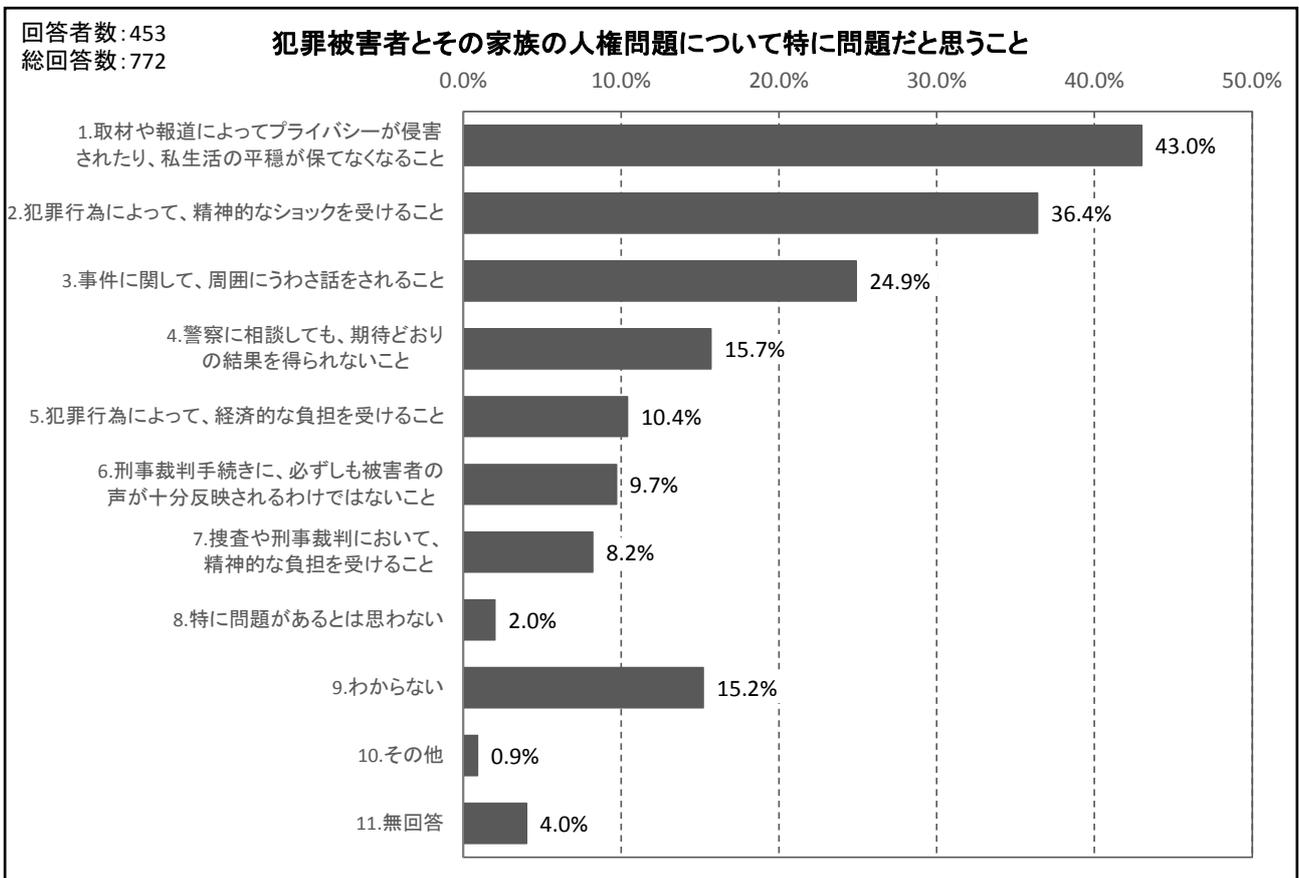
1 1 犯罪被害者とその家族の人権について

1 1-1 犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題だと思うこと

問 26. 犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【全体】

- ◆「取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなること」が 43.0%と最も高く、次いで「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」が 36.4%、「事件に関して、周囲にうわさ話をされること」が 24.9%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなるこ
と」が最も高いことは共通しているが、女性は男性と比較し7.5%割合が高い。それ以外に男女
差が大きいものとしては「犯罪行為によって、経済的な負担を受けること」で、男性の割合が6.3%
高い。

【年代別】

- ◆20～60歳代では「取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てな
くなること」、30歳代では「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」も同率で最も
高くなっており、70歳以上では「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」が最も
高くなっている。

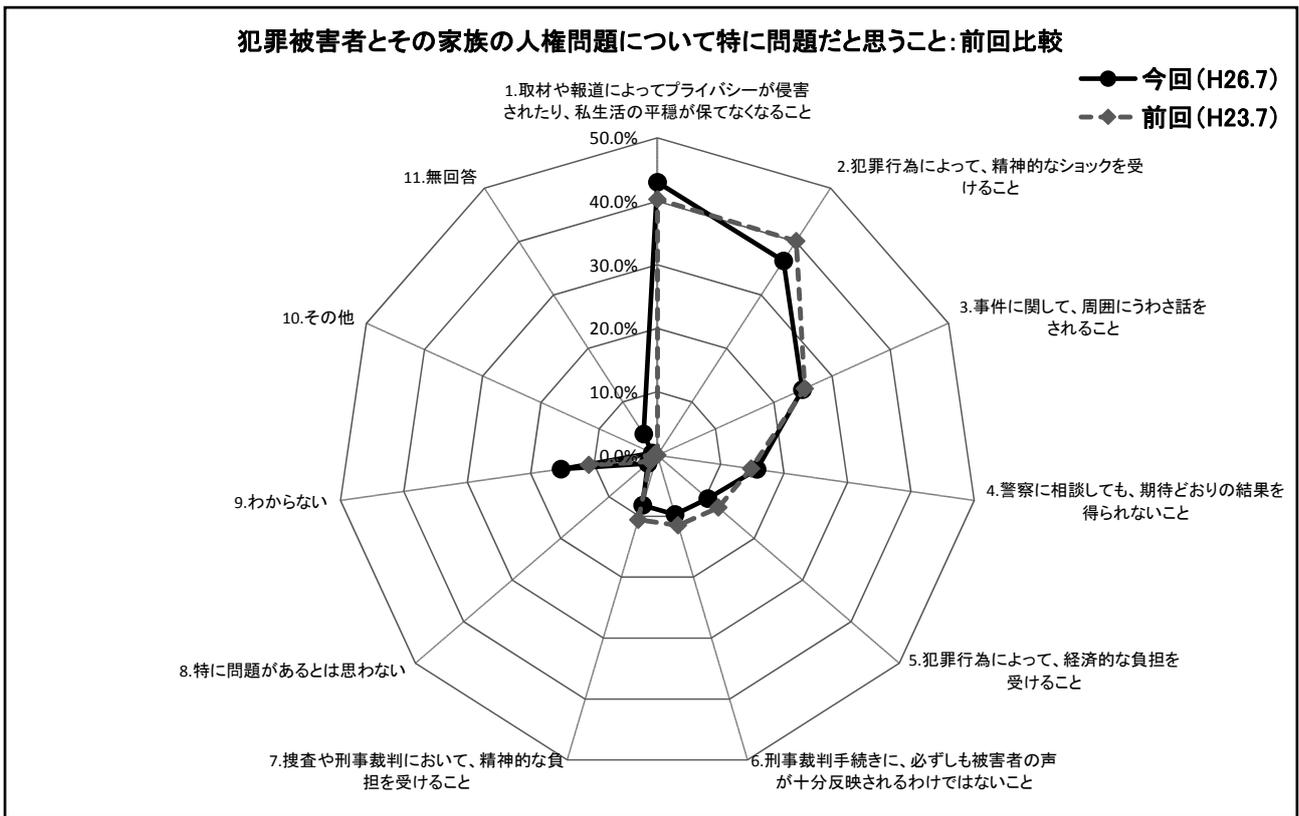
[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	-	
		プライバシーが保てなくなること	取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなること	犯罪行為によって、精神的なショックを受けること	事件に関して、周囲にうわさをされること	警察に相談しても、期待どおりの結果を得られないこと	犯罪行為によって、経済的な負担を受けること	被害者の声が十分反映されるわけではないこと	刑事裁判手続きに、必ずしも被害者の負担を受けられること	捜査や刑事裁判において、精神的な負担を受けるとは思わない	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答
全体 (n=453)	回答数	195	165	113	71	47	44	37	9	69	4	18	772	
	回答率	43.0%	36.4%	24.9%	15.7%	10.4%	9.7%	8.2%	2.0%	15.2%	0.9%	4.0%	170.4%	
性別	男性 (n=202)	回答数	79	73	45	32	28	21	21	5	32	2	9	347
		回答率	39.1%	36.1%	22.3%	15.8%	13.9%	10.4%	10.4%	2.5%	15.8%	1.0%	4.5%	171.8%
	女性 (n=249)	回答数	116	91	68	39	19	21	15	4	37	2	9	421
		回答率	46.6%	36.5%	27.3%	15.7%	7.6%	8.4%	6.0%	1.6%	14.9%	0.8%	3.6%	169.0%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	26	23	15	7	5	4	4	0	2	0	0	86
		回答率	54.2%	47.9%	31.3%	14.6%	10.4%	8.3%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	179.2%
	30歳代 (n=68)	回答数	34	34	21	13	3	4	6	1	7	2	0	125
		回答率	50.0%	50.0%	30.9%	19.1%	4.4%	5.9%	8.8%	1.5%	10.3%	2.9%	0.0%	183.8%
	40歳代 (n=56)	回答数	26	16	13	14	3	6	6	0	9	1	1	95
		回答率	46.4%	28.6%	23.2%	25.0%	5.4%	10.7%	10.7%	0.0%	16.1%	1.8%	1.8%	169.7%
	50歳代 (n=77)	回答数	34	27	16	14	8	15	8	1	9	0	1	133
		回答率	44.2%	35.1%	20.8%	18.2%	10.4%	19.5%	10.4%	1.3%	11.7%	0.0%	1.3%	172.9%
60歳代 (n=105)	回答数	48	35	27	13	17	10	8	1	14	1	7	181	
	回答率	45.7%	33.3%	25.7%	12.4%	16.2%	9.5%	7.6%	1.0%	13.3%	1.0%	6.7%	172.4%	
70歳以上 (n=98)	回答数	27	30	21	10	11	4	4	6	28	0	9	150	
	回答率	27.6%	30.6%	21.4%	10.2%	11.2%	4.1%	4.1%	6.1%	28.6%	0.0%	9.2%	153.1%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

◆項目別に多少の変化はあるが、全体的に大きな変化はない。



【前回との差】

◆増加した項目が5項目、減少した項目が5項目となっている。

増加項目では、「わからない」が4.4%、「取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穩が保てなくなる」が2.7%増加している。

減少項目では、「犯罪行為によって、精神的なショックを受ける」が3.7%、「捜査や刑事裁判において、精神的な負担を受ける」が2.4%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穩が保てなくなる	43.0%	40.3%	2.7%
2.犯罪行為によって、精神的なショックを受ける	36.4%	40.1%	-3.7%
3.事件に関して、周囲にうわさ話をされる	24.9%	25.3%	-0.4%
4.警察に相談しても、期待どおりの結果を得られない	15.7%	14.8%	0.9%
5.犯罪行為によって、経済的な負担を受ける	10.4%	12.6%	-2.2%
6.刑事裁判手続きに、必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではない	9.7%	11.5%	-1.8%
7.捜査や刑事裁判において、精神的な負担を受ける	8.2%	10.6%	-2.4%
8.特に問題があるとは思わない	2.0%	1.5%	0.5%
9.わからない	15.2%	10.8%	4.4%
10.その他	0.9%	0.4%	0.5%
11.無回答	4.0%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・問題だと思うことは、全ての項目。（男性：30歳代）
- ・刑が軽すぎる。（男性：40歳代）
- ・被害を受けた者が守られず、加害者の人権が優遇されているところ。（女性：30歳代）

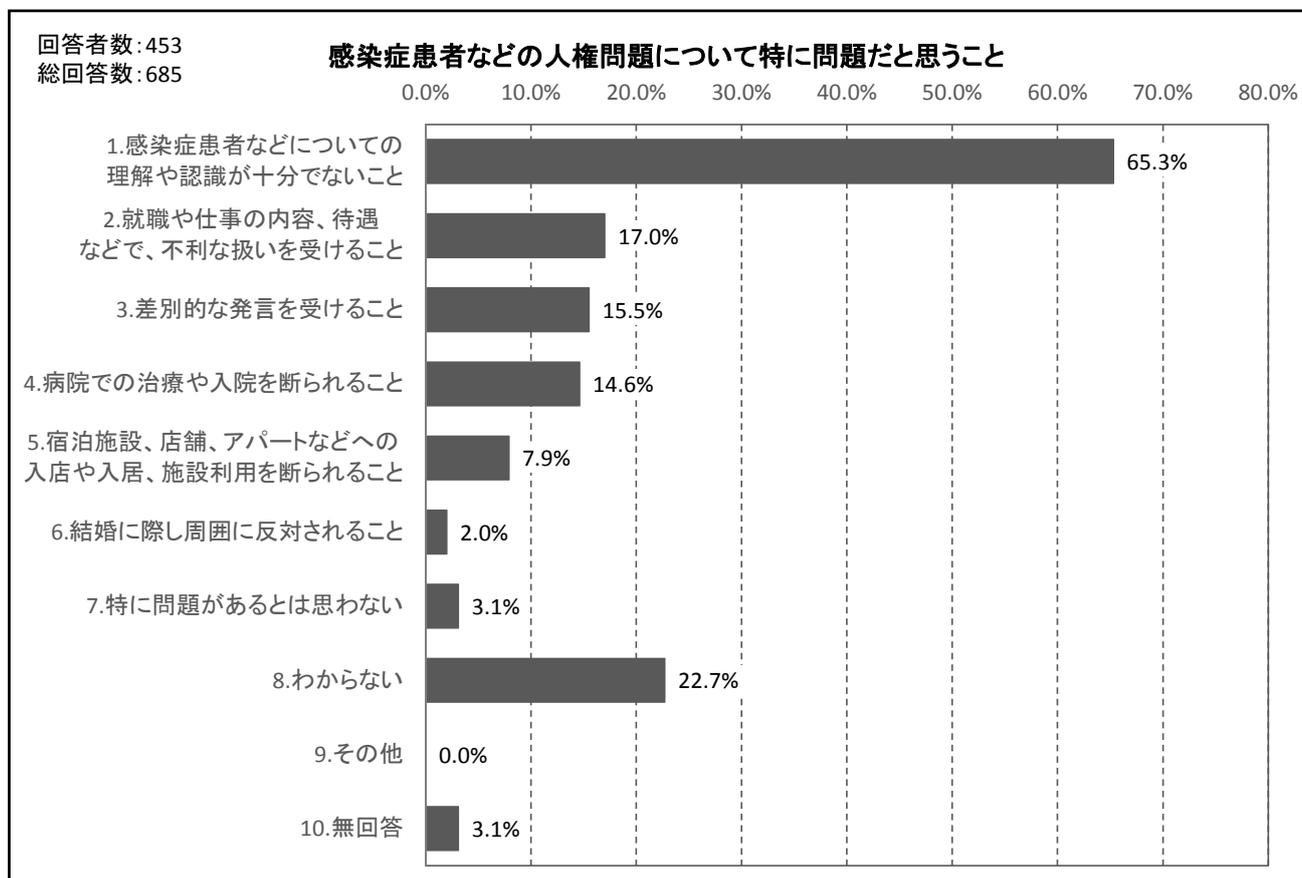
12 感染症患者などの人権について

12-1 感染症患者などの人権問題について特に問題だと思うこと

問 27. 感染症患者などの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は2つまで)

【全体】

- ◆「感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと」が65.3%と最も高く、次いで「わからない」が22.7%、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が17.0%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと」が最も高く、次いで「わからない」、第3位は男女で差がみられ、男性が「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」で男性の割合が8.0%高く、女性は「差別的な発言を受けること」で女性の割合が3.9%高くなっている。

【年代別】

- ◆全ての年代で「感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと」が最も高くなっている。次いで、20歳代は「病院での治療や入院を断られること」、30、40歳代では「差別的な発言を受けること」、50、60歳代及び70歳以上では「わからない」となっている。

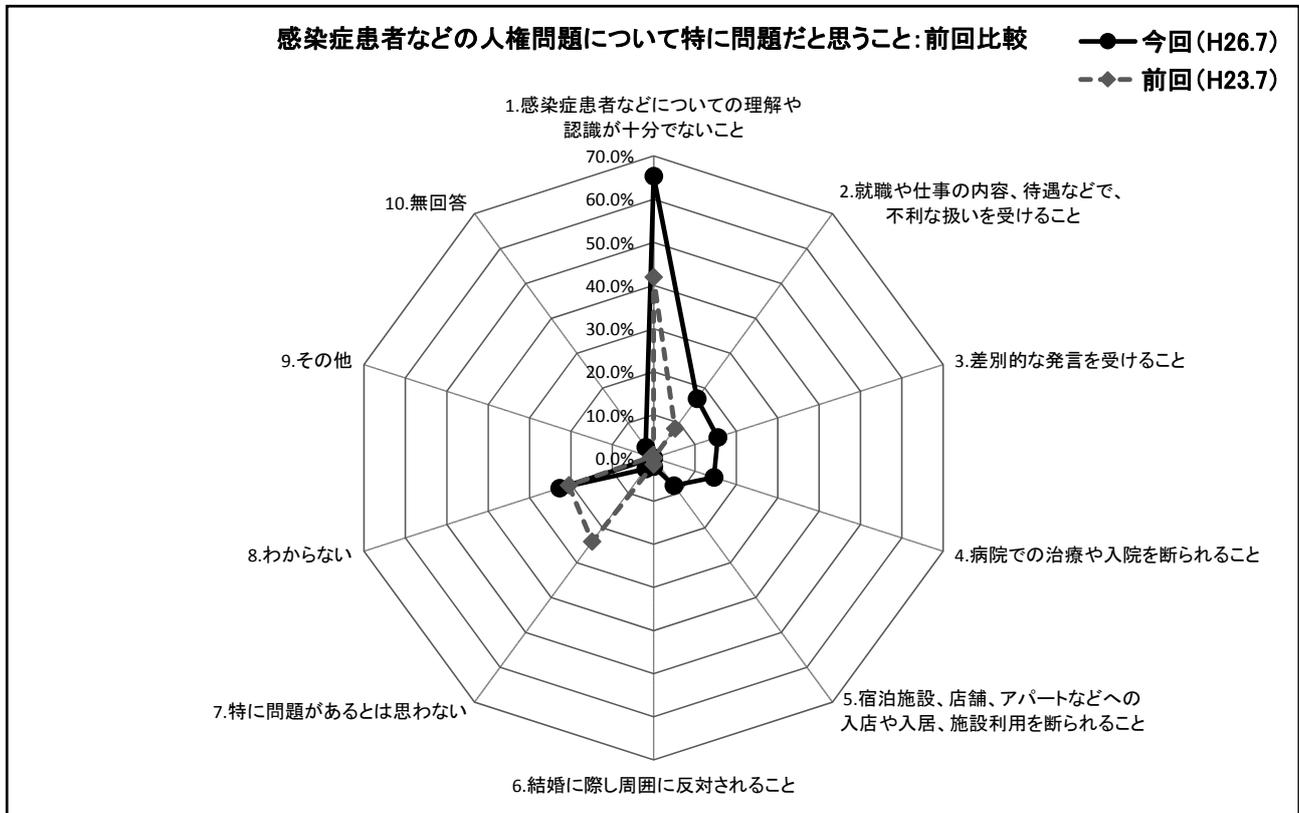
[上段: 回答者数、下段: %]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	
		認識が十分でないこと	不利な扱いを受けること	差別的な発言を受けること	病院での治療や入院を断られること	宿泊施設、店舗、アパートなどへの入居、施設利用を断られること	結婚に際し周囲に反対されること	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	296	77	70	66	36	9	14	103	0	14	685	
	回答率	65.3%	17.0%	15.5%	14.6%	7.9%	2.0%	3.1%	22.7%	0.0%	3.1%	151.2%	
性別	男性 (n=202)	回答数	126	43	27	30	17	2	8	49	0	6	308
		回答率	62.4%	21.3%	13.4%	14.9%	8.4%	1.0%	4.0%	24.3%	0.0%	3.0%	152.7%
	女性 (n=249)	回答数	169	33	43	36	19	7	6	53	0	8	374
		回答率	67.9%	13.3%	17.3%	14.5%	7.6%	2.8%	2.4%	21.3%	0.0%	3.2%	150.3%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	33	4	8	12	1	0	0	9	0	0	67
		回答率	68.8%	8.3%	16.7%	25.0%	2.1%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%	139.7%
	30歳代 (n=68)	回答数	49	10	17	14	6	0	2	10	0	2	110
		回答率	72.1%	14.7%	25.0%	20.6%	8.8%	0.0%	2.9%	14.7%	0.0%	2.9%	161.7%
	40歳代 (n=56)	回答数	31	13	16	6	3	2	1	13	0	1	86
		回答率	55.4%	23.2%	28.6%	10.7%	5.4%	3.6%	1.8%	23.2%	0.0%	1.8%	153.7%
	50歳代 (n=77)	回答数	57	14	12	9	10	1	0	15	0	0	118
		回答率	74.0%	18.2%	15.6%	11.7%	13.0%	1.3%	0.0%	19.5%	0.0%	0.0%	153.3%
	60歳代 (n=105)	回答数	73	21	8	13	8	1	2	25	0	4	155
		回答率	69.5%	20.0%	7.6%	12.4%	7.6%	1.0%	1.9%	23.8%	0.0%	3.8%	147.6%
70歳以上 (n=98)	回答数	53	15	9	12	8	5	9	30	0	7	148	
	回答率	54.1%	15.3%	9.2%	12.2%	8.2%	5.1%	9.2%	30.6%	0.0%	7.1%	151.0%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

- ◆第1位の項目「感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと」は変わらないが、前回第2位の「特に問題があるとは思わない」は第7位に、前回第3位の「わからない」が第2位となっている。



【前回との差】

- ◆増加した項目が4項目、減少した項目が2項目となっている。

増加項目では、「感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと」が23.4%と大幅に増加し、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が8.6%増加している。減少項目では、「特に問題があるとは思わない」が20.9%と大幅に減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1. 感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと	65.3%	41.9%	23.4%
2. 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	17.0%	8.4%	8.6%
3. 差別的な発言を受けること	15.5%	-	-
4. 病院での治療や入院を断られること	14.6%	-	-
5. 宿泊施設、店舗、アパートなどへの入店や入居、施設利用を断られること	7.9%	-	-
6. 結婚に際し周囲に反対されること	2.0%	1.5%	0.5%
7. 特に問題があるとは思わない	3.1%	24.0%	-20.9%
8. わからない	22.7%	20.5%	2.2%
9. その他	0.0%	0.7%	-0.7%
10. 無回答	3.1%	-	-

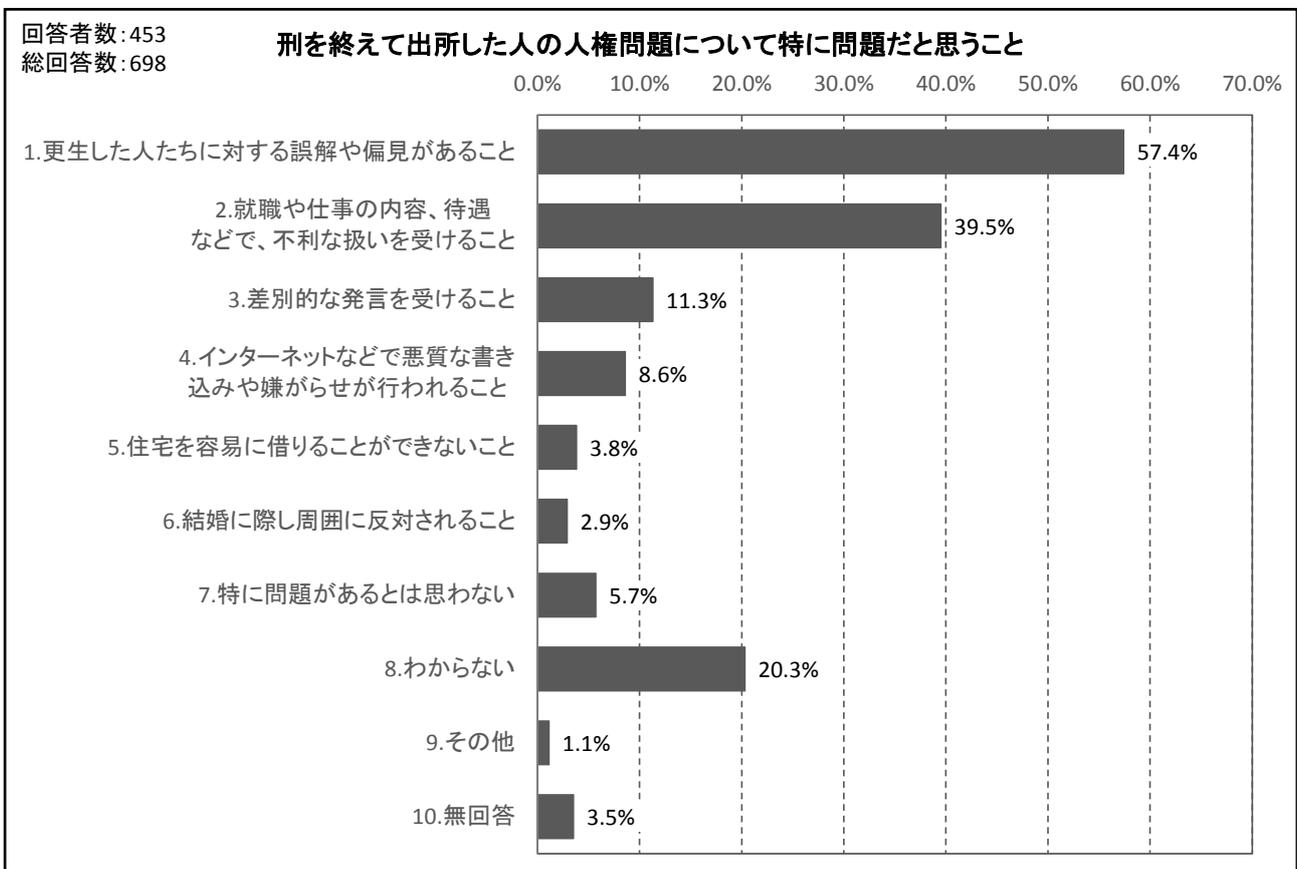
1 3 刑を終えて出所した人の人権について

1 3-1 刑を終えて出所した人の人権問題について特に問題だと思うこと

問 28. 罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会復帰を図ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。(〇は2つまで)

【全体】

◆「更生した人たちに対する誤解や偏見があること」が 57.4%と最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が 39.5%、「わからない」が 20.3%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「更生した人たちに対する誤解や偏見があること」が最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」、「わからない」となっており、上位3項目においては性別による差異はみられない。男女の差が大きいものとして、「インターネットなどで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること」で、女性の割合が6.6%高くなっている。

【年代別】

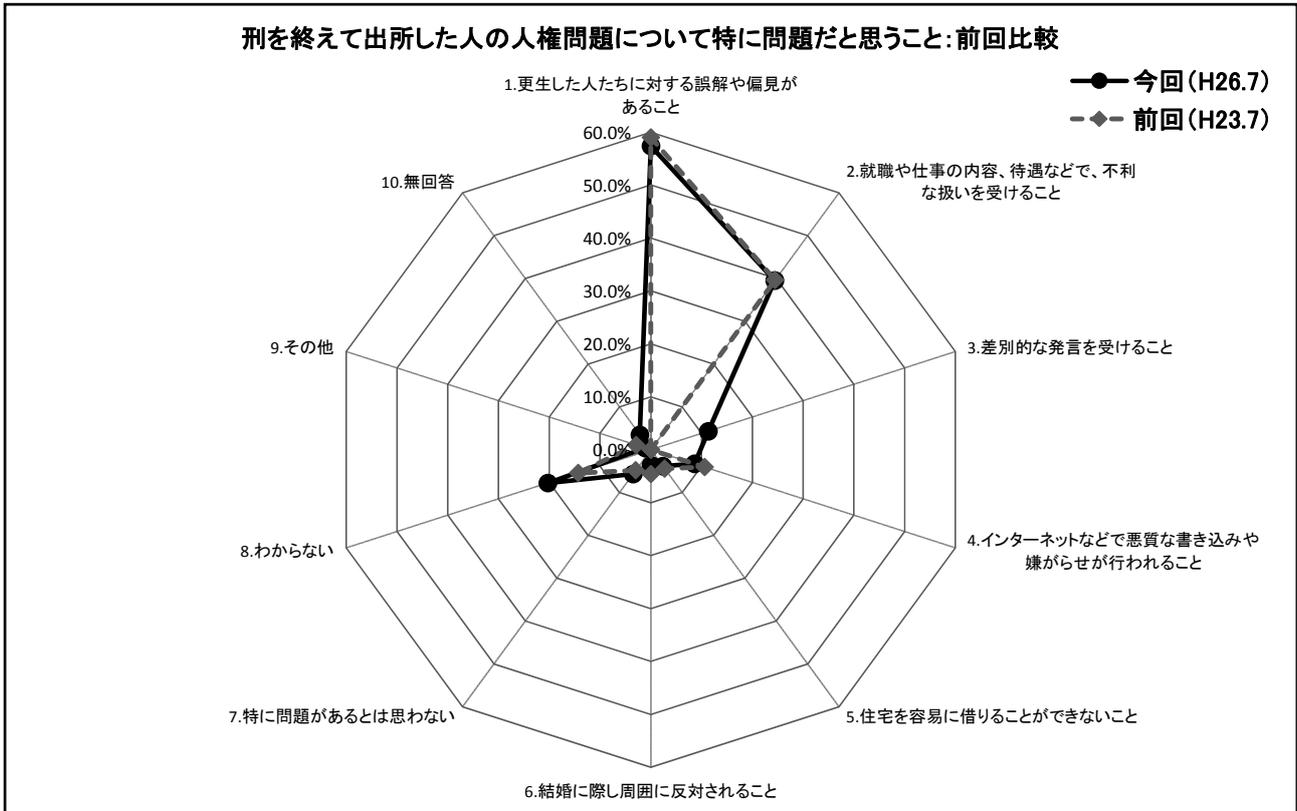
- ◆割合の高い上位3項目については、年代による傾向はみられない。20歳代では「特に問題があるとは思わない」が他の年代に比べて高くなっている。20歳代から30歳代の若い世代では、「インターネットなどで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること」が他の年代に比べて高い。

		[上段:回答者数、下段:%]											
項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	
		偏見がある人たちに対する誤解や更生した人たちの内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	差別的な発言を受けること	インターネットなどで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること	住宅を容易に借りることができないこと	結婚に際し周囲に反対されること	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	260	179	51	39	17	13	26	92	5	16	698	
	回答率	57.4%	39.5%	11.3%	8.6%	3.8%	2.9%	5.7%	20.3%	1.1%	3.5%	154.1%	
性別	男性 (n=202)	回答数	114	81	19	10	6	5	16	44	3	7	305
		回答率	56.4%	40.1%	9.4%	5.0%	3.0%	2.5%	7.9%	21.8%	1.5%	3.5%	151.1%
	女性 (n=249)	回答数	144	96	32	29	11	8	10	48	2	9	389
		回答率	57.8%	38.6%	12.9%	11.6%	4.4%	3.2%	4.0%	19.3%	0.8%	3.6%	156.2%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	22	16	6	6	3	2	7	7	1	0	70
		回答率	45.8%	33.3%	12.5%	12.5%	6.3%	4.2%	14.6%	14.6%	2.1%	0.0%	145.9%
	30歳代 (n=68)	回答数	36	21	10	11	3	3	6	13	1	1	105
		回答率	52.9%	30.9%	14.7%	16.2%	4.4%	4.4%	8.8%	19.1%	1.5%	1.5%	154.4%
	40歳代 (n=56)	回答数	34	22	6	3	1	1	2	12	1	1	83
		回答率	60.7%	39.3%	10.7%	5.4%	1.8%	1.8%	3.6%	21.4%	1.8%	1.8%	148.3%
	50歳代 (n=77)	回答数	49	35	6	6	2	2	4	12	2	0	118
		回答率	63.6%	45.5%	7.8%	7.8%	2.6%	2.6%	5.2%	15.6%	2.6%	0.0%	153.3%
	60歳代 (n=105)	回答数	63	45	14	8	4	0	6	22	0	6	168
		回答率	60.0%	42.9%	13.3%	7.6%	3.8%	0.0%	5.7%	21.0%	0.0%	5.7%	160.0%
70歳以上 (n=98)	回答数	55	39	9	5	4	5	1	26	0	8	152	
	回答率	56.1%	39.8%	9.2%	5.1%	4.1%	5.1%	1.0%	26.5%	0.0%	8.2%	155.1%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

◆項目別に多少の変化はあるが、全体的に大きな変化はない。



【前回との差】

◆増加した項目が2項目、減少した項目が6項目となっている。

増加項目では、「わからない」が6.0%増加している。

減少項目では、「インターネットなどで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること」が2.0%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1. 更生した人々に対する誤解や偏見があること	57.4%	59.0%	-1.6%
2. 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	39.5%	39.6%	-0.1%
3. 差別的な発言を受けること	11.3%	-	-
4. インターネットなどで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること	8.6%	10.6%	-2.0%
5. 住宅を容易に借りることができないこと	3.8%	4.4%	-0.6%
6. 結婚に際し周囲に反対されること	2.9%	4.6%	-1.7%
7. 特に問題があるとは思わない	5.7%	4.8%	0.9%
8. わからない	20.3%	14.3%	6.0%
9. その他	1.1%	2.9%	-1.8%
10. 無回答	3.5%	-	-

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・全ての項目が必要。(男性：30歳代、女性：20歳代)
- ・罪を犯さなければ良いことなので、この様な罪を犯す人間に人権を語る権利は無い。
(男性：50歳代)
- ・犯罪者を守る必要は無い。被害者こそ守るべき。(男性：40歳代)
- ・刑の内容次第。児童への性犯罪などは出所しても、繰り返しが有り、病気であり、更生した人としての扱いには理解できません。(女性：50歳代)

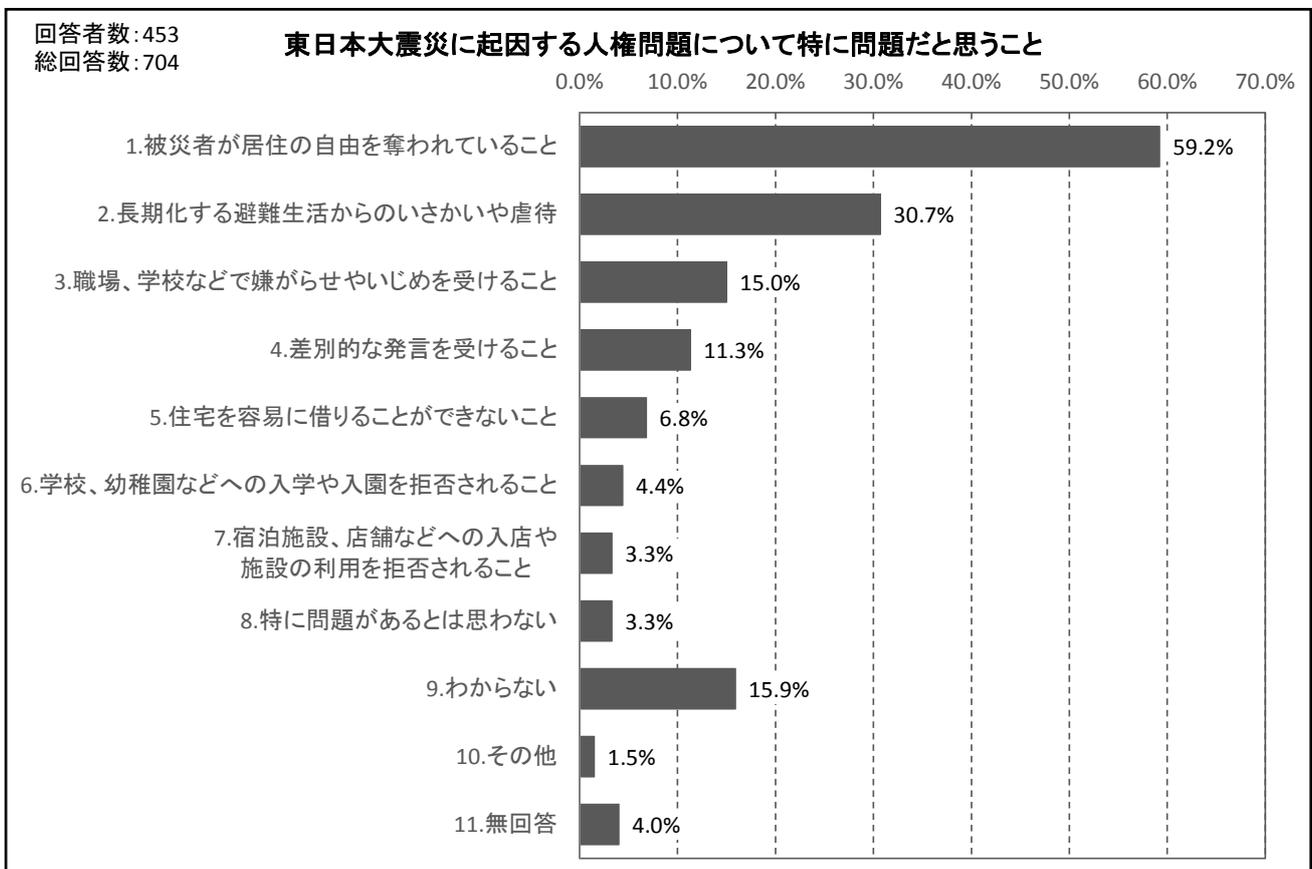
14 東日本大震災に起因する人権問題について

14-1 東日本大震災に起因する人権問題について特に問題だと思うこと

問 29. 東日本大震災やそれに伴う原子力発電所の事故の発生により被災した人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(○は2つまで)

【全体】

◆「被災者が居住の自由を奪われていること」が59.2%と最も高く、次いで「長期化する避難生活からのいさかいや虐待」が30.7%、「わからない」が15.9%となっている。



【性別】

◆男女ともに「被災者が居住の自由を奪われていること」が最も高く、次いで「長期化する避難生活からのいさかみや虐待」となっており、上位2項目においては性別による傾向はみられない。第3位は男性が「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」、女性は「わからない」となっている。

【年代別】

◆全ての年代で「被災者が居住の自由を奪われていること」が最も高く、次いで「長期化する避難生活からのいさかみや虐待」となっている。

[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	-	
		被災者が居住の自由を奪われていること	長期化する避難生活からのいさかみや虐待	職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	差別的な発言を受けること	住宅を容易に借りることができないこと	学校、幼稚園などへの入学や入園を拒否されること	宿泊施設、店舗などへの入店や施設の利用を拒否されること	特に問題があるとは思わない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	268	139	68	51	31	20	15	15	72	7	18	704	
	回答率	59.2%	30.7%	15.0%	11.3%	6.8%	4.4%	3.3%	3.3%	15.9%	1.5%	4.0%	155.4%	
性別	男性 (n=202)	回答数	120	62	32	19	15	7	7	12	27	6	7	314
		回答率	59.4%	30.7%	15.8%	9.4%	7.4%	3.5%	3.5%	5.9%	13.4%	3.0%	3.5%	155.5%
	女性 (n=249)	回答数	147	76	36	32	16	13	8	3	44	1	11	387
		回答率	59.0%	30.5%	14.5%	12.9%	6.4%	5.2%	3.2%	1.2%	17.7%	0.4%	4.4%	155.4%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	19	14	11	8	2	3	2	1	11	1	0	72
		回答率	39.6%	29.2%	22.9%	16.7%	4.2%	6.3%	4.2%	2.1%	22.9%	2.1%	0.0%	150.2%
	30歳代 (n=68)	回答数	45	26	11	9	5	2	3	1	7	1	1	111
		回答率	66.2%	38.2%	16.2%	13.2%	7.4%	2.9%	4.4%	1.5%	10.3%	1.5%	1.5%	163.3%
	40歳代 (n=56)	回答数	27	21	9	3	4	4	5	3	8	2	2	88
		回答率	48.2%	37.5%	16.1%	5.4%	7.1%	7.1%	8.9%	5.4%	14.3%	3.6%	3.6%	157.2%
	50歳代 (n=77)	回答数	51	21	15	17	2	4	1	4	9	1	0	125
		回答率	66.2%	27.3%	19.5%	22.1%	2.6%	5.2%	1.3%	5.2%	11.7%	1.3%	0.0%	162.4%
60歳代 (n=105)	回答数	68	32	14	7	8	4	2	2	18	0	6	161	
	回答率	64.8%	30.5%	13.3%	6.7%	7.6%	3.8%	1.9%	1.9%	17.1%	0.0%	5.7%	153.3%	
70歳以上 (n=98)	回答数	58	25	8	7	10	3	2	4	18	2	9	146	
	回答率	59.2%	25.5%	8.2%	7.1%	10.2%	3.1%	2.0%	4.1%	18.4%	2.0%	9.2%	149.0%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

- ・リスクがあることを分かって住んでいて補助金を貰っていたと聞いたので、それなら文句を言ってはいけないと思う。(男性：20 歳代)
- ・原子力への無知。(男性：40 歳代)
- ・原子力発電を無にしてほしい。(男性：70 歳代)
- ・人権を守る国や原子力発電企業が無責任である。(男性：70 歳代)
- ・選択肢にある様なことをされていることが信じられない。(女性：40 歳代)

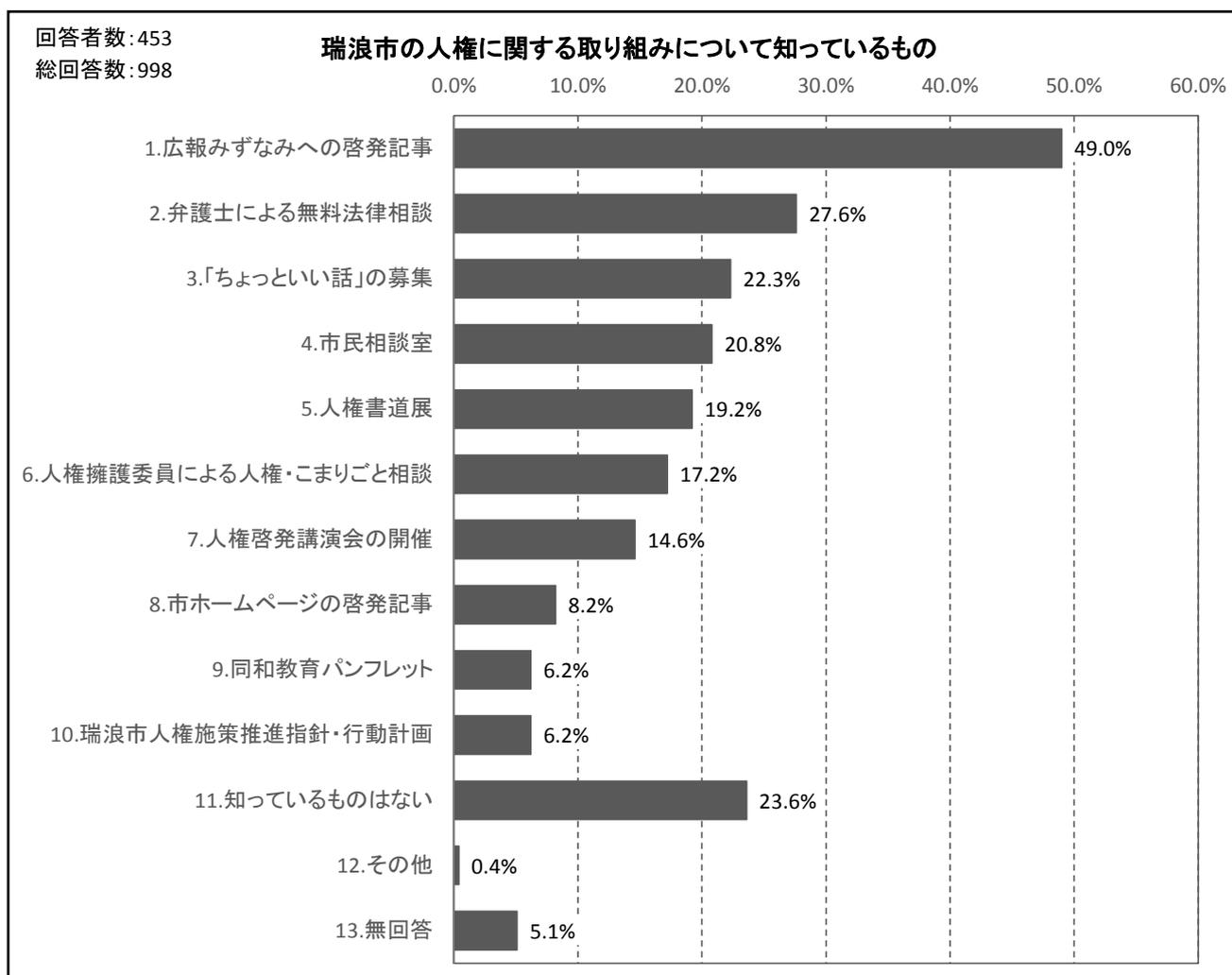
15 人権教育・人権啓発の方法について

15-1 瑞浪市の人権に関する取り組みについて知っているもの

問 30. 瑞浪市が行っている人権に関する取り組みについて、あなたが知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

【全体】

◆「広報みずなみへの啓発記事」が 49.0%と最も高く、次いで「弁護士による無料法律相談」が 27.6%、「知っているものはない」が 23.6%となっている。



【性別】

◆男女ともに「広報みずなみへの啓発記事」が最も高く、次いで「弁護士による無料法律相談」となっている。男女差の大きいものとしては、「人権書道展」で、女性の割合が24.1%と、男性と比較し10.7%高くなっている。

【年代別】

◆全ての年代で「広報みずなみへの啓発記事」の認知度が高い。20～40歳代では「知っているものはない」の割合が高く、40歳代以上では「弁護士による無料法律相談」の割合が高い傾向がある。

[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	-	
		広報みずなみへの啓発記事	弁護士による無料法律相談	「ちよつといい話」の募集	市民相談室	人権書道展	こまりごと相談	人権擁護委員による人権・	人権啓発講演会の開催	市ホームページの啓発記事	同和教育パンフレット	行動計画	瑞浪市人権施策推進指針・	知っているものはない	その他	無回答
全体 (n=453)	回答数	222	125	101	94	87	78	66	37	28	28	107	2	23	998	
	回答率	49.0%	27.6%	22.3%	20.8%	19.2%	17.2%	14.6%	8.2%	6.2%	6.2%	23.6%	0.4%	5.1%	220.4%	
性別	男性 (n=202)	回答数	101	53	36	43	27	29	31	21	18	14	49	2	10	434
		回答率	50.0%	26.2%	17.8%	21.3%	13.4%	14.4%	15.3%	10.4%	8.9%	6.9%	24.3%	1.0%	5.0%	214.9%
	女性 (n=249)	回答数	120	71	64	51	60	48	35	16	10	14	57	0	13	559
		回答率	48.2%	28.5%	25.7%	20.5%	24.1%	19.3%	14.1%	6.4%	4.0%	5.6%	22.9%	0.0%	5.2%	224.5%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	14	2	9	4	8	3	3	4	1	4	26	0	0	78
		回答率	29.2%	4.2%	18.8%	8.3%	16.7%	6.3%	6.3%	8.3%	2.1%	8.3%	54.2%	0.0%	0.0%	162.7%
	30歳代 (n=68)	回答数	34	9	18	5	10	5	8	5	3	2	26	0	3	128
		回答率	50.0%	13.2%	26.5%	7.4%	14.7%	7.4%	11.8%	7.4%	4.4%	2.9%	38.2%	0.0%	4.4%	188.3%
	40歳代 (n=56)	回答数	23	17	12	6	8	4	9	1	5	1	16	0	0	102
		回答率	41.1%	30.4%	21.4%	10.7%	14.3%	7.1%	16.1%	1.8%	8.9%	1.8%	28.6%	0.0%	0.0%	182.2%
	50歳代 (n=77)	回答数	47	30	27	13	23	10	13	7	7	4	12	2	1	196
		回答率	61.0%	39.0%	35.1%	16.9%	29.9%	13.0%	16.9%	9.1%	9.1%	5.2%	15.6%	2.6%	1.3%	254.7%
	60歳代 (n=105)	回答数	53	34	21	29	17	23	16	10	7	7	18	0	6	241
		回答率	50.5%	32.4%	20.0%	27.6%	16.2%	21.9%	15.2%	9.5%	6.7%	6.7%	17.1%	0.0%	5.7%	229.5%
70歳以上 (n=98)	回答数	50	32	13	37	21	32	17	10	5	10	9	0	13	249	
	回答率	51.0%	32.7%	13.3%	37.8%	21.4%	32.7%	17.3%	10.2%	5.1%	10.2%	9.2%	0.0%	13.3%	254.2%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】※意見・感想を含む。

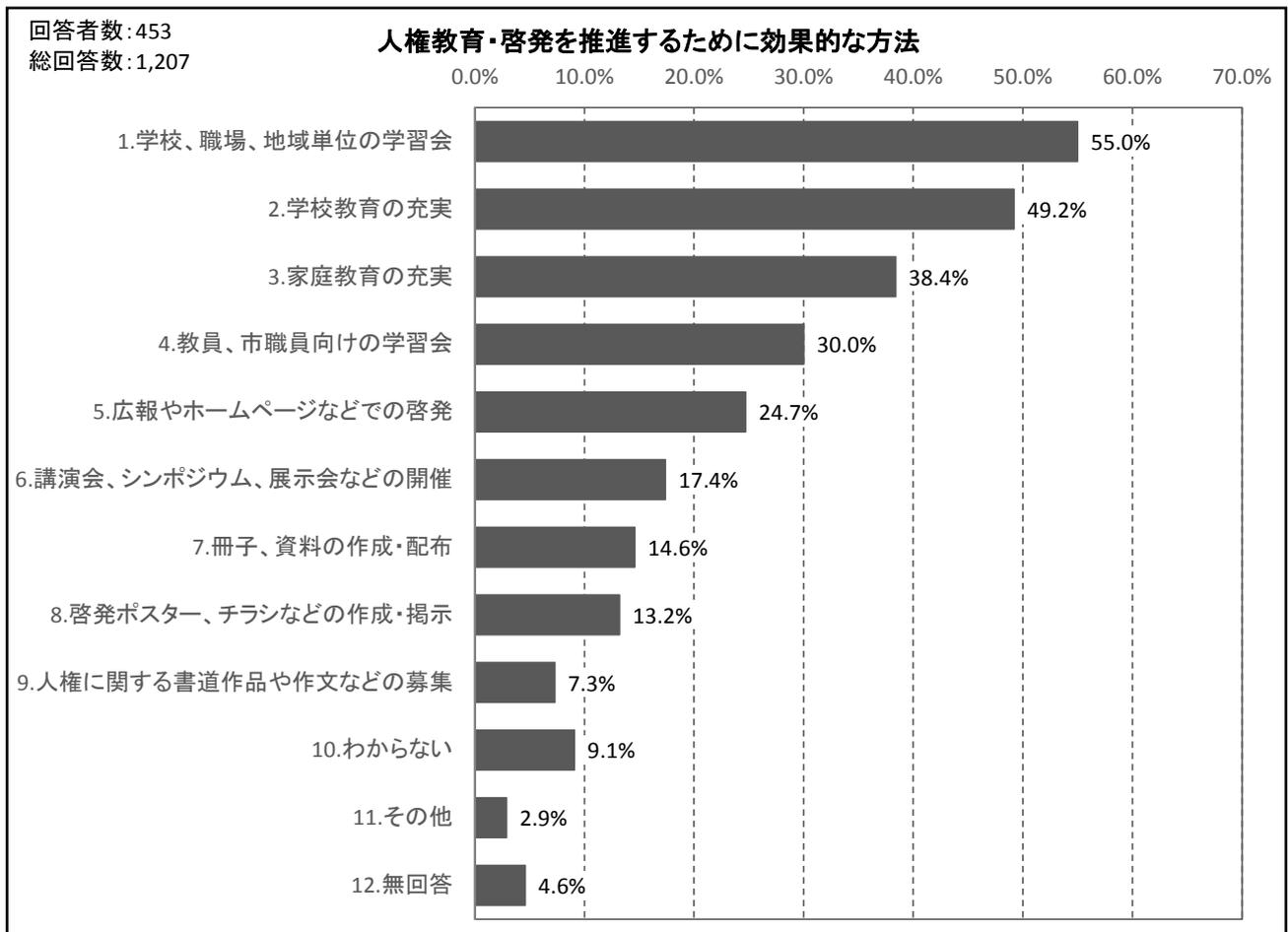
- ・なぜこの問いなのか分からない。（男性：50歳代）
- ・具体的には何も知らない。（男性：50歳代）
- ・市の相談室はあまり意味がない。相談室を聞いても、役所の人間自身が人権に対する意識が低いため無駄。（女性：60歳代）

15-2 人権教育・啓発を推進するために効果的な方法

問 31. 人権教育・啓発を推進するためには、どのような方法が効果的だと思いますか。
(○はいくつでも)

【全体】

- ◆ 「学校、職場、地域単位の学習会」が 55.0%と最も高く、次いで「学校教育の充実」が 49.2%、「家庭教育の充実」が 38.4%となっている。



【性別】

◆男女ともに「学校、職場、地域単位の学習会」が最も高く、次いで「学校教育の充実」、「家庭教育の充実」となっており、上位3項目において性別による差異はみられない。

【年代別】

◆全ての年代で「学校、職場、地域単位の学習会」が最も効果的と考えている。また、「学校教育の充実」、「家庭教育の充実」についても全ての年代において、上位3項目までに入っており、年代による目立った特徴はみられない。

[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	-	
		学 習 会 学 校 、 職 場 、 地 域 単 位 の	学 校 教 育 の 充 実	家 庭 教 育 の 充 実	教 員 、 市 職 員 向 け の 学 習 会	の 広 報 や ホ ー ム ペ ー ジ な ど で の 啓 発	展 示 会 な ど の 開 催	講 演 会 、 シ ン ポ ジ ウ ム 、	冊 子 、 資 料 の 作 成 ・ 配 布	の 啓 発 ポ ス タ ー 、 チ ラ シ な ど	作 人 権 に 関 す る 書 道 作 品 や 募 集	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答	- 総 回 答
全体 (n=453)	回答数	249	223	174	136	112	79	66	60	33	41	13	21	1207	
	回答率	55.0%	49.2%	38.4%	30.0%	24.7%	17.4%	14.6%	13.2%	7.3%	9.1%	2.9%	4.6%	266.4%	
性別	男性 (n=202)	回答数	115	107	74	58	50	38	31	26	14	19	4	8	544
		回答率	56.9%	53.0%	36.6%	28.7%	24.8%	18.8%	15.3%	12.9%	6.9%	9.4%	2.0%	4.0%	269.3%
	女性 (n=249)	回答数	134	114	98	77	62	41	35	33	19	22	9	13	657
		回答率	53.8%	45.8%	39.4%	30.9%	24.9%	16.5%	14.1%	13.3%	7.6%	8.8%	3.6%	5.2%	263.9%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	24	24	17	16	10	7	5	6	4	8	3	0	124
		回答率	50.0%	50.0%	35.4%	33.3%	20.8%	14.6%	10.4%	12.5%	8.3%	16.7%	6.3%	0.0%	258.3%
	30歳代 (n=68)	回答数	40	35	28	24	15	9	12	8	4	4	1	1	181
		回答率	58.8%	51.5%	41.2%	35.3%	22.1%	13.2%	17.6%	11.8%	5.9%	5.9%	1.5%	1.5%	266.3%
	40歳代 (n=56)	回答数	30	24	18	18	10	8	6	4	3	7	2	1	131
		回答率	53.6%	42.9%	32.1%	32.1%	17.9%	14.3%	10.7%	7.1%	5.4%	12.5%	3.6%	1.8%	234.0%
	50歳代 (n=77)	回答数	46	40	32	18	16	17	12	8	2	4	3	3	201
		回答率	59.7%	51.9%	41.6%	23.4%	20.8%	22.1%	15.6%	10.4%	2.6%	5.2%	3.9%	3.9%	261.1%
	60歳代 (n=105)	回答数	59	49	37	30	32	20	17	18	4	8	3	4	281
		回答率	56.2%	46.7%	35.2%	28.6%	30.5%	19.0%	16.2%	17.1%	3.8%	7.6%	2.9%	3.8%	267.6%
70歳以上 (n=98)	回答数	50	50	41	29	29	18	14	16	16	10	1	12	286	
	回答率	51.0%	51.0%	41.8%	29.6%	29.6%	18.4%	14.3%	16.3%	16.3%	10.2%	1.0%	12.2%	291.7%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】※意見・感想を含む。

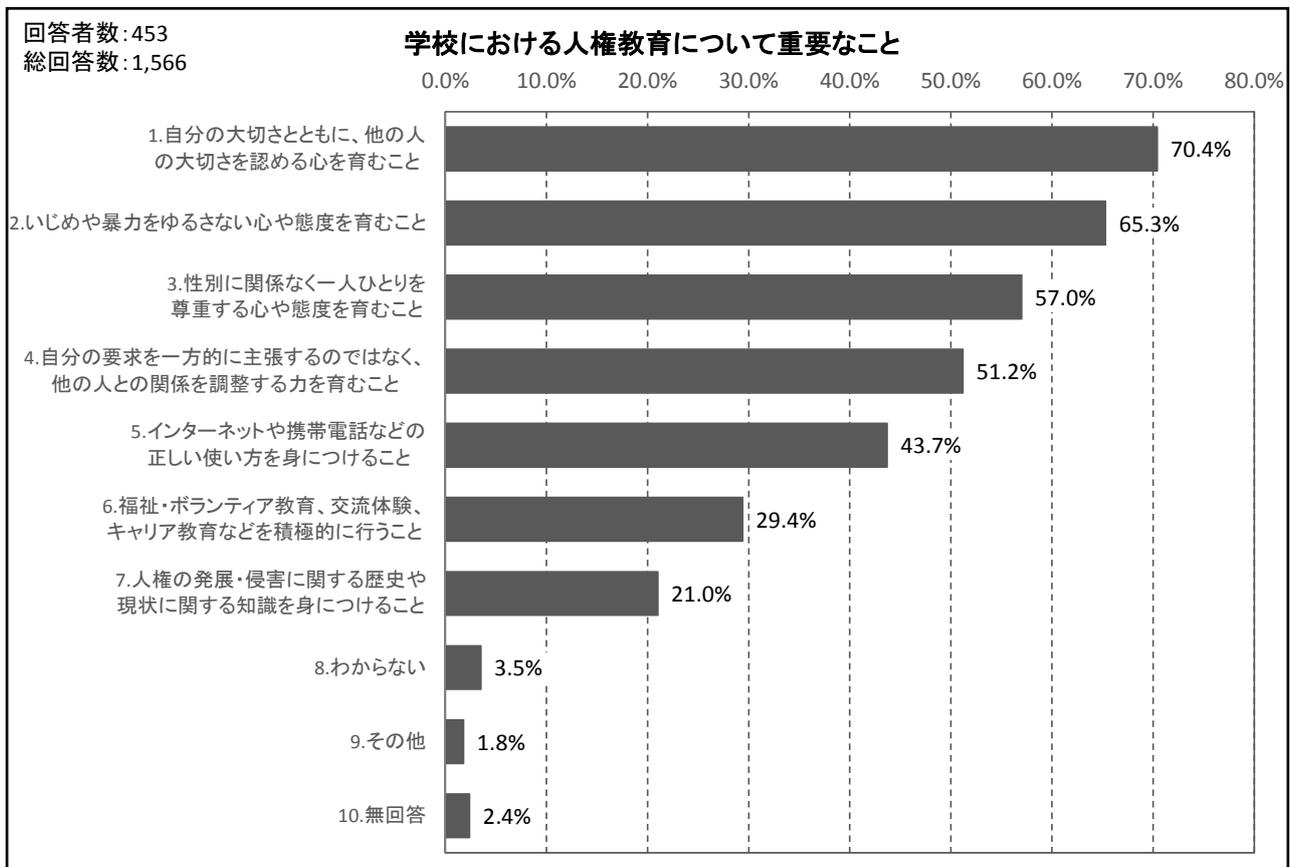
- ・自身や身近な人が苦しい状況におかれ、自らの意思で深刻に考える必要性を感じなければ、どんな方法もあまり効果がなく、その場しのぎになってしまうと思う。（男性：20 歳代）
- ・権利は義務を果たした者のみ主張できる。（男性：40 歳代）
- ・今色々取りざたされているが、個別過ぎるので、一つにまとめてからでは。（男性：50 歳代）
- ・道徳教育が基本だと思う。設問の選択肢の様な細かい手段は別にして。（男性：70 歳代）
- ・子どもの親の再教育の場。（女性：20 歳代）
- ・家庭での教育。小さいころからの啓発。（女性：20 歳代）
- ・TV、ラジオ、CM。（女性：30 歳代）
- ・「人権」という言葉がなじみにくい。分かりやすいような形。（女性：40 歳代）
- ・行われているかもしれないですが、教員の他県での研修など（例えば同和問題のある（多い）県、いじめの無い、または改善された学校へ）。（女性：40 歳代）
- ・テレビで特集などをして、何度も何度も世に伝える。（女性：50 歳代）
- ・余裕ある生活づくり。思いやりの心を育てるための互いのコミュニケーションをとる機会づくり。泣き寝入りしないで済む心情づくりの方法を学ぶ教育。文学、芸術、自然に親しむこと。優しい気持ちを持つ生き方。心理学、法律学、その他勉強会。（女性：50 歳代）
- ・市の作成する資料、冊子では意味がない。（女性：60 歳代）
- ・講演会などで実例を聞かせてほしい（人権を侵害された人の）。（女性：60 歳代）
- ・職場では会話の時間を作る。道徳の授業。三世代以上の生活のすすめ。（女性：60 歳代）

15-3 学校における人権教育について重要なこと

問 32. 学校における人権教育について、どのようなことが重要だと思いますか。
(○はいくつでも)

【全体】

- ◆ 「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める心を育むこと」が70.4%と最も高く、次いで「いじめや暴力をゆるさない心や態度を育むこと」が65.3%、「性別に関係なく一人ひとりを尊重する心や態度を育むこと」が57.0%となっている。



【性別】

◆男女ともに「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める心を育むこと」が最も高く、男性は「いじめや暴力をゆるさない心や態度を育むこと」も同率で最も高くなっている。

「インターネットや携帯電話などの正しい使い方を身につけること」においては、女性の割合が男性の割合よりも14.1%高くなっている。

【年代別】

◆40歳代を除き「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める心を育むこと」が最も高く、40歳代では「いじめや暴力をゆるさない心や態度を育むこと」が最も高くなっている。

[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	
		自分の大切さを認める心を育むこと	いじめや暴力をゆるさない心や態度を育むこと	性別に関係なく一人ひとりを尊重する心や態度を育むこと	力なく、他の人との関係を調整すること	自分の要求を一方的に主張すること	正しい使い方を身につけること	インターネットや携帯電話などの行うこと	福祉・キャリア教育などを積極的に	現状に関する知識を身につけること	人権の発展・侵害に関する歴史や	わからない	その他
全体 (n=453)	回答数	319	296	258	232	198	133	95	16	8	11	1566	
	回答率	70.4%	65.3%	57.0%	51.2%	43.7%	29.4%	21.0%	3.5%	1.8%	2.4%	345.7%	
性別	男性 (n=202)	回答数	124	124	107	96	73	52	37	9	4	7	633
		回答率	61.4%	61.4%	53.0%	47.5%	36.1%	25.7%	18.3%	4.5%	2.0%	3.5%	313.4%
	女性 (n=249)	回答数	193	170	149	134	125	80	58	7	4	4	924
		回答率	77.5%	68.3%	59.8%	53.8%	50.2%	32.1%	23.3%	2.8%	1.6%	1.6%	371.0%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	28	26	27	24	25	22	11	1	1	0	165
		回答率	58.3%	54.2%	56.3%	50.0%	52.1%	45.8%	22.9%	2.1%	2.1%	0.0%	343.8%
	30歳代 (n=68)	回答数	52	42	36	37	26	24	20	4	0	0	241
		回答率	76.5%	61.8%	52.9%	54.4%	38.2%	35.3%	29.4%	5.9%	0.0%	0.0%	354.4%
	40歳代 (n=56)	回答数	33	37	27	25	25	16	11	2	3	1	180
		回答率	58.9%	66.1%	48.2%	44.6%	44.6%	28.6%	19.6%	3.6%	5.4%	1.8%	321.4%
	50歳代 (n=77)	回答数	56	49	47	31	32	26	16	2	3	0	262
		回答率	72.7%	63.6%	61.0%	40.3%	41.6%	33.8%	20.8%	2.6%	3.9%	0.0%	340.3%
60歳代 (n=105)	回答数	78	77	62	59	42	22	18	2	0	2	362	
	回答率	74.3%	73.3%	59.0%	56.2%	40.0%	21.0%	17.1%	1.9%	0.0%	1.9%	344.7%	
70歳以上 (n=98)	回答数	71	64	58	55	48	22	19	5	1	8	351	
	回答率	72.4%	65.3%	59.2%	56.1%	49.0%	22.4%	19.4%	5.1%	1.0%	8.2%	358.1%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

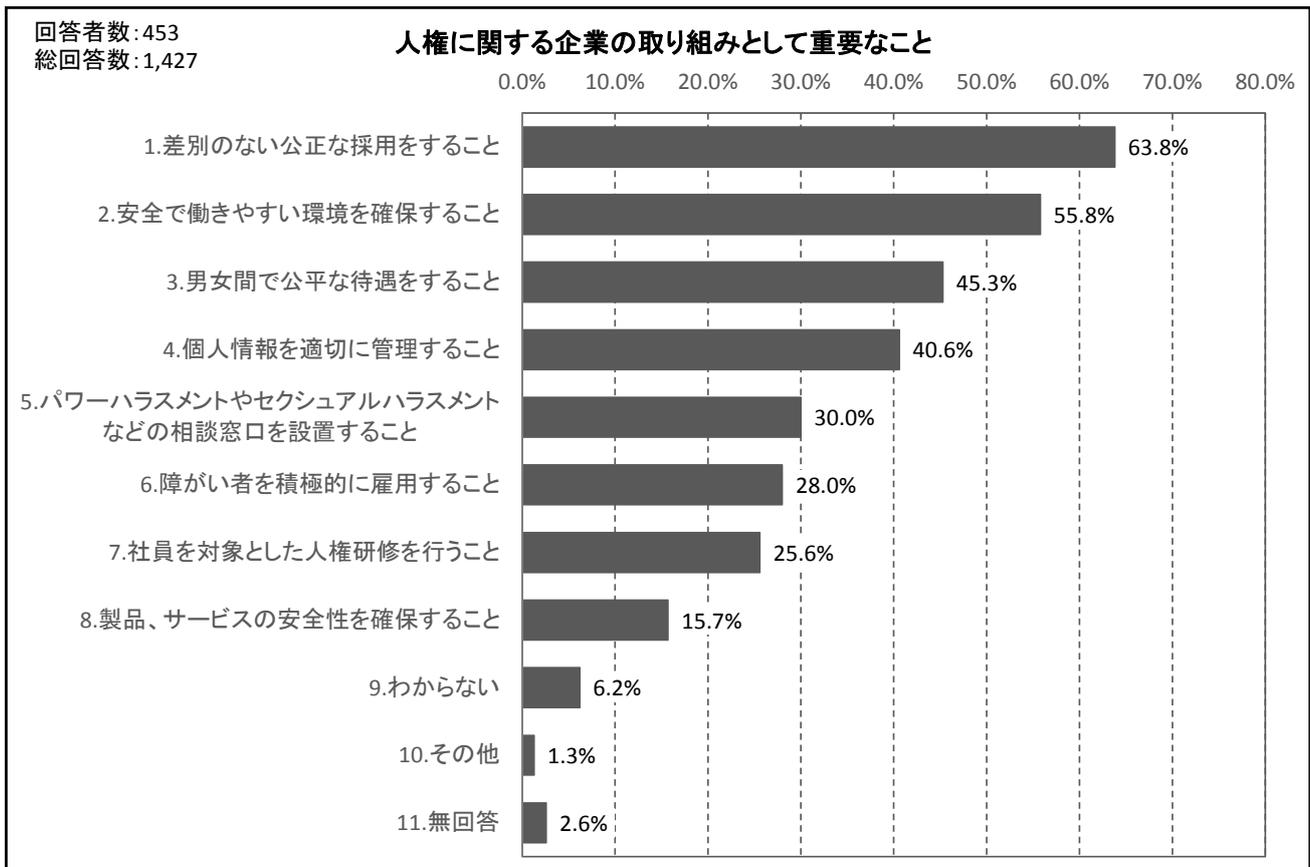
- ・教えるより皆で考える方がいいと思う。（男性：20 歳代）
- ・権利には義務を伴う事を教える。（男性：40 歳代）
- ・学校以上に家庭の教育の方が重要。（男性：50 歳代）
- ・学校に任せておいてダメなら、今そんな時代なのか。（男性：50 歳代）
- ・個を重視する事も大切だが礼儀や義務も大切。（女性：40 歳代）
- ・学年に関係なく交流を。不可能かもしれないけど、ランドセルにしてほしい。（個人のカラーを出せるから）（女性：40 歳代）
- ・他人の事と考えず、自分の事として考える想像力を身に付ける教育方法を実施する事。
（女性：50 歳代）
- ・全て大切なこと。（女性：70 歳代）

15-4 人権に関する企業の取り組みとして重要なこと

問 33. 人権に関する企業の取り組みとしてどのようなことが重要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

【全体】

- ◆「差別のない公正な採用をすること」が63.8%と最も高く、次いで「安全で働きやすい環境を確保すること」が55.8%、「男女間で公平な待遇をすること」が45.3%となっている。



【性別】

◆男女ともに「差別のない公正な採用をすること」が最も高く、次いで「安全で働きやすい環境を確保すること」、「男女間で公平な待遇をすること」となっており、上位3項目の順位に性別による傾向はみられないが、第1位の「差別のない公正な採用をすること」を選択した女性の割合は男性と比較して10.4%高くなっている。

【年代別】

◆全ての年代において「差別のない公正な採用をすること」、「安全で働きやすい環境を確保すること」、「男女間で公平な待遇をすること」の割合が高い。20、30歳代の若い世代では「個人情報適切に管理すること」、50歳代では「パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどの相談窓口を設置すること」の選択割合も高い。

[上段:回答者数、下段:%]

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	-	
		こ 差 別 の な い 公 正 な 採 用 を す る	す 安 全 で 働 き や す い 環 境 を 確 保 す る こ と	男 女 間 で 公 平 な 待 遇 を す る こ と	個 人 情 報 を 適 切 に 管 理 す る こ と	設 置 す る こ と	パ ワ ー ハ ラ ス メ ン ト な ど の 相 談 窓 口 を 設 置 す る こ と	障 が い 者 を 積 極 的 に 雇 用 す る こ と	社 員 を 対 象 と し た 人 権 研 修 を 行 う こ と	製 品 、 サ ー ビ ス の 安 全 性 を 確 保 す る こ と	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答	総 回 答
全体 (n=453)	回答数	289	253	205	184	136	127	116	71	28	6	12	1427	
	回答率	63.8%	55.8%	45.3%	40.6%	30.0%	28.0%	25.6%	15.7%	6.2%	1.3%	2.6%	314.9%	
性別	男性 (n=202)	回答数	117	107	89	76	54	55	53	27	13	3	5	599
		回答率	57.9%	53.0%	44.1%	37.6%	26.7%	27.2%	26.2%	13.4%	6.4%	1.5%	2.5%	296.5%
	女性 (n=249)	回答数	170	144	114	108	80	72	63	44	15	3	7	820
		回答率	68.3%	57.8%	45.8%	43.4%	32.1%	28.9%	25.3%	17.7%	6.0%	1.2%	2.8%	329.3%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	26	28	22	24	18	15	12	11	0	1	0	157
		回答率	54.2%	58.3%	45.8%	50.0%	37.5%	31.3%	25.0%	22.9%	0.0%	2.1%	0.0%	327.1%
	30歳代 (n=68)	回答数	42	38	33	36	19	16	14	14	5	0	0	217
		回答率	61.8%	55.9%	48.5%	52.9%	27.9%	23.5%	20.6%	20.6%	7.4%	0.0%	0.0%	319.1%
	40歳代 (n=56)	回答数	26	30	23	18	19	13	13	10	3	2	1	158
		回答率	46.4%	53.6%	41.1%	32.1%	33.9%	23.2%	23.2%	17.9%	5.4%	3.6%	1.8%	282.2%
	50歳代 (n=77)	回答数	55	40	35	26	35	15	25	6	3	3	1	244
		回答率	71.4%	51.9%	45.5%	33.8%	45.5%	19.5%	32.5%	7.8%	3.9%	3.9%	1.3%	317.0%
	60歳代 (n=105)	回答数	68	64	51	42	26	38	26	10	6	0	2	333
		回答率	64.8%	61.0%	48.6%	40.0%	24.8%	36.2%	24.8%	9.5%	5.7%	0.0%	1.9%	317.3%
	70歳以上 (n=98)	回答数	71	52	40	38	18	30	26	20	11	0	8	314
		回答率	72.4%	53.1%	40.8%	38.8%	18.4%	30.6%	26.5%	20.4%	11.2%	0.0%	8.2%	320.4%

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【その他の回答（主なもの）】 ※意見・感想を含む。

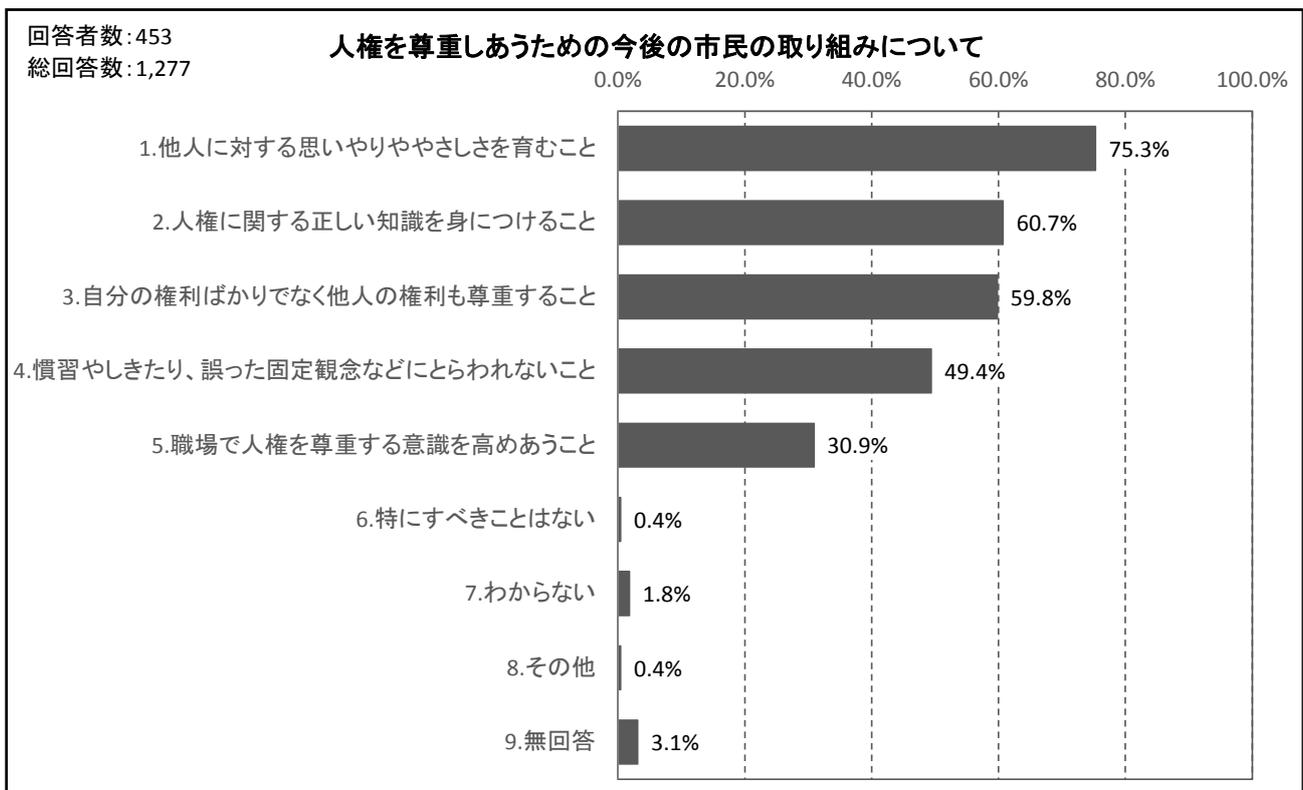
- ・能力に見合った待遇。(男性：40 歳代)
- ・パワハラやセクハラに関する教育を企業内で行う。(女性：40 歳代)
- ・年齢による採用でなく、仕事の能力による採用を希望。日本語（正しい、適切な）を使用すること。(女性：50 歳代)
- ・パワハラやセクハラは、泣き寝入りがほとんどだと思います。(女性：50 歳代)

15-5 人権を尊重しあうための今後の市民の取り組みについて

問 34. あなたは、市民一人ひとりが互いの人権を尊重するために心掛けたり、行動すべきことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

【全体】

- ◆ 「他人に対する思いやりやさしさを育むこと」が 75.3%と最も高く、「人権に関する正しい知識を身につけること」が 60.7%、「自分の権利ばかりでなく他人の権利も尊重すること」が 59.8%となっている。



【性別】

- ◆男女ともに「他人に対する思いやりやさしさを育むこと」が最も高く、第2位と3位は男女で逆転しており、第2位は、男性が「自分の権利ばかりでなく他人の権利も尊重すること」、女性は「人権に関する正しい知識を身につけること」となっている。「人権に関する正しい知識を身につけること」については男性より女性の割合が8.3%多い。

【年代別】

- ◆全ての年代で「他人に対する思いやりやさしさを育むこと」が最も高く、次いで20、40、50歳代及び70歳以上では「人権に関する正しい知識を身につけること」、30、60歳代では「自分の権利ばかりでなく他人の権利も尊重すること」となっている。

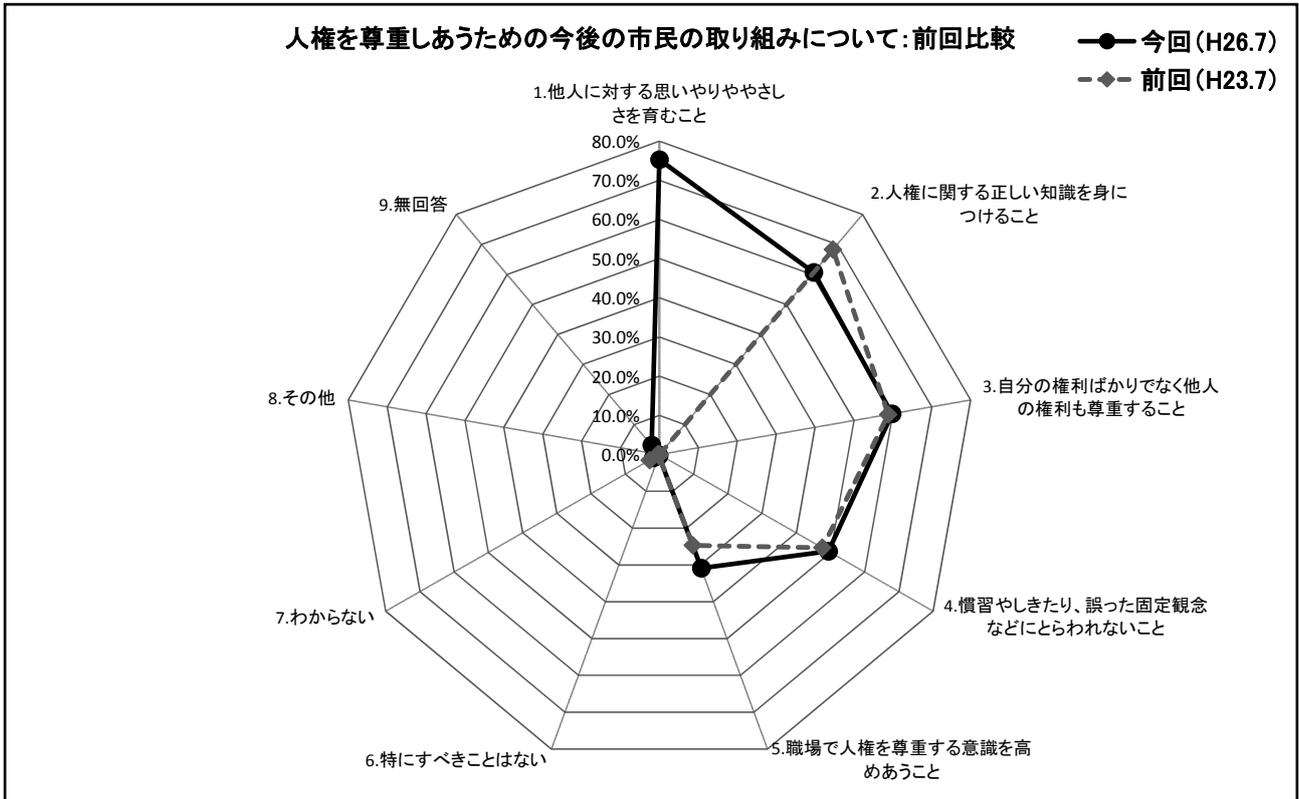
【上段:回答者数、下段:%】

項目	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	
		し他人に対する思いやりやさ	に人権に関する正しい知識を身	の自分の権利も尊重すること	観慣念やなどにきたりわ、れ誤ったこと	高職場であうことを尊重する意識を	特にすべきことはない	わからない	その他	無回答	総回答	
全体 (n=453)	回答数	341	275	271	224	140	2	8	2	14	1277	
	回答率	75.3%	60.7%	59.8%	49.4%	30.9%	0.4%	1.8%	0.4%	3.1%	281.8%	
性別	男性 (n=202)	回答数	148	114	122	105	57	1	4	1	6	558
		回答率	73.3%	56.4%	60.4%	52.0%	28.2%	0.5%	2.0%	0.5%	3.0%	276.3%
	女性 (n=249)	回答数	191	161	148	117	82	1	4	1	8	713
		回答率	76.7%	64.7%	59.4%	47.0%	32.9%	0.4%	1.6%	0.4%	3.2%	286.3%
年代別	20歳代 (n=48)	回答数	35	31	28	26	17	0	0	1	1	139
		回答率	72.9%	64.6%	58.3%	54.2%	35.4%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	289.6%
	30歳代 (n=68)	回答数	55	35	37	32	17	1	0	0	0	177
		回答率	80.9%	51.5%	54.4%	47.1%	25.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	260.4%
	40歳代 (n=56)	回答数	36	34	33	23	14	0	2	0	2	144
		回答率	64.3%	60.7%	58.9%	41.1%	25.0%	0.0%	3.6%	0.0%	3.6%	257.2%
	50歳代 (n=77)	回答数	59	46	40	35	28	0	2	1	1	212
		回答率	76.6%	59.7%	51.9%	45.5%	36.4%	0.0%	2.6%	1.3%	1.3%	275.3%
	60歳代 (n=105)	回答数	82	62	68	59	31	1	2	0	3	308
		回答率	78.1%	59.0%	64.8%	56.2%	29.5%	1.0%	1.9%	0.0%	2.9%	293.4%
70歳以上 (n=98)	回答数	73	67	65	48	32	0	2	0	7	294	
	回答率	74.5%	68.4%	66.3%	49.0%	32.7%	0.0%	2.0%	0.0%	7.1%	300.0%	

※割合の高い項目の上位3位までを網掛けで表示（無回答は除く）

【前回との比較】

◆項目別に多少の変化はあるが、全体的に大きな変化はない。



【前回との差】

◆増加した項目が3項目、減少した項目が2項目となっている。

増加項目では、「職場で人権を尊重する意識を高めあうこと」が6.2%増加している。

減少項目では、「人権に関する正しい知識を身につけること」が7.6%減少している。

項目	今回 (H26.7)	前回 (H23.7)	差
1.他人に対する思いやりやさしさを育むこと	75.3%	-	-
2.人権に関する正しい知識を身につけること	60.7%	68.3%	-7.6%
3.自分の権利ばかりでなく他人の権利も尊重すること	59.8%	58.8%	1.0%
4.慣習やしきたり、誤った固定観念などにとらわれないこと	49.4%	47.6%	1.8%
5.職場で人権を尊重する意識を高めあうこと	30.9%	24.7%	6.2%
6.特にすべきことはない	0.4%	0.4%	0.0%
7.わからない	1.8%	2.9%	-1.1%
8.その他	0.4%	0.4%	0.0%
9.無回答	3.1%	-	-

【その他の回答（主なもの）】※意見・感想を含む。

・笑顔、愛語、美化、芸術、スポーツに親しむこと。(女性：50歳代)

第IV章 自由意見

自由意見

*皆さんから寄せられた自由意見については、できる限り原文のとおり記載することとしていますが、意味が通じにくい表現（現在一般的に使われてない表記や句読点の欠落など）の場合は、修正して掲載しています。

人権全般について

性別	年代	内 容
男性	20歳代	人権問題については学校や職場を通して教育を徹底して行い、一人ひとりが意識を持ち他人のことを思う気持ちを小さな頃から積み重ねていく必要があるかと思います。
男性	20歳代	人権について一人ひとりが考える事の出来る機会を、学校や職場などでもっと取り入れていくべきだと思う。
男性	30歳代	当事者になってみないとよく分からない問題で実際あまり関心がない。えせ同和団体などは根絶すべきだと思うが、女性・子ども・高齢者・障がい者・犯罪関係者・被差別部落出身者・感染症患者・福島近辺在住者の差別はなかなか無くならないと思う。人間がどうしても理性で抑えることができない部分もある。残酷な部分も合わせ持った生き物である前提に立脚すべき。
男性	40歳代	人権は常に誰にとっても平等である事が原則であると思います。但し、国に対して何の責任や義務を果たして無い者にも平等に人権を…と言う気概にはなれない面もあります。
男性	40歳代	権利を主張する者の多くは詐欺。本当に困っている人は声を上げられない。
男性	50歳代	長い目で見れば教育・知的・文化・生活レベルの向上と相関的な問題だと思っている。国や県・市に対し、義務を全うしている人の人権は行政・司法一体で守られるべきだと思う。やさしい心を基調に。
男性	70歳代	人間は感情の動物であり、人権問題は一言で片付けるわけにはいかないものです。
女性	20歳代	人権問題はとても難しい内容で、誰がどんな取り組みをしているのかわかりません。しかし、沢山のひととふれ合い、自分の心を動かす様な活動に参加してみたいし、子どもにも参加させたいのでそのようなイベントをお願いしたいです。
女性	50歳代	人権と言っても本当は幅広くとても難しい問題だと思います。人から見たら大したことがなくても本人にとっては辛く大変なこともあると思います。
女性	60歳代	人権問題そのものがどういう事なのかよくわかりません。人間の生きていく上での権利という事なのでしょうね。瑞浪市が人権に関する取り組みを行っているという事を初めて知りました。
女性	70歳代	人権問題について日頃深く考える事はないように思いますが、問題が起きて初めて考えたり、実際に被害に遭っている時に関心を持つようになると思います。人に接する思いやりや優しい気持ちがあれば解決出来るのではないかと思います。

女性の人権問題について

性別	年代	内 容
女性	30歳代	仕事（就職）に関して、女性の能力や意見が発揮されない、活躍を拒否されている社会だと思います。働く場も少ないし、職歴だけで判断される事や女性が頑張ろうとしているのに差別されてしまう。女性をもっと採用できる社会環境が必要だと思います。
女性	70歳代	職場では常に長で仕事をしてきました。男の人には負けず劣らない仕事をしてきましたが、賃金は大変な差があったと思います。私たちの地域では役員への女性の参加は聞いたことがありません。

子どもの人権問題について

性別	年代	内 容
男性	30歳代	何でも男女平等は違う気がする。男と女はそれぞれに出来る事が違うし子どものうちからその違いを理解して尊重し合えることが必要だと思う。子どものいじめが一番の心配。近年のいじめはネット、SNS等で陰湿なものが多い。その辺のモラルを一人ひとりが意識できるか、出来るような仕組みが必要。また、子どもの性教育もしっかりしなければならない。変な犯罪が多すぎる。
男性	50歳代	某中学校の一部の教員に生徒を侮辱した発言や、とても人権を尊重しているとは思えない行動をされる方がおられるようです。今回のアンケートを真摯に受けとめ対応していただけることを期待しています。
男性	70歳代	学校などでいじめをしないように。市も良い町にしよう。
女性	20歳代	その人の立場になって考える事が大切だと思います（他人への思いやり）私はいじめ側にいたことがありますが、いじめられて初めていじめていた子の気持ちが分かり、二度といじめはしないとしました。今はいじめが原因で自殺をしてしまう子もいるので深刻な問題だと思います。いじめをする方が恥ずかしい事なんだというような風潮が広がると良いと思います。
女性	20歳代	SNSの機能を大人から子どもまで多くの人が利用しているが、その中で子どものSNSを使ったトラブルが多いと感じる。学校だけでなく各家庭での子どものSNSに対する考え方や正しい使い方を教えるべきであると思う。学校の負担も少なくなる様、各家庭の躰の質の向上がなされると良い。

障がい者の人権問題について

性別	年代	内 容
女性	40歳代	障がい者の人権や権利をしっかり守ることをお願いしたい。

同和問題について

性別	年代	内 容
女性	60歳代	同和問題について新世代は知る人は殆ど無いと思います。改めて取り上げるべき問題でしょうか？この「問題を取り上げるべき指導」こそ疑問を抱きます。

外国人の人権問題について

性別	年代	内 容
女性	60歳代	なかなか難しい問題だと思います。習慣・しきたりはなかなか取れません。一番はゴミ出しが出来ない問題点。それをどのように身に付けて頂くかは大変な事です。どうにでもなるわと思う人が少しでも少なくなる事。人権問題として捉える事を身に付けたい。

パワーハラスメント(職場でのいじめ・嫌がらせ)の問題について

性別	年代	内 容
女性	50歳代	私は介護老人保健施設に勤務する看護師ですが、昨年の今頃、10年間勤務した施設を理不尽な形で退職しました。私の働いているフロアが他のフロアと比べ多忙を極めた為、上司に「人員を増やして欲しい」と一言言ったのが逆鱗に触れ「明日から来なくていい」と言われました。現施設には今年の5月下旬から勤務しておりますが、やはり職員間のイジメで職場に来れなくなった人や部署を変更してもらった人など様々です。また、たまたまかもしれませんがその様にイジメをする人物はリーダーやサブリーダーなど部下を指導する立場にある場合が多いので残念でなりません。
女性	50歳代	経済的な理由で“中卒”と履歴書に書いて面接したら“中卒？今時？”と笑われたこと。瑞浪にこんな会社の社長が居る事が許せなかった。中卒だと働く事が出来ないのですか？高卒の子でも計算の出来ない子も居ます。そんな会社には罰金を取って欲しい。
女性	40歳代	職場や高校生の子どもなど様々な場面で人権問題を感じますが、やはり社会的に主張できないのも事実です。特に高校生は子どもと言っても先生に対して主張したら立場が不利になると考え、家族に怒りを訴えました。結局「社会に出れば理不尽なことがあるよ」と話しました。教師の子どもに対するパワハラだけは許せません。
女性	60歳代	6月で満60歳になり退職しました。職場では辞められてしまうのを避けるために若い人にチャホヤ。辛い仕事は年功者が…65歳まで勤める事は出来ませんが退職しました。上司も、もっと上司であるという自覚を持ってほしいと思います。

人権教育・啓発について

性別	年代	内 容
男性	20歳代	日本の教育でもっと教えるべき。
男性	30歳代	時と共に日本固有の文化の価値に変化が見られていると思います。今の世はアノミー的と言える。誰もが権利を主張し義務を果たさない世の中では正直対策しても変わらないのではと考えてしまう。
男性	30歳代	相手の気持ちを考えて発言行動をする。
男性	40歳代	人権問題の専門家や関係機関からのアドバイスを参考にして市職員を中心に高い意識をもってこの問題に取り組んでいくべきだと思います。
男性	60歳代	思いやり、優しさが何より大事です。
男性	70歳代	他の人の気持ちになれる人を育てたいと思います。
女性	30歳代	相手の考えを理解するよう話し合える環境が必要だと思います。人にはそれぞれの考え方があり、必ずしも間違っているとは限らない事も多いはず。社会に出てしまえば機会は減ってしまうかもしれないけれど、学校の教育の中で時間を作ることは可能だと思うので、自分の考え以外の他の人の考えを知る機会を多く作っていくことが、人権問題解決に少なからず発展するのではないのでしょうか？
女性	40歳代	さまざまな問題はあるかと思いますが、当事者がどのような思いがあるのかが分かりません。（戦争はよくないと言い聞かせながら本当の戦争体験を語る人がいないように）全てがリアリティに欠けていて分からない事ばかり、それが本音です。ただ全ての問題には答えがあり何かをするのではなく、被害者・加害者に関係なく全ての人々の中にあるということだけ言える。
女性	40歳代	教師のレベルが下がってきていると思う。その場限りの言い訳ではなく、子どもたちのことを考えた発言を親にして欲しい。今の教師は“保身”にばかり偏っている印象があり“生徒の為に”と口ばかりの教師が教頭を名乗っている世の中なので、人権問題は無くならないと思う。
女性	40歳代	子どもの人権について、学校・家庭以外の経験を積めるところがあると良いと思います。老人・定年者がボランティアとして何か教えてくれると（キャンプ、工作、俳句…）気軽に参加できる。コミュニケーション力を付けて発散できる。家庭が安らぎの場とは限らない子も居る。
女性	50歳代	他人に対する思いやりの心を育めば全ての問題がスムーズに行く気がしました。まずは家庭という一番小さい集団の中から親が子どもに教えることが大切だと思います。
女性	50歳代	いじめがなくなる現状、人はなぜ自分の権利ばかり主張して人に譲る心が共鳴出来ないのか不思議。因果応報、悪い方向でなく自分がされて良い行い、気持ち良い行いが報いで帰ってきたら自然と譲る優しい心が育てられると思います。
女性	60歳代	地域には子育て経験者、企業での経験者、福祉関係の経験者などが多くいらっしゃいます。井戸端会議ぐらいの集まりでも良い話がたくさん聞けます。公的な行事は敷居が高くても近所の集まりが市内のどこでも見られるようになると最高です。ご近所サロンの広がりをご提唱します。
女性	60歳代	行き過ぎた啓発（冊子・資料・ポスター）配布、学習会より他人に対する思いやりを育むことが大切だと思います。家庭教育への啓発をお願いします。

アンケートについて

性別	年代	内 容
男性	50歳代	特にありませんが、市側がこんなことをしても市民には伝わらない。
男性	60歳代	アンケート記入依頼の前提として、まず市政として人権問題の対応状況や世の中の人権問題の意識レベルなど客観的な人権問題の対応レベルを明示して下さい。アンケートの回答方法が難しい。
男性	70歳代	学校教育の問題、家庭教育の問題、地域社会での問題等、問う設問内容を観点別に整理した方が焦点化が図れるのでは無いでしょうか。
女性	30歳代	20代以上だけでなく10代の未来を担う子どもたちのアンケートもされると違った意見や思いも見えるのでは？と思います。
女性	60歳代	このアンケートが本物になる様な社会になる事を願います。人の心無い言葉や行動で心が悲しみに悲鳴を上げています。心豊かな社会人になれるよう願っています。
女性	60歳代	人権問題について今まであまり考えたことがありませんでした。今回のアンケートにより少し関心を持ちたいと思いました。
女性	70歳代	市民が瑞浪に住んで良かったと思える取り組みを調査から人権に活かして下さい願います。
女性	70歳代	このアンケートは自分の日頃の生活・生き方からかけ離れた問題もありとても難しかった（特に設問22～28）言葉による人権侵害、高齢者の人権等、人が人として守らなければならない事がしっかりできていない。家庭教育・学校教育は特に重要だと思います。

その他

性別	年代	内 容
男性	20歳代	人権・権利を主張するなら義務をちゃんと果たすべきだと思う。例えば皆親の面倒を見ずに施設に入れるが、育ててもらった親の面倒を見るのは義務。それをせずに親が死んだ時に私には相続を受ける権利を主張していて何かおかしい。親を見る義務を果たさないのを許してしまうから施設が必要になり、施設には国のお金が沢山要るから悪循環。皆が義務を守れば済むと思う。それをおいて人権とか言っているのはおかしいのでは。
男性	30歳代	自分もそうだけれど、何をおいてもまず自分の利益を中心にして考えてしまう。自分の事は棚の上に置いておく意識を持って行動すれば解決する事が多くなるような気がする。
男性	30歳代	自分の身近なところに色々な人権問題があることが知ることが出来て良かったです。普段気にせずにごろしている自分は幸せな立場なんだと思い感謝の気持ちになりました。少しでも多くの問題とふれ合い向き合っていきたいです。
男性	30歳代	市内の有力者の中に傲慢な態度で市民（一般）へのパワハラとも思える行動、言葉の者がいる。こういうところが解決できなければ何をやっても無駄。

男性	40歳代	警察や行政の対応の悪さが問題有り。
男性	50歳代	生活安全課に期待します。
男性	60歳代	人権教育、啓発等必要な人ほど興味を示さない。
男性	70歳代	あまり人権問題をやかましく言う人間にしたくないですね。自分だけ他人とのことに関係したくない（その行き過ぎも問題ですが）世の中全体の流れが人権問題を悪い意味でクローズアップさせる大きな原因になっていませんか。冷たすぎもせず熱すぎもせず、瑞浪をそういう町にしたいですね。
女性	20歳代	人権問題について対処する上で、税金の無駄遣いとならないようにして欲しいです。
女性	20歳代	正直、あまり人権について考えたことがない事がよく分かりました。どうしていいか分かりません。
女性	30歳代	瑞浪に越してきてまだ1年なので、瑞浪市がどの様な事をしているのか知らなくてすみません。
女性	50歳代	嫌がらせを受け5年になります。本人は（家族、相手）なんとも思っていないようです。私は突発性難聴、自律神経脱毛症になり病院に通院しています。そろそろ警察署に行こうかと考えています。近所の人あの人はうるさいからと半分諦めも。
女性	50歳代	どこまで関わって良いのか戸惑う。
女性	50歳代	瑞浪市役所まちづくり推進部生活安全課として取り扱っていただけるとするなら、瑞浪市で生まれ育ち生活して死んでいくことの意義を瑞浪ならではの…というものがあってもいいのかも考える。勿論当たり前前の事が当たり前出来る上でのことであるのだけれど。また、日本、岐阜、瑞浪から発信できることもあるように思う。
女性	60歳代	社会と接する（職場）機会が薄くなり、今は家庭の（主に孫のお守り）主婦としての毎日の為、あまり力になれるようなアンケートにならず申し訳ありません。只今一番関心の深いことは老後の介護施設の充実はどの位なのか？
女性	60歳代	安心して住める瑞浪になって欲しい。
女性	60歳代	現在楽しく暮らしています。あまり神経質にならず明日は我が身と思いい弱者と接しないとと思います。家族と仲良く、世間とも仲良く、そして世界とも仲良くしないとと思っています。
女性	70歳代	社会が関心を持つこと。
女性	70歳代	自分自身はその立場になった時の事を考えてみると良いと思います。
女性	70歳代	家庭で教えるべき事を学校にばかり押しつけているように思う。老人家族に「詳しくはホームページで」なんて言われても無理。上記いつも感じている様な事です。
無回答	50歳代	このアンケートでさまざまな人権問題があることを知りました。人権侵害という事はあってはならないことだと思います。社会全体での人権侵害の無い風潮を作っていく必要があると思う。

第V章 参考資料（調査票）

人権に関する市民意識調査

調査ご協力のお願い

日頃より、市政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

瑞浪市では、平成23年3月に策定した「瑞浪市人権施策推進指針」と「瑞浪市人権施策推進行動計画」に基づき、市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指し、各種の取り組みを進めています。

つきましては、今後の人権啓発・人権教育の参考とさせていただくため、市民の皆さまに人権についてのお考えを聞かせていただくことといたしました。

この調査は、瑞浪市在住の20歳以上の方の中から無作為に1,000名を選び、アンケートにお答えいただく方法により実施いたします。その一人として、あなたにお願いすることになりましたが、あなたのお名前やご回答の内容が公表されることは決してございません。また、調査目的以外には絶対に使用しませんので、日頃のお考えを率直にお聞かせください。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成26年7月

瑞浪市長 水野 光二

ご記入にあたってのお願い

1. アンケートには、封筒の宛名の方ご本人がご回答ください。記入が困難な場合は、ご家族が代わりにご記入いただいても結構です。
2. 回答は選択方式です。あてはまる番号を○印で囲んでください。
3. 記入後は無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、7月31日（木）までにポストに投函してください。（切手は不要です）



■調査に関する問い合わせ

瑞浪市役所 まちづくり推進部 生活安全課
☎0572-68-9748（直通）

あなた自身について

問1 あなたの性別を教えてください。

《○は1つだけ》

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢を教えてください。

《○は1つだけ》

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 |
| 4 50歳代 | 5 60歳代 | 6 70歳以上 |

問3 あなたの職業を教えてください。

《○は1つだけ》

- | | |
|--|-------------------|
| 1 自営業、経営者（農林水産業・商工・サービス業自由業等個人事業主と家族従業員、会社経営者など） | |
| 2 正規の職員、従業員（会社員・公務員など） | 3 パート、アルバイト（内職含む） |
| 4 学生 | 5 家事専業（主婦・主夫） |
| 6 無職 | |
| 7 その他 | { 具体的に： } |

問4 あなたの家族構成を教えてください。

《○は1つだけ》

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 一世代世帯（夫婦のみ） |
| 3 二世帯世帯（親とその子ども） | 4 三世帯世帯（祖父母と親とその子ども） |
| 5 その他 | { 具体的に： } |

人権全般について

問5 あなたの人権に対する考えに最も近いものはどれですか。

《○は1つだけ》

- | | |
|---|-----------|
| 1 一人ひとりの人権は何よりも尊重されなければならない | |
| 2 一人ひとりの人権は大切だが、社会生活においてはある程度の制約もやむをえない | |
| 3 人権の名のもとに権利の濫用 ^{らんよう} が見られるので、むしろ制限すべきだ | |
| 4 その他 | { 具体的に： } |

問6 あなたは、次の人権問題に、どの程度関心を持っていますか。

次あげる①～⑰のすべてにお答えください。
 ≪各項目の「1 2 3 4」のうち1つに○≫

	非常に 関心 がある	多少 関心 がある	あまり 関心 がない	全く 関心 がない
① 女性の人権問題	1	2	3	4
② 子どもの人権問題	1	2	3	4
③ 高齢者の人権問題	1	2	3	4
④ 障がい者の人権問題	1	2	3	4
⑤ 同和問題	1	2	3	4
⑥ アイヌ* ¹ の人々の人権問題	1	2	3	4
⑦ 外国人の人権問題	1	2	3	4
⑧ 感染症患者など* ² の人権問題	1	2	3	4
⑨ 刑を終えて出所した人の人権問題	1	2	3	4
⑩ 犯罪被害者とその家族の人権問題	1	2	3	4
⑪ インターネット* ³ を悪用した人権侵害	1	2	3	4
⑫ ホームレス* ⁴ の人権問題	1	2	3	4
⑬ 性的指向* ⁵ の異なる人の人権問題	1	2	3	4
⑭ 性同一性障がい者* ⁶ の人権問題	1	2	3	4
⑮ 北朝鮮による拉致問題	1	2	3	4
⑯ 人身取引* ⁷ に関する人権問題	1	2	3	4
⑰ 東日本大震災に起因する人権問題	1	2	3	4

*1 主に北海道に居住している先住民族

*2 エイズ患者、HIV感染者、ハンセン病患者など

*3 パソコン、スマートフォンなど

*4 定まった住居を持たず、公園・路上を生活の場とする人

*5 異性愛、同性愛、両性愛など

*6 「からだの性」と「こころの性」が一致しない状態の人

*7 性的搾取や強制労働、臓器売買を含む

問7 あなたは、過去5年間に、「差別をされた」と思ったことがありますか。また、それはどのような内容でしたか。

1 ある	2 ない
------	------

↓ ≪○はいくつでも≫

→ 問8へ

1 年齢について	2 学歴・出身校について	3 職業について
4 収入・財産について	5 家柄について	6 性別について
7 出身地について	8 容姿について	9 思想・信条について
10 宗教について	11 人種・民族・国籍について	12 病気・心身障がいについて
13 家族構成について (母子・父子家庭、両親なしなど)		
14 その他 [具体的に :]

問8 あなたは、過去5年間に、「人権を侵害された」と感じたことがありますか。また、それはどのような内容でしたか。

1 ある	2 ない
------	------

↓ **《○はいくつでも》** → 問9へ

1 あらぬ噂 ^{うわさ} 、他人からの悪口、陰口	2 名誉・信用のき損 ^{ぶじょく} 、侮辱
3 他人からの暴力、脅迫 ^{きょうはく} 、強要	4 プライバシーの侵害（職場、家庭、地域）
5 虐待 ^{ぎゃくたい}	6 いじめ
7 地域での差別待遇	8 家庭での差別待遇
9 学校での差別待遇	10 職場での差別待遇
11 配偶者や恋人からの暴力（ドメスティックバイオレンス）	
12 セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）	
13 ストーカー（つきまとい）行為	
14 その他 { 具体的に： _____ }	

問9 もし差別や人権侵害を受けた場合、あなたはどのような対応をしますか。

《○はいくつでも》

1 黙って我慢をする	2 相手に抗議をする
3 家族に相談をする	4 友人に相談をする
5 職場の人や学校の先生などに相談をする	6 区長や民生委員などに相談をする
7 弁護士に相談をする	8 法務局や人権擁護委員に相談をする
9 県や市役所などに相談をする	10 警察に相談をする
11 新聞やテレビなどマスコミに訴える	
12 その他 { 具体的に： _____ }	

問10 問9で「1 黙って我慢をする」を選択した方にお尋ねします。それはなぜですか。

《○は1つだけ》

1 相談できる相手がいない	2 どこに相談したらよいかわからない
3 相談しても解決しないと思う	4 相談費用がない
5 相談する勇気がない	6 特に理由はない
7 その他 { 具体的に： _____ }	



女性の人権について

問 11 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は3つまで》

- 1 「男は仕事、女は家庭」など、性別による固定的な役割分担意識があること
- 2 役員や伝統行事への女性の参加制限といった慣習やしきたりが地域に残っていること
- 3 商品の広告などで、内容に関係なく女性の水着姿・裸体などをむやみに使用していること
- 4 方針や意思決定の場に女性が十分参画していない、または参画できないこと
- 5 セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）
- 6 配偶者や恋人からの暴力（ドメスティックバイオレンス）
- 7 売春・買春、援助交際などがあること
- 8 家事や育児、介護などを男女が共に担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと
- 9 職場において、採用や昇進、昇格などで男女の待遇に差があること
- 10 差別的な発言を受けること
- 11 特に問題があるとは思わない
- 12 わからない
- 13 その他（具体的に： _____）

問 12 女性の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

《○は3つまで》

- 1 女性の人権に関する相談体制を充実させる
- 2 男女平等の意識を確立するための啓発活動を推進する
- 3 学校や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる
- 4 家庭や地域、職場における慣習やしきたり、性別による固定的な役割分担意識などを見直す
- 5 方針や意思決定の場への女性の参画を促進する
- 6 女性に対する暴力などの犯罪の防止と取締りを強化する
- 7 仕事と家庭生活の両立が容易になるような就労環境の整備を図る
- 8 男女が共に家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する
- 9 職場において、採用や昇進、昇格などの男女の待遇の差をなくす
- 10 特に必要だと思うことはない
- 11 わからない
- 12 その他（具体的に： _____）

子どもの人権について

問 13 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は3つまで》

- 1 暴力や仲間はずれ、無視、容姿に関する悪口などのいじめを行うこと
- 2 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりすること
- 3 暴力や育児放棄など、子どもを虐待すること
- 4 進路や就職先の選択などにおいて、保護者が子どもの意見を聞かないこと
- 5 教師が体罰や差別的な扱いを行うこと
- 6 成績や学歴だけで子どもを判断すること
- 7 暴力や性などの有害な情報（出会い系サイト、ポルノ雑誌など）がたくさんあること
- 8 児童買春、援助交際などの犯罪があること
- 9 特に問題があるとは思わない
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に： _____）

問 14 子どもの人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

《○は3つまで》

- 1 子どもの人権に関する相談体制を充実させる
- 2 子どもの人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 保護者の家庭でのしつけや教育力を向上させる
- 4 学校教育における人権教育を充実させるため、教員など指導者の資質を高める
- 5 学校において、いじめの防止に対する取り組みを強化する
- 6 子どもに対する虐待や育児放棄の防止に取り組む
- 7 インターネットや携帯電話の正しい使い方の指導や利用の制限をする
- 8 児童買春、児童ポルノなどの取り締まりを強化する
- 9 特に必要だと思わない
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に： _____）

問 15 あなたが児童虐待を発見したらどうしますか。

《○はいくつでも》

- 1 学校や幼稚園、市の福祉窓口、県の子ども相談センターなどに知らせる
- 2 民生委員・児童委員に知らせる
- 3 警察に知らせる
- 4 家族や友人、近所の人に相談する
- 5 虐待をしている人に注意する
- 6 虐待を受けている子どもに声をかける
- 7 法務局や人権擁護委員に知らせる
- 8 どうしたらよいのかわからない
- 9 何もしない
- 10 その他（具体的に： _____）

高齢者の人権について

問 16 高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は3つまで》

- 1 経済的に自立が困難なこと
- 2 働く能力を発揮する機会が少ないこと
- 3 悪徳商法や詐欺の被害が多いこと
- 4 病院や介護施設において、嫌がらせや虐待を受けること
- 5 家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること
- 6 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること
- 7 高齢者の意見や行動を尊重しないこと
- 8 食料品や日用品などの日常の買い物が困難なこと
- 9 道路の段差や駅の階段など外出に支障があること
- 10 特に問題があるとは思わない
- 11 わからない
- 12 その他 {具体的に: }

問 17 高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

《○は3つまで》

- 1 高齢者の人権に関する相談体制を充実させる
- 2 高齢者の人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する
- 4 高齢者が知識や経験を生かして活躍できる、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす
- 5 年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実させ、高齢者が自立して生活できる環境を整備する
- 6 高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる
- 7 高齢者と他の世代との交流を促進する
- 8 高齢者が安心して外出できるよう、建物や公共交通機関の整備を促進する
- 9 特に必要だと思うことはない
- 10 わからない
- 11 その他 {具体的に: }

障がい者の人権について

問 18 障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は3つまで》

- 1 障がい者の生活上の不便などに関する人々の認識が欠けていること
- 2 生活を支援する福祉サービスが十分でないこと
- 3 スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がされていないこと
- 4 就労の機会が少なく、職種もかぎられていることや不利な扱いをされること
- 5 悪徳商法や詐欺の被害が多いこと
- 6 障がい者の暮らしに適した住宅が少ないこと
- 7 道路の段差や駅の階段など外出に支障があること
- 8 結婚に際し周囲に反対されること
- 9 差別的な発言を受けること
- 10 特に問題があるとは思わない
- 11 わからない
- 12 その他 {具体的に:

問 19 障がい者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

《○は3つまで》

- 1 障がい者の人権に関する相談体制を充実させる
- 2 障がい者の人権を守るための啓発活動を促進する
- 3 福祉サービスの拡充や入所施設を整備する
- 4 障がい者がスポーツ活動や文化活動に参加しやすい環境を整備する
- 5 障がい者の財産保全や管理のための公的サービスを提供する
- 6 障がい者の就労機会を確保する
- 7 障がいがある人とない人との交流を促進する
- 8 障がい者が安心して外出できるよう、建物や公共交通機関の整備を促進する
- 9 特に必要だと思うことはない
- 10 わからない
- 11 その他 {具体的に:

インターネットによる人権侵害について

問20 インターネットによる人権侵害について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

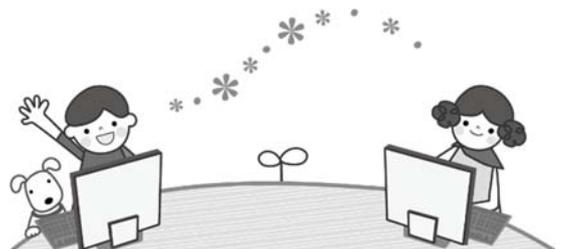
- 1 他人への^{ひぼう}誹謗中傷（ひどい悪口）や差別を助長する情報を掲載すること
- 2 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
- 3 犯罪捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真などを掲載すること
- 4 インターネットを介した詐欺や悪質商法による被害が起きていること
- 5 個人情報などが流出していること
- 6 ネットポルノなど違法・有害なホームページが存在していること
- 7 特に問題があるとは思わない
- 8 わからない
- 9 その他 { 具体的に: }

問21 インターネットによる人権侵害を解決するために、どのようなことが必要だと思いますか。

《○は2つまで》

- 1 インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実させる
- 2 個人のプライバシーや名誉に関する理解を深めるための教育・啓発活動を推進する
- 3 企業などが個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策を講ずる
- 4 プロバイダ*1などに対し、情報の停止・削除を求める
- 5 違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する
- 6 学校教育の中で、情報モラルについての教育を充実させる
- 7 特に必要だと思わない
- 8 わからない
- 9 その他 { 具体的に: }

*1 インターネットへの接続サービスを提供する会社



同和問題について

問22 同和問題について、あなたはどう考えますか。

《○は1つだけ》

- 1 問題の解決のために努力したい
- 2 とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい
- 3 同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない
- 4 あまりさわがず、そっとしておけばよい
- 5 特に関心はない
- 6 わからない
- 7 その他 {具体的に:

問23 同和問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること
- 2 誤った偏見から交際を避けること
- 3 えせ同和行為*1があること
- 4 結婚に際し周囲に反対されること
- 5 結婚や就職の際に身元調査をすること
- 6 差別的な発言を受けること
- 7 特に問題があるとは思わない
- 8 わからない
- 9 その他 {具体的に:

*1 同和問題を口実として行われる不法、不当な要求や行為

アイヌの人々の人権について

問24 アイヌの人々の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと
- 2 独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと
- 3 住宅や生活環境などの生活水準が低いこと
- 4 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること
- 5 結婚に際し周囲に反対されること
- 6 差別的な発言を受けること
- 7 特に問題があるとは思わない
- 8 わからない
- 9 その他 {具体的に:

外国人の人権について

問 25 日本に居住する外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は3つまで》

- 1 外国人についての理解や認識が十分でないこと
- 2 住宅を容易に借りることができないこと
- 3 言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと
- 4 外国人の子どもに対し、自国の言葉での教育が行われていないこと
- 5 日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を入手しにくいこと
- 6 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること
- 7 結婚に際し周囲に反対されること
- 8 差別的な発言を受けること
- 9 特に問題があるとは思わない
- 10 わからない
- 11 その他 （具体的に：

犯罪被害者とその家族の人権について

問 26 犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 犯罪行為によって、精神的なショックを受けること
- 2 犯罪行為によって、経済的な負担を受けること
- 3 事件に関して、周囲にうわさ話をされること
- 4 警察に相談しても、期待どおりの結果を得られないこと
- 5 捜査や刑事裁判において、精神的な負担を受けること
- 6 刑事裁判手続きに、必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
- 7 取材や報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなること
- 8 特に問題があるとは思わない
- 9 わからない
- 10 その他 （具体的に：

感染症患者などの人権について

問27 感染症患者などの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 感染症患者などについての理解や認識が十分でないこと
- 2 宿泊施設、店舗、アパートなどへの入店や入居、施設利用を断られること
- 3 病院での治療や入院を断られること
- 4 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること
- 5 結婚に際し周囲に反対されること
- 6 差別的な発言を受けること
- 7 特に問題があるとは思わない
- 8 わからない
- 9 その他 { 具体的に: }

刑を終えて出所した人の人権について

問28 罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会復帰を図ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。

《○は2つまで》

- 1 更生した人たちに対する誤解や偏見があること
- 2 インターネットなどで悪質な書き込みや嫌がらせが行われること
- 3 住宅を容易に借りることができないこと
- 4 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること
- 5 結婚に際し周囲に反対されること
- 6 差別的な発言を受けること
- 7 特に問題があるとは思わない
- 8 わからない
- 9 その他 { 具体的に: }

東日本大震災に起因する人権問題について

問29 東日本大震災やそれに伴う原子力発電所の事故の発生により被災した人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

《○は2つまで》

- 1 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
- 2 被災者が居住の自由を奪われていること
- 3 住宅を容易に借りることができないこと
- 4 宿泊施設、店舗などへの入店や施設の利用を拒否されること
- 5 学校、幼稚園などへの入学や入園を拒否されること
- 6 長期化する避難生活からのいさかいや虐待
- 7 差別的な発言を受けること
- 8 特に問題があるとは思わない
- 9 わからない
- 10 その他 {具体的に:

人権教育・人権啓発の方法について

問30 瑞浪市が行っている人権に関する取り組みについて、あなたが知っているものはどれですか。

《○はいくつでも》

- 1 人権啓発講演会の開催 (H25年度講師：藤田敬一氏、水谷修氏)
- 2 同和教育パンフレット (小中学校で配布)
- 3 広報みずなみへの啓発記事 (ちょっといい話・人権書道展・人権週間など)
- 4 市ホームページの啓発記事
- 5 人権書道展
- 6 「ちょっといい話」の募集
- 7 瑞浪市人権施策推進指針・行動計画
- 8 弁護士による無料法律相談*¹
- 9 人権擁護委員による人権・こまりごと相談
- 10 市民相談室 (市役所3階生活安全課内)
- 11 知っているものはない
- 12 その他 {具体的に:



*1 毎月第2火曜・第3木曜日 (予約制)

問 31 人権教育・啓発を推進するためには、どのような方法が効果的だと思いますか。

《○はいくつでも》

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 学校、職場、地域単位の学習会 | 2 教員、市職員向けの学習会 |
| 3 家庭教育の充実 | 4 学校教育の充実 |
| 5 広報やホームページなどでの啓発 | 6 冊子、資料の作成・配布 |
| 7 人権に関する書道作品や作文などの募集 | 8 講演会、シンポジウム、展示会などの開催 |
| 9 啓発ポスター、チラシなどの作成・掲示 | |
| 10 わからない | |
| 11 その他 | （具体的に： |

問 32 学校における人権教育について、どのようなことが重要だと思いますか。

《○はいくつでも》

- | | |
|---|--------|
| 1 性別に関係なく一人ひとりを尊重する心や態度を育むこと | |
| 2 いじめや暴力をゆるさない心や態度を育むこと | |
| 3 インターネットや携帯電話などの正しい使い方を身につけること | |
| 4 福祉・ボランティア教育、交流体験、キャリア教育*1などを積極的に行うこと | |
| 5 人権の発展・侵害に関する歴史や現状に関する知識を身につけること | |
| 6 自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める心を育むこと | |
| 7 自分の要求を一方向的に主張するのではなく、他の人との関係を調整する力を育むこと | |
| 8 わからない | |
| 9 その他 | （具体的に： |

*1 社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を身につける教育

問 33 人権に関する企業の取り組みとしてどのようなことが重要だと思いますか。

《○はいくつでも》

- | | |
|--|---------------------|
| 1 差別のない公正な採用をすること | 2 男女間で公平な待遇をすること |
| 3 個人情報適切に管理すること | 4 障がい者を積極的に雇用すること |
| 5 社員を対象とした人権研修を行うこと | 6 安全で働きやすい環境を確保すること |
| 7 パワーハラスメント*1やセクシュアルハラスメントなどの相談窓口を設置すること | |
| 8 製品、サービスの安全性を確保すること | |
| 9 わからない | |
| 10 その他 | （具体的に： |

*1 職務上の地位や優位性を背景に、精神的・身体的苦痛を与える行為

問34 あなたは、市民一人ひとりが互いの人権を尊重するために心掛けたり、行動すべきことはどのようなことだと思いますか。

《○はいくつでも》

- 1 人権に関する正しい知識を身につけること
- 2 慣習やしきたり、誤った固定観念などにとらわれないこと
- 3 自分の権利ばかりでなく他人の権利も尊重すること
- 4 他人に対する思いやりややさしさを育むこと
- 5 職場で人権を尊重する意識を高めあうこと
- 6 特にすべきことはない
- 7 わからない
- 8 その他 （具体的に：

人権問題についてご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



アンケートは、返信用封筒に入れ、7月31日（木） までに
ポストに投函してください。なお、切手を貼る必要はありません。

■調査に関する問い合わせ

瑞浪市役所 まちづくり推進部 生活安全課
☎0572-68-9748（直通）

人権に関する市民意識調査
報 告 書

発行 平成 26 (2014) 年 11 月

瑞浪市役所 まちづくり推進部 生活安全課
〒509-6195 岐阜県瑞浪市上平町 1 丁目 1 番地
TEL 0572-68-2111 FAX 0572-68-8749
